

第9期にっしん高齢者ゆめプラン アンケート調査

調査結果報告書

令和5年3月

日進市

I.	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査方法等	1
3.	調査対象及び調査票の回収状況	1
4.	標本誤差	2
5.	報告書の見方	2
II.	調査結果 一般高齢者	3
1.	はじめに	3
1.	記入者	3
2.	居住地域（認定データより）	3
3.	年齢（認定データより）	4
4.	性別（認定データより）	4
2.	ご家族や生活状況について	5
1.	家族構成	5
2.	介護・介助の要否	6
3.	主な介護・介助者	7
4.	経済状況	8
5.	住居形態	9
3.	からだを動かすことについて	10
1.	階段を昇ること	10
2.	椅子から立ち上がること	11
3.	15分続けて歩くこと	12
4.	歩く速度の遅れ	13
5.	過去1年間に転んだこと	14
6.	転倒に対する不安	15
7.	外出の頻度	16
8.	外出の回数の変化	17
9.	外出を控えているか	18
10.	外出を控えている理由	19
11.	外出する際の移動手段	20
4.	食べることについて	21
1.	BMI	21
2.	体重の減少	22
3.	1日3食の状況	23
4.	人と食事をともにする機会	24
5.	固いものが食べにくくなったこと	25
6.	お茶や汁物等でむせること	26
7.	口の渇き	27

8.	歯磨き習慣	28
9.	歯の数と入れ歯の利用状況	29
10.	入れ歯の手入れ	30
11.	歯の噛み合わせ	31
5.	健康状態・毎日の生活について	32
1.	現在の健康状態	32
2.	現在治療中、または後遺症のある病気	33
3.	飲酒習慣	34
4.	喫煙習慣	35
5.	バスや電車を使って一人で外出すること	36
6.	食品・日用品の買物	37
7.	食事の用意	38
8.	請求書の支払い	39
9.	預貯金のおし入れ	40
10.	新聞を読むこと	41
11.	健康についての記事や番組への関心	42
12.	友人の家を訪ねること	43
13.	家族や友人の相談にのること	44
14.	趣味の有無	45
15.	生きがいの有無	46
16.	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること	47
17.	物忘れの状況	48
18.	電話番号を調べてかけること	52
19.	今日の日付がわからない時	53
20.	物事に対して興味がわからない、心から楽しめないこと	54
21.	だらしなくなったりと感じること	55
22.	日課をしなくなったりしたこと	56
23.	時間や場所の感覚が不確かになったこと	57
24.	慣れた所で道に迷ったこと	58
25.	身の回りの物がなくなったりと感じること	59
26.	怒りっぽくなったりと感じること	60
27.	火の用心ができること	61
28.	テレビドラマが理解しにくくなったりと感じること	62
29.	夜中に急に起きて大声を出したこと	63
30.	現在の幸福度	64
6.	地域での活動について	65
1.	地域活動への参加状況	65
2.	地域活動に不参加の理由と参加意向のある地域活動	75
3.	地域づくり活動への参加意向【参加者として】	77
4.	地域づくり活動への参加意向【企画・運営（お世話役）として】	78
7.	まわりの人との関係について	79
1.	たすけあいの状況について	79
2.	家族や友人・知人以外の相談相手	83

3.	友人関係	84
8.	地域でのたすけあい・支え合いについて	85
1.	地域の人たちに求める手助け	85
2.	現在受けている手助け	86
3.	必要なのに受けていない手助け	102
4.	地域の人たちに対してできる手助け	104
9.	認知症について	105
1.	認知症の症状の有無	105
2.	認知症相談窓口の認知度	106
3.	認知症サポーターの認知度	107
4.	認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと	108
10.	介護保険制度および高齢者福祉施策について	109
1.	地域包括支援センターの認知度	109
2.	地域包括支援センター事業の認知度	110
3.	介護予防への関心	111
4.	介護予防のための取組への参加意向	112
5.	介護予防のための取組に参加したくない理由	113
6.	参加したい介護予防の取組	114
7.	介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先	115
8.	介護保険制度や高齢者サービスなどに関する相談先	116
9.	介護保険料と介護保険サービスのあり方	117
10.	サービスに関する意見・要望	118
11.	人生の最終段階を迎える場所	119
12.	終末期の医療・療養についての話し合いの状況	120
13.	終末期の医療・療養について話し合ったことがない理由	121
14.	居住地域における問題	122
15.	日進市の高齢者福祉施策に望むこと	123
16.	高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望	124
11.	認知症チェックリストの状況	125
1.	認知症チェックリストの状況	125

III. 調査結果 在宅要介護等認定者 127

1.	調査票対象者について	127
1.	調査票の回答者	127
2.	居住地域（認定データより）	127
3.	年齢（認定データより）	128
4.	性別（認定データより）	128
5.	要介護状態（認定データより）	129
6.	世帯類型	129
7.	施設等への入所・入居の検討状況	130
8.	介護・介助が必要になった主な原因	131
9.	介護保険サービスの利用の有無	132

10.	介護保険サービスの利用回数に対する考え	133
11.	介護保険サービスを利用していない理由	134
12.	今後新たに利用したい介護保険サービス	135
13.	利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス	136
14.	在宅生活の継続に必要な支援・サービス	137
15.	訪問診療の利用の有無	138

2. 地域でのたすけあい・支え合いについて 139

1.	地域の人たちに求める手助け	139
2.	現在受けている手助け	140
3.	必要なのに受けていない手助け	156

3. 介護保険制度および高齢者福祉施策について 158

1.	居住地域における問題	158
2.	介護保険料と介護保険サービスのあり方	159
3.	日進市の高齢者福祉施策に望むこと	160
4.	地域包括支援センターの認知度	161
5.	地域包括支援センターの利用の有無	161
6.	地域包括支援センターの印象	162
7.	特に力を入れてほしい地域包括支援センター事業	164
8.	家族・親族による介護の頻度	165

4. 主な介護者について 166

1.	主な介護者	166
2.	主な介護者の性別	166
3.	主な介護者の年齢	167
4.	対象者への介護の期間	167
5.	主な介護者が行っている介護等	168
6.	主な介護者が不安に感じる介護等	169
7.	介護を理由とした家族等の離職の有無	170
8.	主な介護者の勤務形態	171
9.	介護のための働き方の調整等	172
10.	仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援	173
11.	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	174

IV. 調査結果 フレイル予防 175

1. 調査票対象者について 175

1.	調査票の回答者	175
2.	居住地域（認定データより）	175
3.	年齢（認定データより）	176
4.	性別（認定データより）	176

2. 対象者の生活状況について 177

1.	現在の健康状態	177
2.	毎日の生活への満足度	178
3.	1日3食の状況	179

4.	固いものが食べにくくなったこと	180
5.	お茶や汁物等でむせること	181
6.	BMI	182
7.	体重の減少	183
8.	歩く速度の遅れ	184
9.	過去1年間に転んだこと	185
10.	週に1回以上の運動の状況	186
11.	物忘れの状況	187
12.	今日の日付がわからない時	188
13.	喫煙の状況	189
14.	週1回以上の外出の状況	190
15.	家族や友人との付き合いの有無	191
16.	身近な相談相手の有無	192
3.	地域での活動等について	193
1.	地域活動への参加状況	193
2.	地域活動に不参加の理由と参加意向のある地域活動	203
3.	介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先	205

調査概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

より良い高齢者福祉・介護保険・生活支援サービス等を提供するため、市民の皆様のご意見や生活状態を把握し、令和5年度策定の「第9期にっしん高齢者ゆめプラン」（日進市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）に反映させることを目的として、調査を実施しました。

2. 調査方法等

- ・調査地域：日進市内
- ・標本抽出方法：無作為抽出
- ・調査時期：令和5年1月
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収・Web回収
- ・調査実施機関：日進市

3. 調査対象及び調査票の回収状況

	① 一般高齢者	② 在宅要介護等認定者	③ フレイル予防
調査対象者	日進市在住の65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方	日進市に在住し、要支援・要介護認定を受け、在宅で暮らしている方	日進市在住の65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方（①の対象者を除く。）
標本サイズ	2,500件	1,200件	13,290件
有効回収数	1,559件 (うちWeb 121件)	632件	8,389件 (うちWeb 676件)
有効回収率	62.4%	52.7%	63.1%

4. 標本誤差

この調査は、母集団である調査対象者から一部の標本を無作為に抽出して行いました。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

標本誤差	$\sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$	P: 回答率(%)	n: 有効回収数(件)
------	--	-----------	-------------

以下の表は、上式にnとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

この表の見方について例を挙げると、「一般高齢者の標本数は 1,559 人であり、ある設問の1つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で±2.5%以内であり、実際の割合は 47.5%～52.5%の範囲にある」と意味づけられるものです。

5. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- ・クロス集計表の各行のセルは、数値の多いものほど濃く色付けして表示しています。
- ・有効回収数の1割に満たない回答数のグラフ・表は参考程度の数値として表記している場合があります。
- ・回答率の比較については、主に対象間の差が5ポイント以上あるものについて言及しており、5ポイント未満の差しかない場合は「特に大きな差はみられません」等とコメントしています。

調查結果

一般高齡者

Ⅱ. 調査結果 一般高齢者

1. はじめに

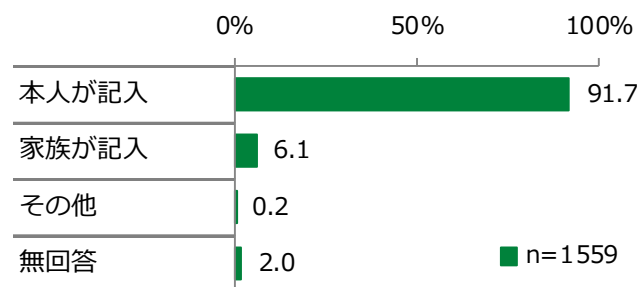
1. 記入者

問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

☑ 「本人が記入」が91.7%

調査票の記入については、「本人が記入」が91.7%、「家族が記入」が6.1%、「その他」が0.2%となっています。

図表 1 記入者

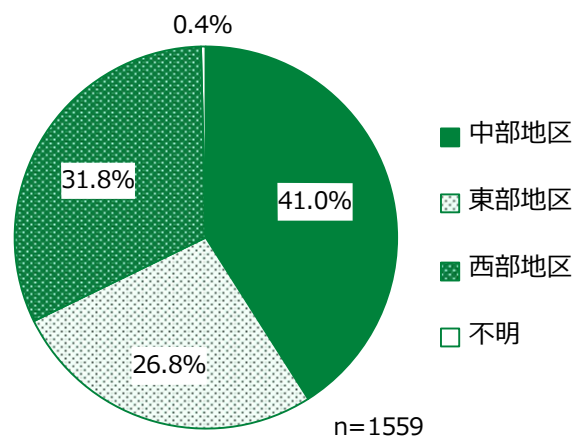


2. 居住地域(認定データより)

☑ 「中部地区」が41.0%

居住地域については、「中部地区」が41.0%、「西部地区」が31.8%、「東部地区」が26.8%となっています。

図表 2 居住地域



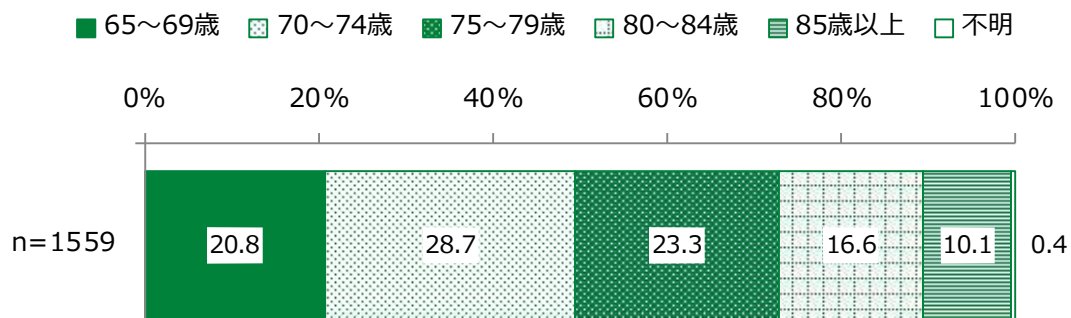
中部地区 (蟹甲・折戸・栄 (1～2丁目)・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山)
東部地区 (藤枝・米野木・米野木台・三本木・藤島・北新・五色園・栄 (3～5丁目))
西部地区 (赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台)

3. 年齢(認定データより)

☑ 「70～74 歳」が 28.7%

対象者の年齢については、「65～69 歳」が 20.8%、「70 歳代」が 52.0%、「80 歳代以上」が 26.7% となっています。前期高齢者（65～74 歳）は 49.5%、後期高齢者（75 歳以上）は 50.1% となっています。

図表 3 年齢

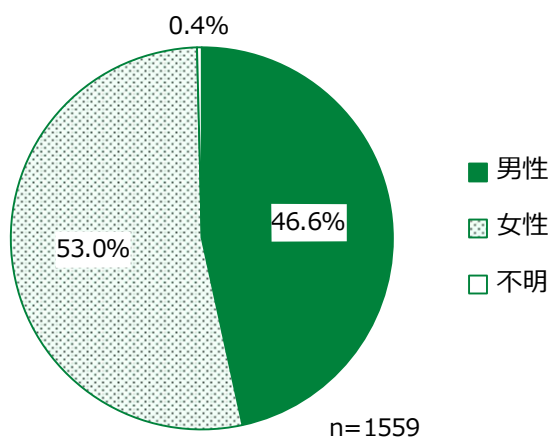


4. 性別(認定データより)

☑ 「女性」が 53.0%

対象者の性別については、「女性」が 53.0%、「男性」が 46.6% となっています。

図表 4 性別



2. ご家族や生活状況について

1. 家族構成

問2 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

☑ 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が47.9%

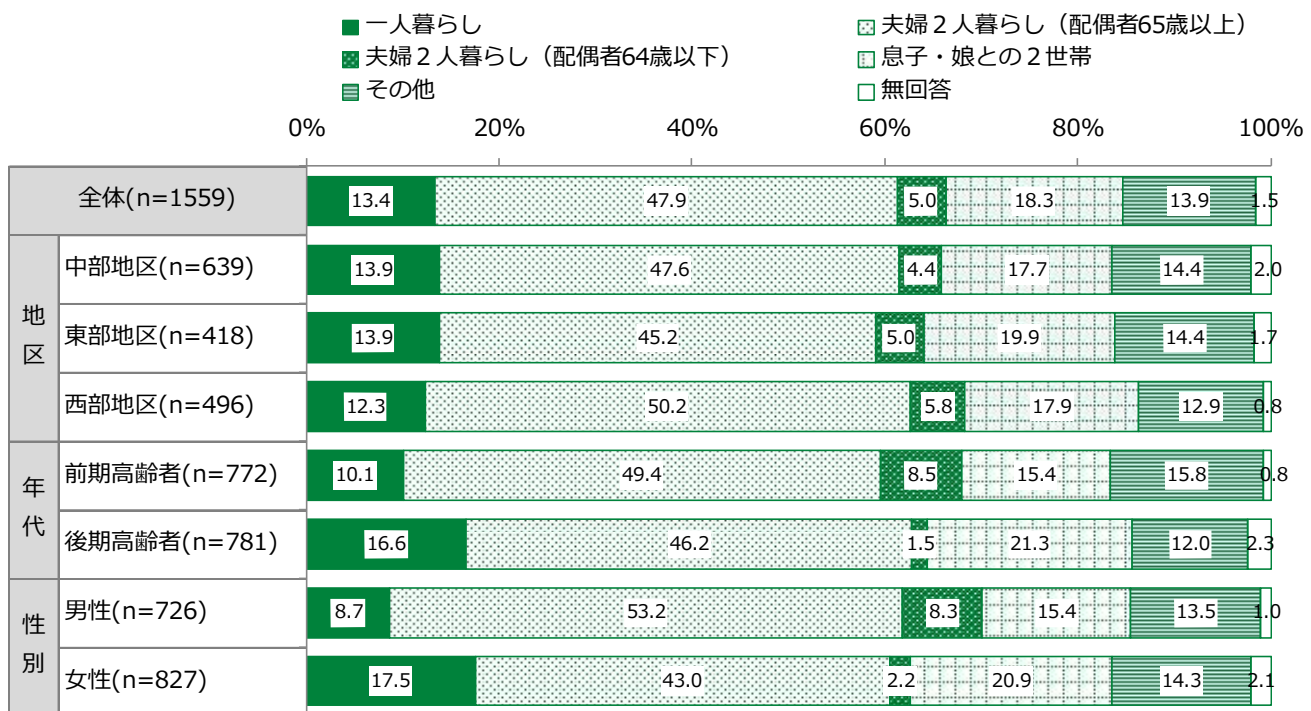
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が47.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（18.3%）、「その他」（13.9%）、「一人暮らし」（13.4%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「一人暮らし」が6.5ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「一人暮らし」が8.8ポイント、男性より高くなっています。

図表 5 家族構成



2. 介護・介助の要否

問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(○は1つ)

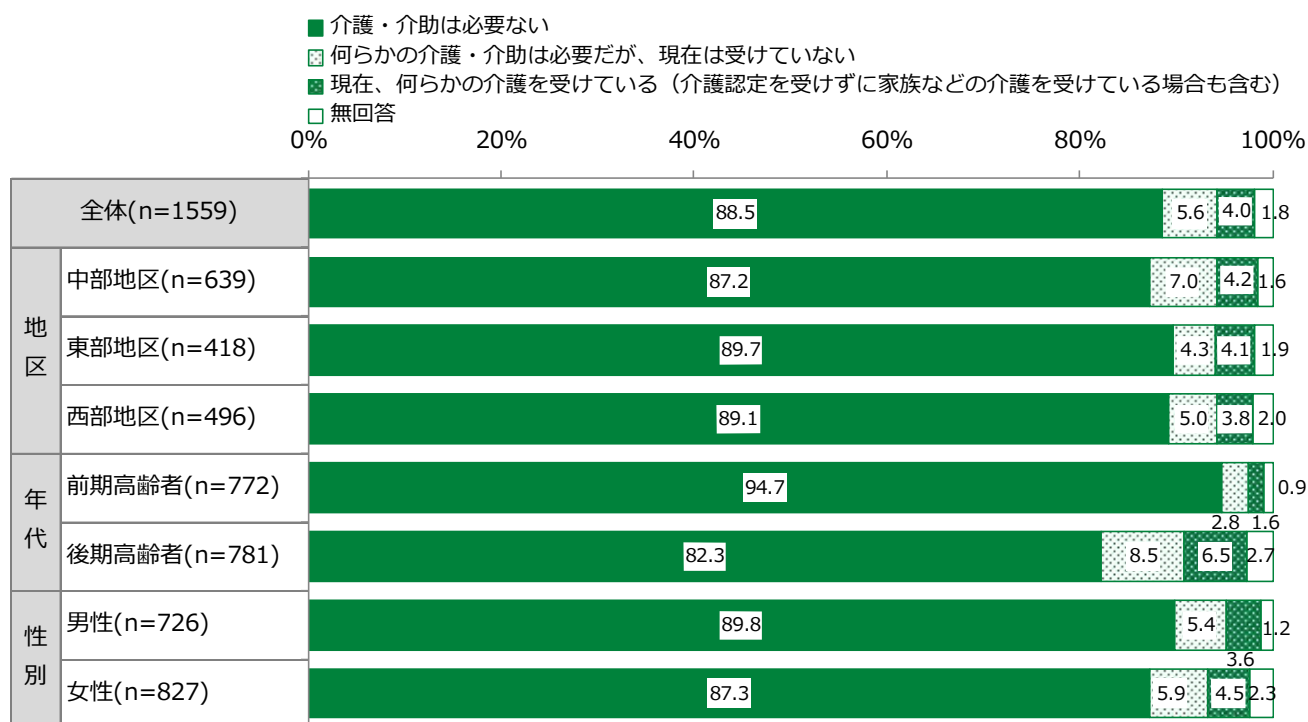
☑ 「介護・介助は必要ない」が88.5%

普段の生活における介護・介助の要否については、「介護・介助は必要ない」が88.5%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(5.6%)、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(4.0%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「介護・介助は必要ない」が12.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。一方、後期高齢者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.7ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表6 介護・介助の要否



3. 主な介護・介助者

※問3で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方

問3－1 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（〇はいくつでも）

☑ 「配偶者（夫・妻）」が38.1%

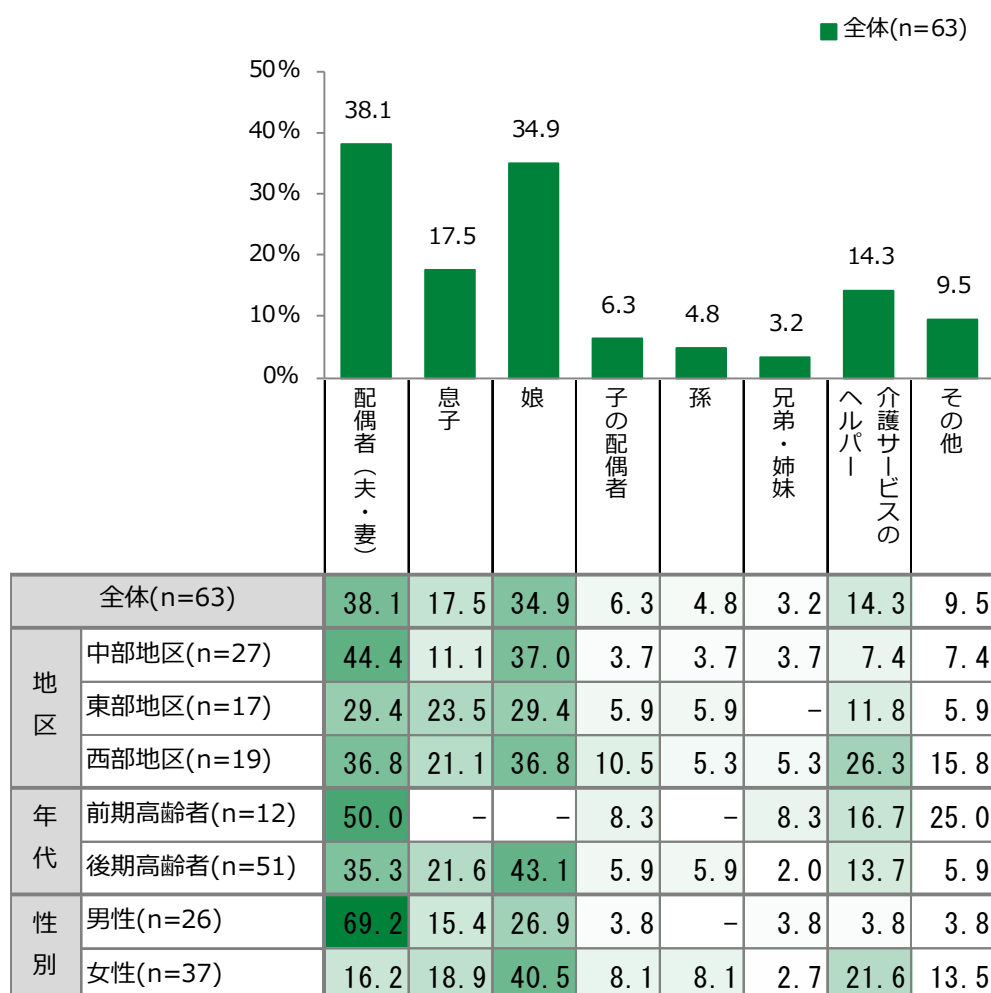
主な介護・介助者については、「配偶者（夫・妻）」が38.1%と最も高く、次いで「娘」（34.9%）、「息子」（17.5%）、「介護サービスのヘルパー」（14.3%）、「その他」（9.5%）となっています。

地区別でみると、西部地区で「介護サービスのヘルパー」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「配偶者（夫・妻）」、後期高齢者では「娘」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「配偶者（夫・妻）」、女性では「娘」が最も高くなっています。

図表 7 主な介護・介助者



4. 経済状況

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

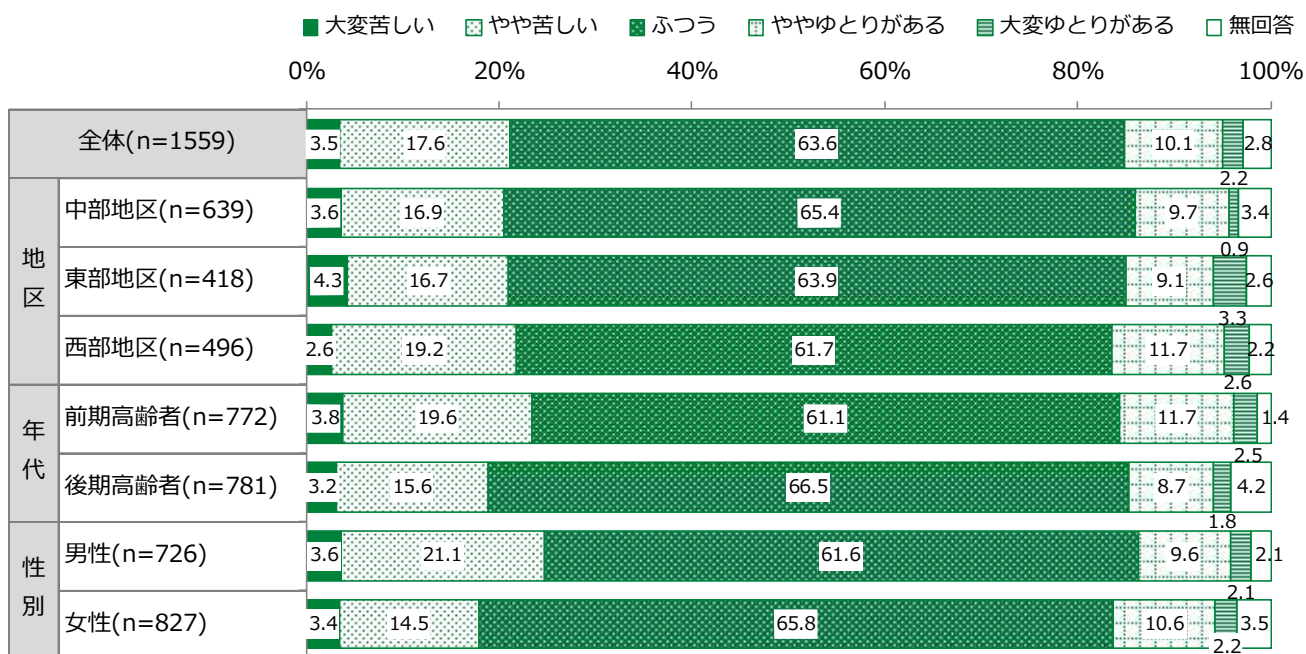
☒ 「ふつう」が63.6%

現在の経済状況については、「ふつう」が63.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」(17.6%)、「ややゆとりがある」(10.1%)となっています。また、“経済的に苦しい”(「大変苦しい」+「やや苦しい」)は21.1%、“経済的にゆとりがある”(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)は12.3%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で“経済的に苦しい”が6.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 8 経済状況



5. 住居形態

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

☑ 「持家（一戸建て）」が83.8%

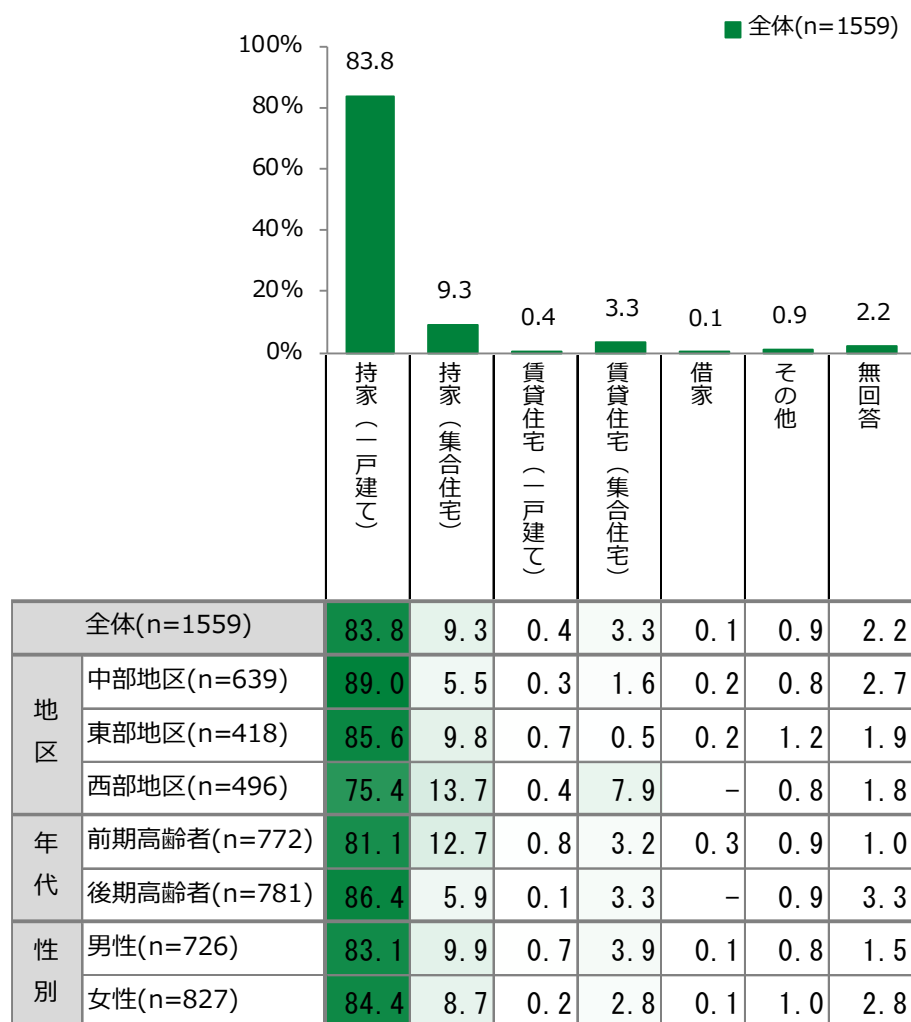
住居形態については、「持家（一戸建て）」が83.8%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」(9.3%)、「賃貸住宅（集合住宅）」(3.3%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「持家（一戸建て）」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「持家（集合住宅）」が6.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 9 住居形態



3. からだを動かすことについて

1. 階段を昇ること

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

☒ 「できるし、している」が63.8%

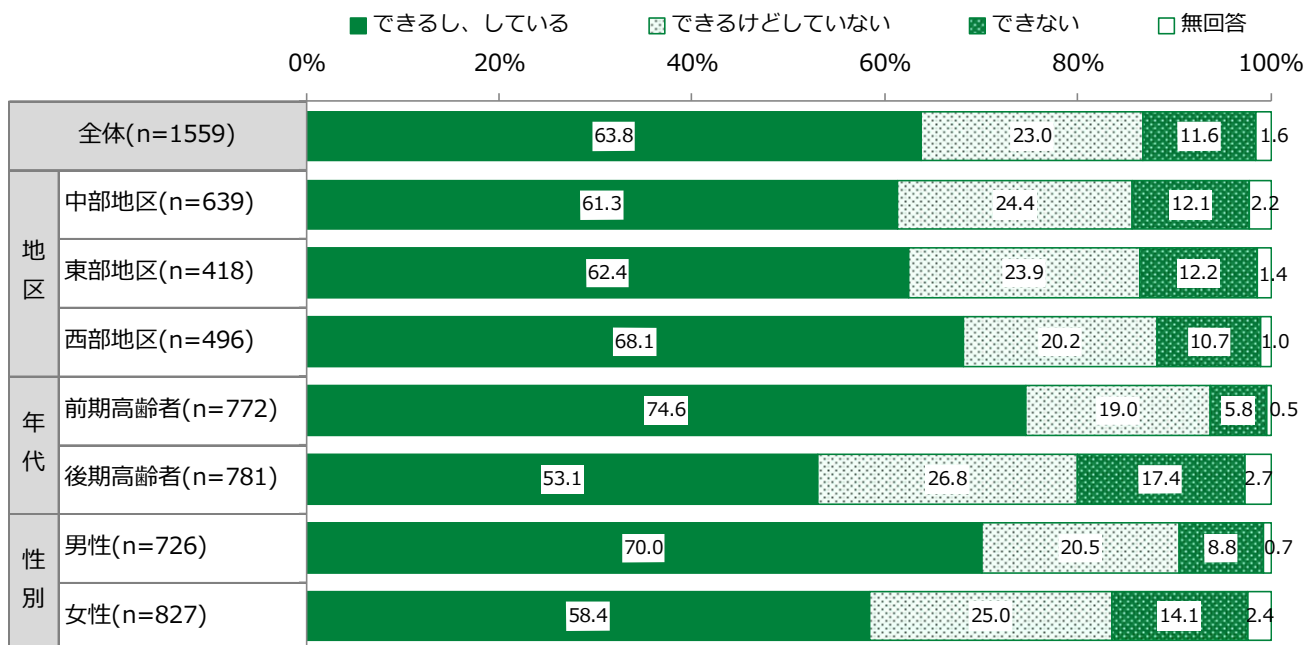
階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについては、「できるし、している」が63.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(23.0%)、「できない」(11.6%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「できるし、している」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が21.5ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるし、している」が11.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 10 階段を昇ること



2. 椅子から立ち上がること

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

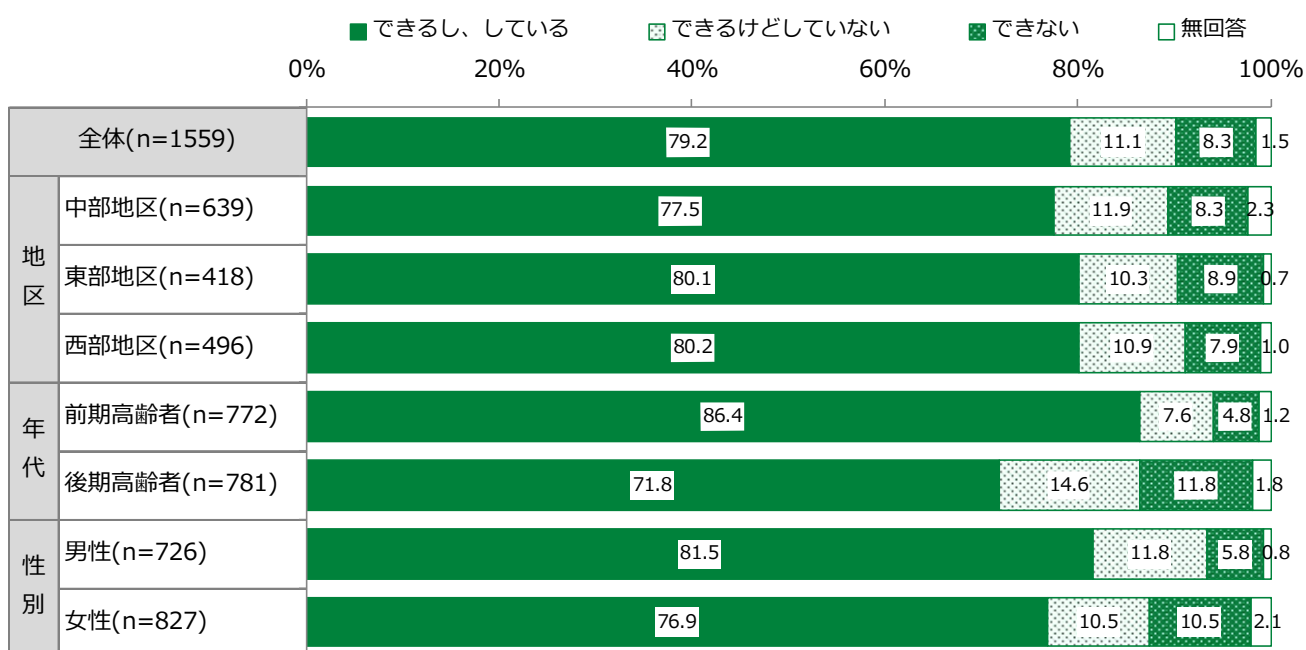
☑ 「できるし、している」が79.2%

椅子から何もつかまらずに立ち上がることについては、「できるし、している」が79.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(11.1%)、「できない」(8.3%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別で見ると、前期高齢者で「できるし、している」が14.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 11 椅子から立ち上がること



3. 15分続けて歩くこと

問8 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

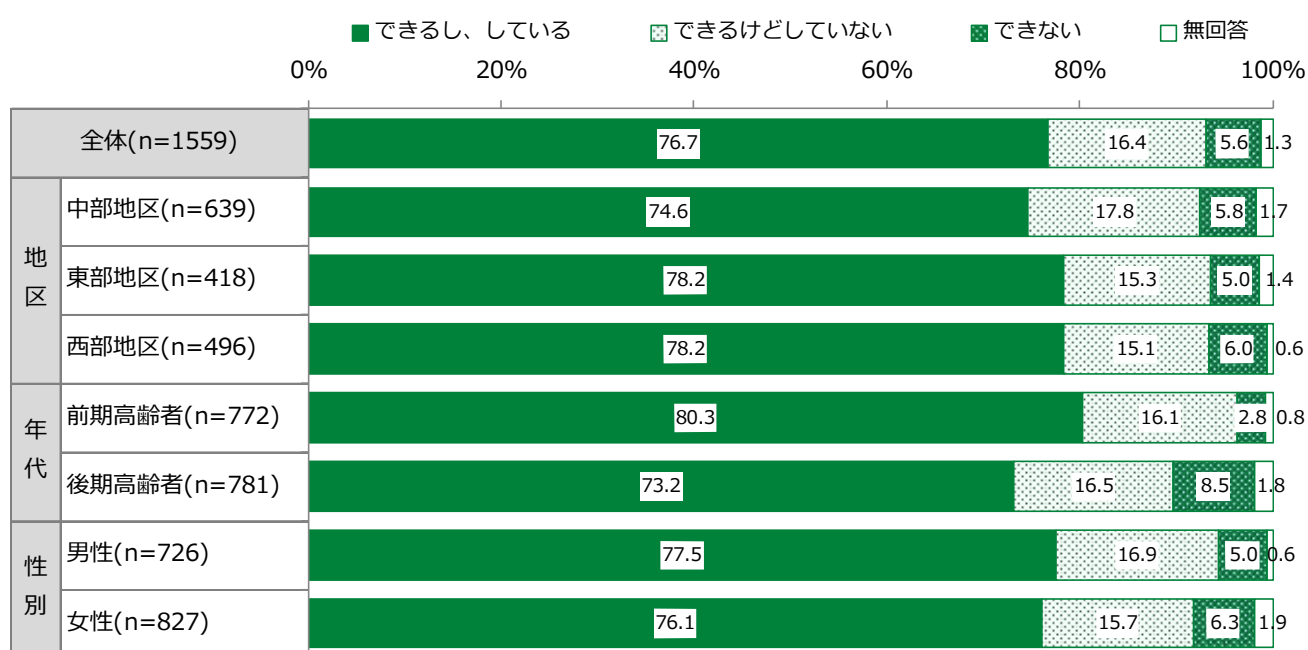
☑ 「できるし、している」が76.7%

15分位続けて歩くことについては、「できるし、している」が76.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(16.4%)、「できない」(5.6%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が7.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 12 15分続けて歩くこと



4. 歩く速度の遅れ

問9 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(○は1つ)

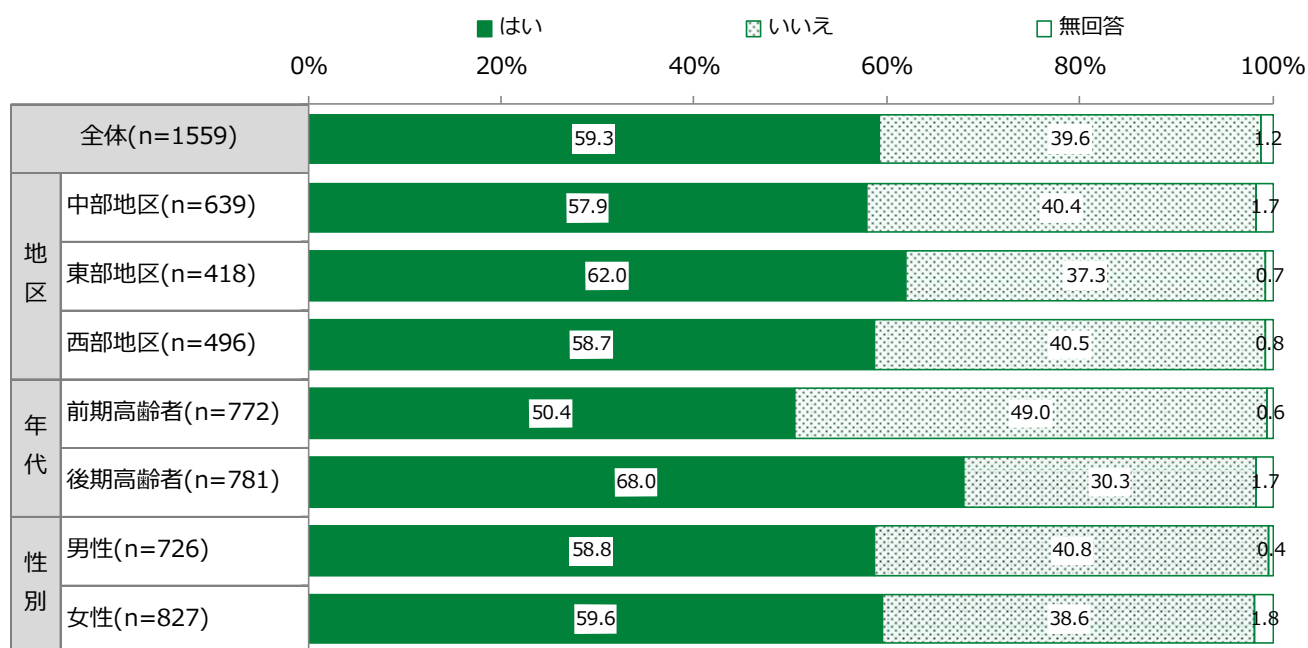
☒ 「はい」が59.3%

歩く速度が遅くなってきたと思うかどうかについては、「はい」が59.3%、「いいえ」が39.6%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が17.6ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 13 歩く速度の遅れ



5. 過去1年間に転んだこと

問 10 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

☒ 「ない」が69.9%

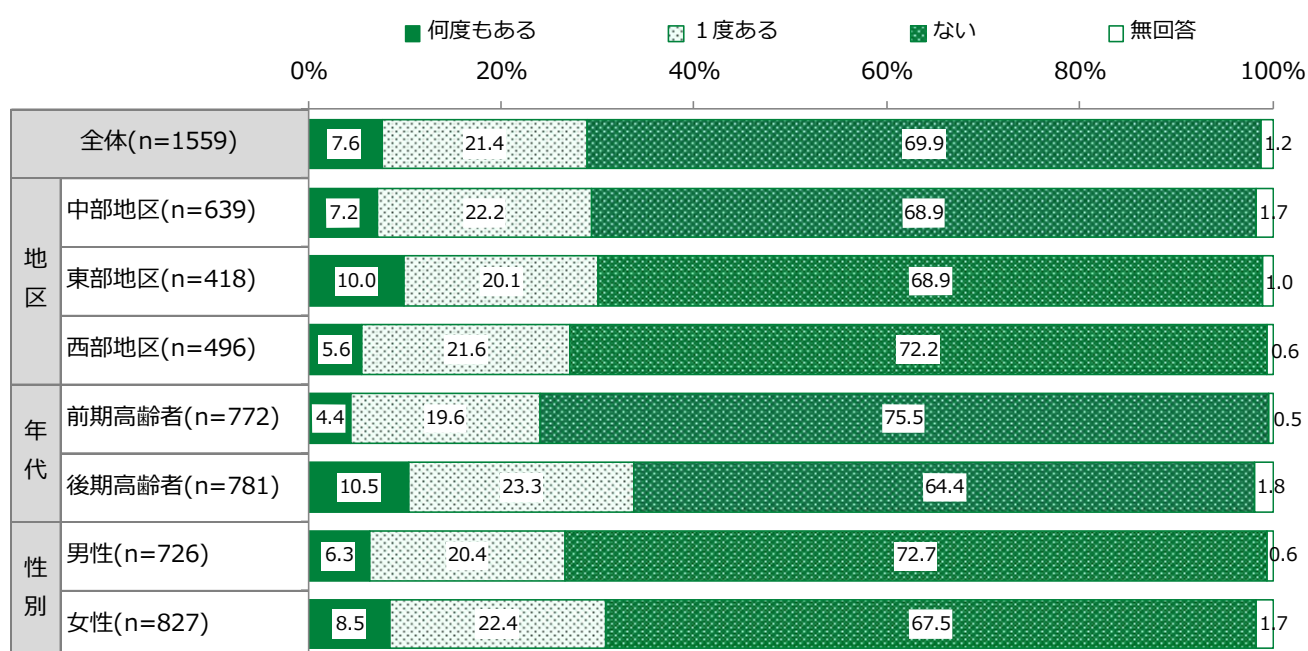
過去1年間の転倒経験については、「ない」が69.9%と最も高く、次いで「1度ある」(21.4%)、「何度もある」(7.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「ない」が11.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「ない」が5.2ポイント、女性より高くなっています。

図表 14 過去1年間に転んだこと



6. 転倒に対する不安

問 11 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

☑ “不安でない”(「あまり不安でない」＋「不安でない」)が49.7%

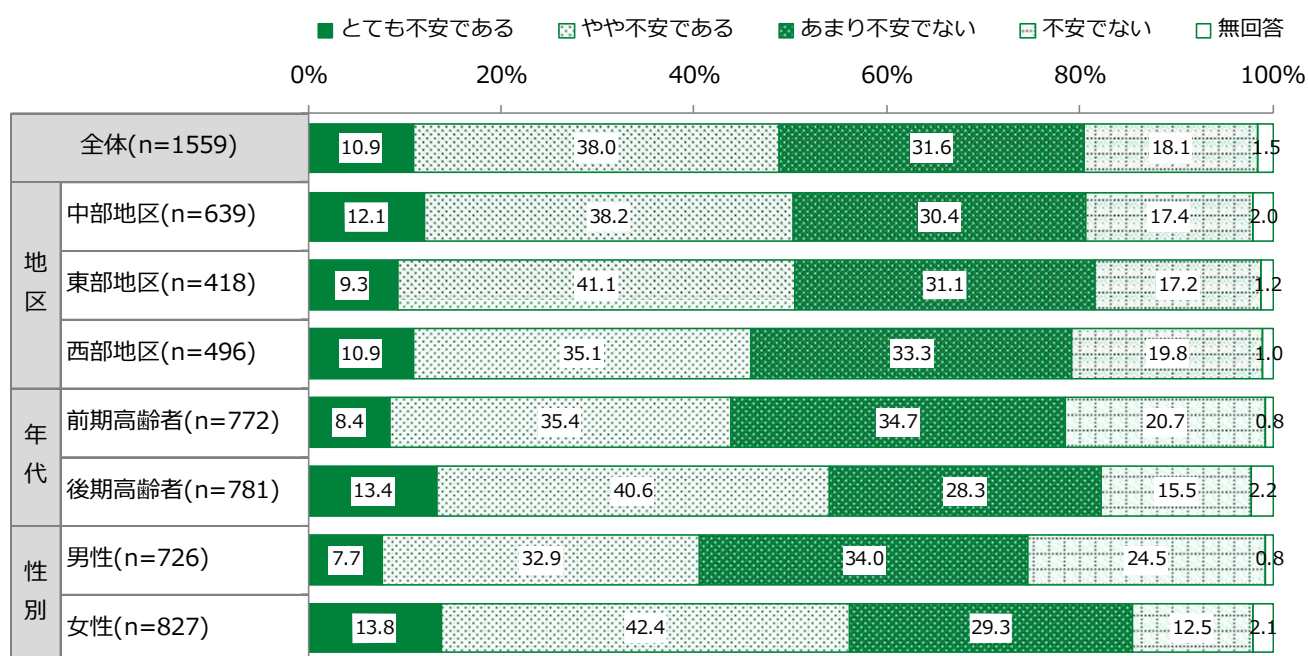
転倒に対する不安については、「やや不安である」が38.0%と最も高く、次いで「あまり不安でない」(31.6%)となっています。また、“不安でない”が49.7%、“不安である”(「とても不安である」＋「やや不安である」)が48.9%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で“不安である”が10.2ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で“不安である”が15.6ポイント、男性より高くなっています。

図表 15 転倒に対する不安



7. 外出の頻度

問 12 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

☑ 「週2～4回」が46.4%

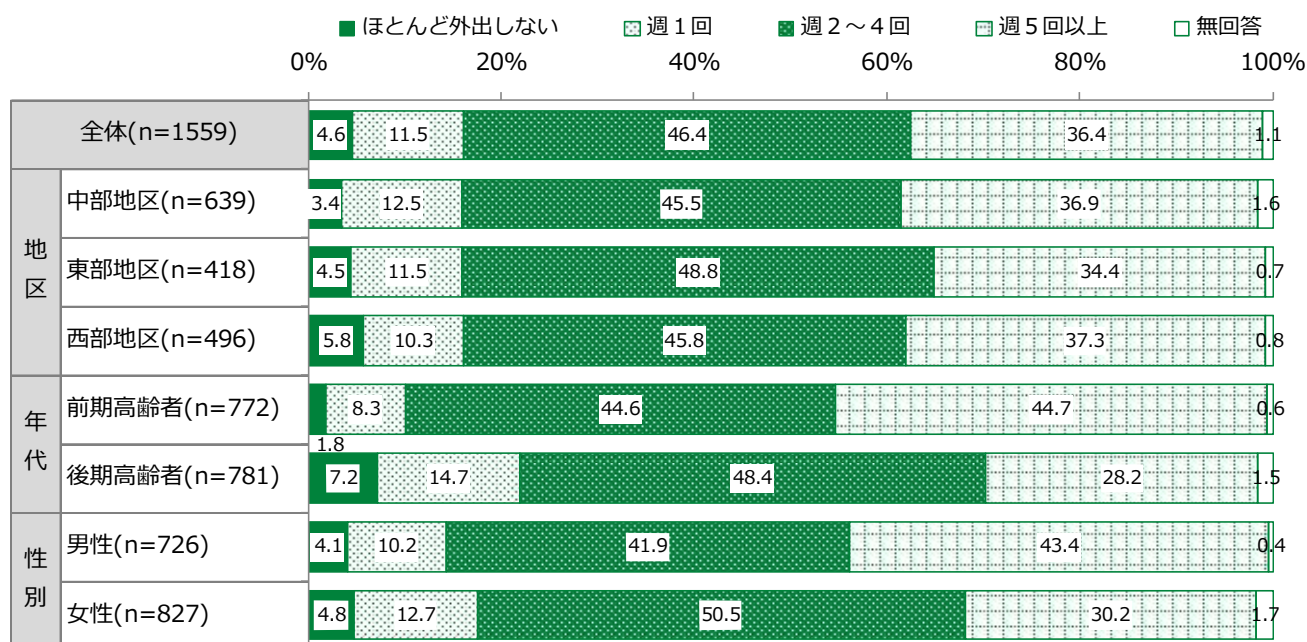
外出の頻度については、「週2～4回」が46.4%と最も高く、次いで「週5回以上」(36.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者は「週5回以上」、後期高齢者は「週2～4回」が最も高くなっています。

性別でみると、男性は「週5回以上」、女性は「週2～4回」が最も高くなっています。

図表 16 外出の頻度



8. 外出の回数の変化

問 13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

☑ 「減っていない」が36.4%

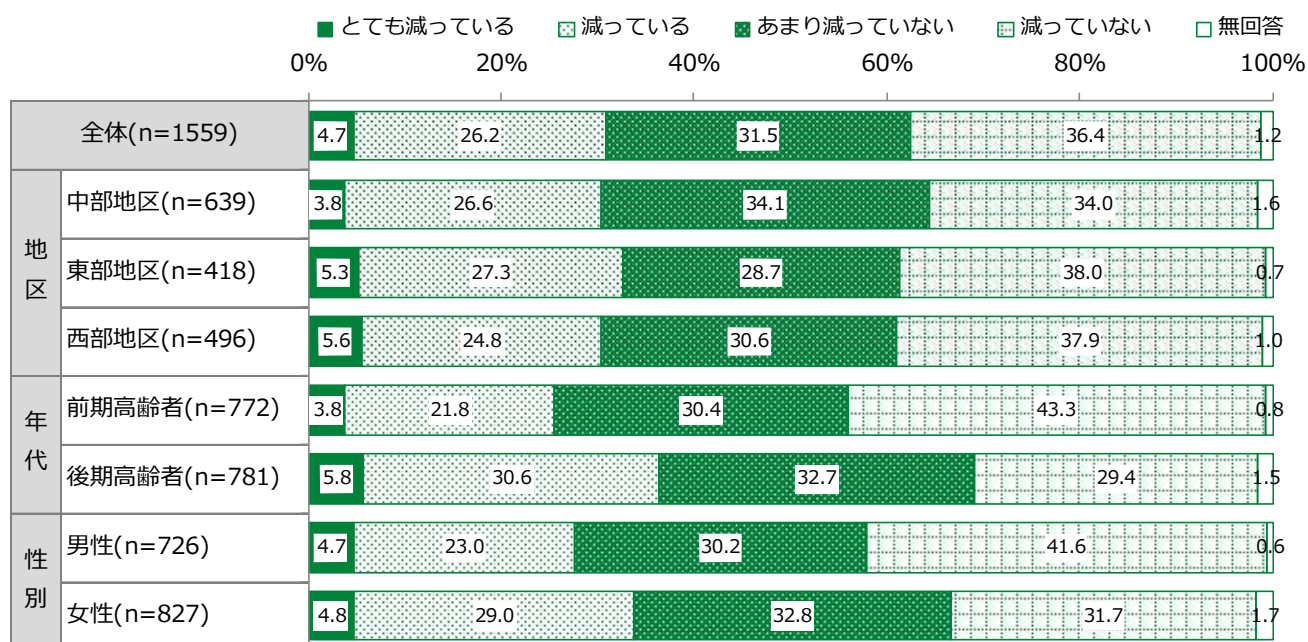
外出の回数の変化については、「減っていない」が36.4%と最も高く、次いで「あまり減っていない」(31.5%)となっています。また、“外出回数が減っていない”(「あまり減っていない」+「減っていない」)が67.9%、“外出回数が減っている”(「とても減っている」+「減っている」)が30.9%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で“外出回数が減っている”が10.8ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で“外出回数が減っている”が6.1ポイント、男性より高くなっています。

図表 17 外出の回数の変化



9. 外出を控えているか

問 14 外出を控えていますか。(〇は1つ)

☒ 「いいえ」が 64.0%

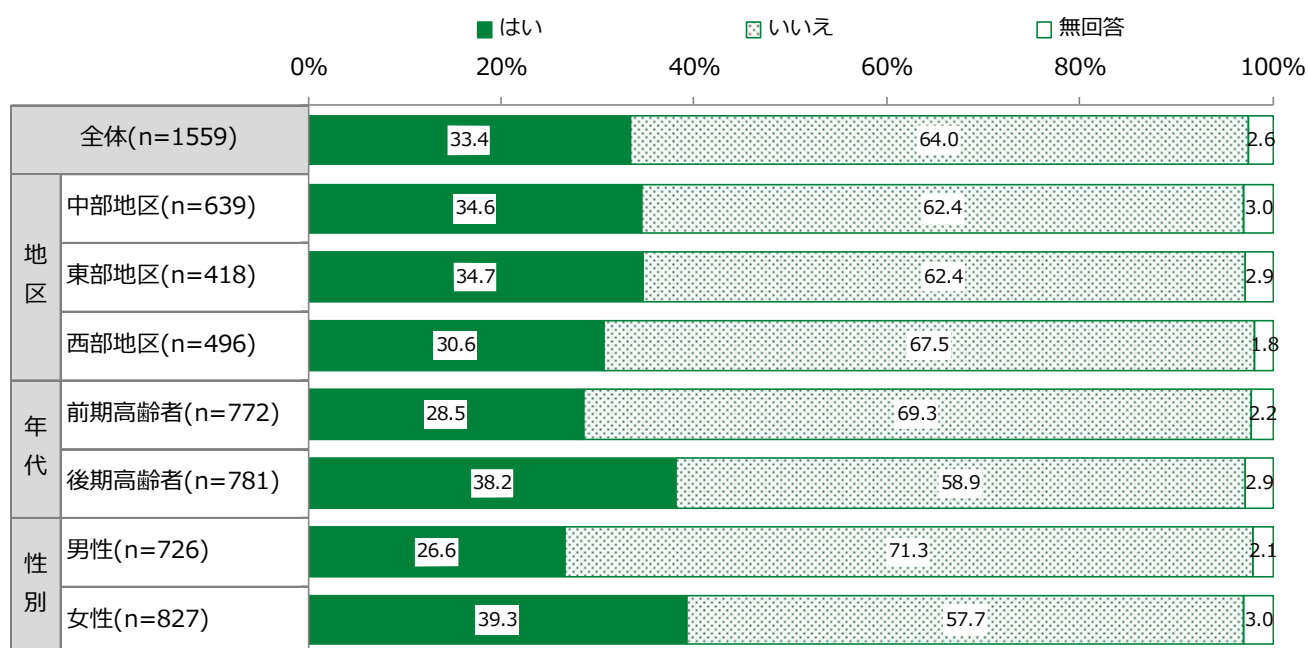
外出を控えているかについては、「いいえ」が 64.0%、「はい」が 33.4%となっています。

地区別でみると、西部地区で「いいえ」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が 9.7 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が 12.7 ポイント、男性より高くなっています。

図表 18 外出を控えているか



10.外出を控えている理由

※問 14 で「1. はい」とお答えの方

問 14－1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

☒ 「感染症に対して不安がある（新型コロナ等）」が 74.3%

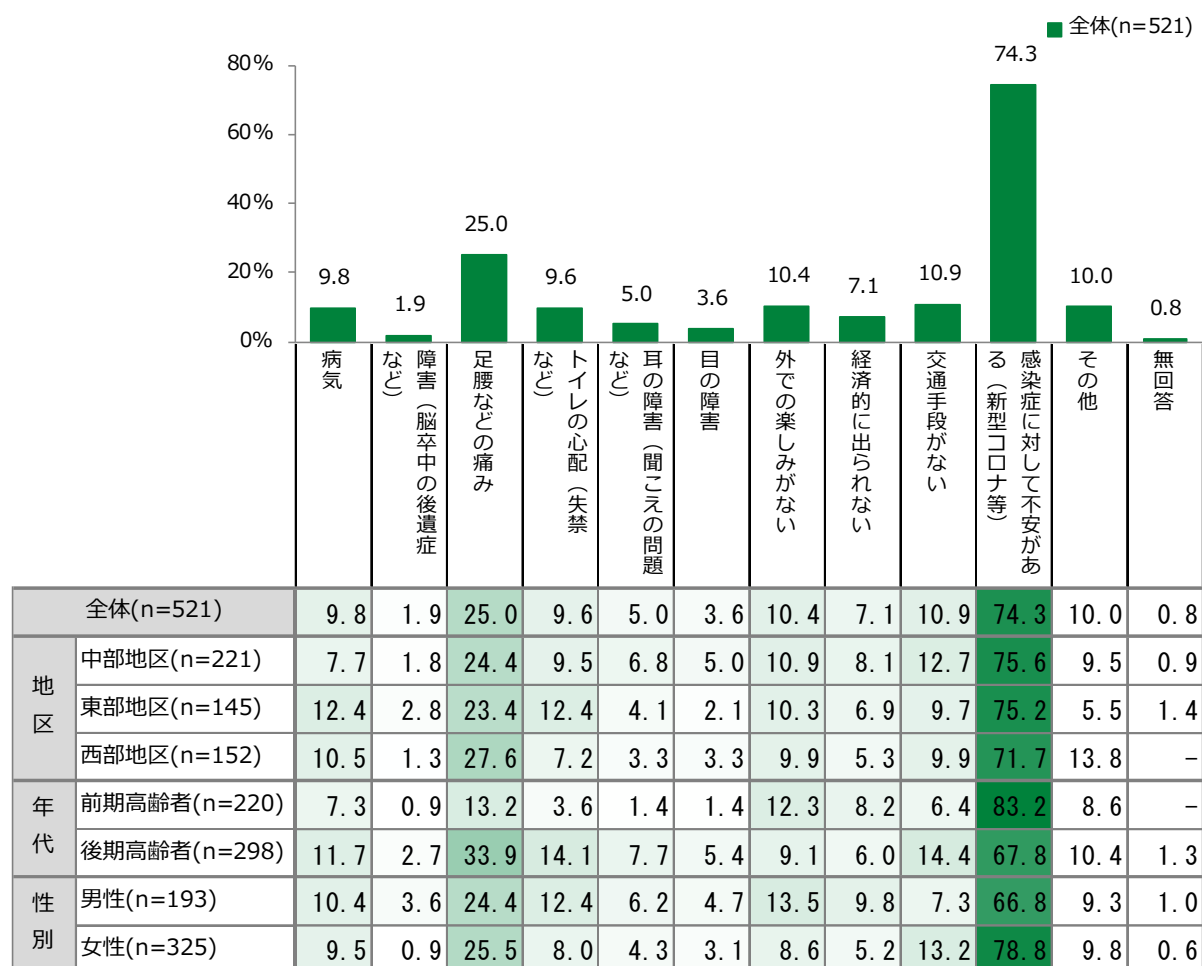
外出を控えている理由については、「感染症に対して不安がある（新型コロナ等）」が 74.3%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」（25.0%）、「交通手段がない」（10.9%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「足腰などの痛み」「トイレの心配」、前期高齢者で「感染症に対して不安がある」が 10 ポイント以上、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、女性で「感染症に対して不安がある」が 10 ポイント以上、男性より高くなっています。

図表 19 外出を控えている理由



11.外出する際の移動手段

問 15 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

☑ 「自動車（自分で運転）」が 70.0%

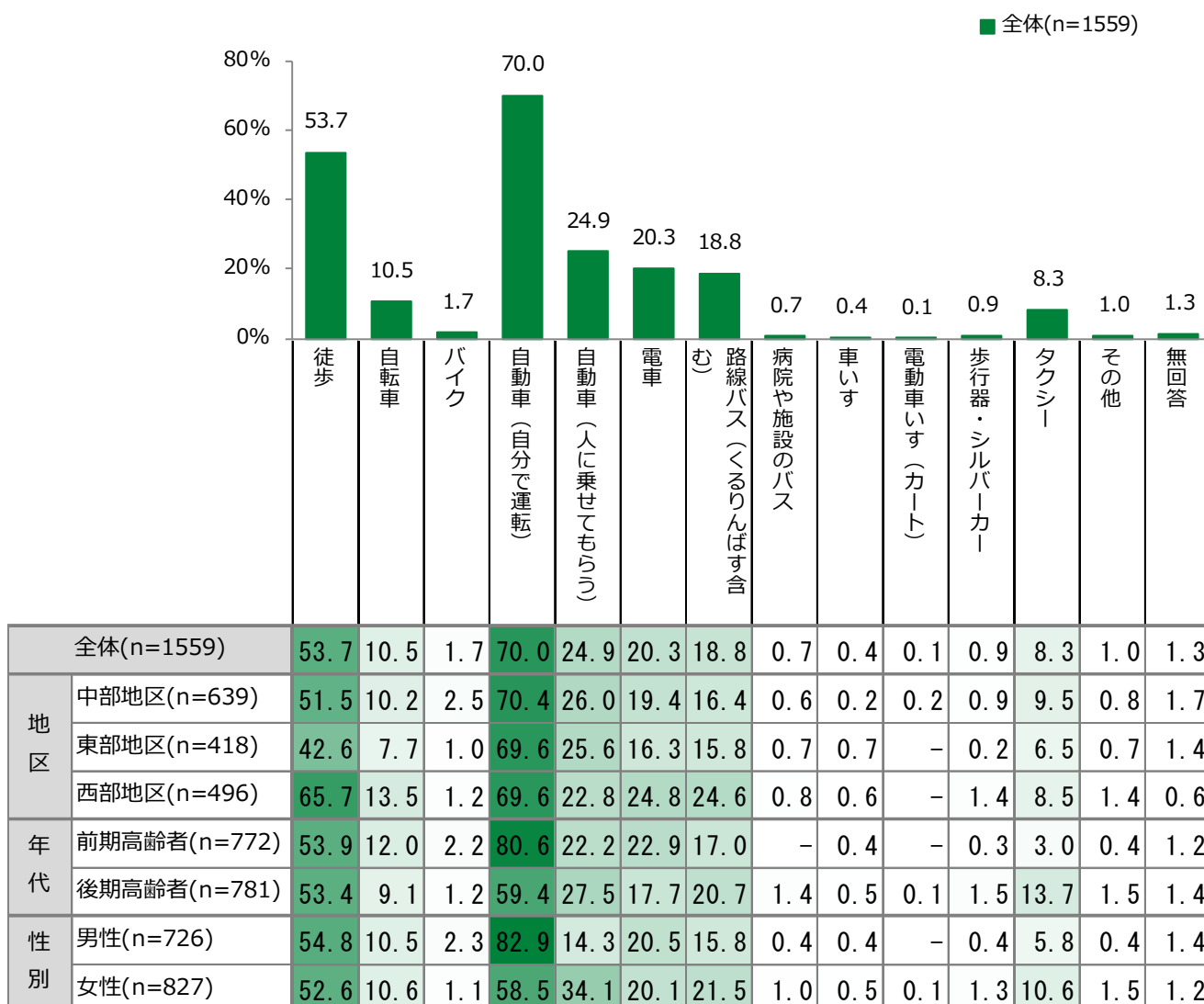
外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 70.0%と最も高く、次いで「徒歩」(53.7%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(24.9%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「徒歩」が10ポイント以上、他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「自動車（自分で運転）」が 21.2 ポイント、後期高齢者で「タクシー」が 10.7 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「自動車（自分で運転）」が 24.4 ポイント、女性で「自動車（人に乗せてもらう）」が 19.8 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 20 外出する際の移動手段



4. 食べることについて

1. BMI¹

問 16 身長と体重をお書きください。

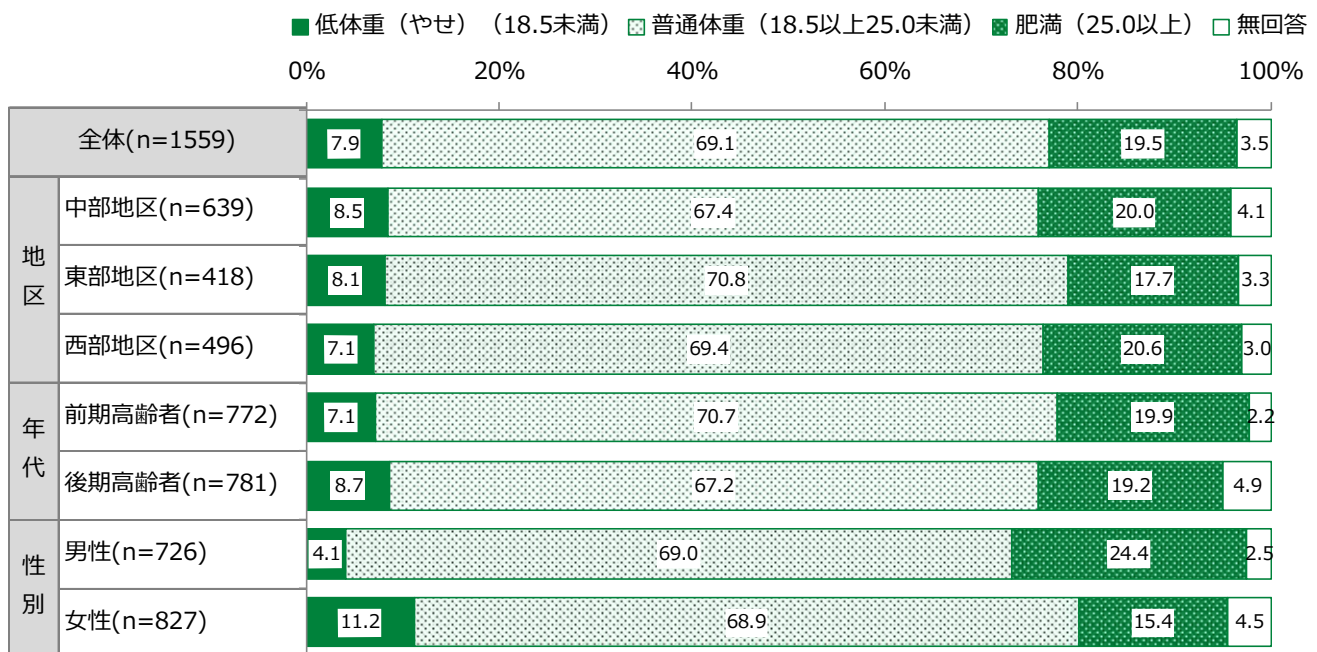
☑ 「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 69.1%

BMI については、「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 69.1%と最も高く、次いで「肥満（25.0 以上）」（19.5%）、「低体重（やせ）（18.5 未満）」（7.9%）となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「肥満（25.0 以上）」が 9.0 ポイント、女性で「低体重（やせ）（18.5 未満）」が 7.1 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 21 BMI



¹ 成人の肥満度を表す体格指数。体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））で算出される。

2. 体重の減少

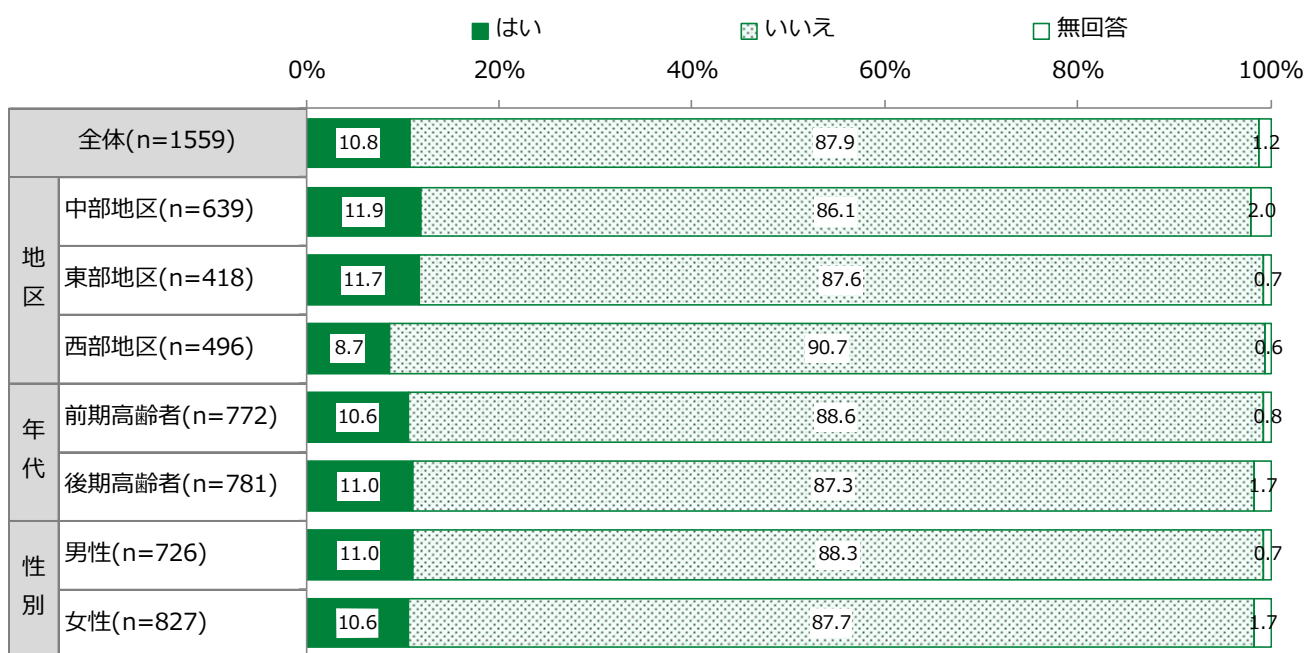
問 17 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。(○は 1 つ)

☒ 「はい」が 10.8%

6 か月間で体重の減少があったかについては、「いいえ」が 87.9%、「はい」が 10.8%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 22 体重の減少



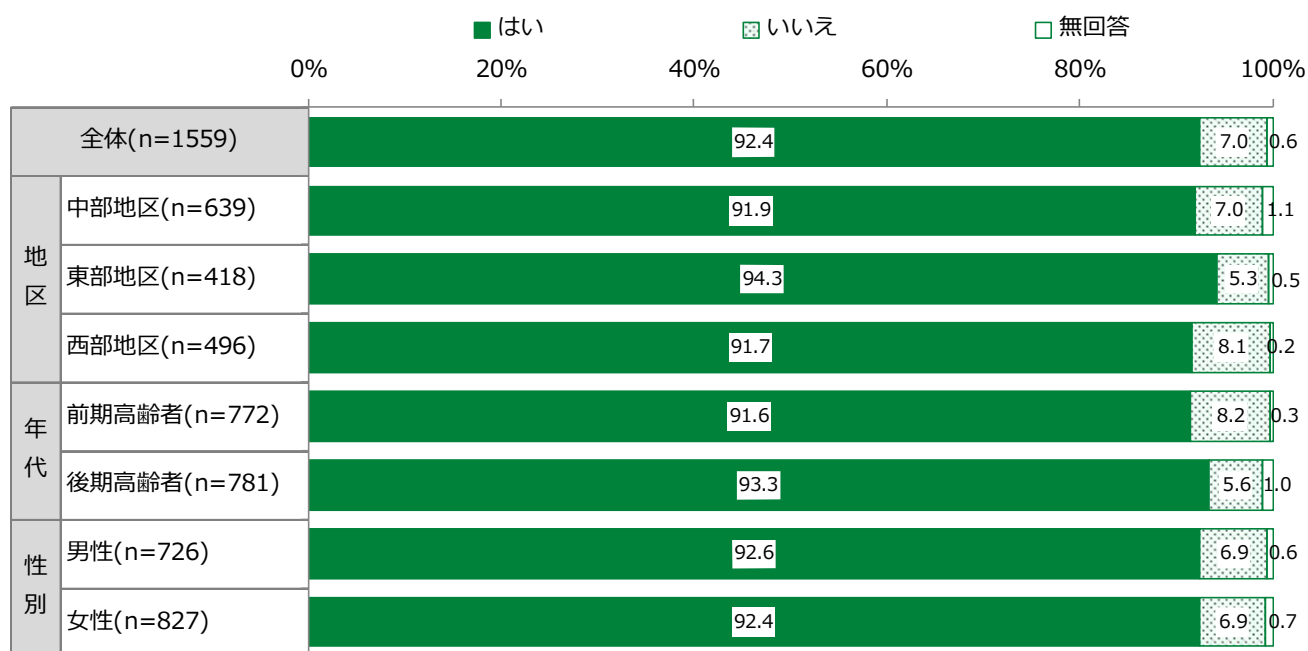
3. 1日3食の状況

問 18 1日3食きちんと食べていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が92.4%

1日3食きちんと食べているかについては、「はい」が92.4%、「いいえ」が7.0%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 23 1日3食の状況



4. 人と食事をとにもする機会

問 19 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

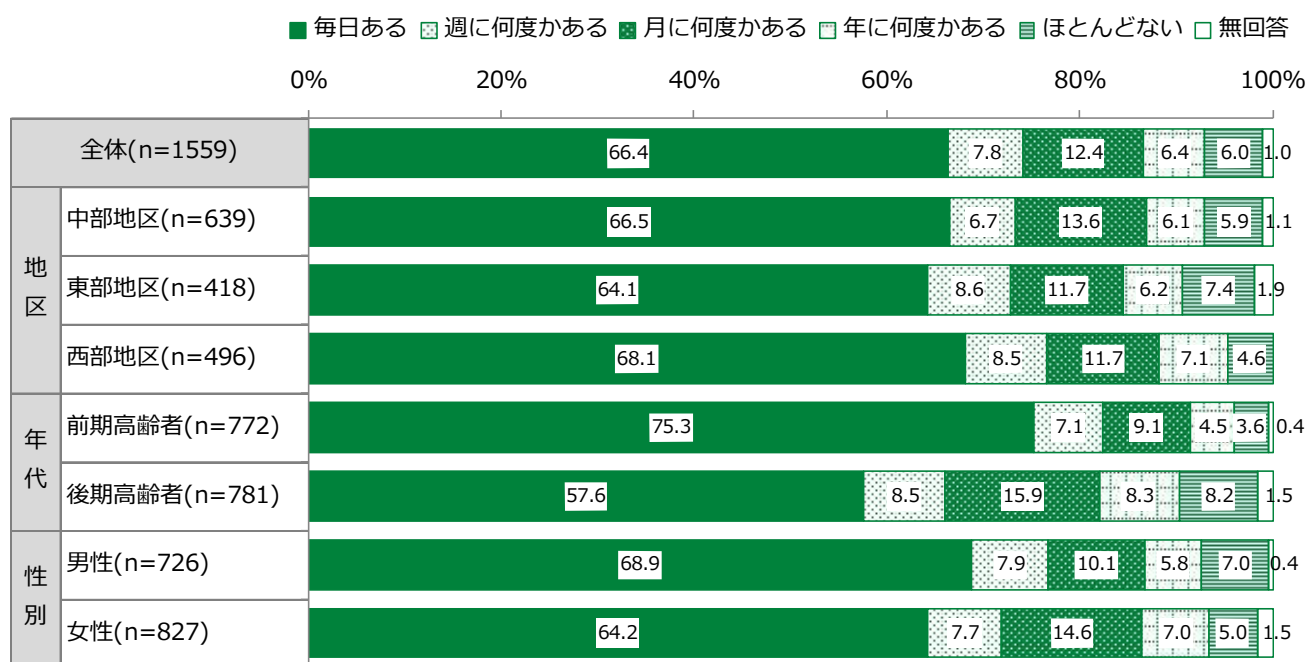
☑ 「毎日ある」が66.4%

他者と食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が66.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」(12.4%)、「週に何度かある」(7.8%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「毎日ある」が17.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 24 人と食事をとにもする機会



5. 固いものが食べにくくなったこと

問 20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

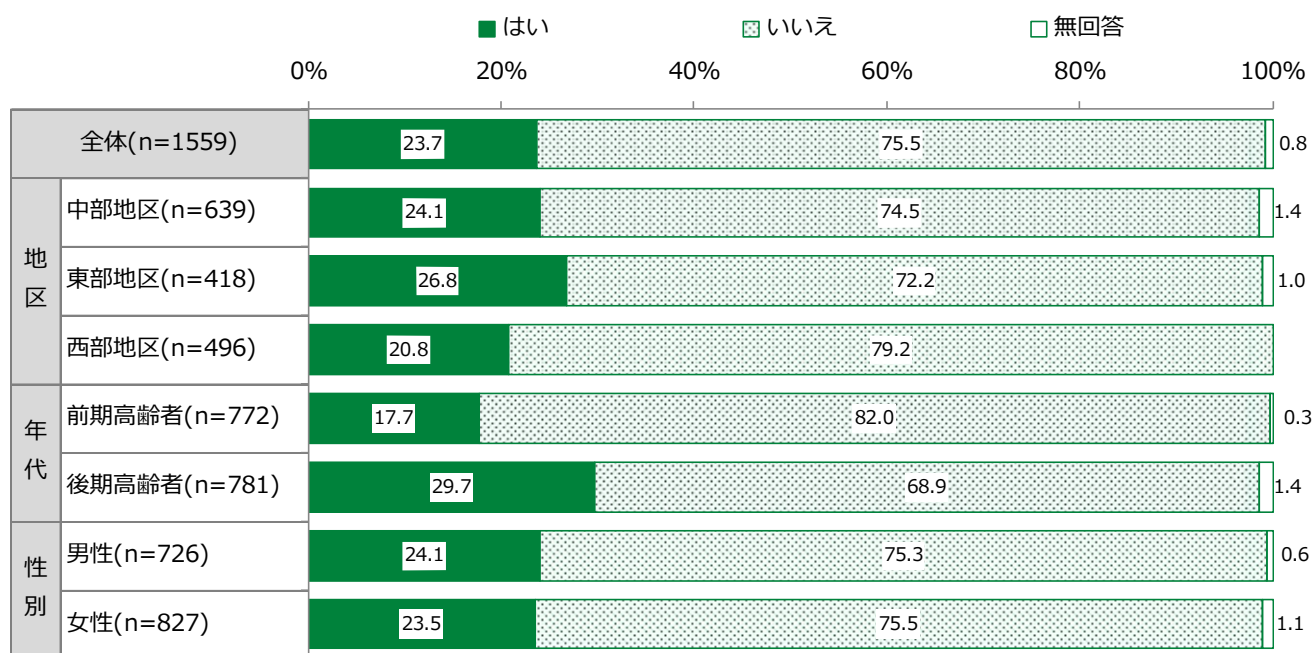
☒ 「はい」が23.7%

固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が75.5%、「はい」が23.7%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が12.0ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 25 固いものが食べにくくなったこと



6. お茶や汁物等でむせること

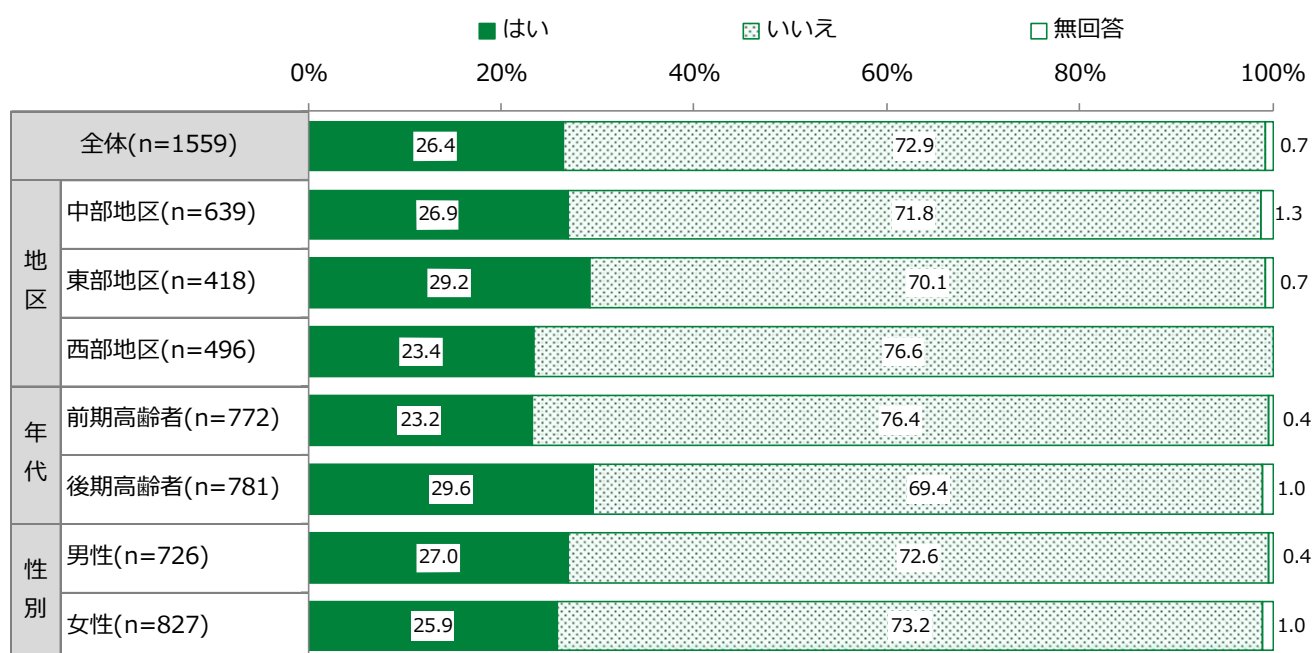
問 21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が26.4%

お茶や汁物等でむせることについては、「いいえ」が72.9%、「はい」が26.4%となっています。
地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が6.4ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 26 お茶や汁物等でむせること



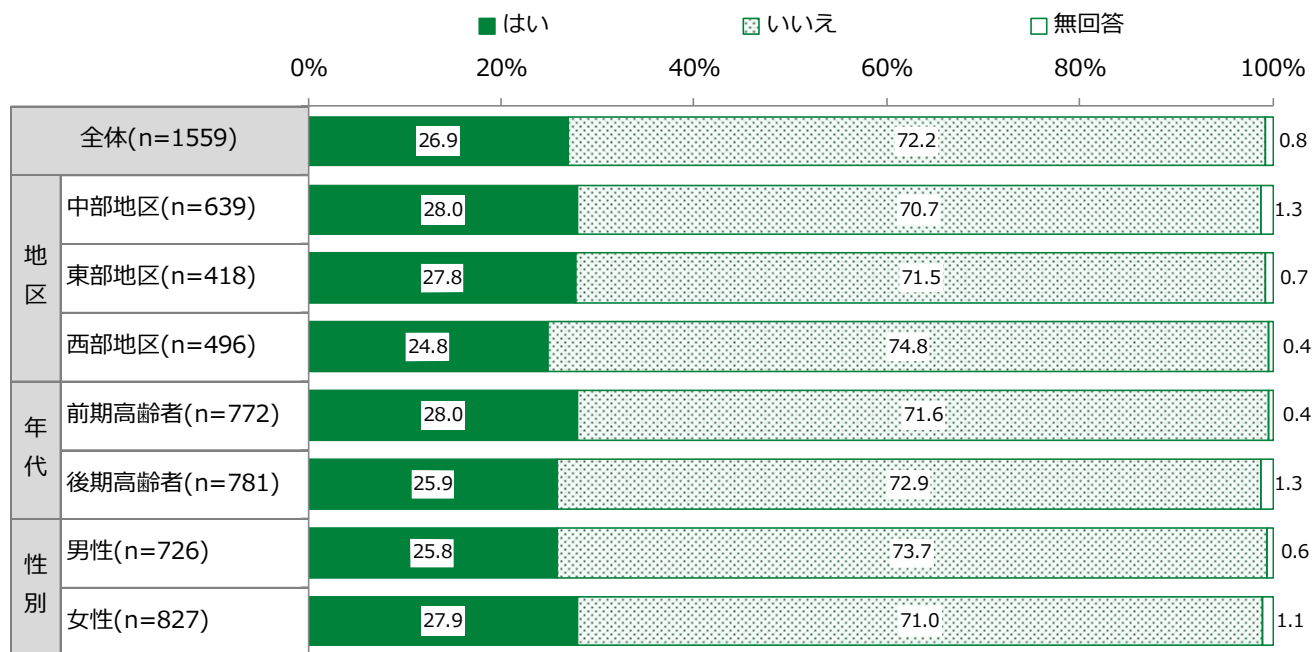
7. 口の渇き

問 22 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が26.9%

口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が72.2%、「はい」が26.9%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 27 口の渇き



8. 歯磨き習慣

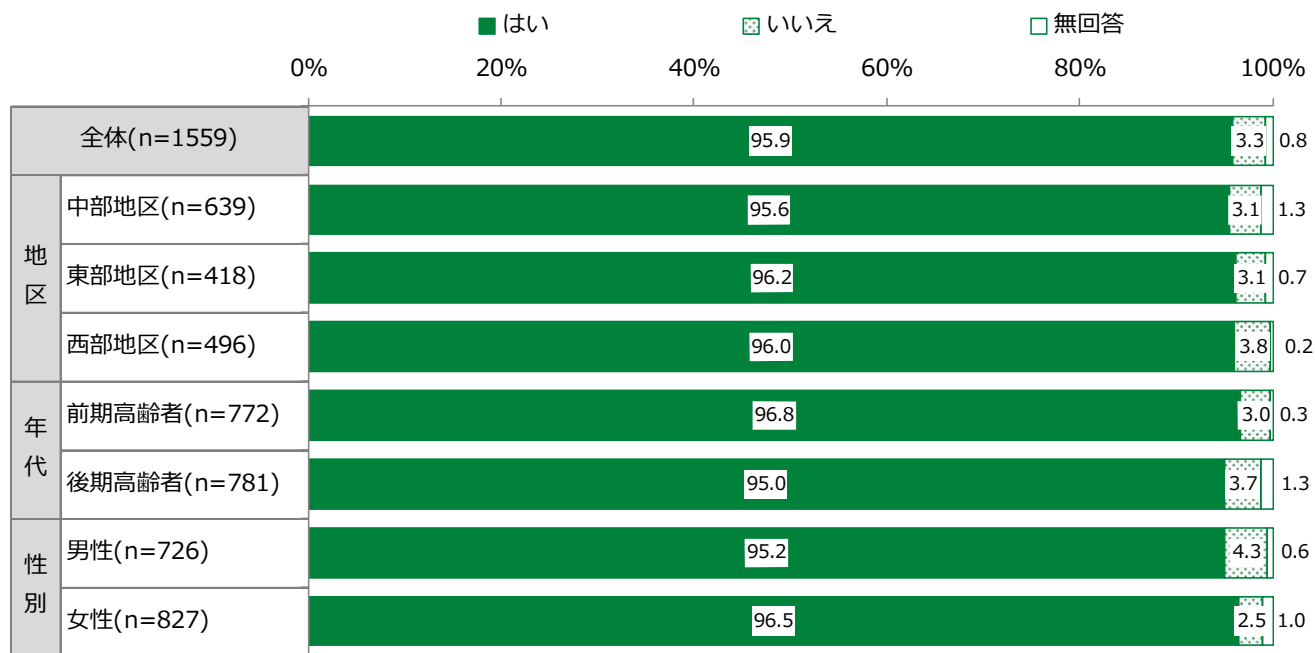
問 23 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

☑ 「はい」が95.9%

歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が95.9%、「いいえ」が3.3%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 28 歯磨き習慣



9. 歯の数と入れ歯の利用状況

問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

☑ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 46.3%

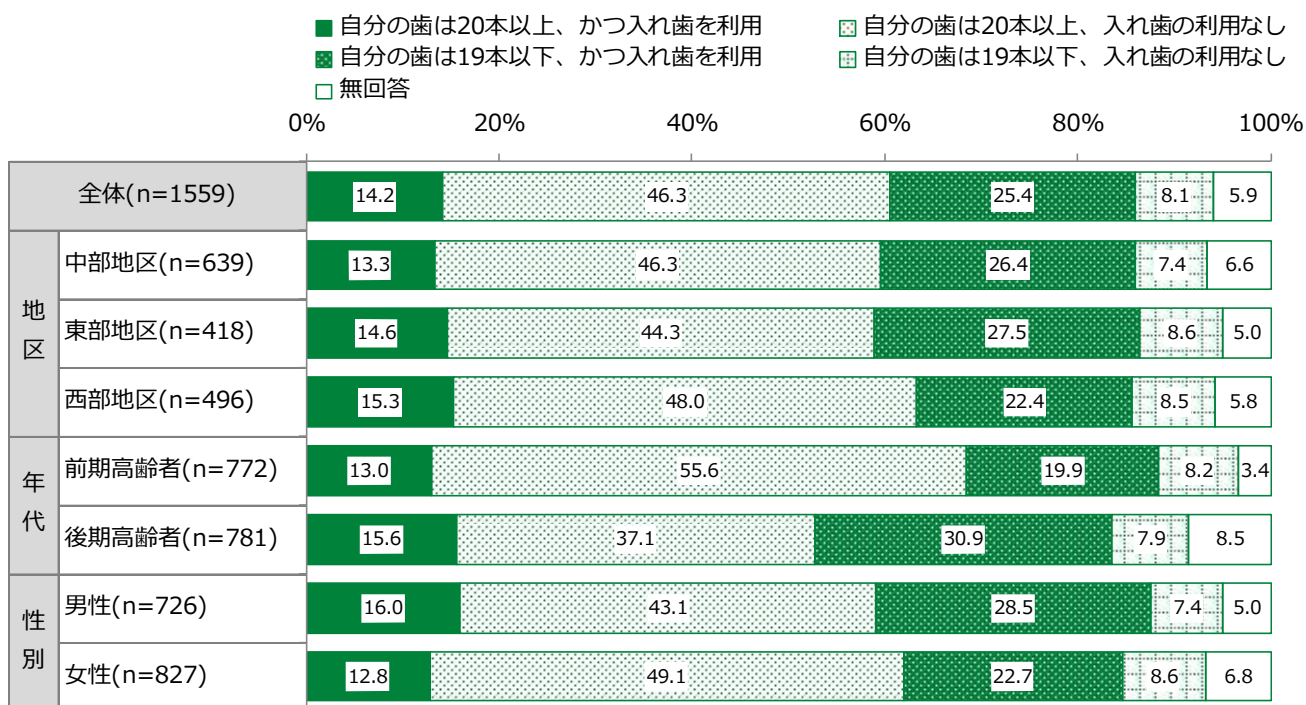
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 46.3%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(25.4%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(14.2%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 18.5 ポイント、後期高齢者で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 11.0 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、女性で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 6.0 ポイント、男性より高くなっています。

図表 29 歯の数と入れ歯の利用状況



10.入れ歯の手入れ

※問 24 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方

問 24－1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は 1 つ)

☑ 「はい」が 92.7%

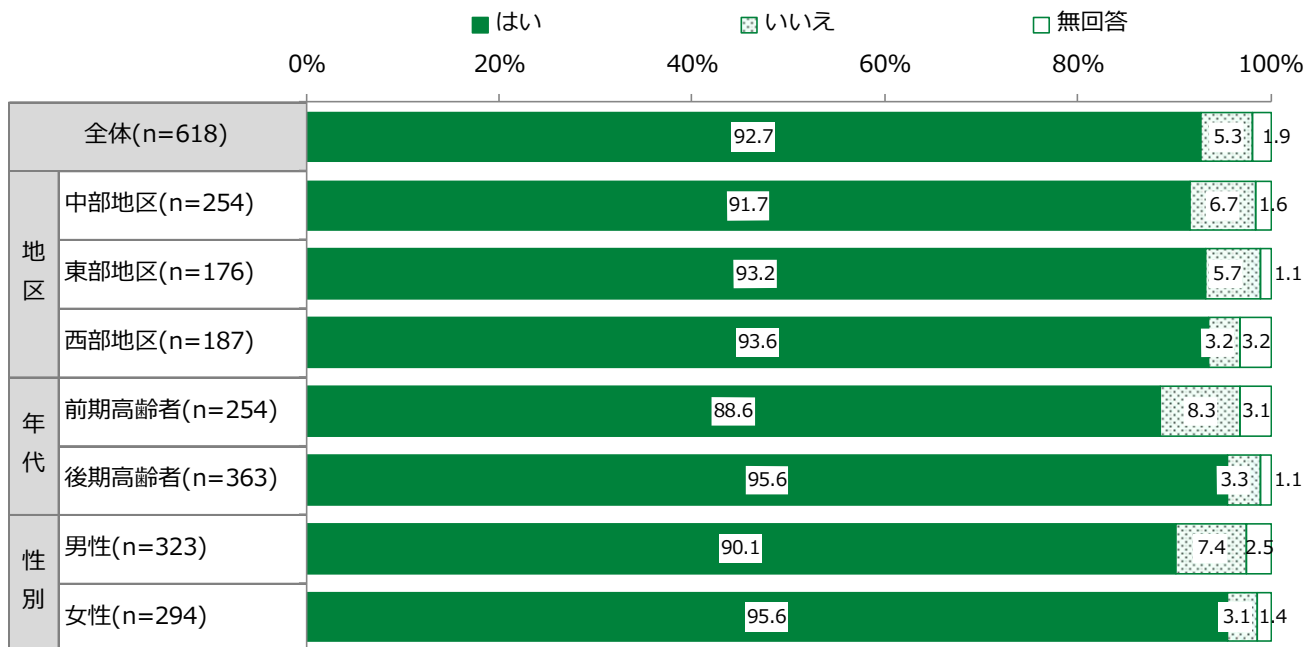
毎日入れ歯の手入れを行っているかについては、「はい」が 92.7%、「いいえ」が 5.3%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が 7.0 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が 5.5 ポイント、男性より高くなっています。

図表 30 入れ歯の手入れ



11. 歯の噛み合わせ

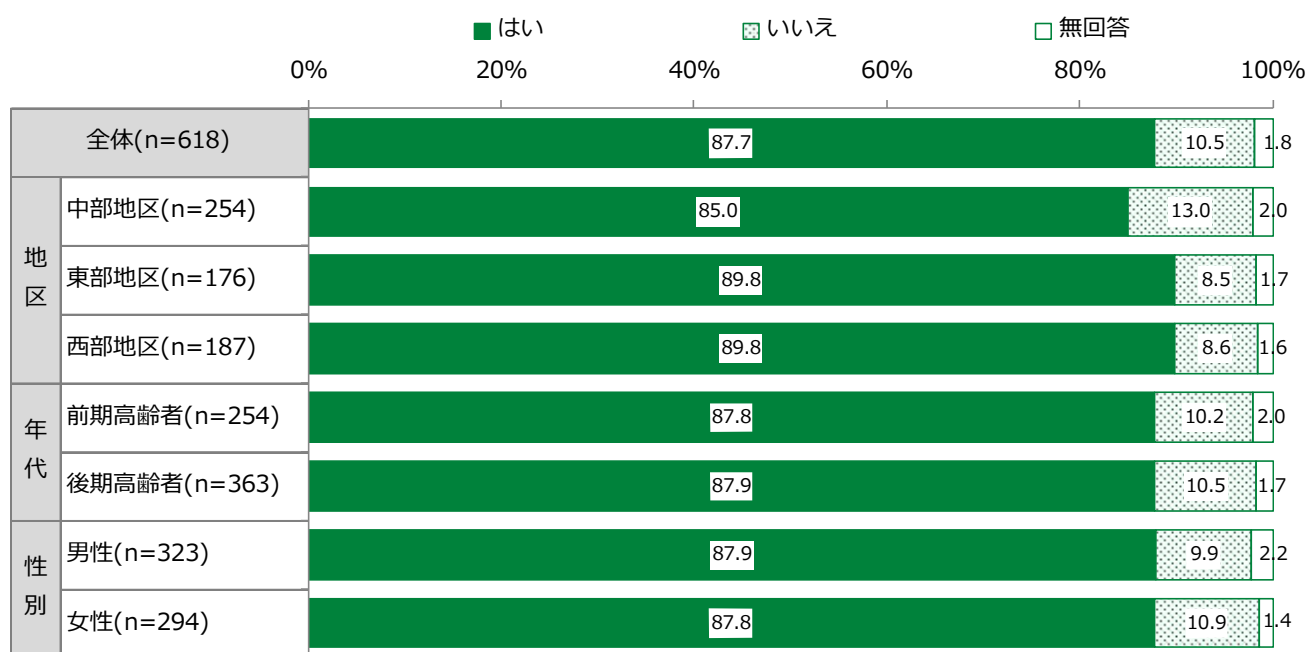
問 24－2 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

☑ 「はい」が87.7%

入れ歯を利用している方の歯の噛み合わせがよいかについては、「はい」が87.7%、「いいえ」が10.5%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 31 歯の噛み合わせ



5. 健康状態・毎日の生活について

1. 現在の健康状態

問 25 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

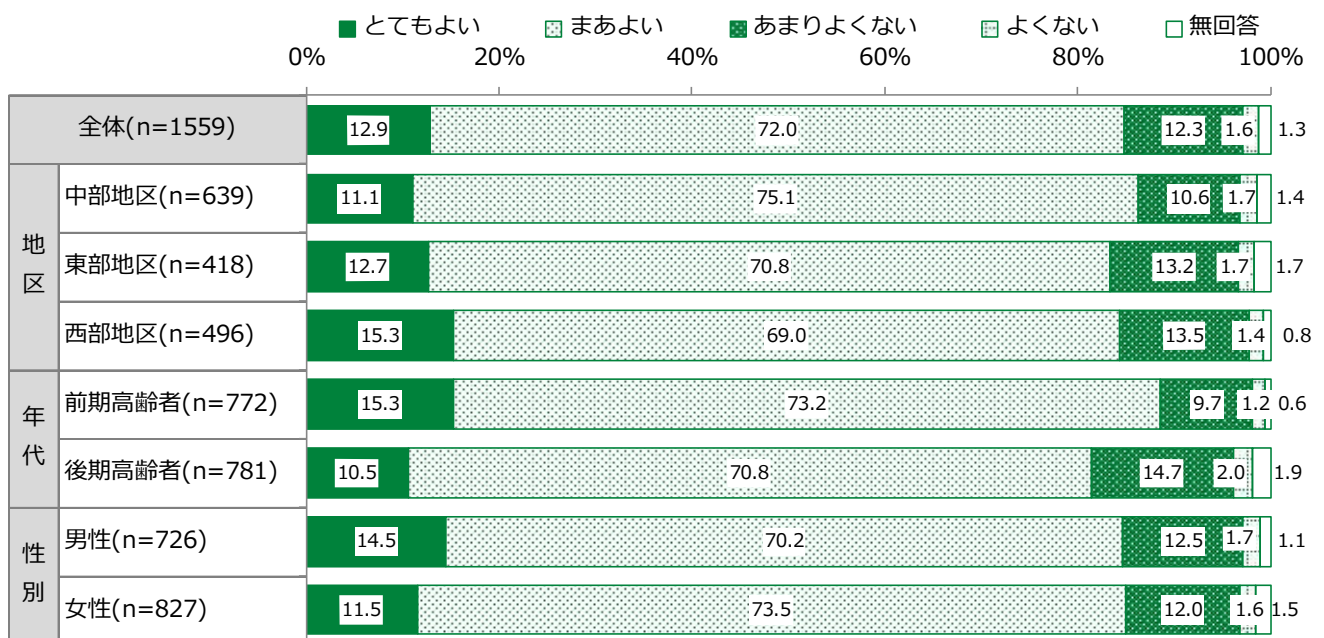
☑ 「まあよい」が 72.0%

現在の健康状態については、「まあよい」が 72.0%と最も高くなっています。また、“健康状態がよい”（「とてもよい」＋「まあよい」）が 84.9%、“健康状態がよくない”（「あまりよくない」＋「よくない」）が 13.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“健康状態がよい”が 7.2 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 32 現在の健康状態



2. 現在治療中、または後遺症のある病気

問 26 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

☑ 「高血圧」が41.9%

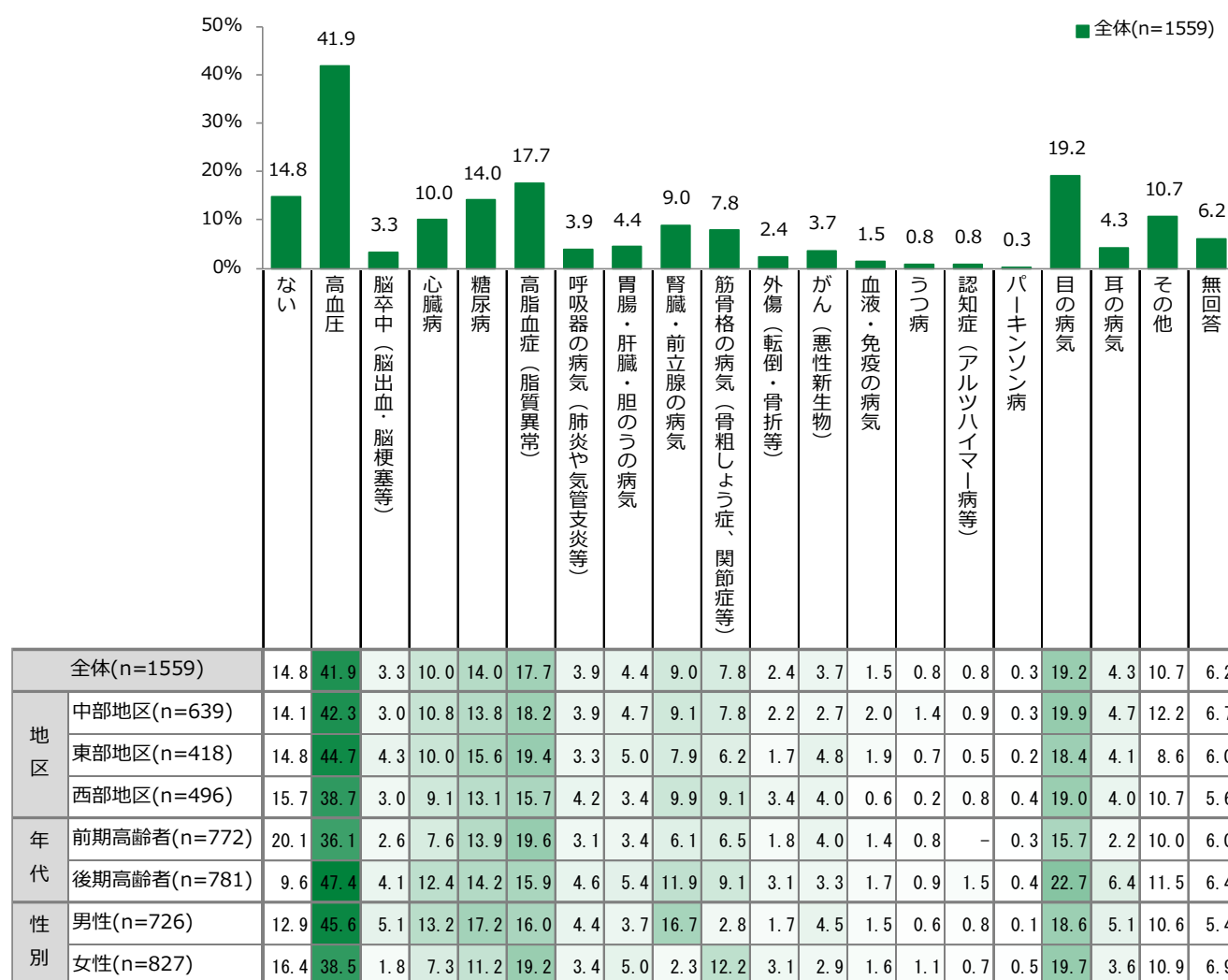
現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が41.9%と最も高く、次いで「目の病気」(19.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(17.7%)となっています。また、「ない」が14.8%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「ない」が10.5ポイント、後期高齢者で「高血圧」が11.3ポイント、「目の病気」が7.0ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「腎臓・前立腺の病気」が14.4ポイント、「高血圧」が7.1ポイント、女性で「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が9.4ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 33 現在治療中、または後遺症のある病気



3. 飲酒習慣

問 27 お酒は飲みますか。(○は1つ)

☑ 「もともと飲まない」が33.3%

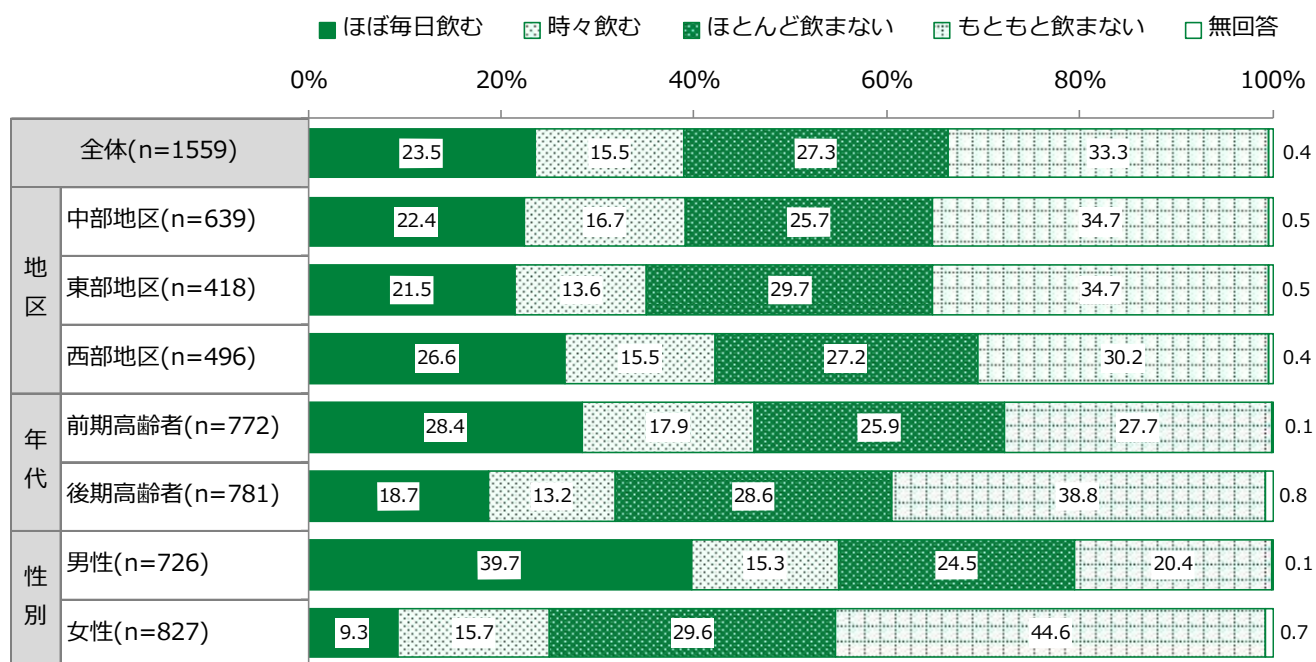
お酒を飲むかについては、「もともと飲まない」が33.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(27.3%)、「ほぼ毎日飲む」(23.5%)、「時々飲む」(15.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者では「ほぼ毎日飲む」、後期高齢者では「もともと飲まない」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「ほぼ毎日飲む」、女性では「もともと飲まない」が最も高くなっています。

図表 34 飲酒習慣



4. 喫煙習慣

問 28 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

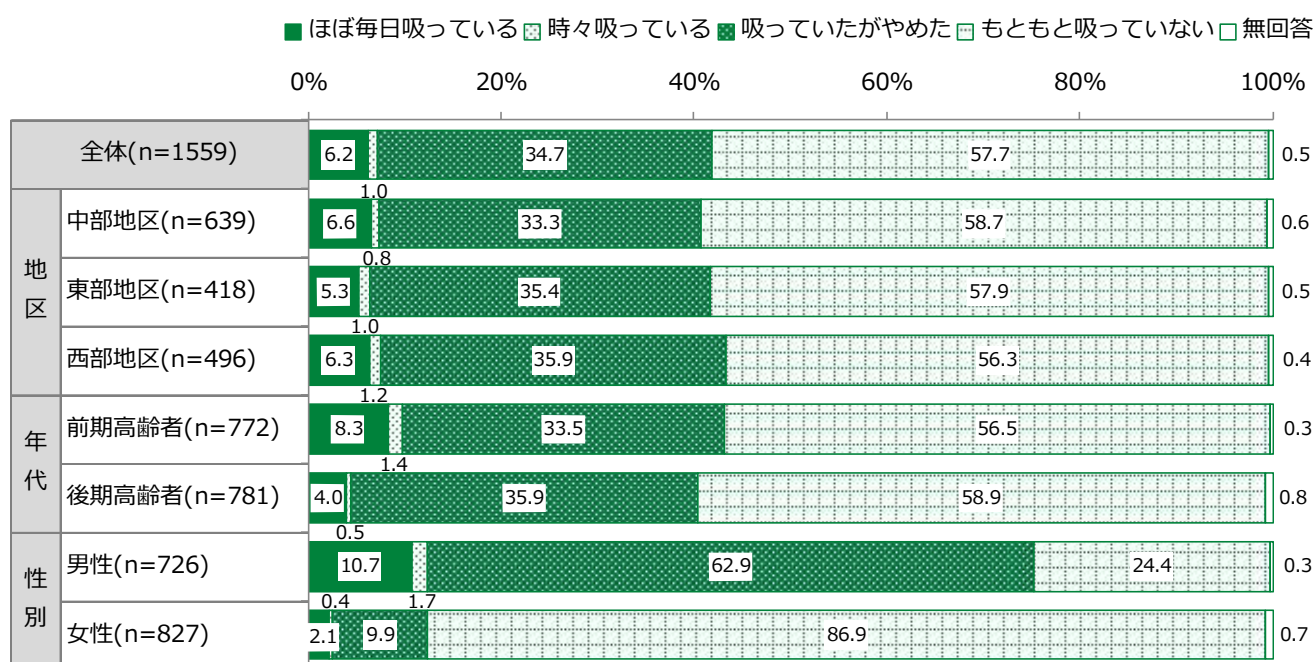
☑ 「もともと吸っていない」が57.7%

タバコを吸っているかについては、「もともと吸っていない」が57.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(34.7%)となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性では「吸っていたがやめた」、女性では「もともと吸っていない」が過半数で最も高くなっています。

図表 35 喫煙習慣



5. バスや電車を使って一人で外出すること

問 29 バスや電車を使って一人で外出していますか。（自家用車でも可）（○は1つ）

☒ 「できるし、している」が 78.3%

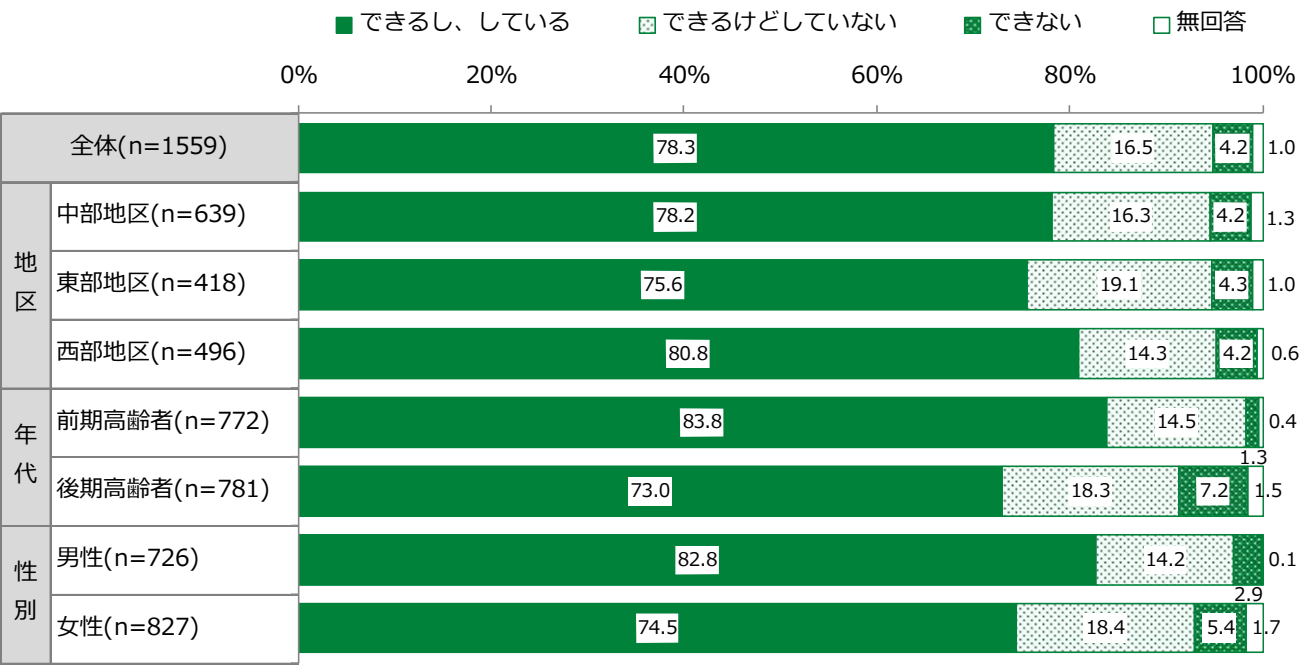
バスや電車を使って一人で外出しているかについては、「できるし、している」が 78.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」（16.5%）となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が 10.8 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるし、している」が 8.3 ポイント、女性より高くなっています。

図表 36 バスや電車を使って一人で外出すること



6. 食品・日用品の買物

問 30 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(〇は1つ)

☑ 「できるし、している」が 82.4%

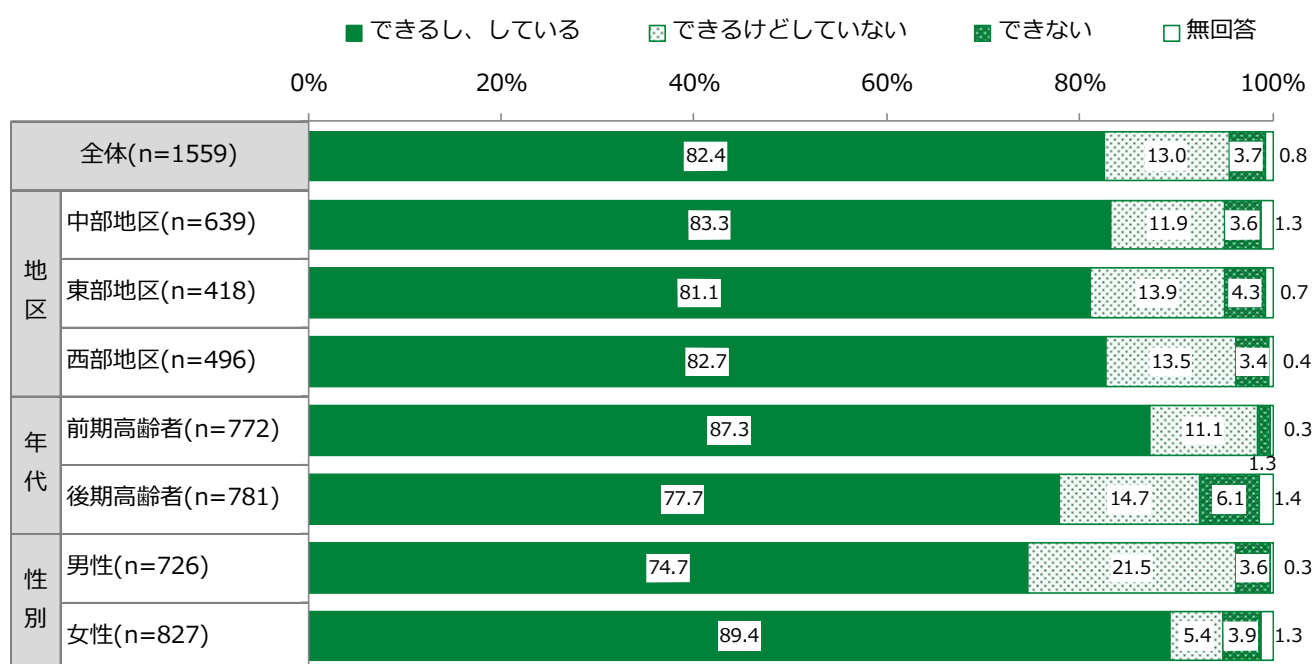
食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が 82.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(13.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が 9.6 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「できるけどしていない」が 16.1 ポイント、女性より高くなっています。

図表 37 食品・日用品の買物



7. 食事の用意

問 31 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が69.1%

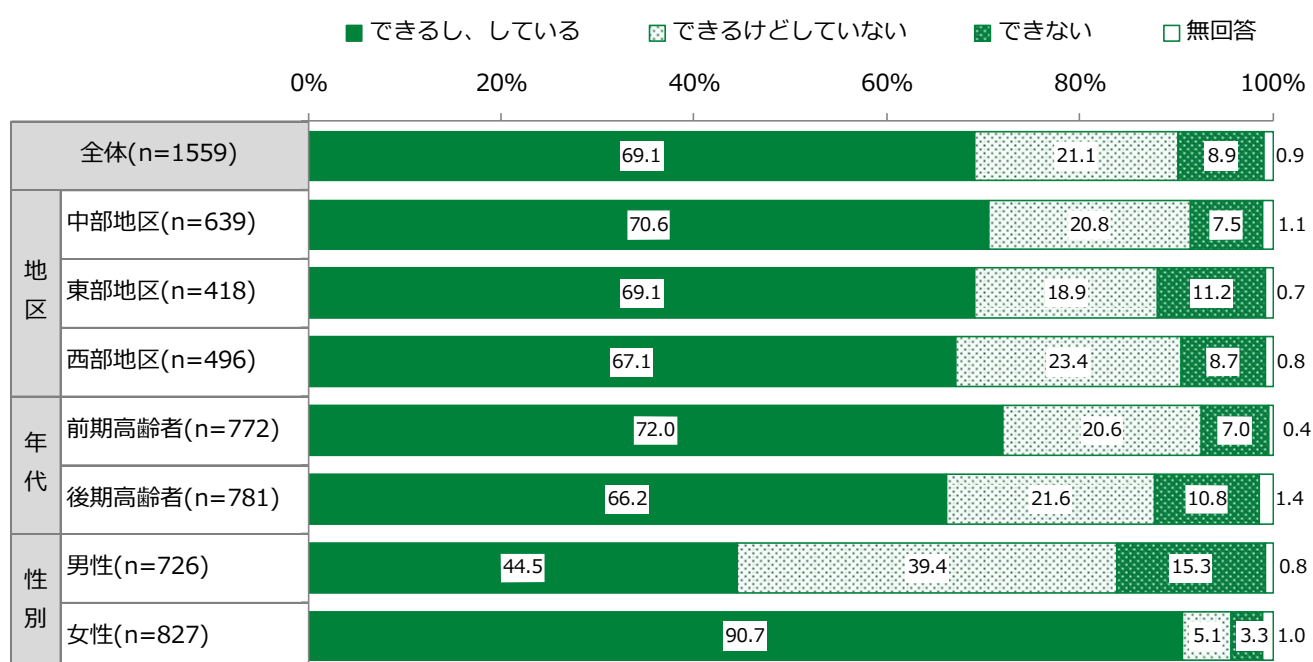
食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が69.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(21.1%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が5.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「できるし、している」が46.2ポイント、男性より高くなっています。

図表 38 食事の用意



8. 請求書の支払い

問 32 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が81.9%

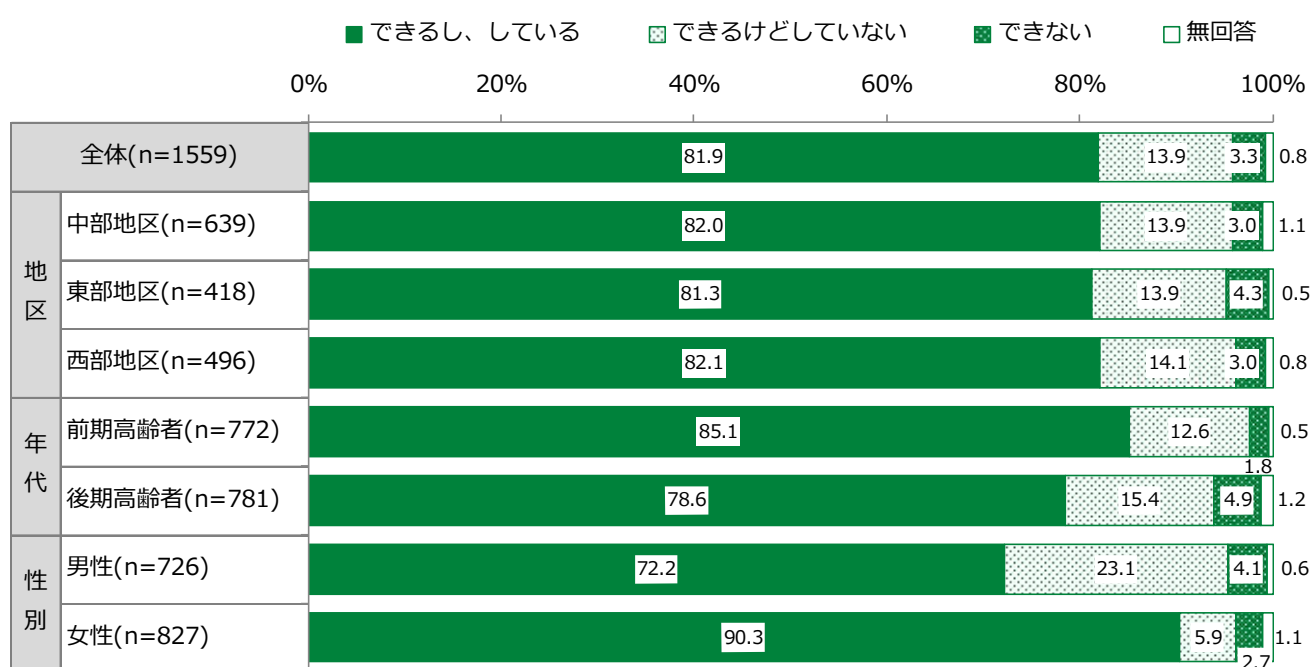
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が81.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(13.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が6.5ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「できるし、している」が18.1ポイント、男性より高くなっています。

図表 39 請求書の支払い



9. 預貯金の出し入れ

問 33 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

☑ 「できるし、している」が83.1%

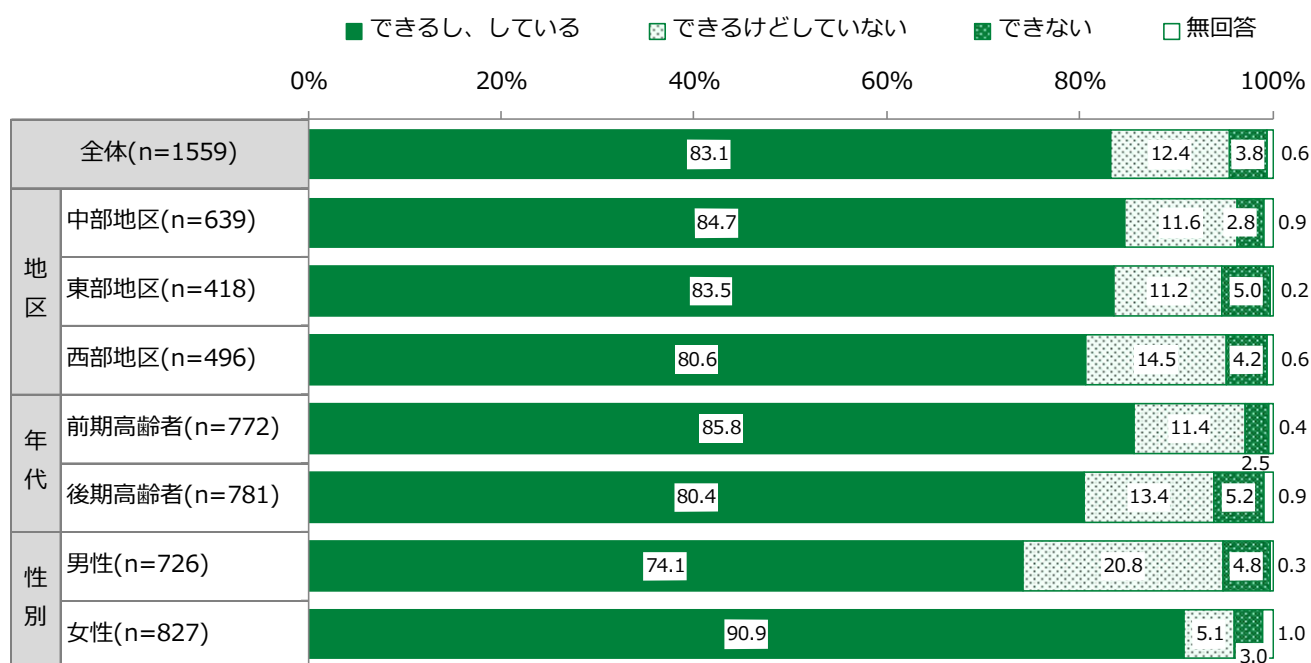
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「できるし、している」が5.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「できるし、している」が16.8ポイント、男性より高くなっています。

図表 40 預貯金の出し入れ



10.新聞を読むこと

問 34 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が87.6%

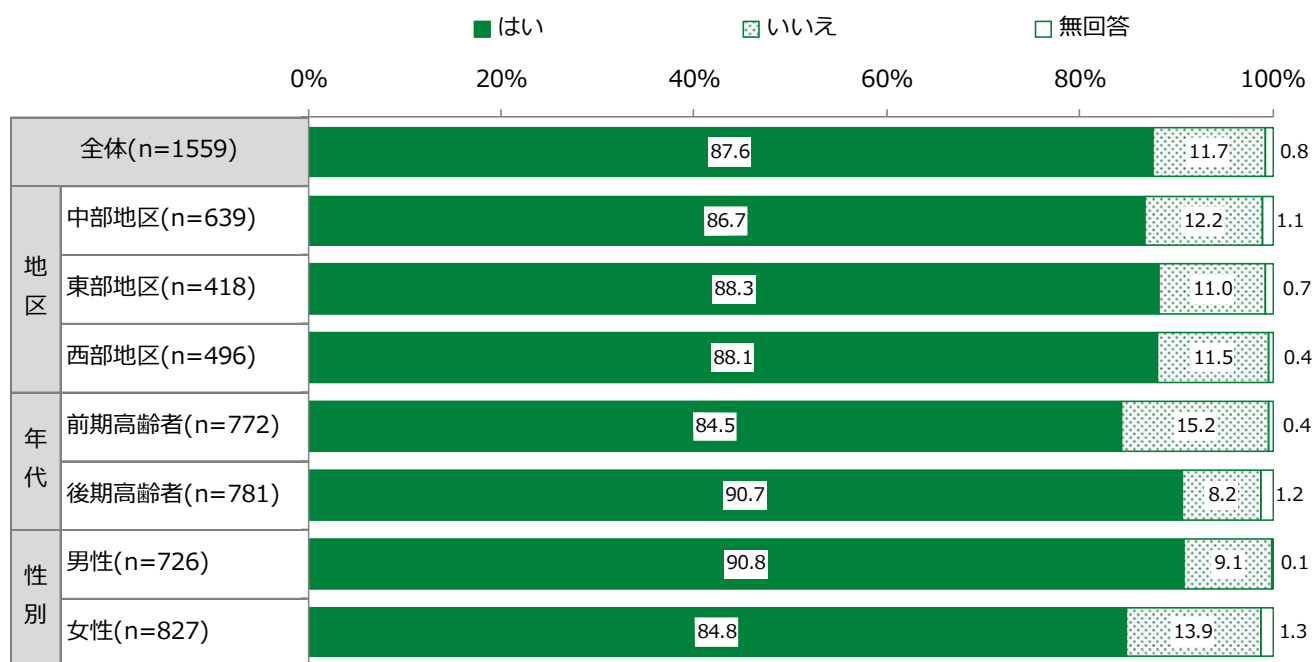
新聞を読んでいるかについては、「はい」が87.6%、「いいえ」が11.7%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が7.0ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「はい」が6.0ポイント、女性より高くなっています。

図表 41 新聞を読むこと



11.健康についての記事や番組への関心

問 35 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

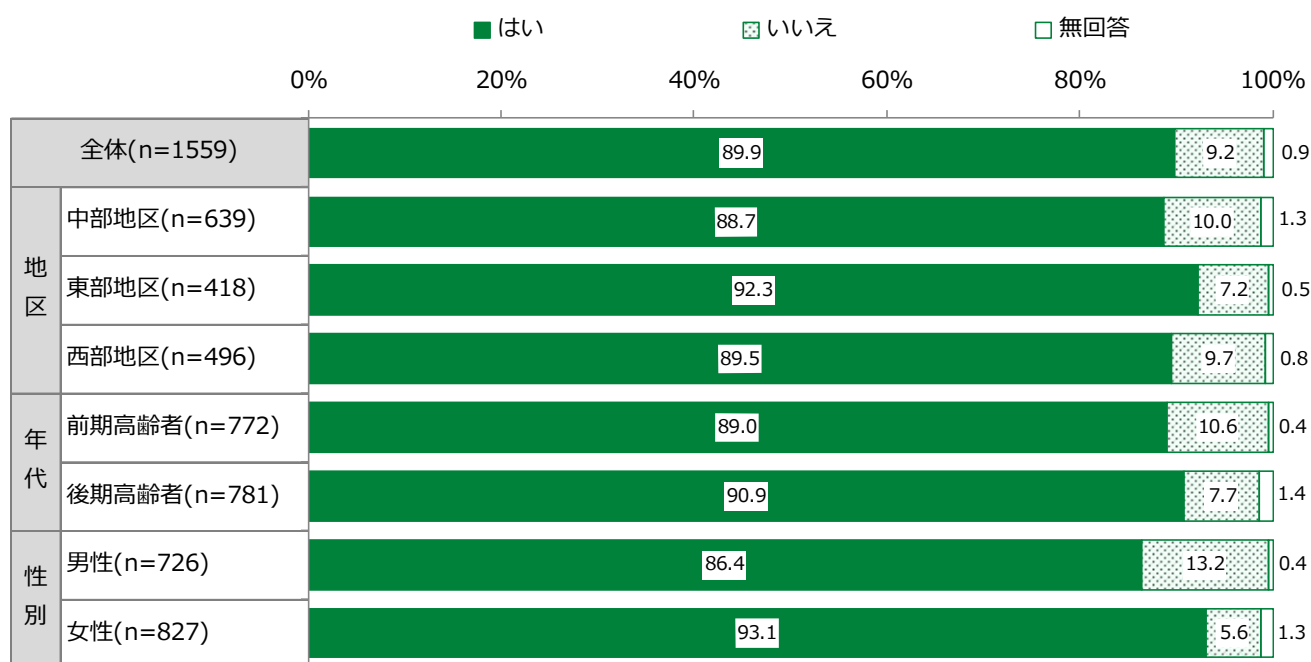
☑ 「はい」が89.9%

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が89.9%、「いいえ」が9.2%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「いいえ」が7.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 42 健康についての記事や番組への関心



12.友人の家を訪ねること

問 36 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

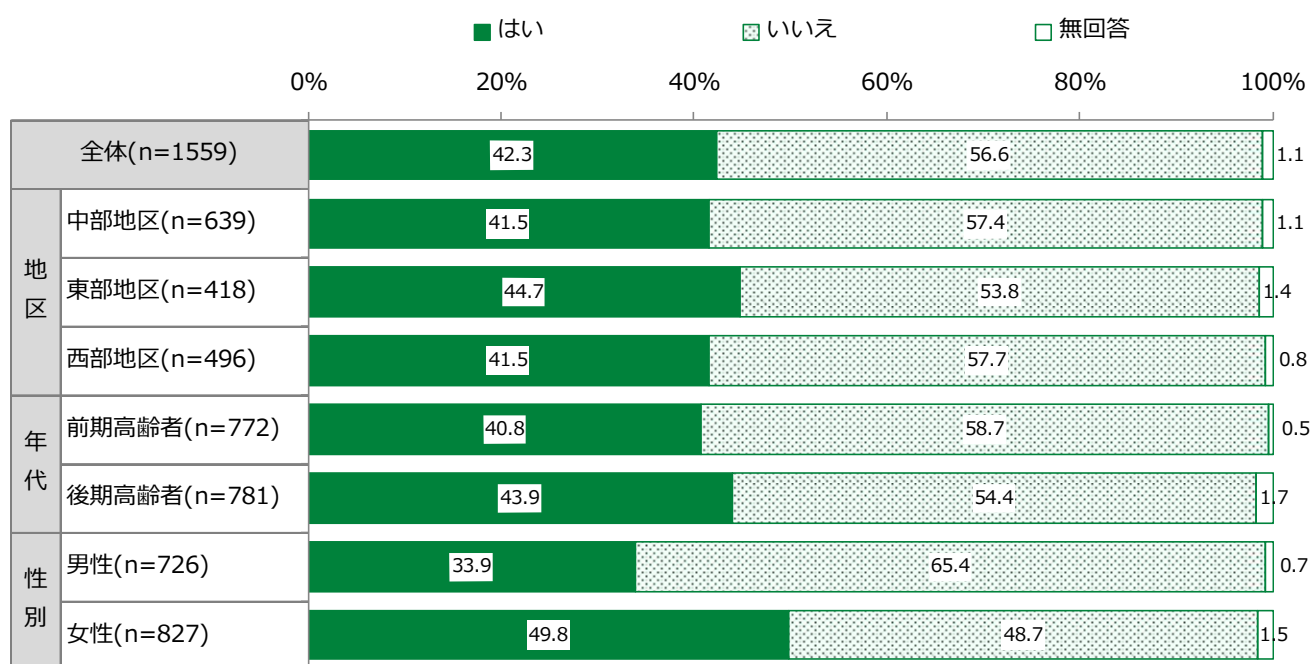
☒ 「はい」が42.3%

友人の家を訪ねているかについては、「いいえ」が56.6%、「はい」が42.3%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、女性で「はい」が15.9ポイント、男性より高くなっています。

図表 43 友人の家を訪ねること



13. 家族や友人の相談にのること

問 37 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が 77.2%

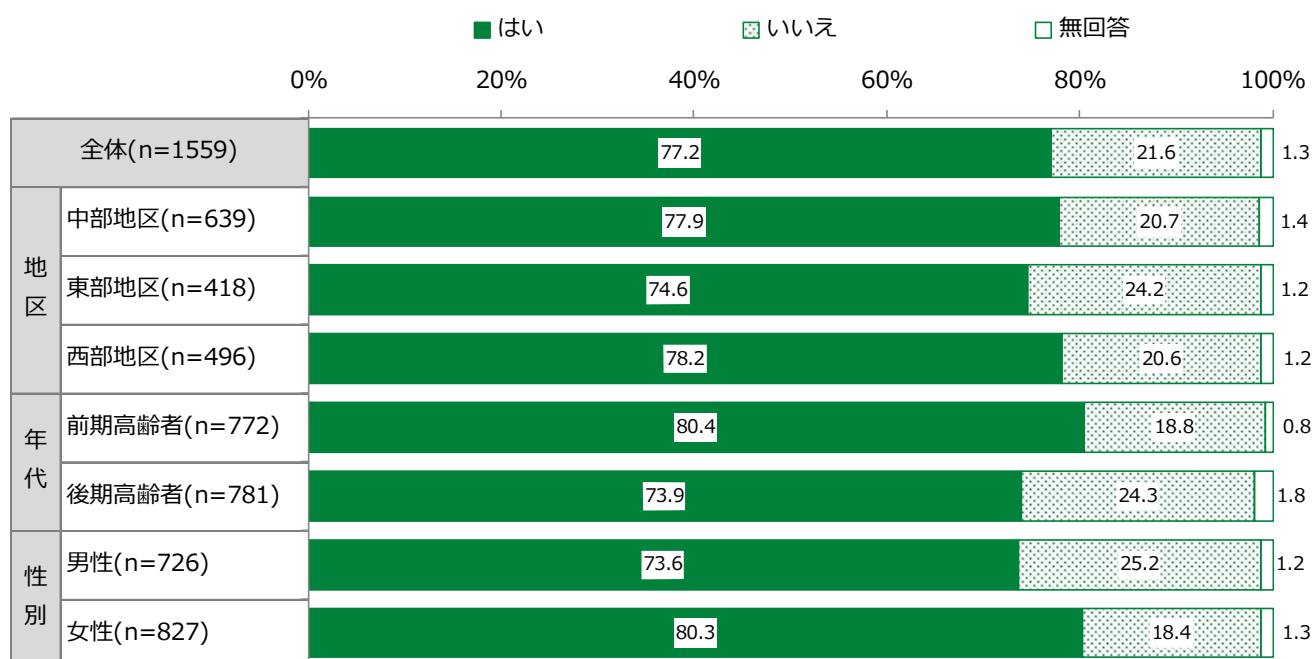
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が 77.2%、「いいえ」が 21.6%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が 6.5 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「はい」が 6.7 ポイント、男性より高くなっています。

図表 44 家族や友人の相談にのること



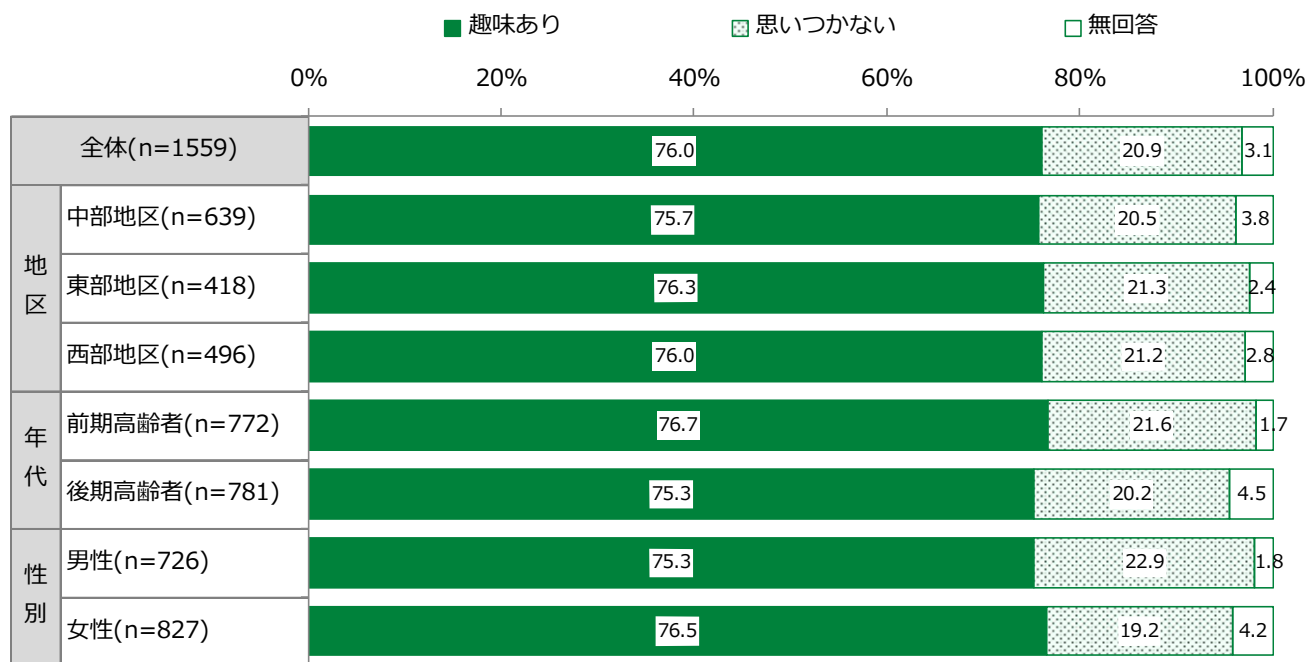
14.趣味の有無

問 38 趣味はありますか。(○は1つ)

☑ 「趣味あり」が76.0%

趣味があるかについては、「趣味あり」が76.0%、「思いつかない」が20.9%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 45 趣味の有無



図表 46 趣味の内容（自由記述）

カテゴリー名	件数	カテゴリー名	件数
スポーツ	380	自転車、サイクリング、ツーリング、ドライブ	29
ガーデニング、生け花、家庭菜園等	273	料理	28
音楽（音楽鑑賞、カラオケ、楽器等）	196	ダンス、舞踊（社交ダンス、フラダンス等）	27
読書（本、雑誌、新聞等）	146	カメラ、写真、映像制作等	26
手芸（編み物、和裁・洋裁、刺繍等）	146	パソコン、スマホ、インターネット等	25
旅行、温泉、観光	85	囲碁、将棋	21
絵手紙、絵、スケッチ等	67	テレビ、ビデオ、DVD鑑賞	20
俳句、川柳、短歌、詩、執筆、書道、華道、茶道等	61	スポーツ観戦	15
散歩・ウォーキング	57	語学学習（英会話等）	14
映画・観劇等	49	日曜大工、工作、DIY	13
陶芸、折り紙、クラフト、模型等	40	美術鑑賞等	12
ギャンブル	39	買い物	8
ゲーム、クイズ、パズル等	36	おしゃべり	3
釣り、アウトドア	35	その他	58
登山、トレッキング、ハイキング	29	なし、不明等	6
		合 計	1,944

15.生きがいの有無

問 39 生きがいがありますか。(○は1つ)

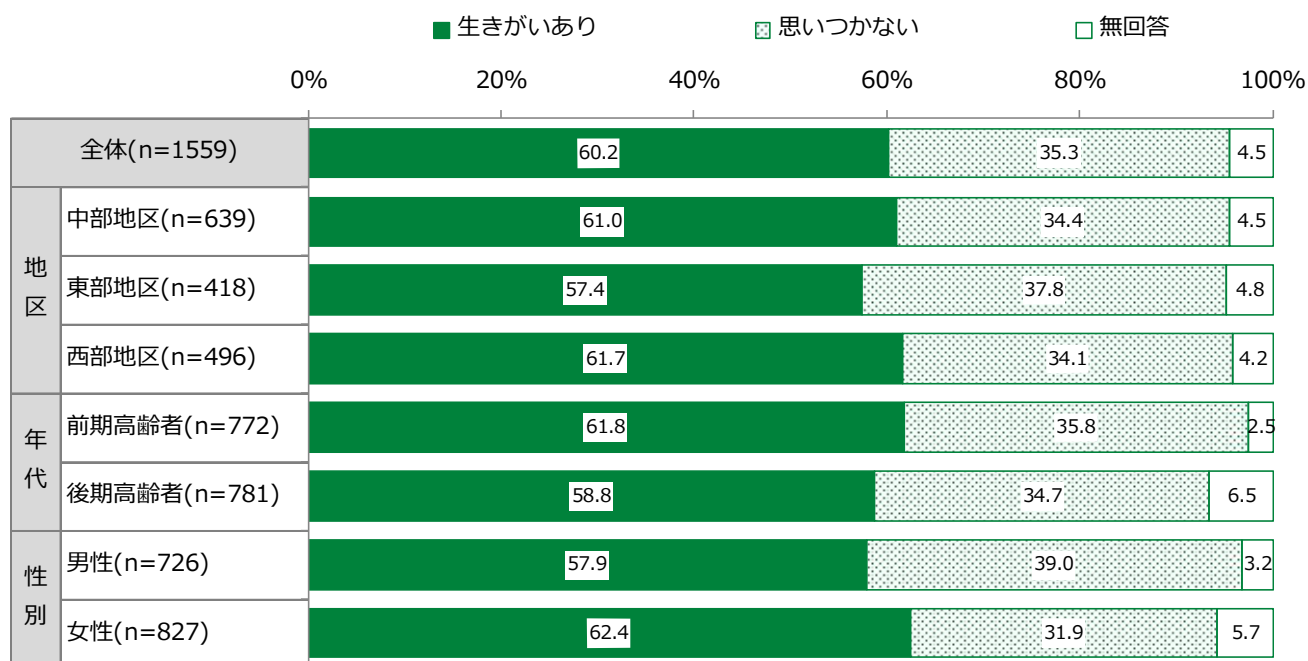
☑ 「生きがいあり」が 60.2%

生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が 60.2%、「思いつかない」が 35.3%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「思いつかない」が 7.1 ポイント、女性より高くなっています。

図表 47 生きがいの有無



図表 48 生きがいの内容（自由記述）

カテゴリー名	件数
趣味	305
孫	196
運動・スポーツ	87
家族・親族	86
仕事	83
毎日の生活の充実、楽しさ	58
健康・元気・長生き	54
人との交流・関わり合い	49
世の中や誰かの為になること	39
ペット	20
その他	38
不明	12
合 計	1,027

16. 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること

問 40 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

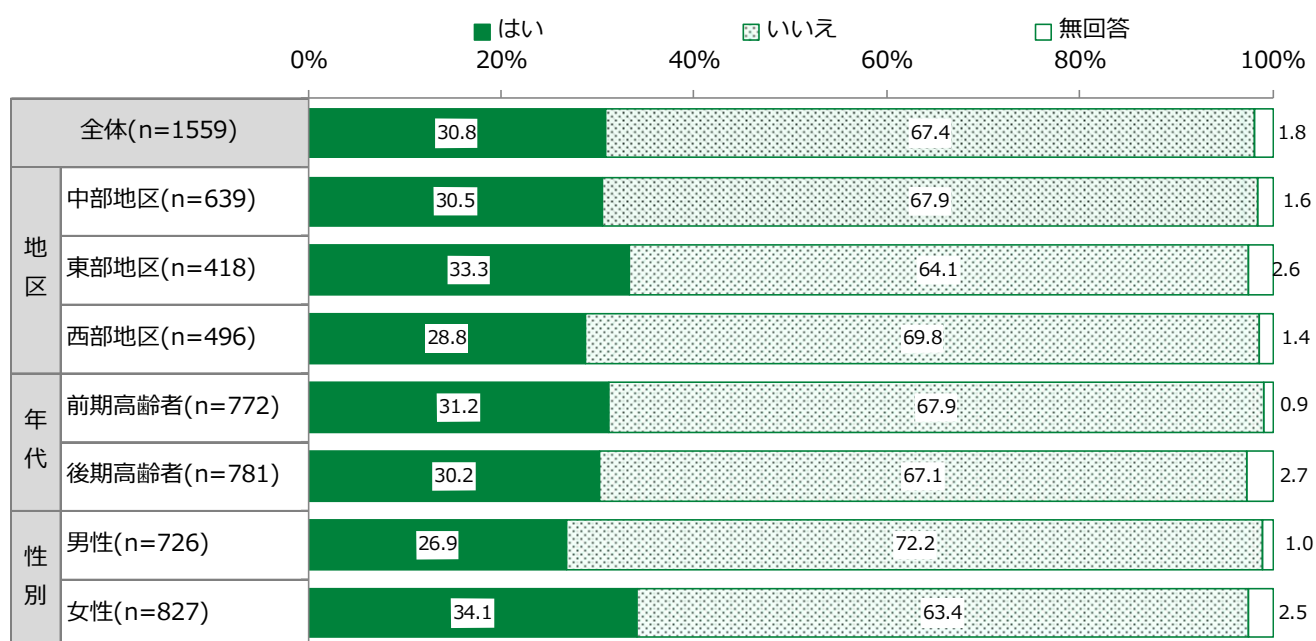
☑ 「いいえ」が67.4%

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「いいえ」が67.4%、「はい」が30.8%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「いいえ」が8.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 49 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること



17.物忘れの状況

問 41 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が51.0%

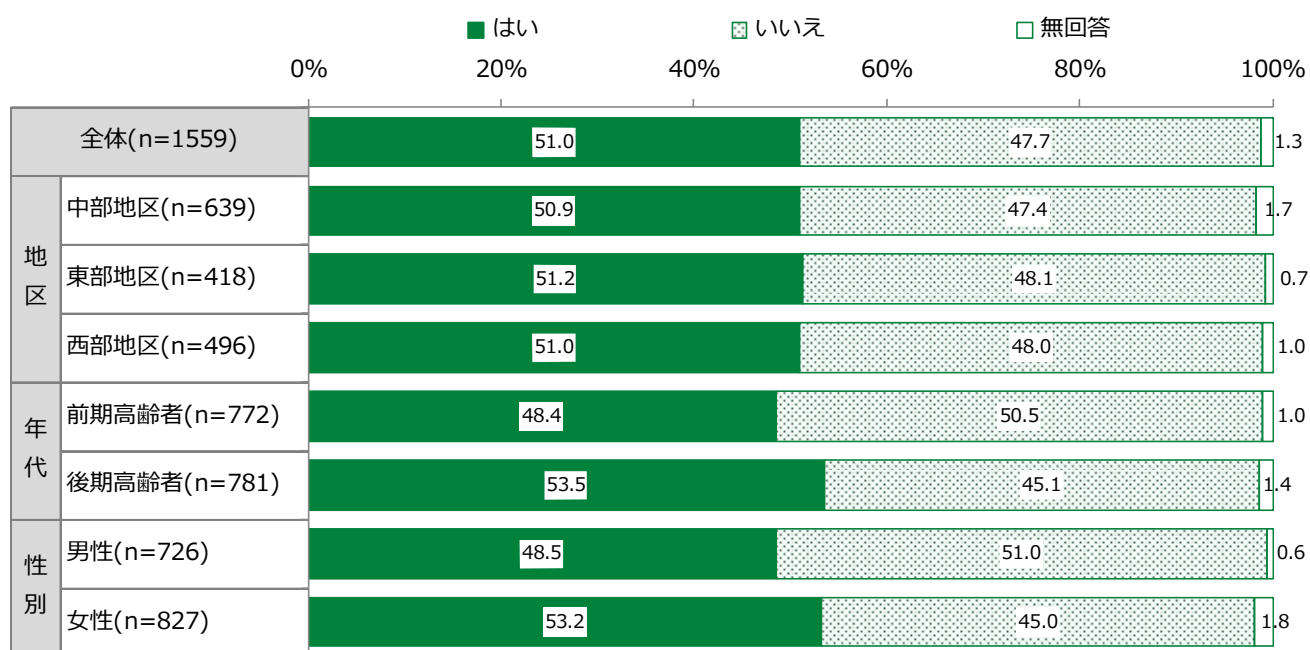
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が51.0%、「いいえ」が47.7%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者では「いいえ」、後期高齢者では「はい」が過半数となっています。

性別でみると、男性では「いいえ」、女性では「はい」が過半数となっています。

図表 50 物忘れの状況



※問 41 で「1. はい」とお答えの方

問 41－1 同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがありますか。(○は1つ)

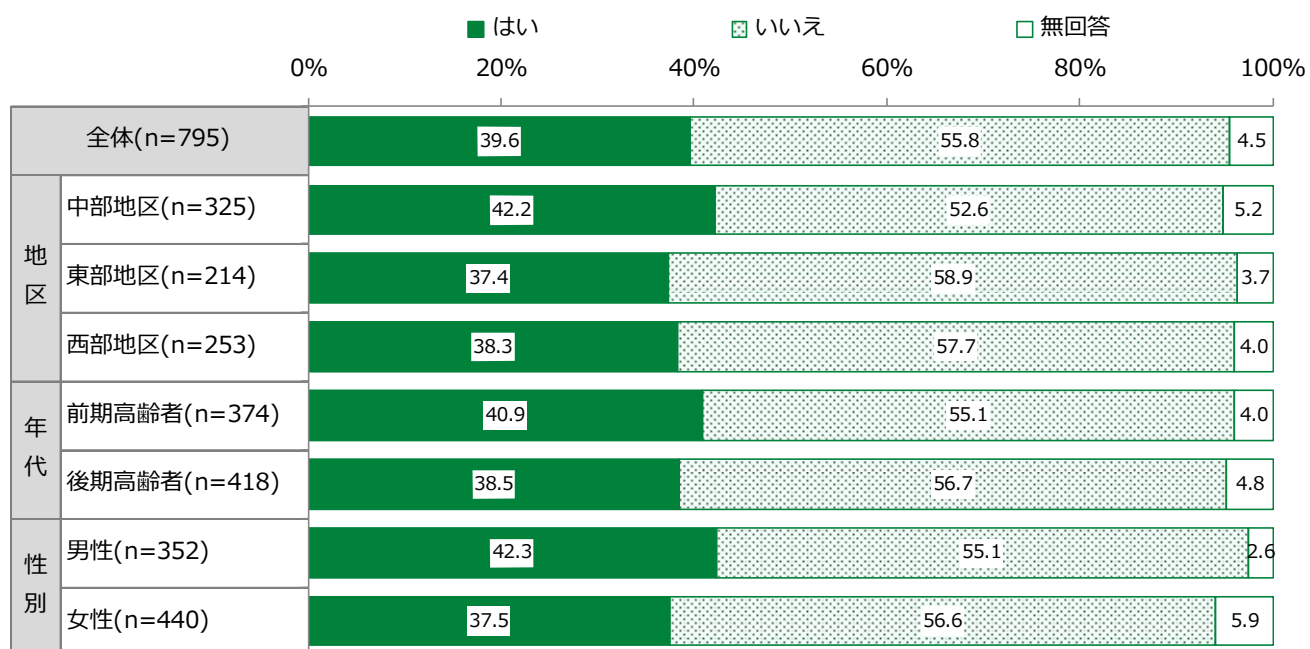
☑ (同じことを言ったり聞いたりするとと言われる)「はい」が 39.6%

同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがあるかについては、「いいえ」が 55.8%、「はい」が 39.6%となっています。

地区別でみると、中部地区で「いいえ」が他の地区より低くなっています。

年代別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

図表 51 同じことを言ったり聞いたりするとと言われること



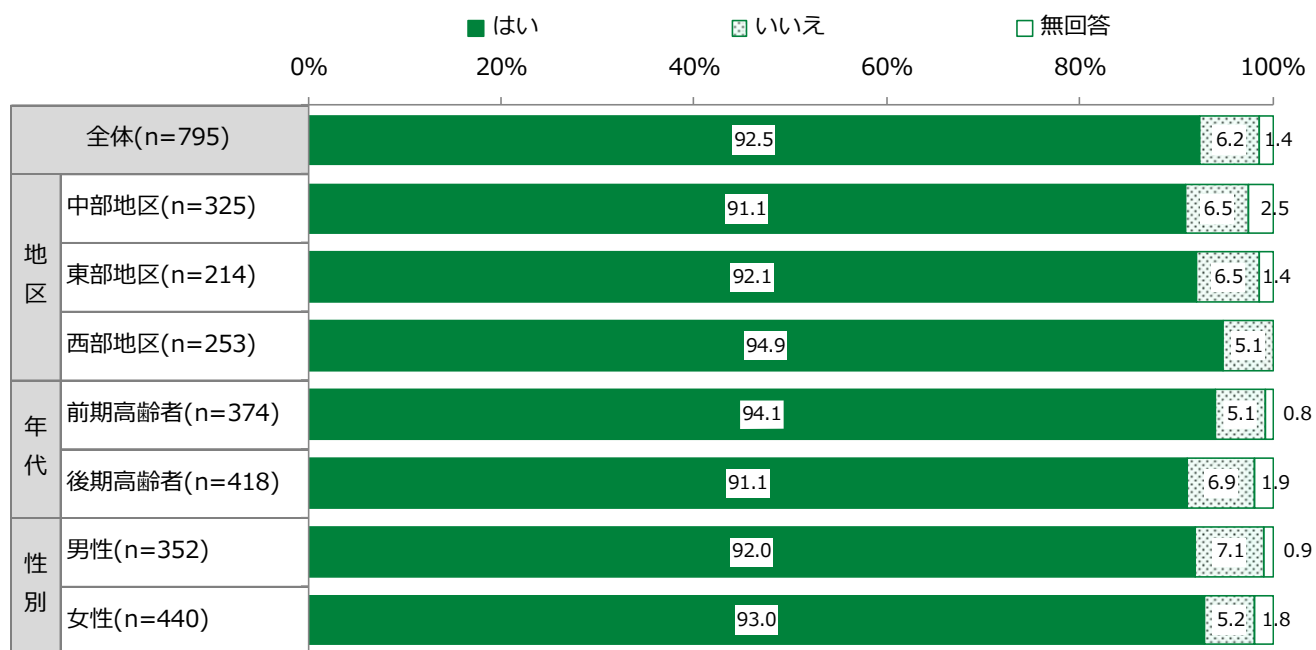
※問 41 で「1. はい」とお答えの方

問 41－2 物の名前が出てこなくなった。(○は1つ)

☑ (物の名前が出てこなくなった)「はい」が 92.5%

物の名前が出てこなくなったかについては、「はい」が 92.5%、「いいえ」が 6.2%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 52 物の名前が出てこなくなった



※問 41 で「1. はい」とお答えの方

問 41－3 財布や鍵の置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。(○は1つ)

☑ (財布や鍵の置き忘れやしまい忘れが目立ってきた)「はい」が 34.8%

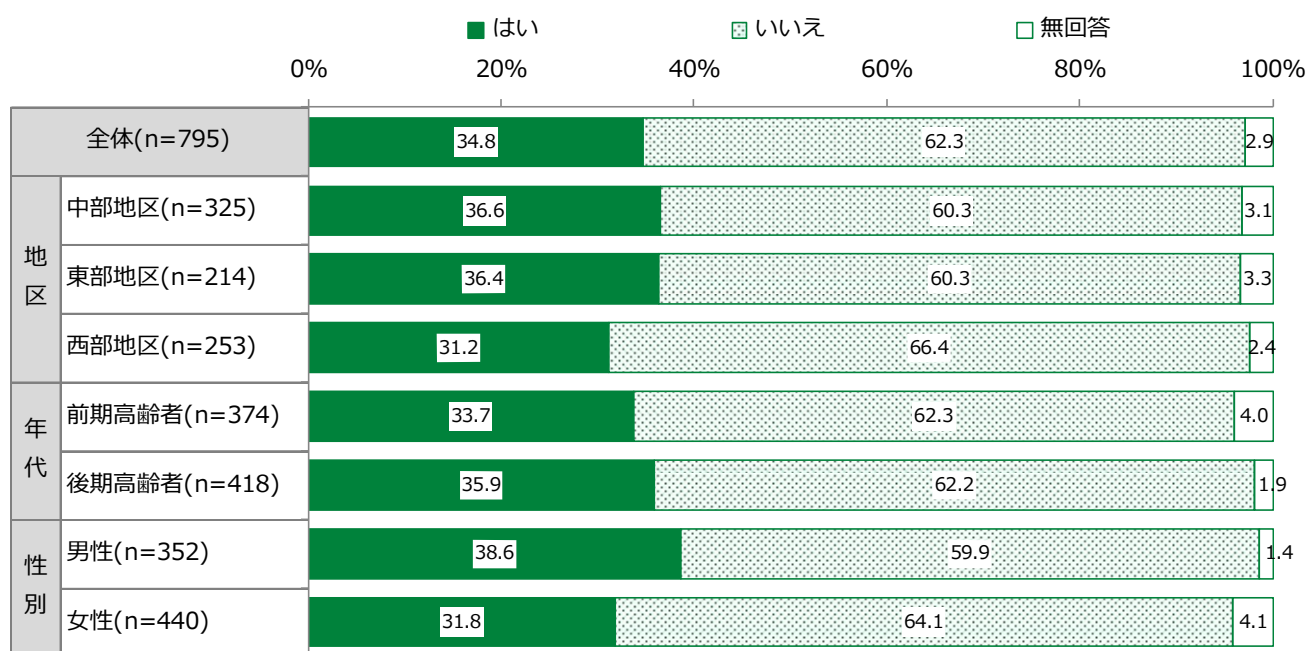
財布や鍵の置き忘れやしまい忘れが目立ってきたかについては、「いいえ」が 62.3%、「はい」が 34.8%となっています。

地区別でみると、西部地区で「はい」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「はい」が 6.8 ポイント、女性より高くなっています。

図表 53 財布や鍵の置き忘れやしまい忘れが目立ってきた



18.電話番号を調べてかけること

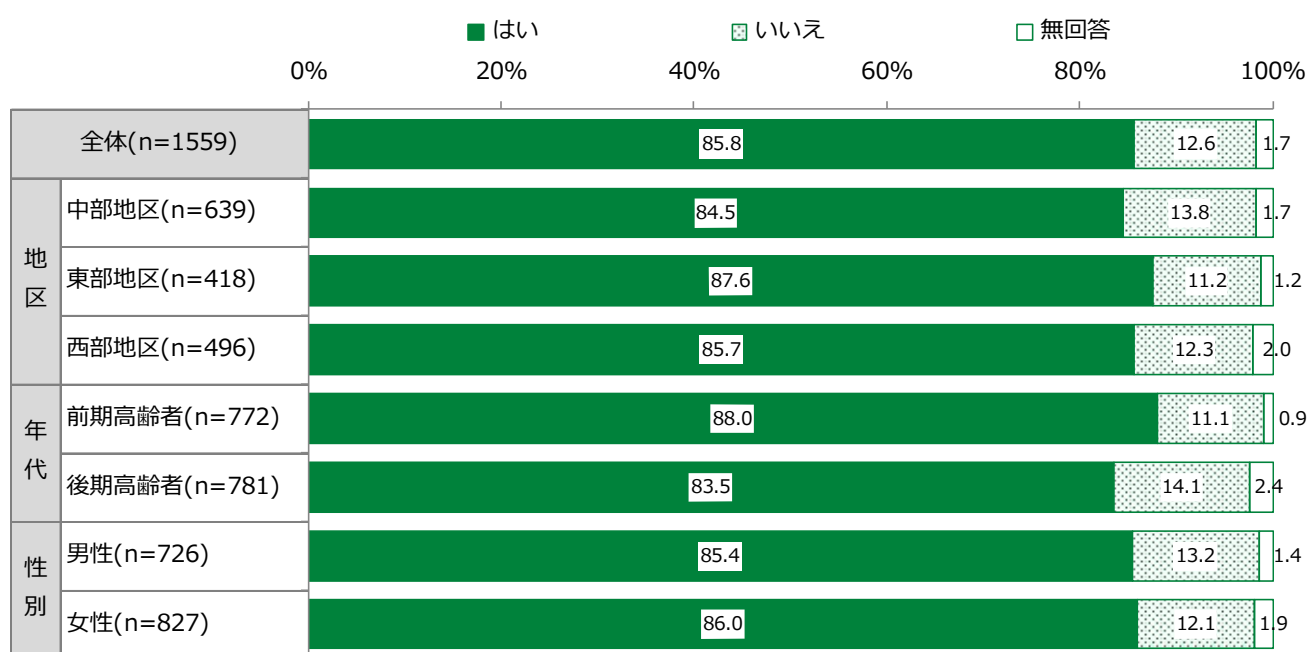
問 42 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が85.8%

電話番号を調べてかけることをしているかについては、「はい」が85.8%、「いいえ」が12.6%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 54 電話番号を調べてかけること



19. 今日の日付がわからない時

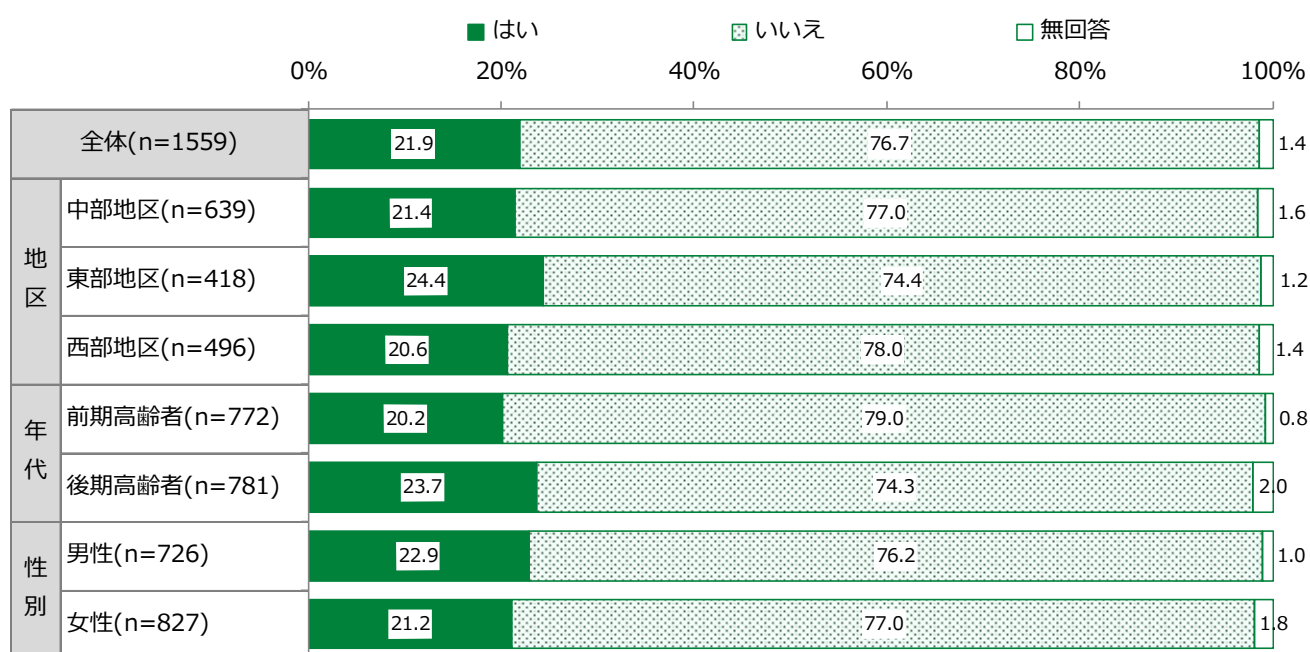
問 43 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が21.9%

今日の日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が76.7%、「はい」が21.9%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 55 今日の日付がわからない時



20.物事に対して興味がわかない、心から楽しめないこと

問 44 物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

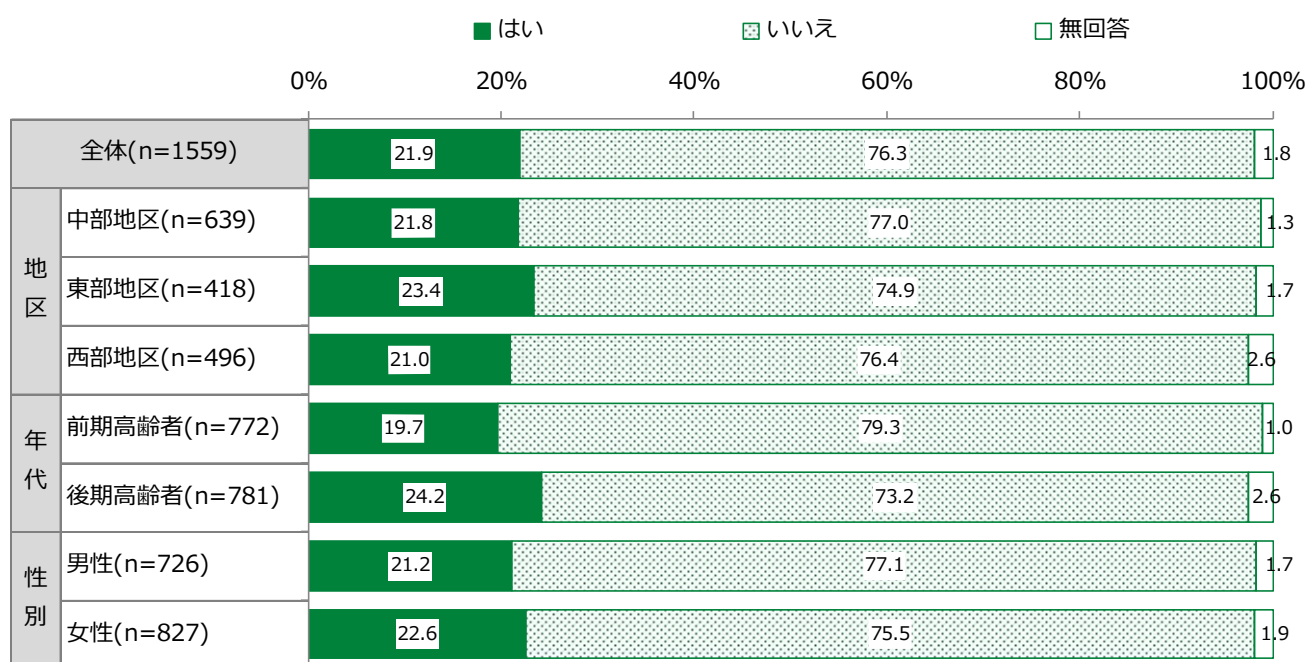
☑ 「はい」が21.9%

物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについては、「いいえ」が76.3%、「はい」が21.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が6.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 56 物事に対して興味がわかない、心から楽しめないこと



21. だらしなくなっただと感じること

問 45 だらしなくなっただと感じることがありますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が24.1%

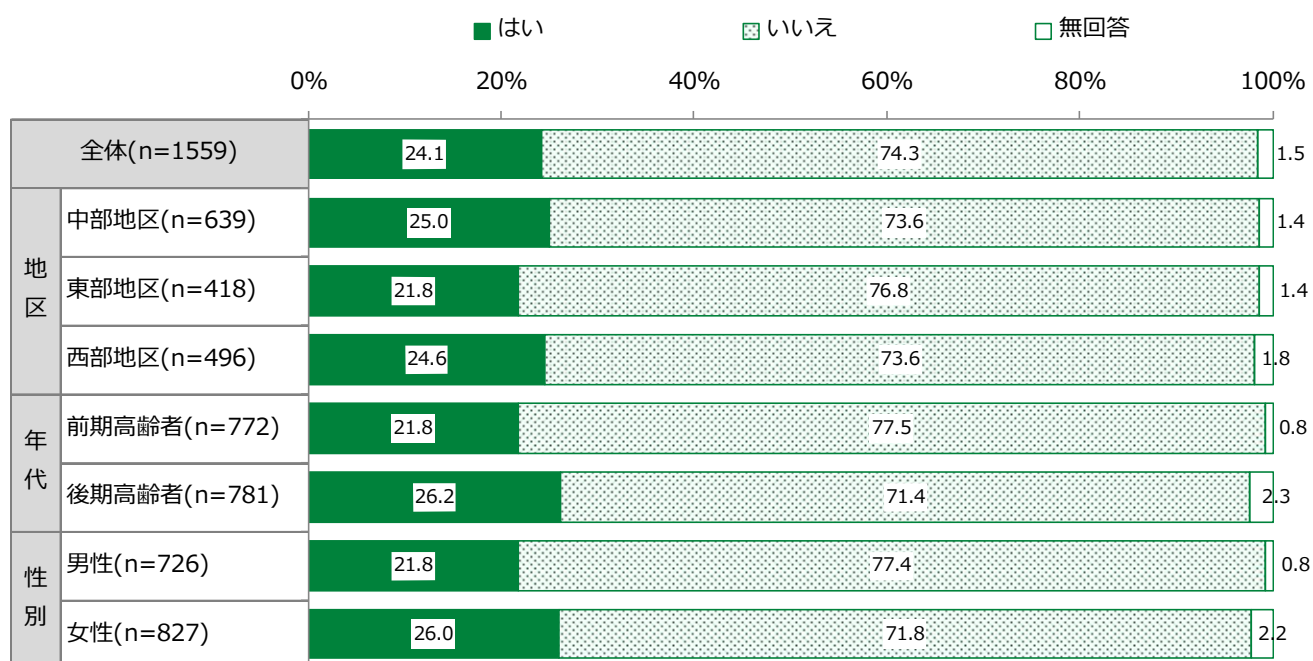
だらしなくなっただと感じることがあるかについては、「いいえ」が74.3%、「はい」が24.1%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が6.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「いいえ」が5.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 57 だらしなくなっただと感じること



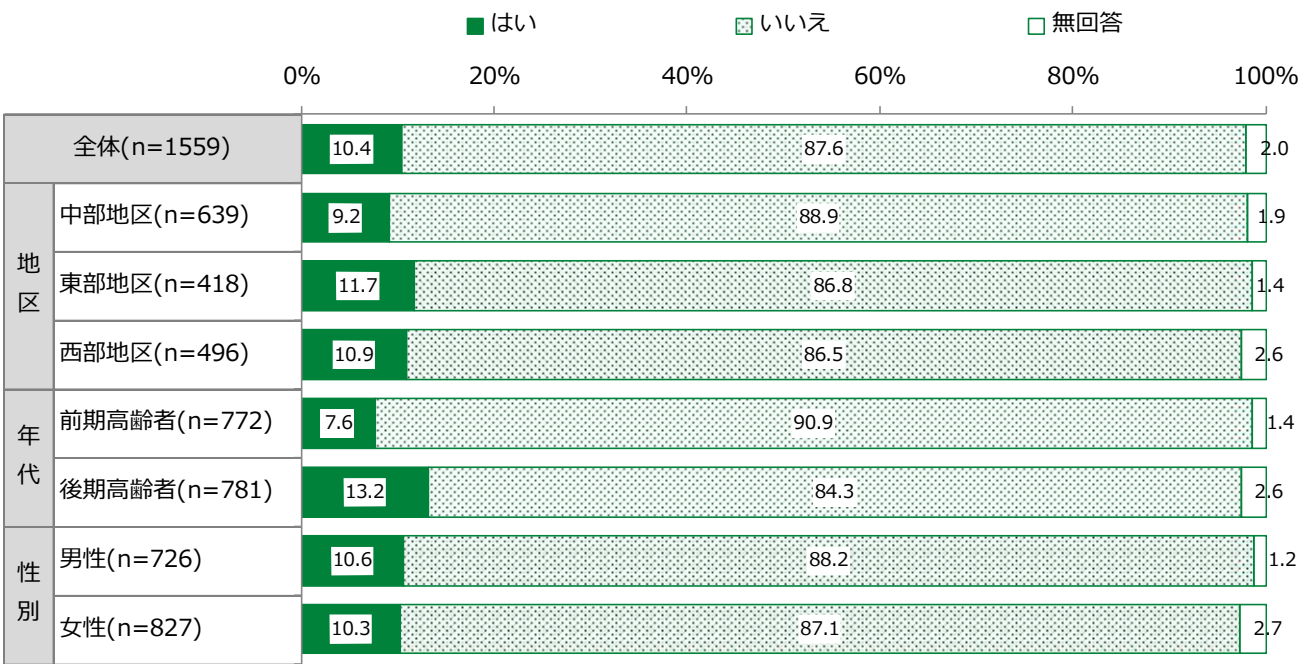
22.日課をしなくなったこと

問 46 日課をしなくなりましたか。(○は1つ)

☑ 「はい」が10.4%

日課をしなくなったかについては、「いいえ」が87.6%、「はい」が10.4%となっています。
地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。
年代別でみると、後期高齢者で「はい」が5.6ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 58 日課をしなくなったこと



23.時間や場所の感覚が不確かになったこと

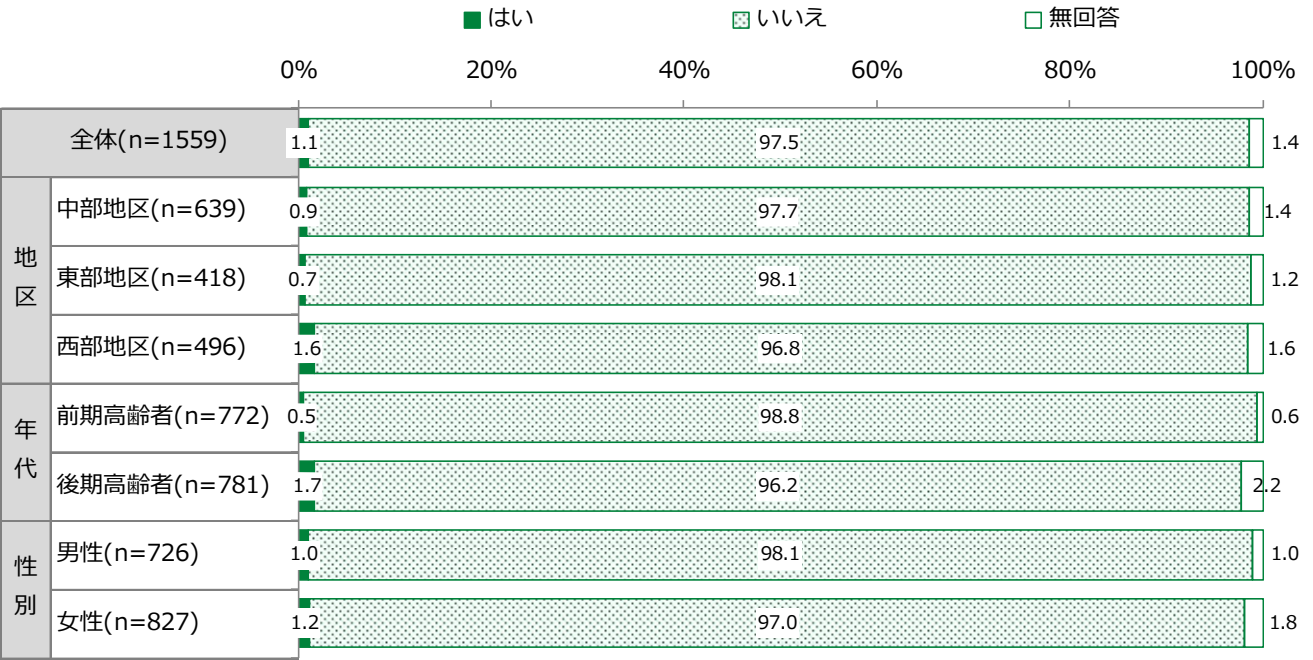
問 47 屋と夜を間違えるなど、時間や場所の感覚が不確かになった。（○は1つ）

☒ 「いいえ」が97.5%

時間や場所の感覚が不確かになったかについては、「いいえ」が97.5%、「はい」が1.1%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 59 時間や場所の感覚が不確かになったこと



24.慣れた所で道に迷ったこと

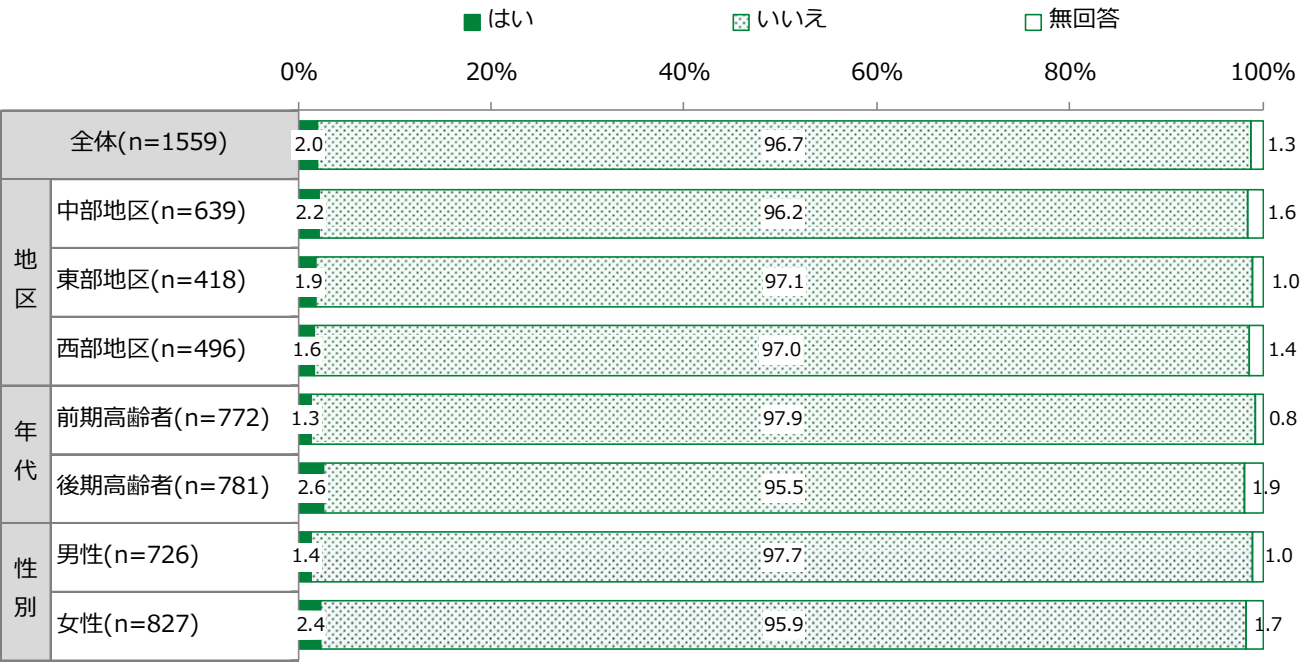
問 48 慣れた所で道に迷ったことがありますか。(○は1つ)

☒ 「いいえ」が96.7%

慣れた所で道に迷ったことがあるかについては、「いいえ」が96.7%、「はい」が2.0%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 60 慣れた所で道に迷ったこと



25.身の回りの物がなくなったと感じること

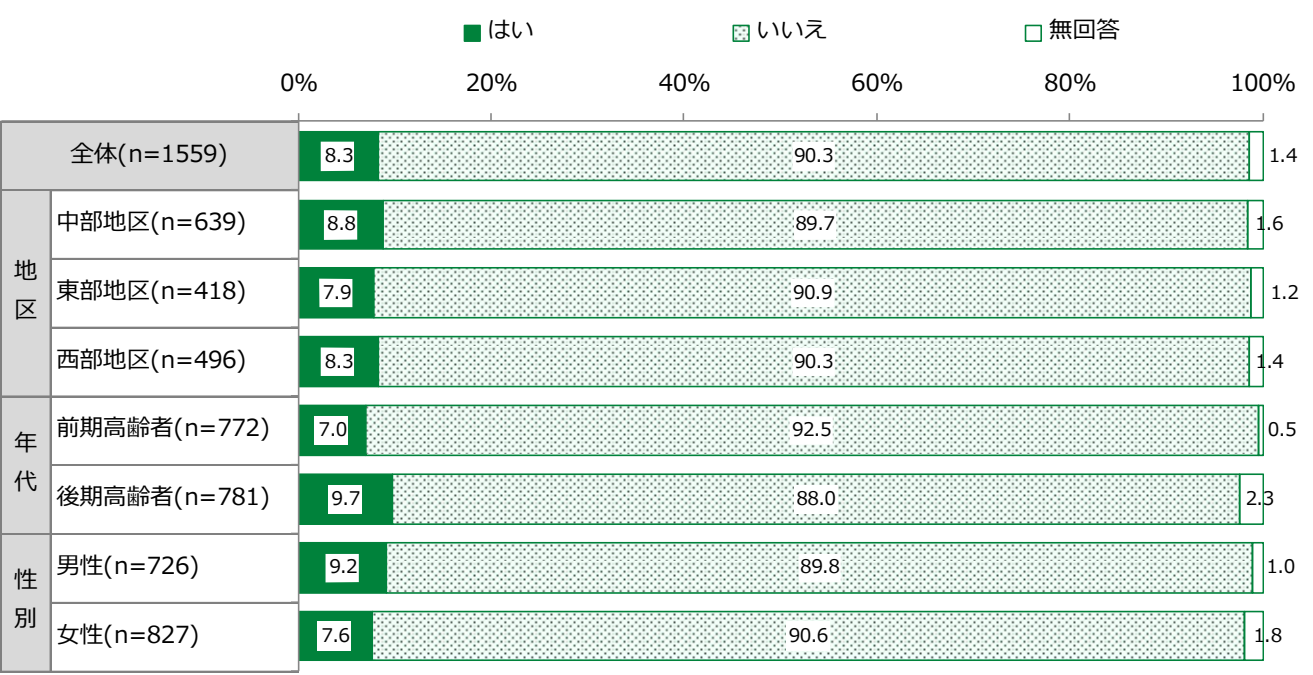
問 49 よく身の回りの物がなくなったと感じることがありますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が8.3%

身の回りの物がなくなったと感じることがあるかについては、「いいえ」が90.3%、「はい」が8.3%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 61 身の回りの物がなくなったと感じること



26. 怒りっぽくなったと感じること

問 50 ささいなことで、怒りっぽくなったと感じることはありますか。(○は1つ)

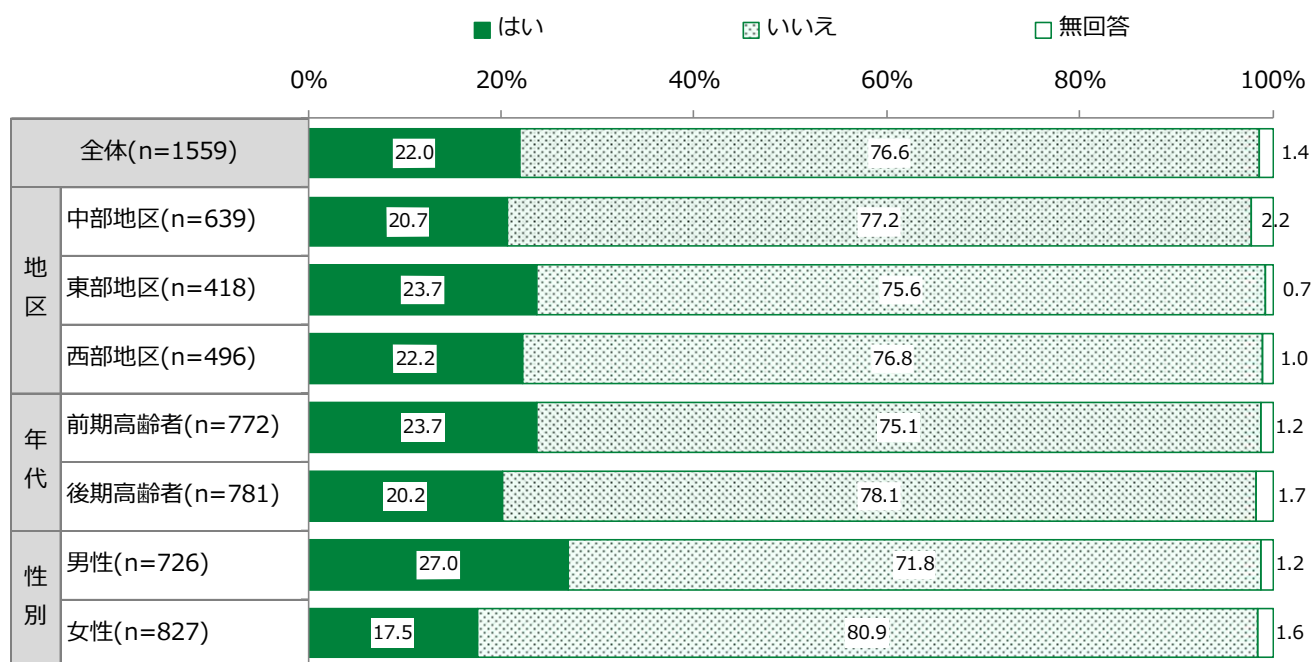
☑ 「はい」が22.0%

怒りっぽくなったと感じることがあるかについては、「いいえ」が76.6%、「はい」が22.0%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「はい」が9.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 62 怒りっぽくなったと感じること



27.火の用心ができること

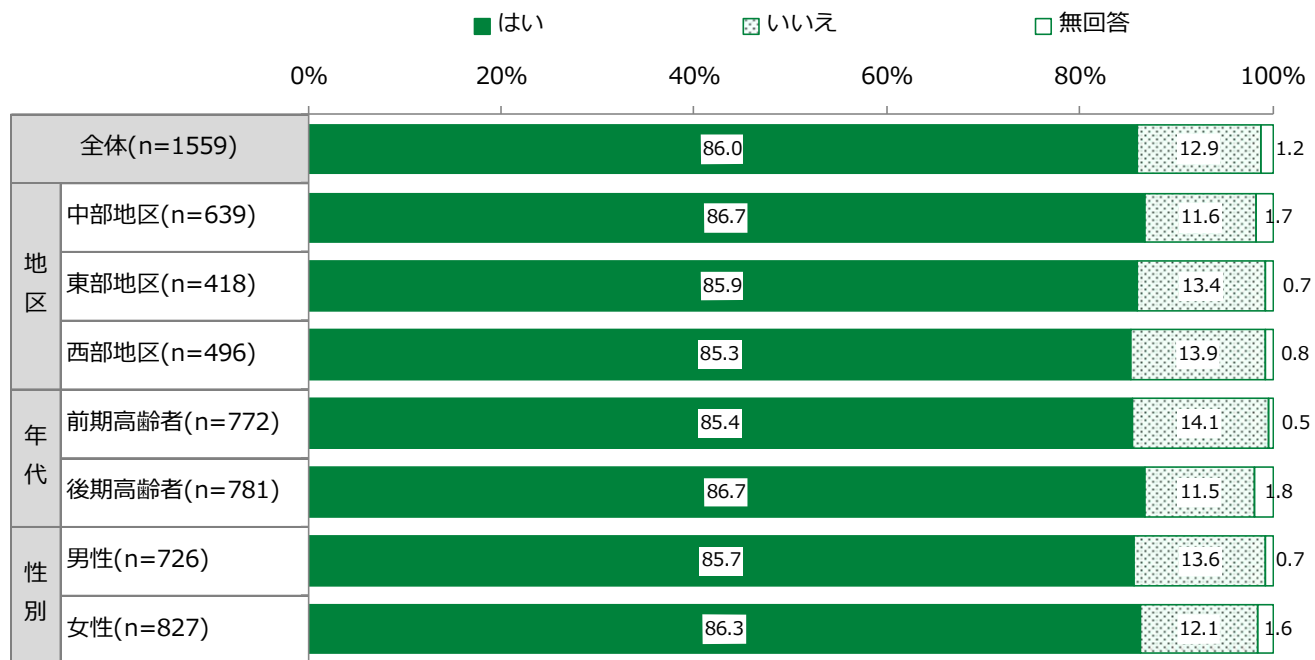
問 51 蛇口・ガス栓の締め忘れがなく、火の用心ができますか。(○は1つ)

☑ 「いいえ」が12.9%

火の用心ができるかについては、「はい」が86.0%、「いいえ」が12.9%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 63 火の用心ができること



28.テレビドラマが理解しにくくなったと感じること

問 52 テレビドラマが理解しにくくなったと感じることはありますか。(○は1つ)

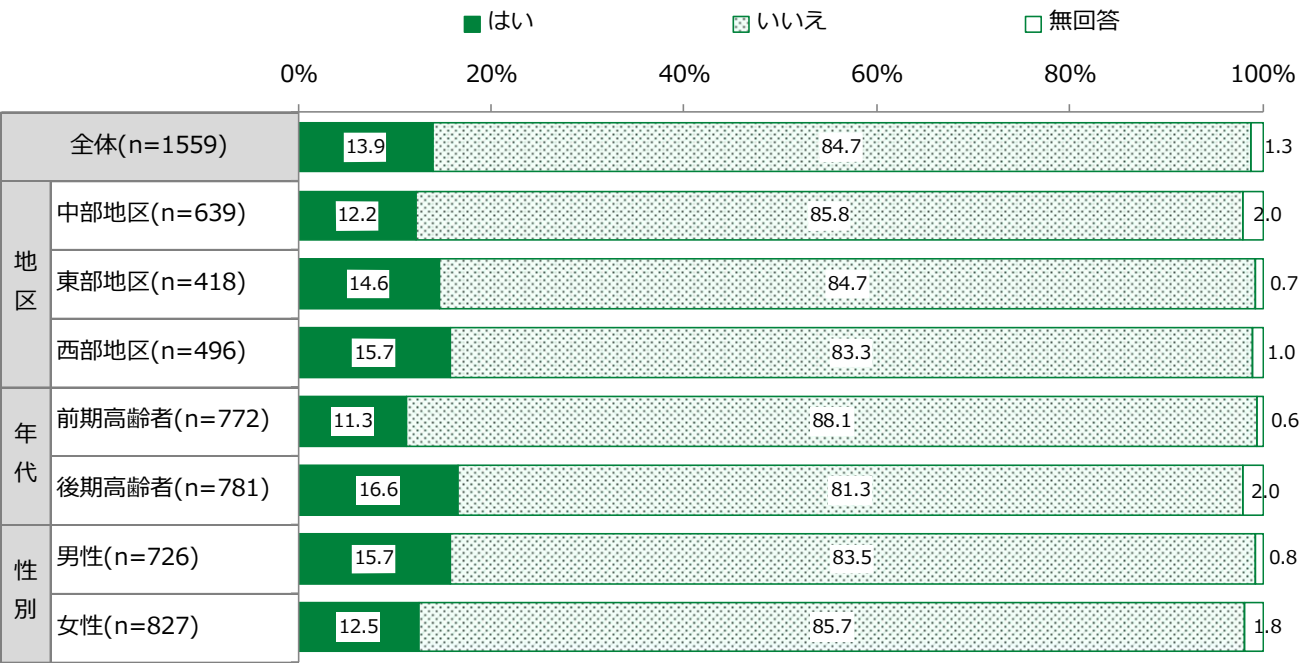
☒ 「はい」が13.9%

テレビドラマが理解しにくくなったと感じることについては、「いいえ」が84.7%、「はい」が13.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が5.3ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 64 テレビドラマが理解しにくくなったと感じること



29.夜中に急に起きて大声を出したこと

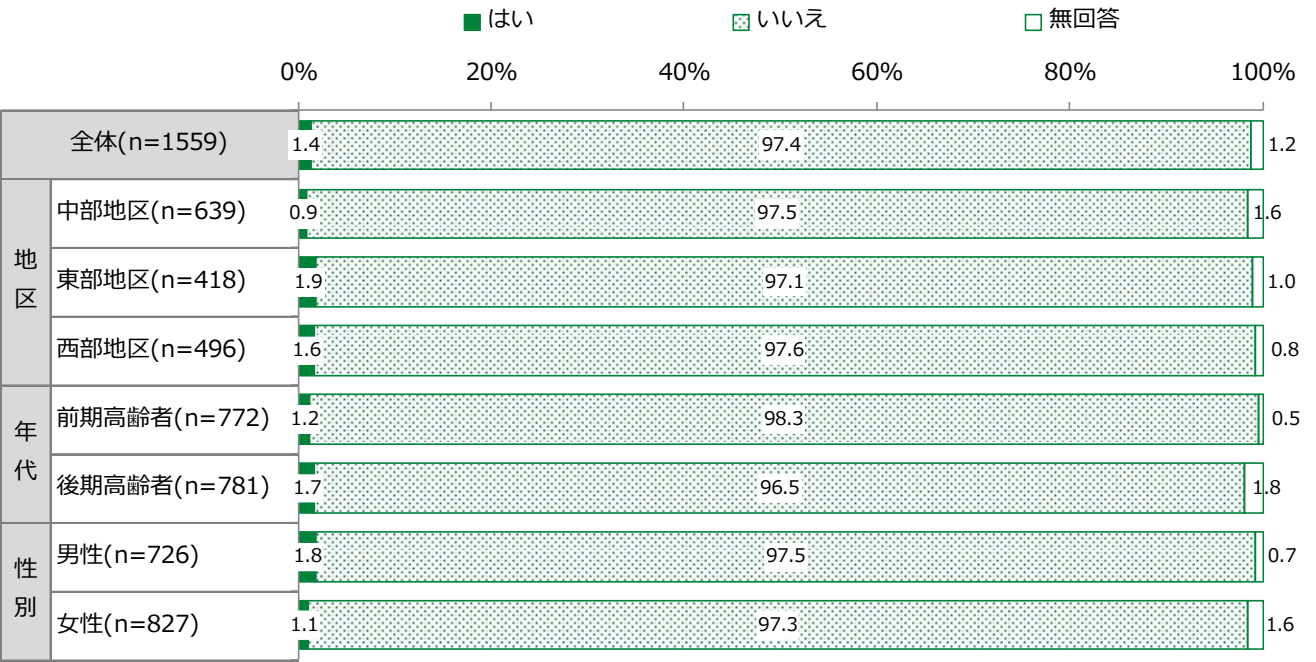
問 53 夜中に急に起きだして、大声を出したことはありましたか。(○は1つ)

☑ 「いいえ」が97.4%

夜中に急に起きて大声を出したことがあるかについては、「いいえ」が97.4%、「はい」が1.4%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 65 夜中に急に起きて大声を出したこと



30.現在の幸福度

問 54 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

☑ 「8点」が28.8%

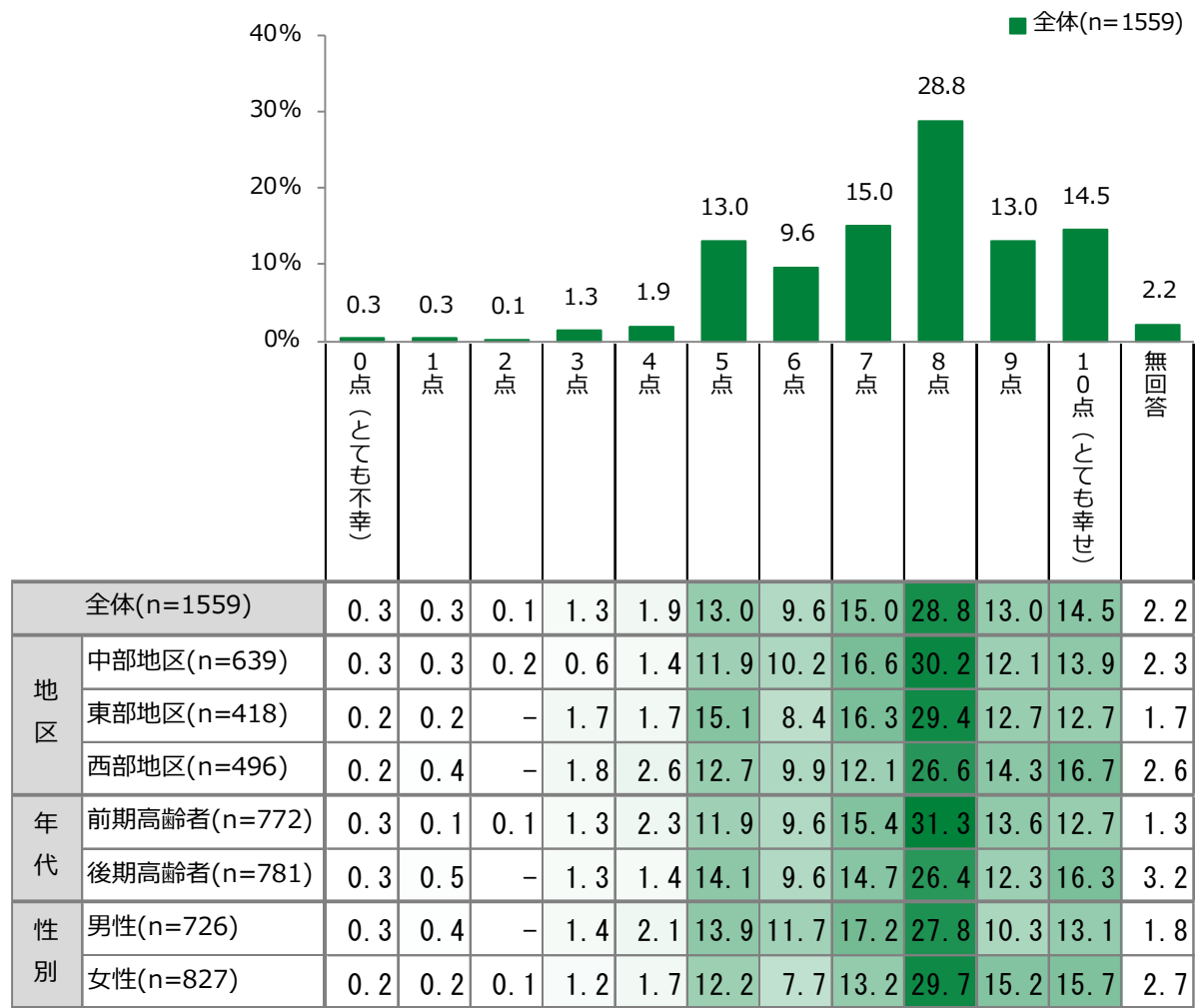
現在の幸福度については、「8点」が28.8%と最も高く、次いで「7点」(15.0%)、「10点(とても幸せ)」(14.5%)となっています。

地区別でみると、いずれの地区でも「8点」が最も高く、次いで中部・東部地区では「7点」、西部地区では「10点」が高くなっています。

年代別でみると、いずれの年代でも「8点」が最も高く、次いで前期高齢者では「7点」、後期高齢者では「10点」が高くなっています。

性別でみると、いずれの性別でも「8点」が最も高く、次いで男性では「7点」、女性では「10点」が高くなっています。

図表 66 現在の幸福度



6. 地域での活動について

1. 地域活動への参加状況

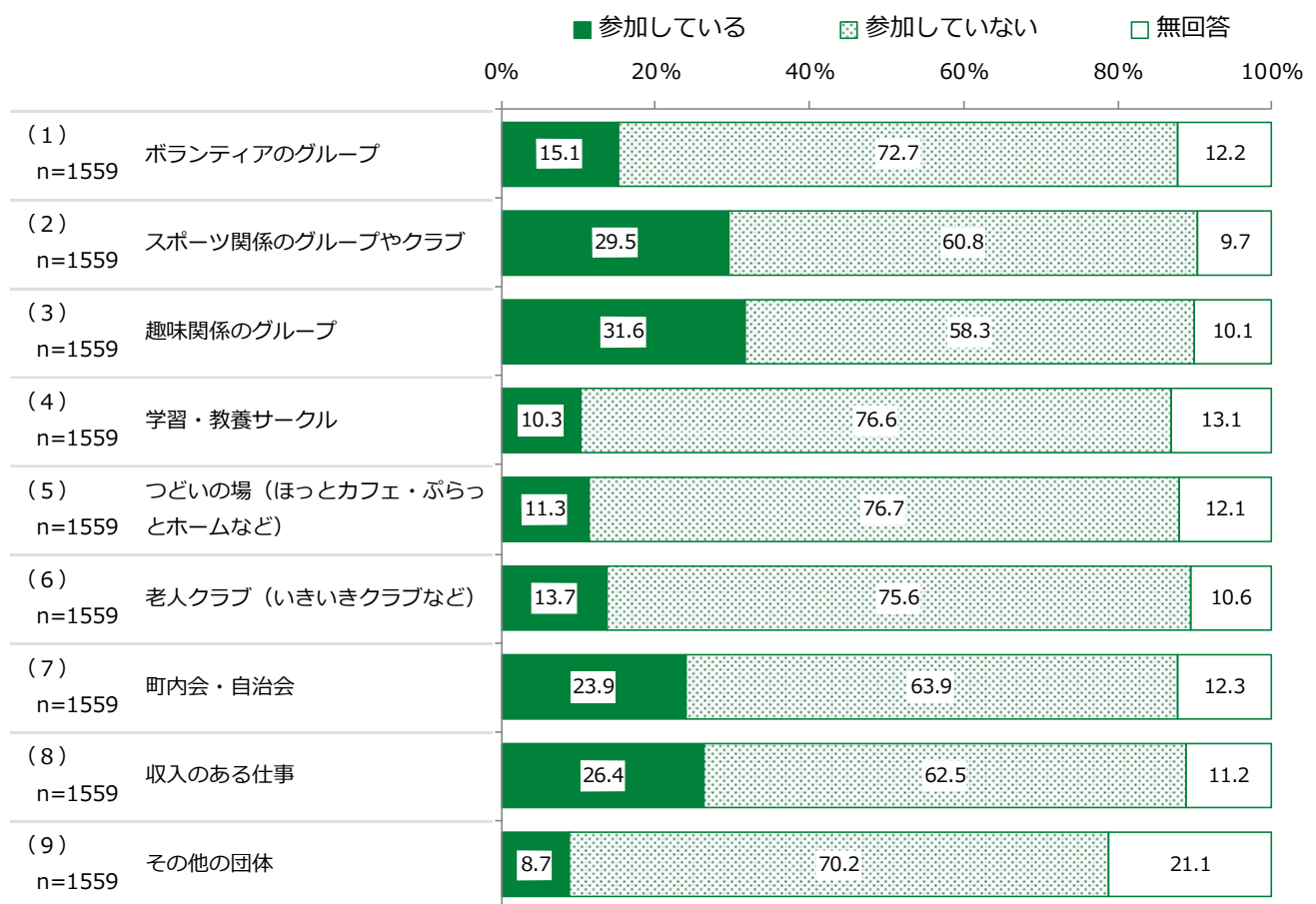
問 55 以下のような会・グループ等による活動にどのくらいの頻度で参加していますか。

※（１）～（９）それぞれに回答してください。

☑ 趣味関係のグループに“参加している”¹が31.6%

地域活動への参加状況について、“参加している”は趣味関係のグループが31.6%と最も高く、次いでスポーツ関係のグループやクラブ(29.5%)、収入のある仕事(26.4%)、町内会・自治会(23.9%)となっています。

図表 67 地域活動への参加状況



¹ 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を合わせたもの

(1) ボランティアのグループ

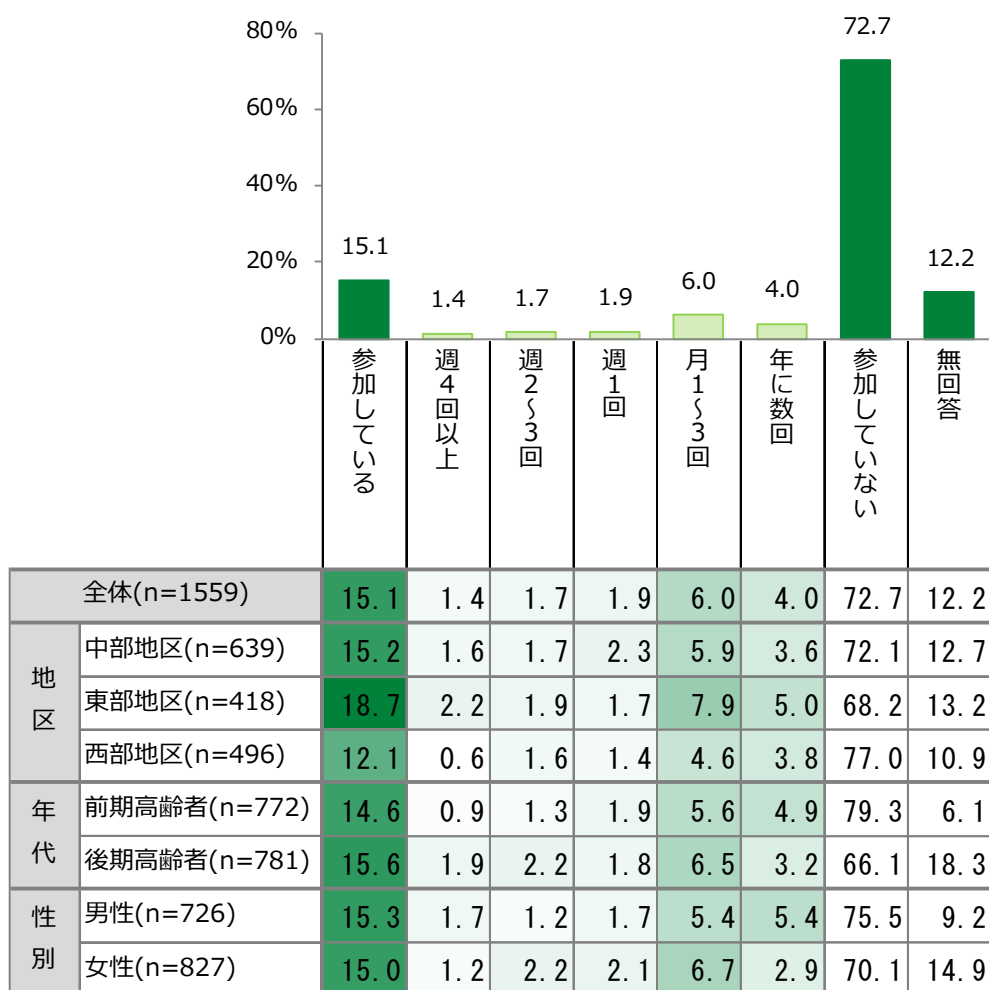
☑ 参加している人は 15.1%

ボランティアのグループについて、“参加している”は15.1%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が6.0%と最も高く、次いで「年に数回」(4.0%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が13.2ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 68 (1) ボランティアのグループ



(2) スポーツ関係のグループやクラブ

☑ 参加している人は 29.5%

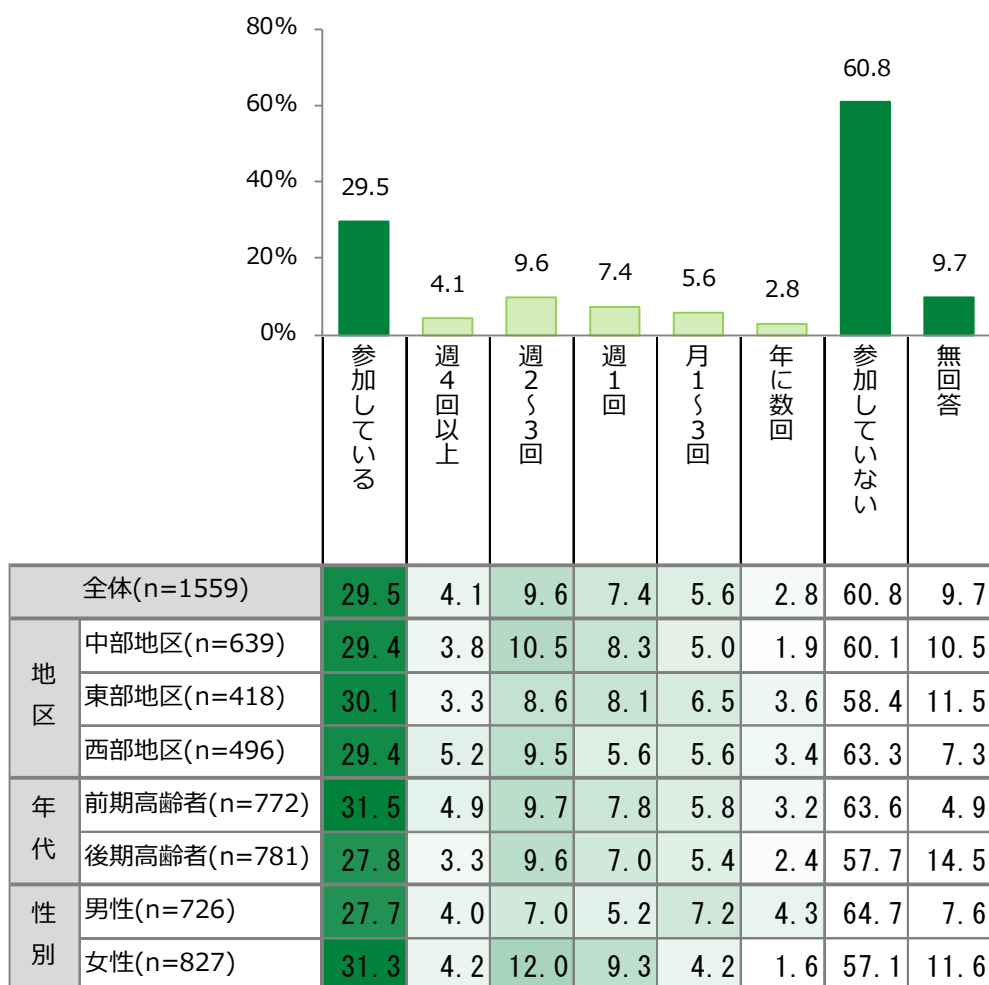
スポーツ関係のグループやクラブについて、“参加している”が29.5%となっています。参加頻度としては、「週2～3回」が9.6%と最も高く、次いで「週1回」(7.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が5.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が7.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 69 (2) スポーツ関係のグループやクラブ



(3) 趣味関係のグループ

☑ 参加している人は 31.6%

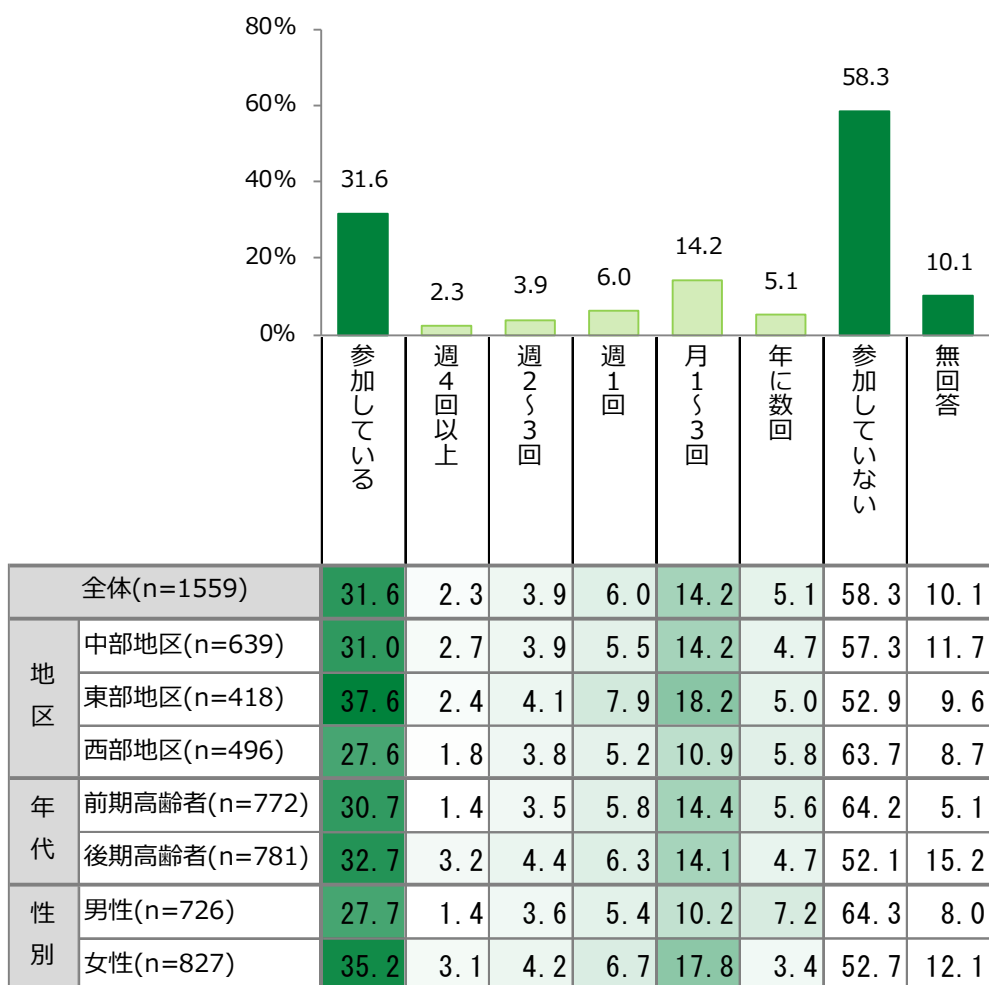
趣味関係のグループについて、“参加している”が31.6%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が14.2%と最も高く、次いで「週1回」(6.0%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「参加していない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が12.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が11.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 70 (3) 趣味関係のグループ



(4) 学習・教養サークル

☑ 参加している人は 10.3%

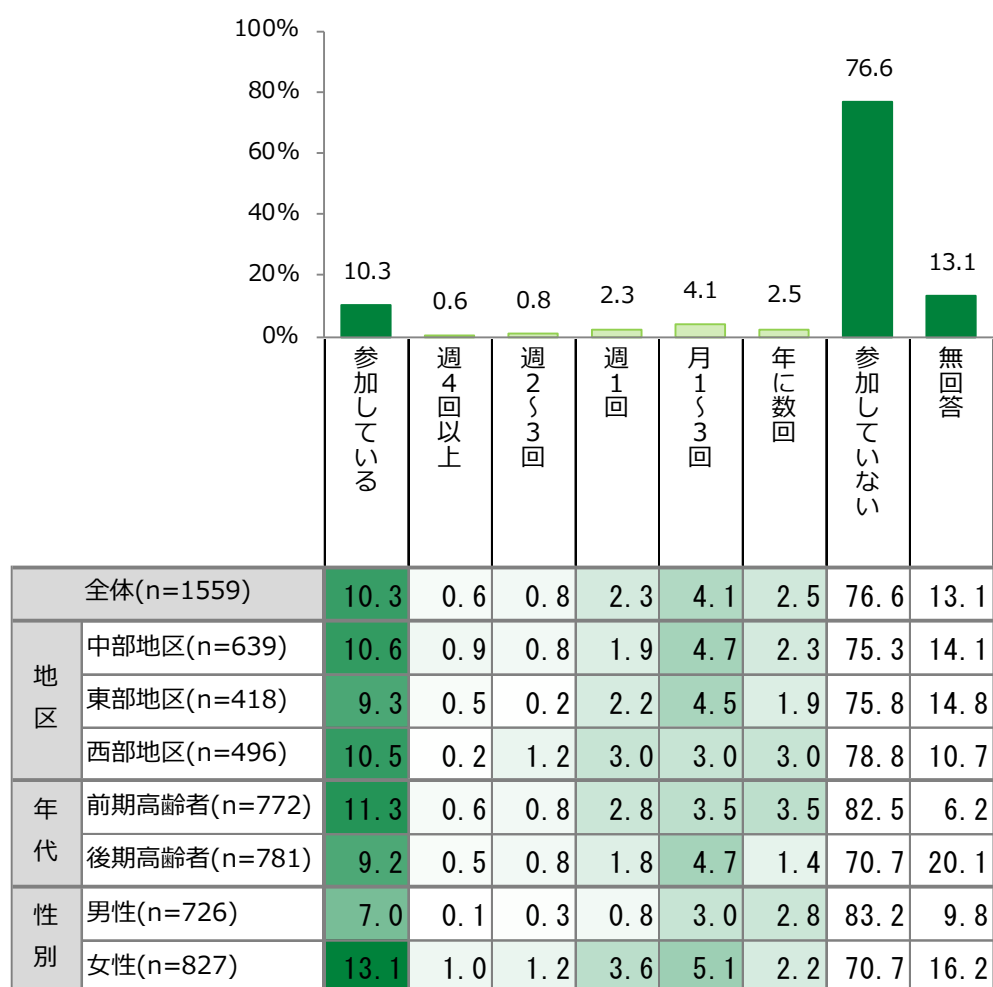
学習・教養サークルについて、“参加している”が10.3%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が4.1%と最も高く、次いで「年に数回」(2.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が11.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が12.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 71 (4) 学習・教養サークル



(5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）

☑ 参加している人は 11.3%

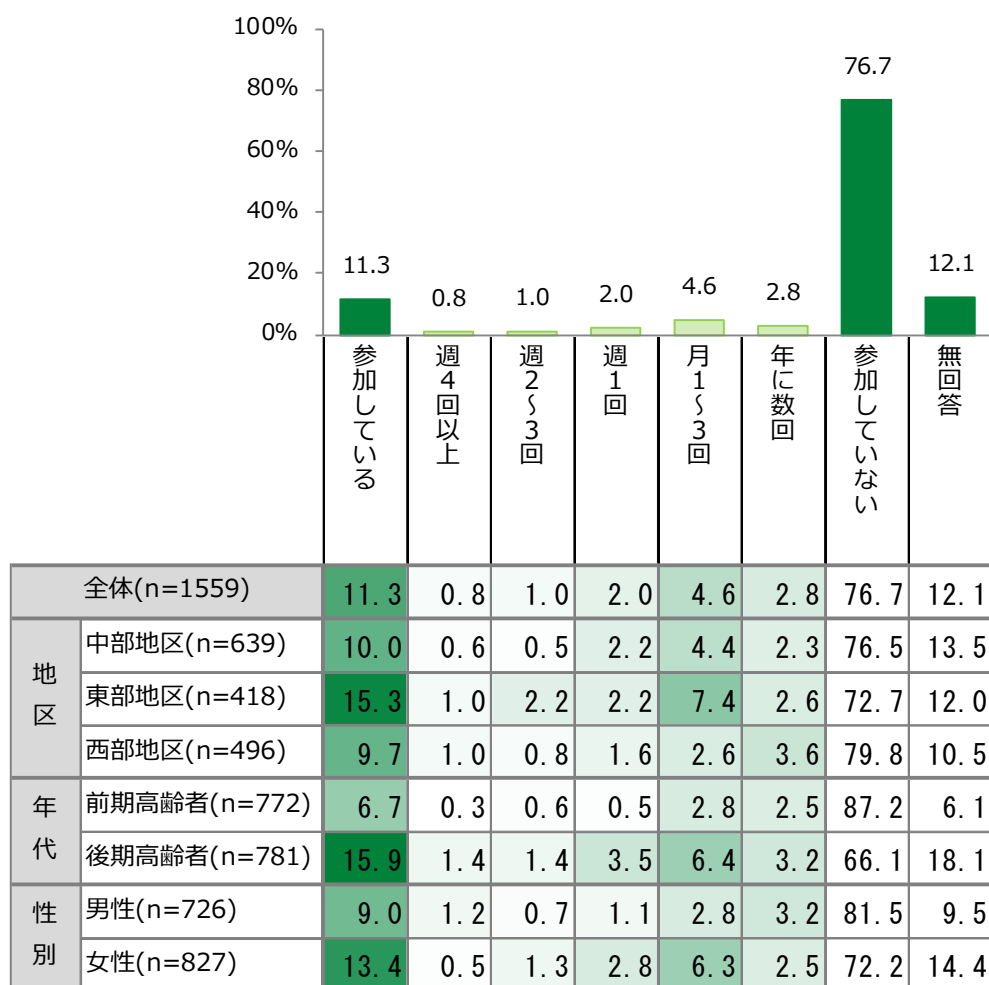
つどいの場について、“参加している”が 11.3%となっています。参加頻度としては、「月 1～3 回」が 4.6%と最も高く、次いで「年に数回」（2.8%）となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が 21.1 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が 9.3 ポイント、女性より高くなっています。

図表 72 (5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）



(6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）

☑ 参加している人が 13.7%

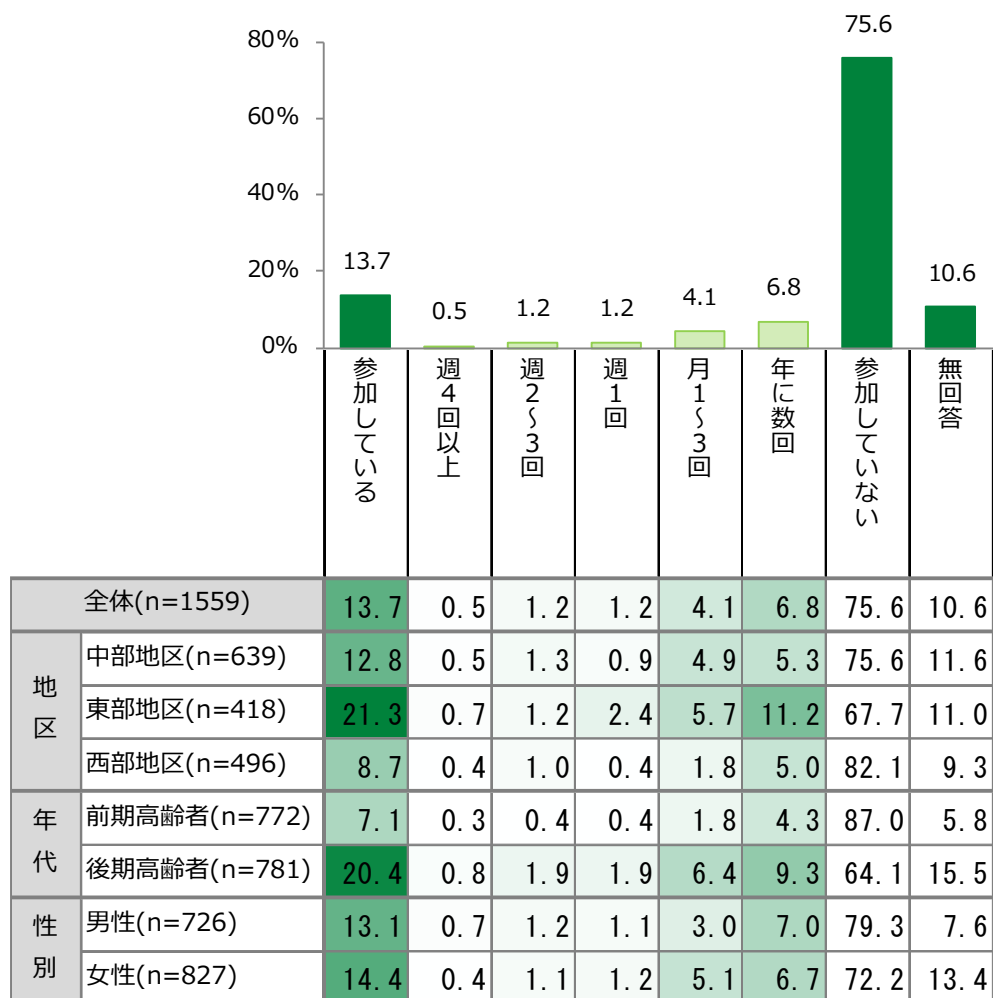
老人クラブについては、“参加している”が 13.7%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が 6.8%と最も高く、次いで「月 1～3 回」（4.1%）となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で“参加している”が 13.3 ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が 7.1 ポイント、女性より高くなっています。

図表 73 (6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）



(7) 町内会・自治会

☑ 参加している人は 23.9%

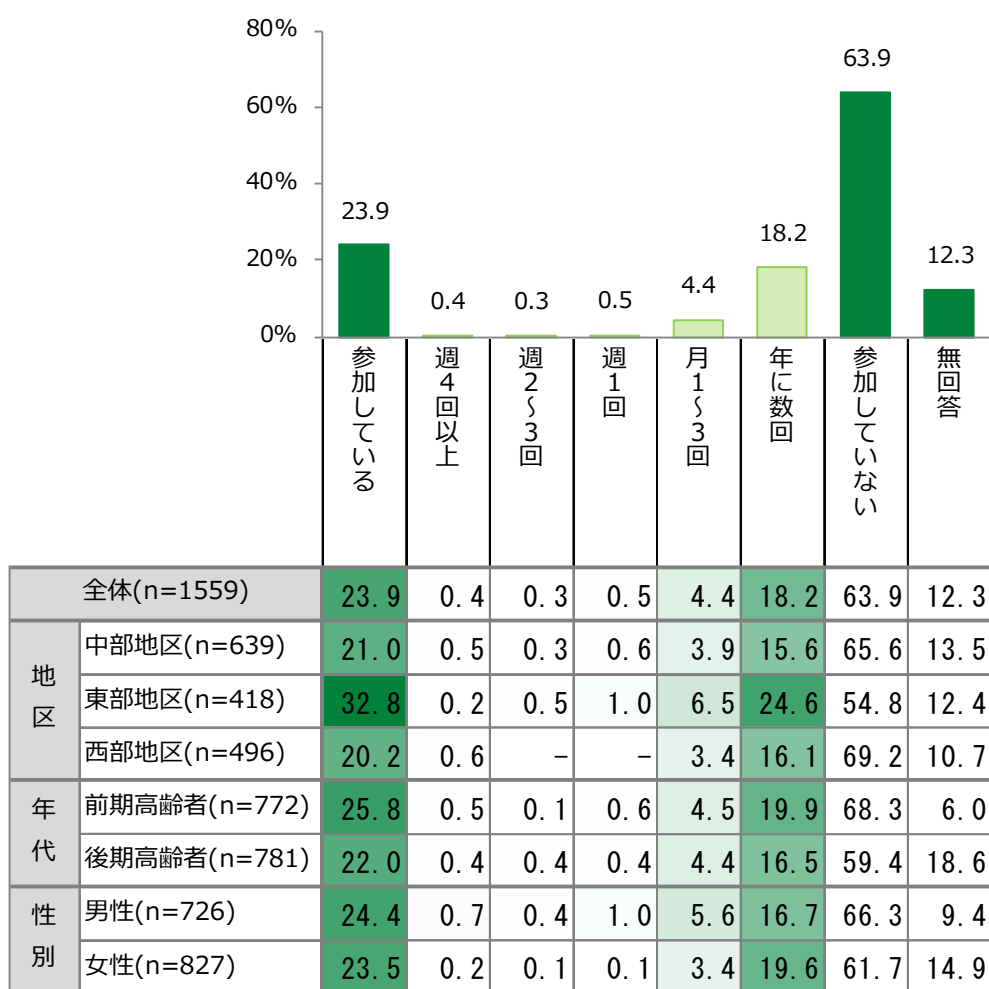
町内会・自治会については、“参加している”が23.9%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が18.2%と最も高く、次いで「月1～3回」(4.4%)となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が10ポイント以上、他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が8.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 74 (7) 町内会・自治会



(8) 収入のある仕事

☑ 収入のある仕事をしている人は 26.4%

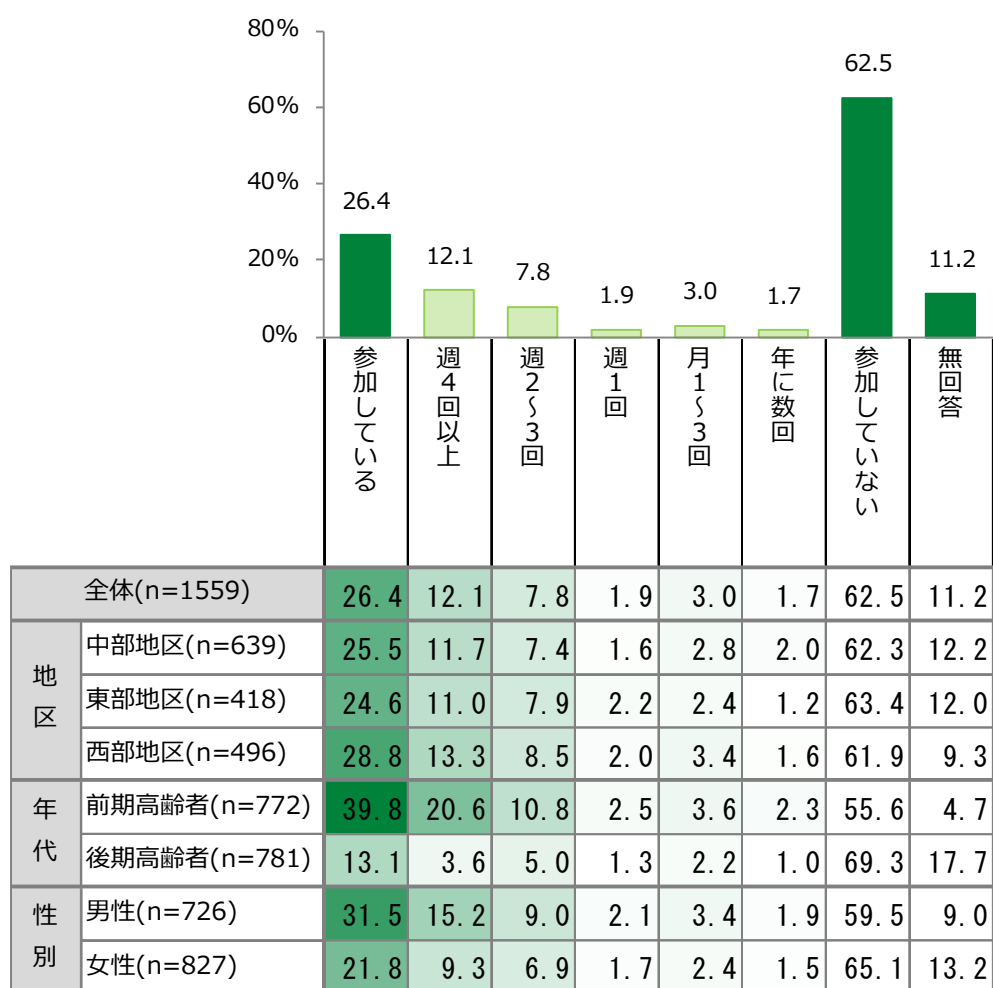
収入のある仕事について、“参加している”が26.4%となっています。参加頻度としては、「週4回以上」が12.1%と最も高く、次いで「週2～3回」(7.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“参加している”が26.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で“参加している”が9.7ポイント、女性より高くなっています。

図表 75 (8) 収入のある仕事



(9) その他の団体

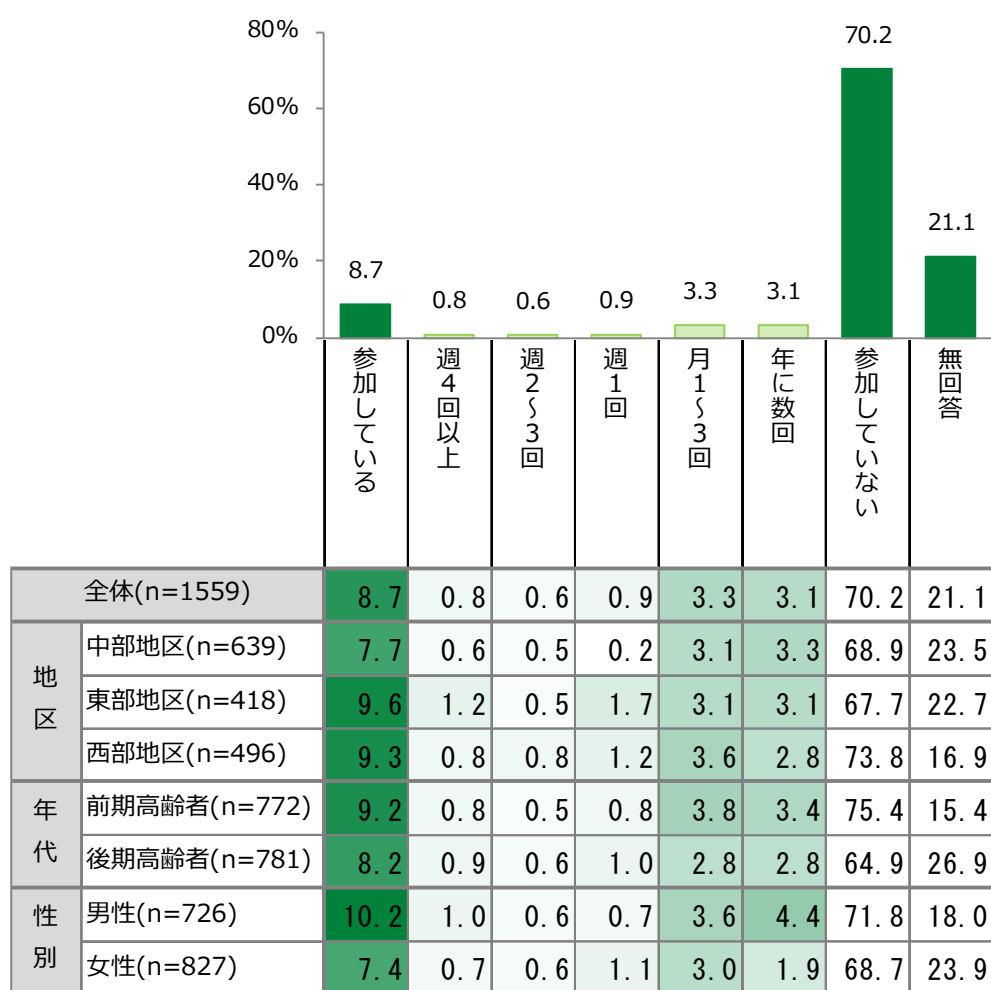
☑ 参加している人は 8.7%

その他の団体については、「参加している」が 8.7%となっています。参加頻度としては、「月 1 ～ 3 回」が 3.3%と最も高く、次いで「年に数回」(3.1%) となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が 10.5 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 76 (9) その他の団体



2. 地域活動に不参加の理由と参加意向のある地域活動

※問 55 で 1 つでも「参加していない」とお答えの方

問 56－1 「参加していない」と回答した活動について、理由はどれですか。（○はいくつでも）

☑ 「興味がない」が 45.5%

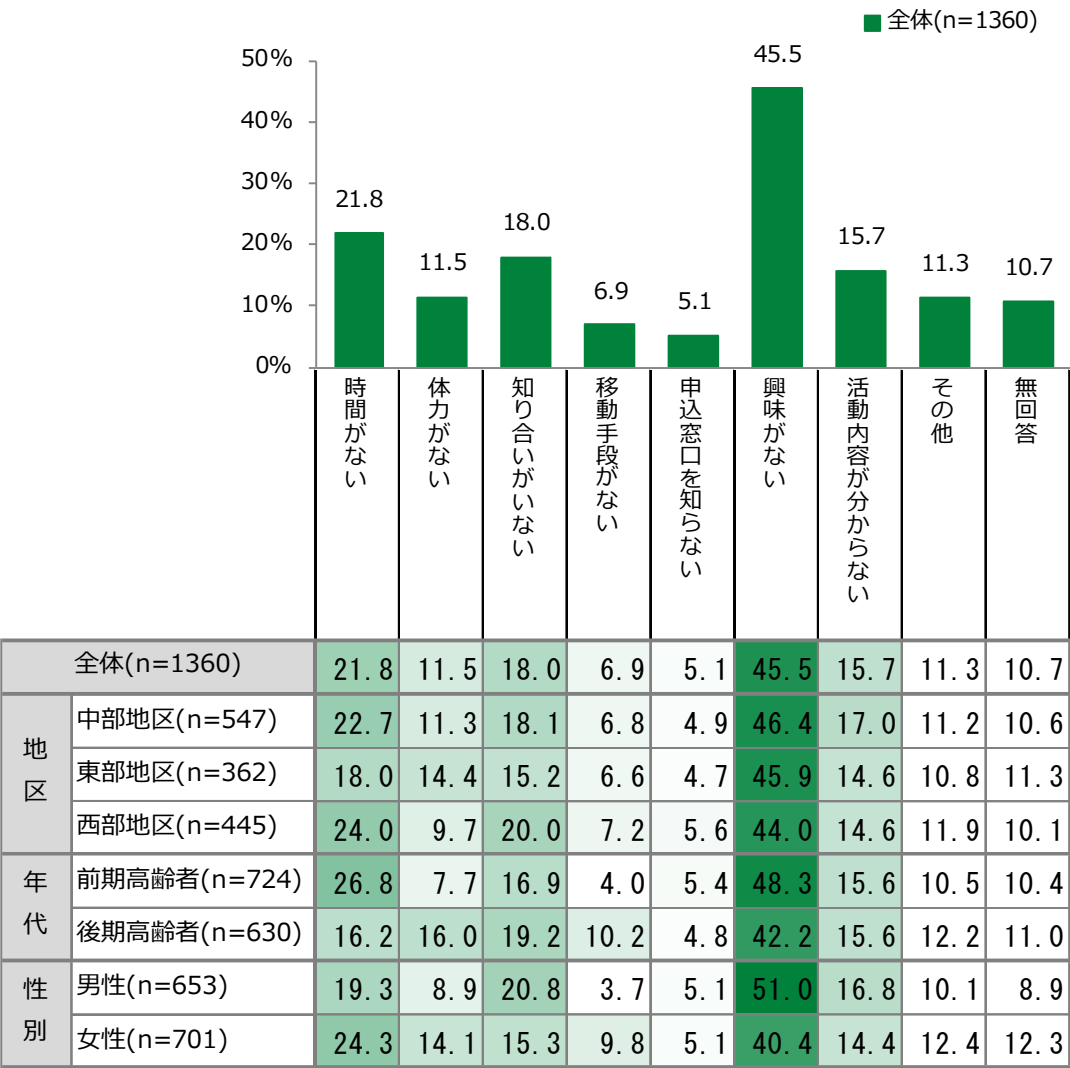
地域活動に不参加の理由については、「興味がない」が 45.5%と最も高く、次いで「時間がない」(21.8%)、「知り合いがいない」(18.0%)、「活動内容が分からない」(15.7%)、「体力がない」(11.5%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、いずれの年代でも「興味がない」が最も高く、次いで前期高齢者では「時間がない」、後期高齢者では「知り合いがいない」が高くなっています。

性別でみると、いずれの性別でも「興味がない」が最も高く、次いで男性では「知り合いがいない」、女性では「時間がない」が高くなっています。

図表 77 地域活動に不参加の理由



※問 55 で 1 つでも「参加していない」とお答えの方

問 56-2 「参加していない」と回答した活動のうち、今後参加してみたい活動はどれですか。(〇はいくつでも)

☑ 「趣味関係のグループ」が 24.3%

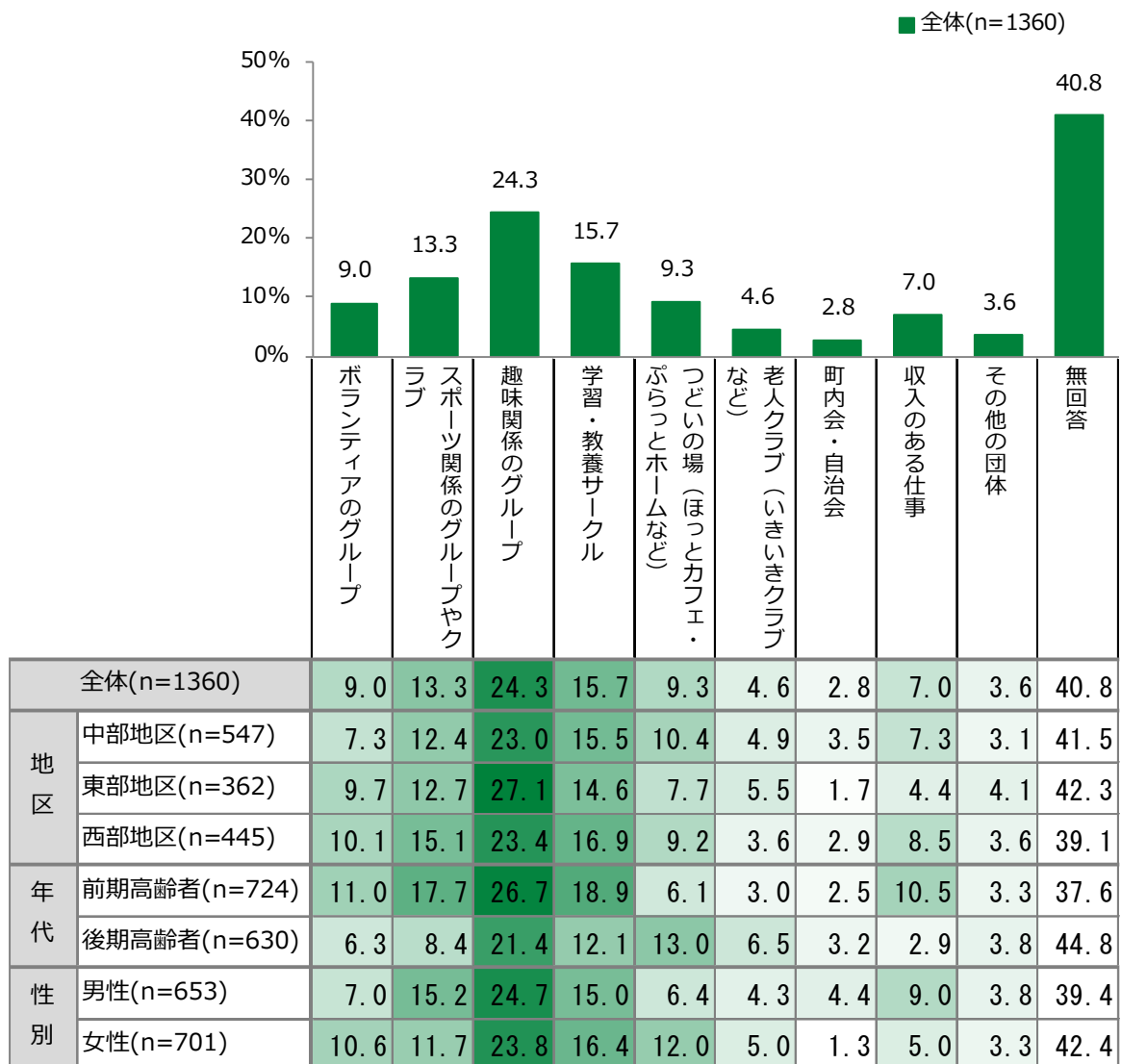
参加意向のある地域活動については、「趣味関係のグループ」が 24.3%と最も高く、次いで「学習・教養サークル」(15.7%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(13.3%)、「つどいの場(ほっとカフェ・ぷらっとホームなど)」(9.3%)、「ボランティアのグループ」(9.0%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、いずれの年代でも「趣味関係のグループ」が最も高く、次いで前期高齢者では「学習・教養サークル」、後期高齢者では「つどいの場」が高くなっています。

性別でみると、いずれの性別でも「趣味関係のグループ」が最も高く、次いで男性では「スポーツ関係のグループやクラブ」、女性では「学習・教養サークル」が高くなっています。

図表 78 参加意向のある地域活動



3. 地域づくり活動への参加意向【参加者として】

問 57 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(○は1つ)

☑ 「参加してもよい」が49.4%

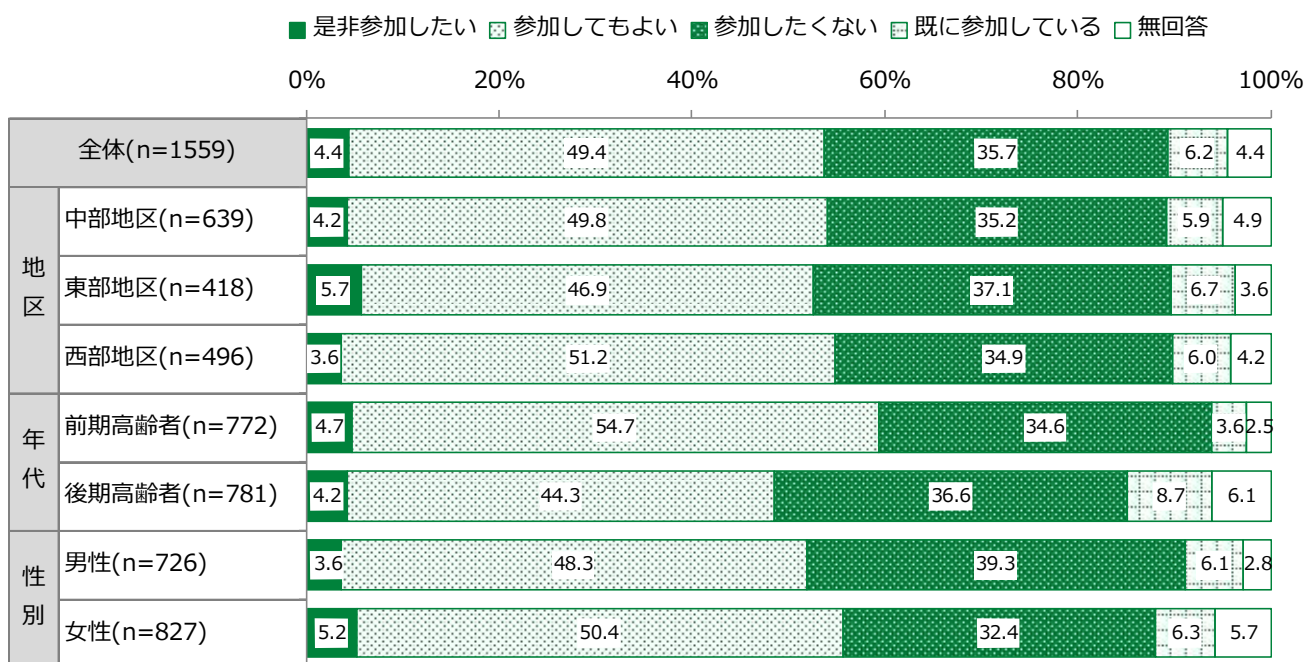
参加者としての地域づくり活動への参加意向は、「参加してもよい」が49.4%と最も高く、次いで「参加したくない」(35.7%)、「既に参加している」(6.2%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加してもよい」が10.4ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加したくない」が6.9ポイント、女性より高くなっています。

図表 79 地域づくり活動への参加意向【参加者として】



4. 地域づくり活動への参加意向【企画・運営(お世話役)として】

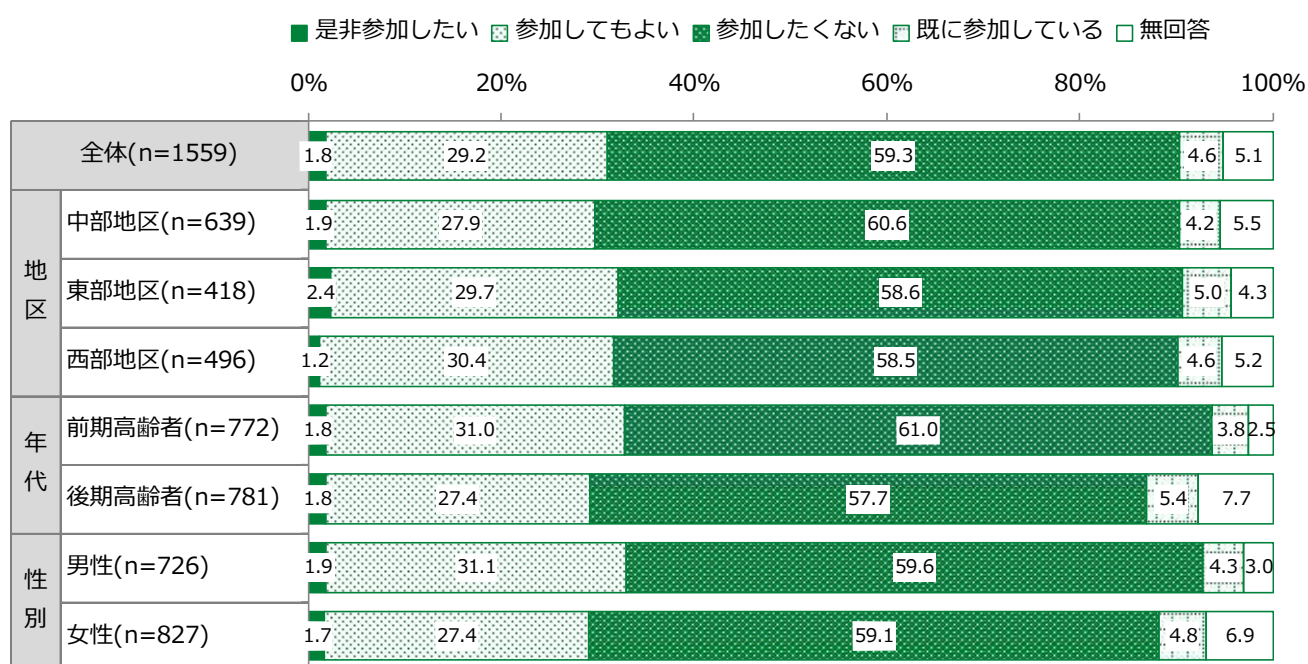
問 58 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

☑ 「参加してもよい」が29.2%

企画・運営としての地域づくり活動への参加意向は、「参加したくない」が59.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」（29.2%）、「既に参加している」（4.6%）となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 80 地域づくり活動への参加意向【企画・運営（お世話役）として】



7. まわりの人との関係について

1. たすけあいの状況について

問 59 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまる人すべてに○をつけてください。

あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 64.8%

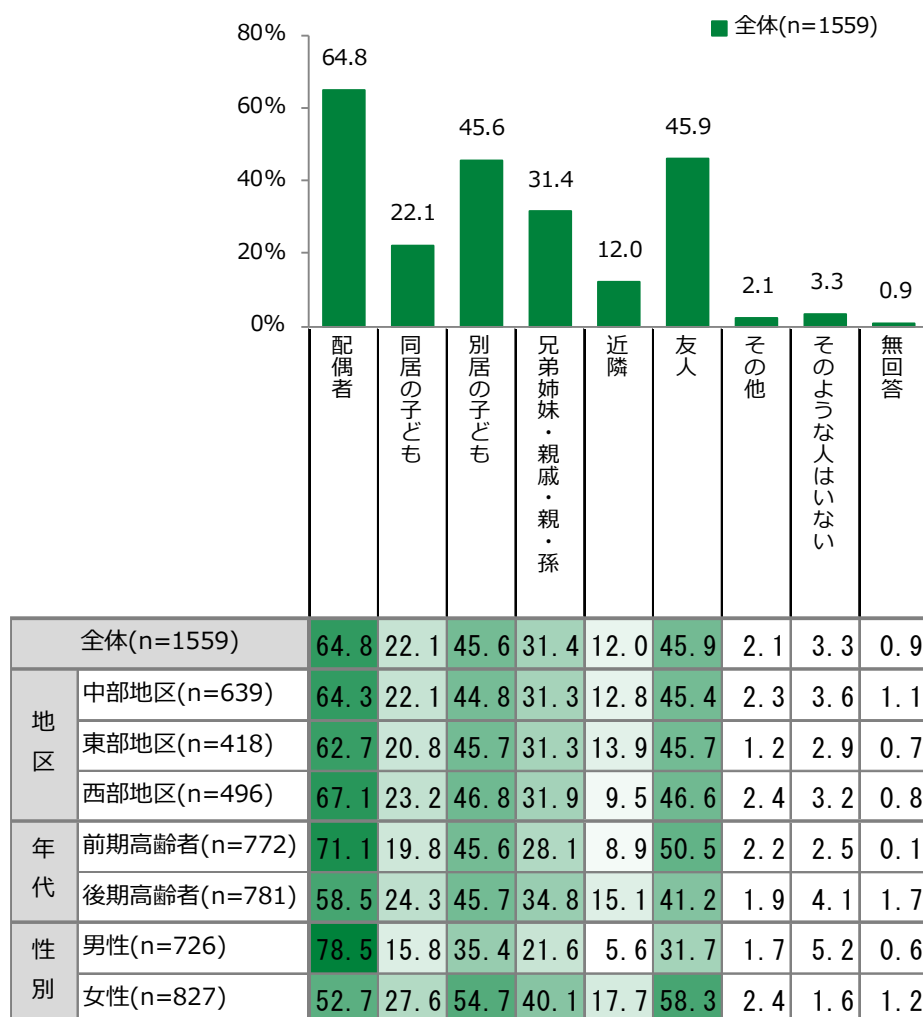
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 64.8%と最も高く、次いで「友人」(45.9%)、「別居の子ども」(45.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はありません。

年代別でみると、いずれの年代でも「配偶者」が最も高く、次いで前期高齢者では「友人」、後期高齢者では「別居の子ども」が高くなっています。

性別でみると、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も高くなっています。

図表 81 心配事や愚痴を聞いてくれる人



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 62.7%

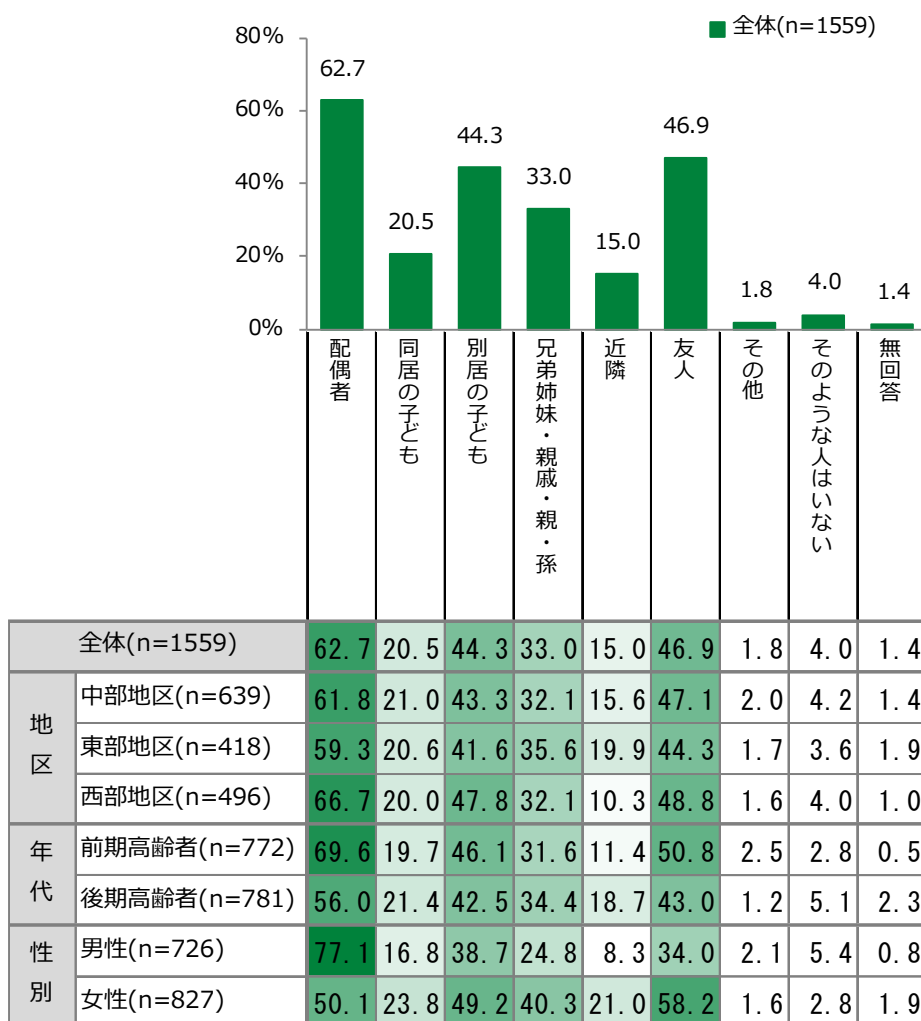
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 62.7%と最も高く、次いで「友人」(46.9%)、「別居の子ども」(44.3%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 13.6 ポイント、「友人」が 7.8 ポイント、後期高齢者で「近隣」が 7.3 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も高くなっています。

図表 82 心配事や愚痴を聞いてあげる人



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（〇はいくつでも）

☑ 「配偶者」が 70.9%

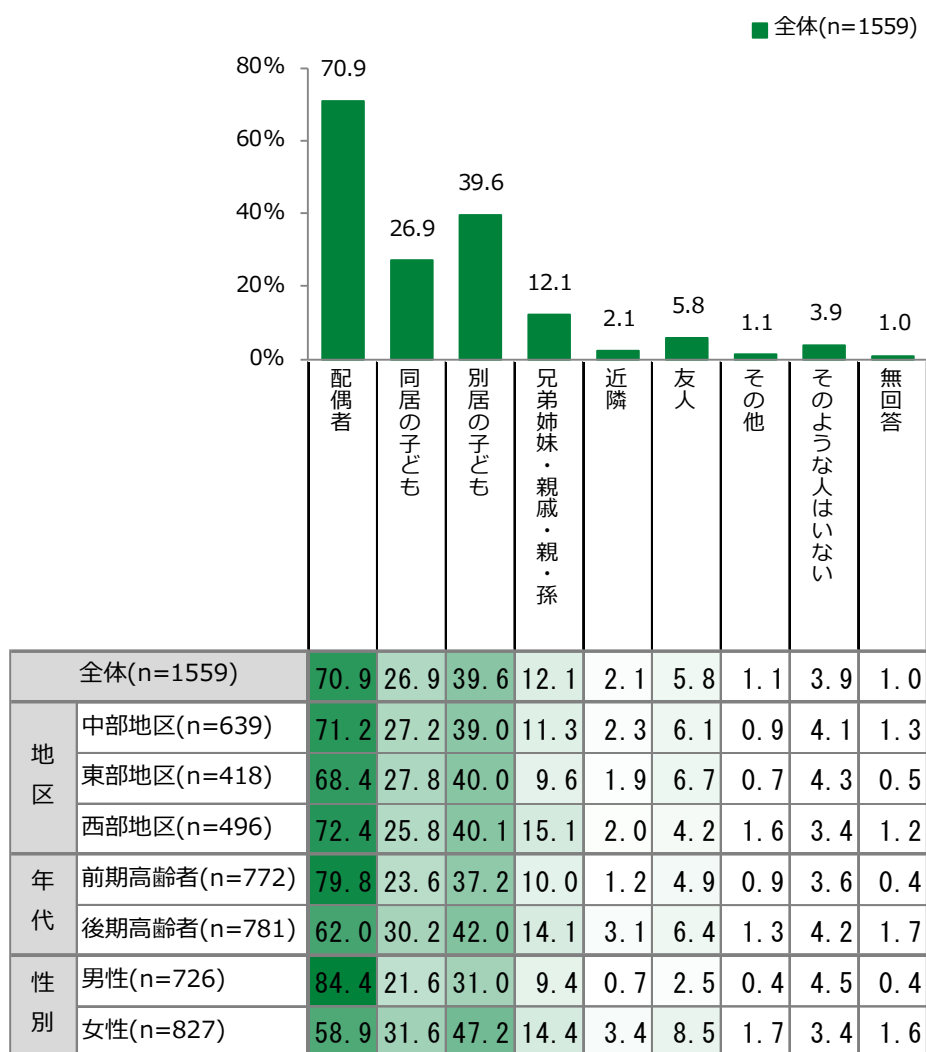
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 70.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」(39.6%)、「同居の子ども」(26.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 17.8 ポイント、後期高齢者で「同居の子ども」が 6.6 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「配偶者」が 25.5 ポイント、女性で「別居の子ども」が 16.2 ポイント、「同居の子ども」が 10.0 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 83 看病や世話をしてくれる人



(4) 反対に、看病や世話をしあける人(○はいくつでも)

☑ 「配偶者」が 69.7%

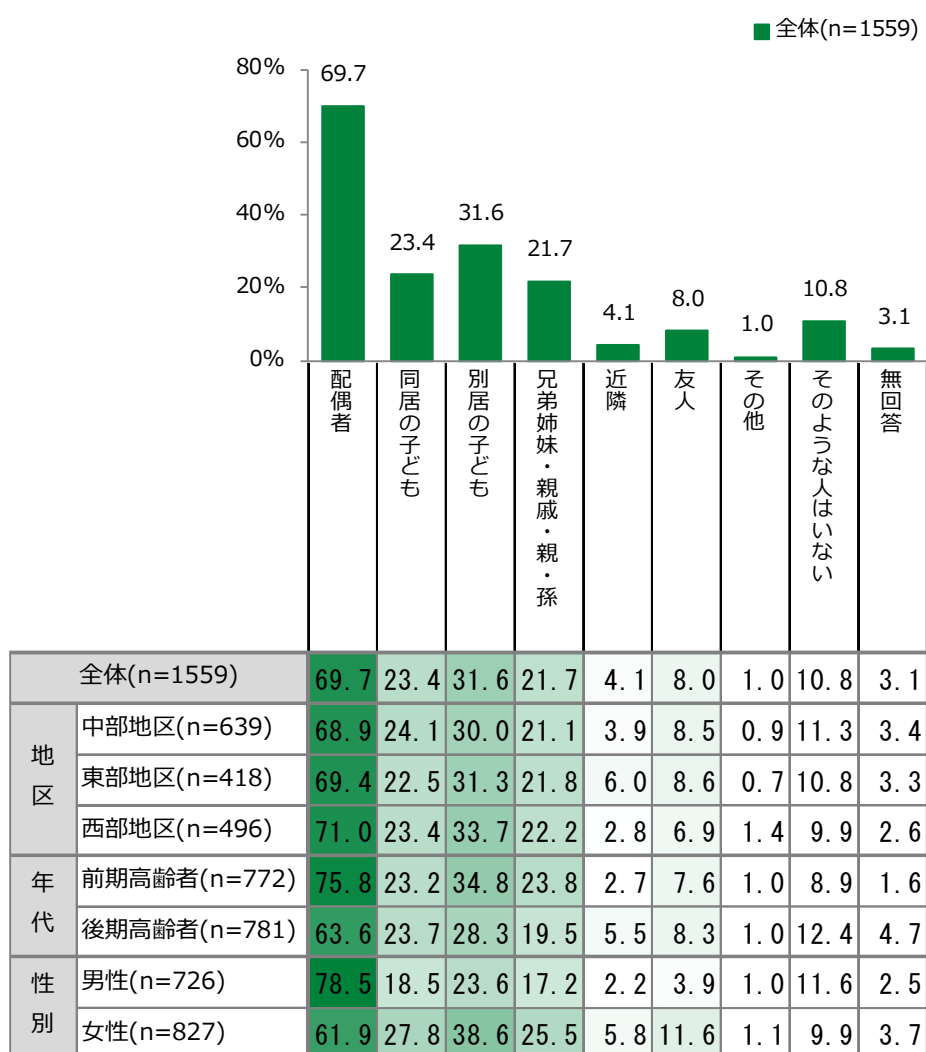
看病や世話をしあける人については、「配偶者」が 69.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」(31.6%)、「同居の子ども」(23.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「配偶者」が 12.2 ポイント、「別居の子ども」が 6.5 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「配偶者」が 16.6 ポイント、女性で「別居の子ども」が 15.0 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 84 看病や世話をしあける人



2. 家族や友人・知人以外の相談相手

問 60 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

☑ 「医師・歯科医師・看護師」が 31.6%

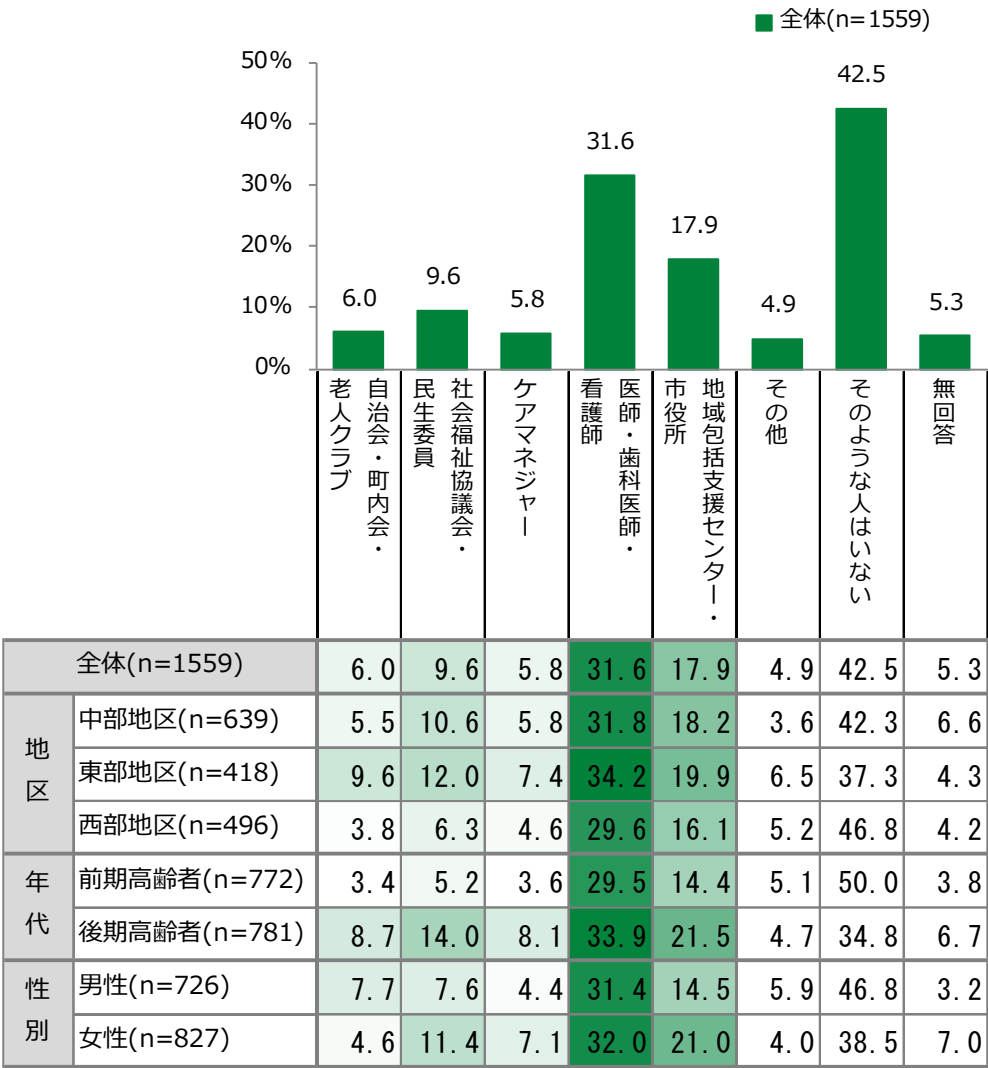
家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が 42.5%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(31.6%)、「地域包括支援センター・市役所」(17.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「そのような人はいない」が 15.2 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「そのような人はいない」が 8.3 ポイント、女性より高くなっています。

図表 85 家族や友人・知人以外の相談相手



3. 友人関係

問 61 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

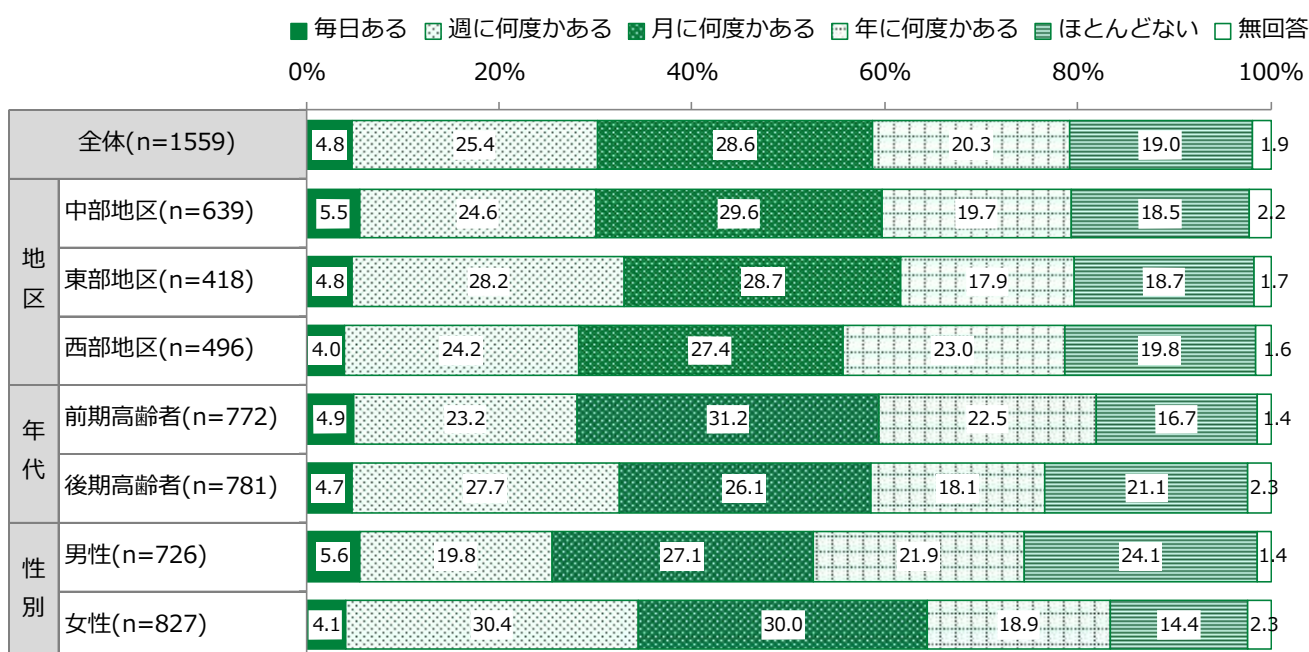
☑ 「月に何度かある」が28.6%

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が28.6%と最も高く、次いで「週に何度かある」(25.4%)、「年に何度かある」(20.3%)となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、女性で「週に何度かある」が10.6ポイント、男性で「ほとんどない」が9.7ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 86 友人・知人と会う頻度



8. 地域でのたすけあい・支え合いについて

1. 地域の人たちに求める手助け

問 62 あなたが、日常生活を送る上で不自由な状態になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（〇は3つまで）

☑ 「安否確認の声かけ」が31.6%

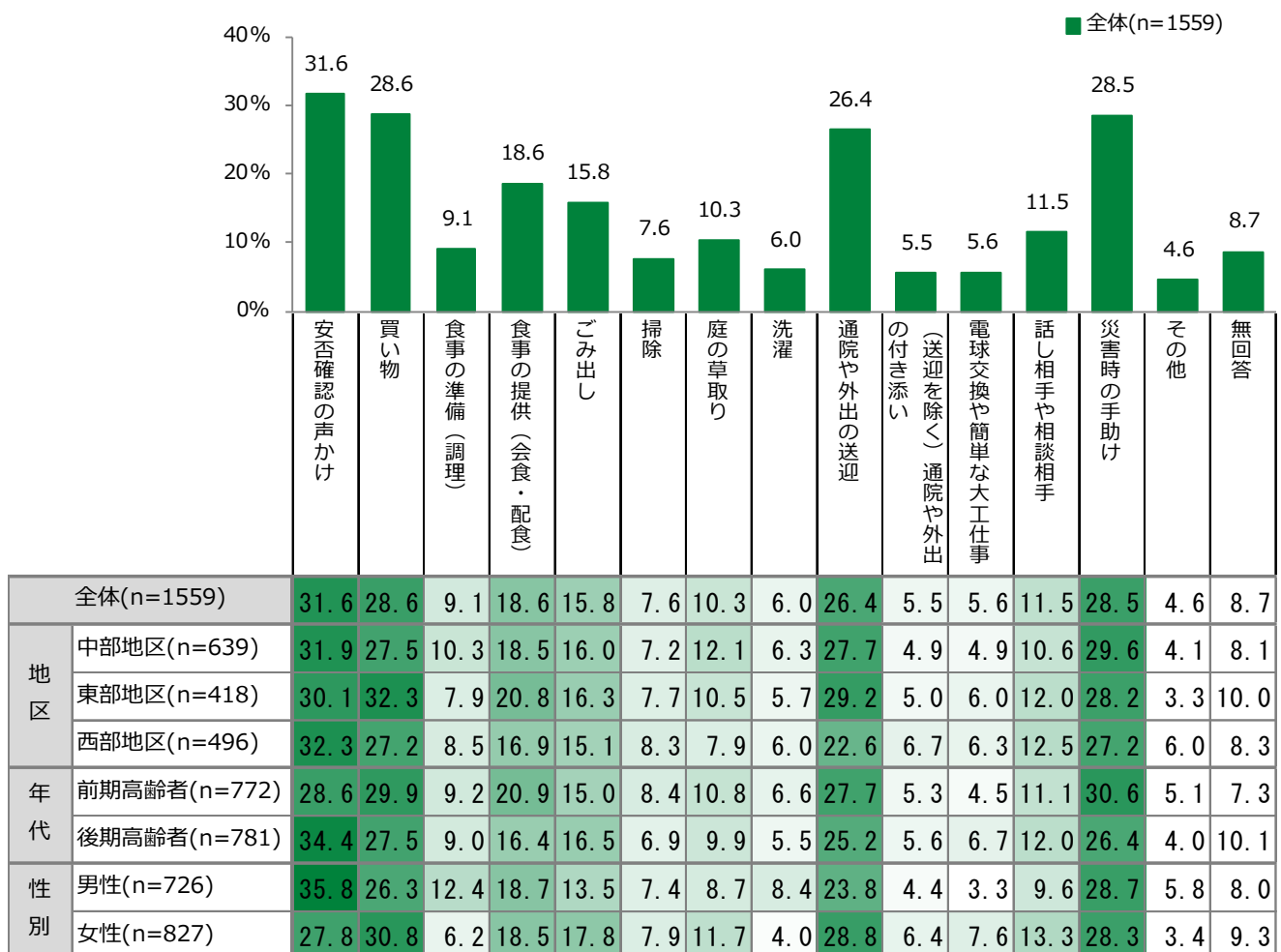
地域の人たちに求める手助けについては、「安否確認の声かけ」が31.6%と最も高く、次いで「買い物」(28.6%)、「災害時の手助け」(28.5%)、「通院や外出の送迎」(26.4%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「通院や外出の送迎」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「災害時の手助け」、後期高齢者では「安否確認の声かけ」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「安否確認の声かけ」、女性では「買い物」が最も高くなっています。

図表 87 地域の人たちに求める手助け



2. 現在受けている手助け

問 63 現在、あなたが受けている手助けについて、以下のA・Bそれぞれにお答えください。

A. あなたは、下記のような手助けを家族や家族以外の人から受けていますか。(○はいいくつでも)

☑ 「話し相手や相談相手」が16.0%

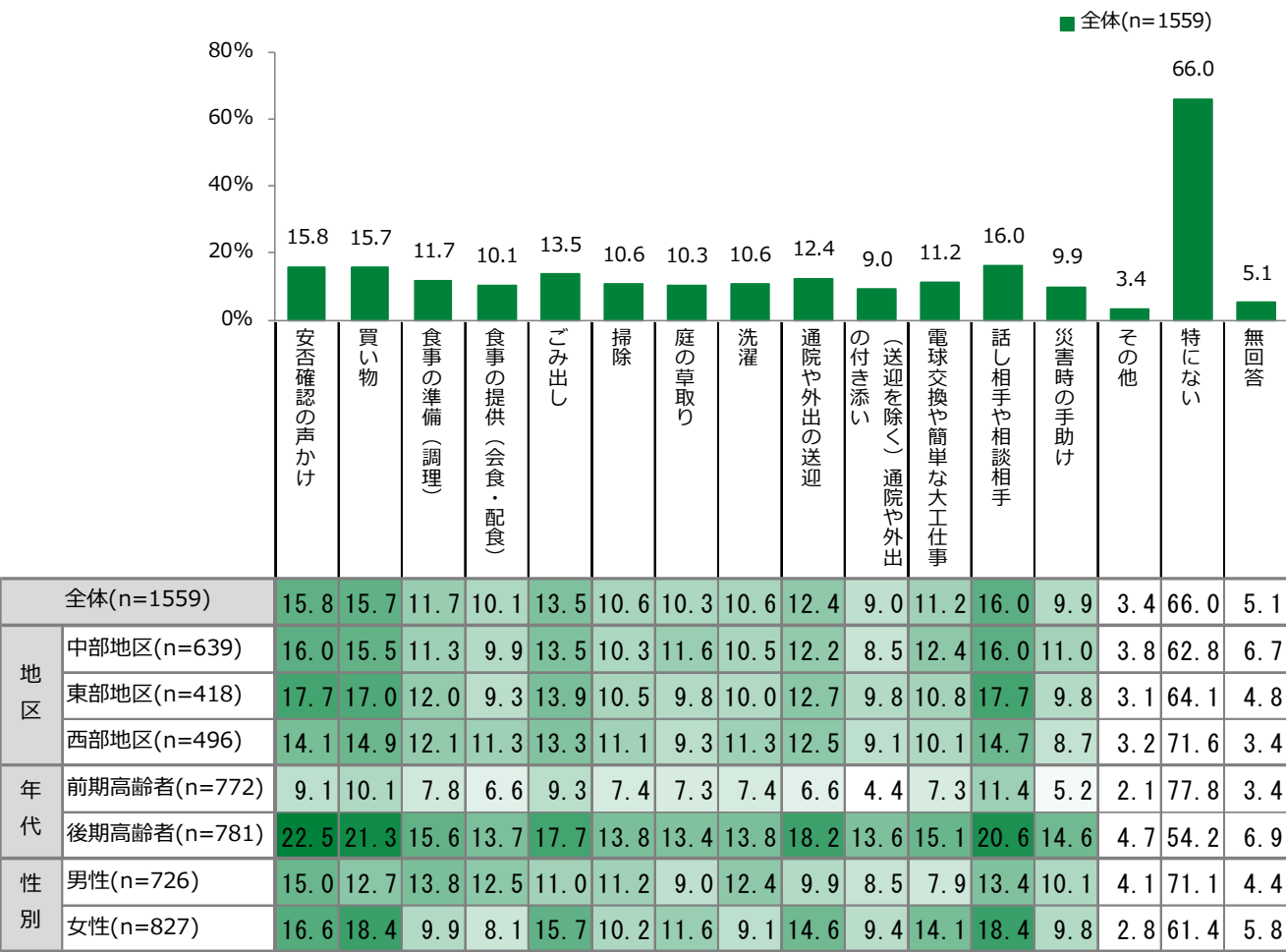
現在受けている手助けについては、「話し相手や相談相手」が16.0%、「安否確認の声かけ」が15.8%、「買い物」が15.7%、ごみ出しが13.5%となっています。また、「特にない」が66.0%と最も高くなっています。

地区別でみると、西部地区で「特にない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「特にない」が23.6ポイント、後期高齢者より高くなっています。また、「特にない」を除くすべての項目で、後期高齢者の回答が前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「特にない」が9.7ポイント、女性で「電球交換や簡単な大工仕事」が6.2ポイント、「買い物」が5.7ポイント、「話し相手や相談相手」が5.0ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 88 現在受けている手助け



B. Aで○をつけた手助けは誰から受けていますか（B欄のあてはまる番号いくつでも）

☑ すべての項目で「同居の家族」が最も高い

手助けをしてくれる人については、いずれの手助けにおいても「同居の家族」が最も高くなっています。なかでも、ごみ出しで85.2%と最も高く、次いで洗濯（83.7%）、食事の準備（調理）（83.6%）となっています。

そのほかに、災害時の手助けでは、「町内会・自治会や近所の人」が「同居の家族」「別居の家族や親戚」に次いで高くなっています。

図表 89 手助けをしてくれる人

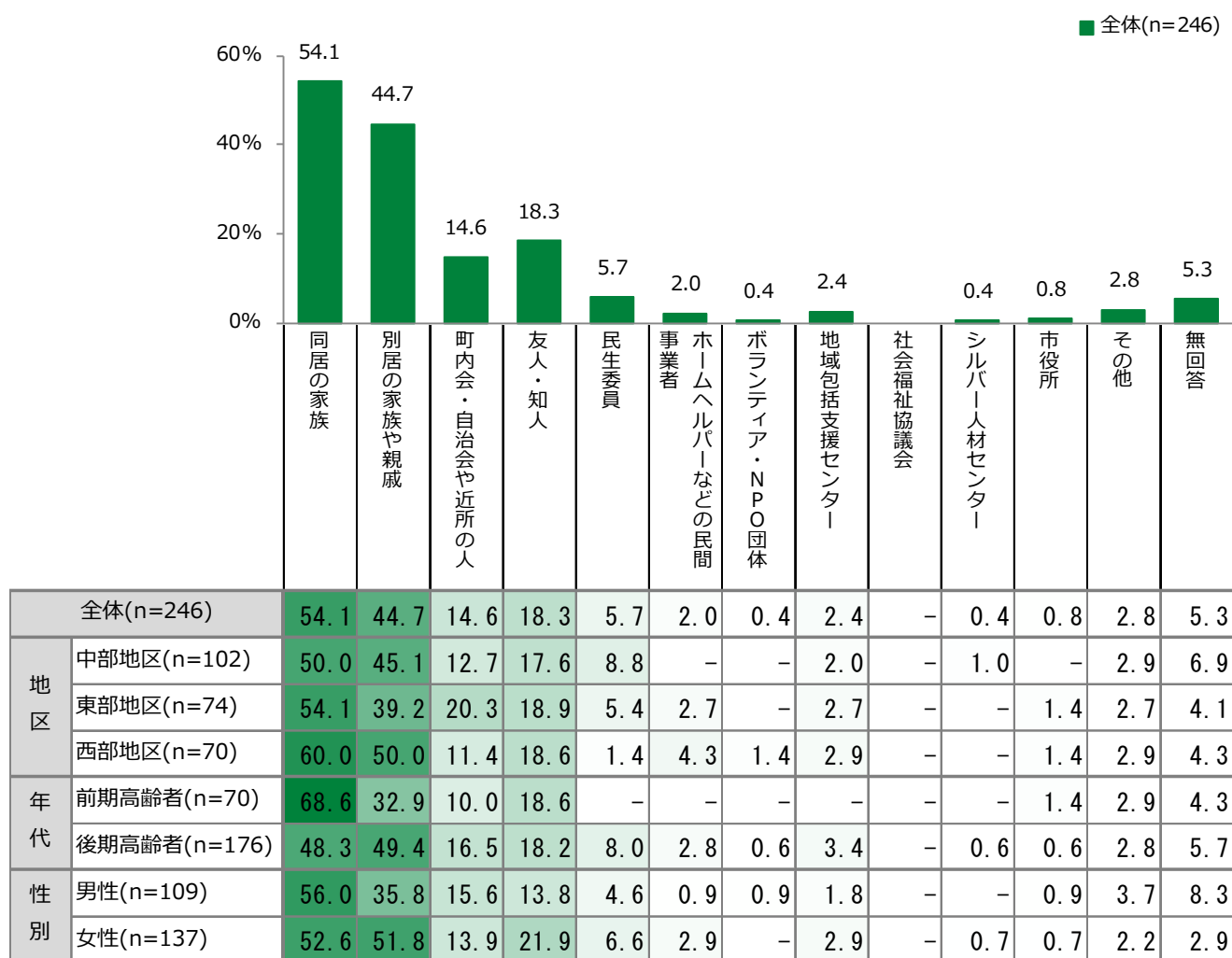
		同居の家族	別居の家族や親戚	近所の人 町内会・自治会や	友人・知人	民生委員	の民間事業者 ホームヘルパーなど	NPO団体	ボランティア・ センター	地域包括支援 センター	社会福祉協議会	シルバー人材 センター	市役所	その他	無回答
1	安否確認の声かけ (n=246)	54.1	44.7	14.6	18.3	5.7	2.0	0.4	2.4	-	0.4	0.8	2.8	5.3	
2	買い物 (n=245)	67.3	29.0	1.6	6.1	0.8	0.4	0.8	-	-	-	-	2.4	8.2	
3	食事の準備（調理） (n=183)	83.6	15.8	0.5	1.6	-	0.5	0.5	-	-	-	-	3.8	2.7	
4	食事の提供（会食・配食） (n=158)	75.3	20.3	0.6	1.9	-	1.3	-	0.6	-	-	-	5.7	6.3	
5	ごみ出し (n=210)	85.2	12.4	1.0	-	0.5	0.5	1.4	-	-	0.5	1.0	3.8	1.9	
6	掃除 (n=166)	77.1	14.5	0.6	0.6	-	2.4	0.6	1.2	-	0.6	-	3.6	5.4	
7	庭の草取り (n=161)	73.9	14.3	1.2	3.7	-	1.2	1.9	-	-	2.5	-	6.8	3.1	
8	洗濯 (n=166)	83.7	10.2	-	-	-	0.6	-	-	-	-	-	4.2	6.0	
9	通院や外出の送迎 (n=194)	68.6	29.9	1.0	3.6	-	1.5	-	-	0.5	-	-	4.1	7.7	
10	通院や外出の付き添い (n=140)	73.6	27.1	0.7	-	0.7	0.7	-	-	-	-	-	5.7	5.7	
11	電球交換や簡単な大工仕事 (n=174)	67.2	25.9	2.3	2.9	-	1.1	-	-	-	1.1	0.6	6.9	5.2	
12	話し相手や相談相手 (n=249)	65.1	37.8	6.4	25.7	1.2	0.8	-	2.4	-	0.4	-	2.4	6.8	
13	災害時の手助け (n=154)	72.1	24.7	13.0	5.8	2.6	0.6	0.6	1.9	-	-	-	5.2	5.8	
14	その他 (n=53)	64.2	17.0	1.9	5.7	-	3.8	-	3.8	1.9	-	3.8	9.4	9.4	

【安否確認の声かけ】

☑ 「同居の家族」が54.1%

安否確認の声かけをしてくれる人については、「同居の家族」が54.1%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(44.7%)、「友人・知人」(18.3%)、「町内会・自治会や近所の人」(14.6%)となっています。

図表 90 手助けをしてくれる人【安否確認の声かけ】

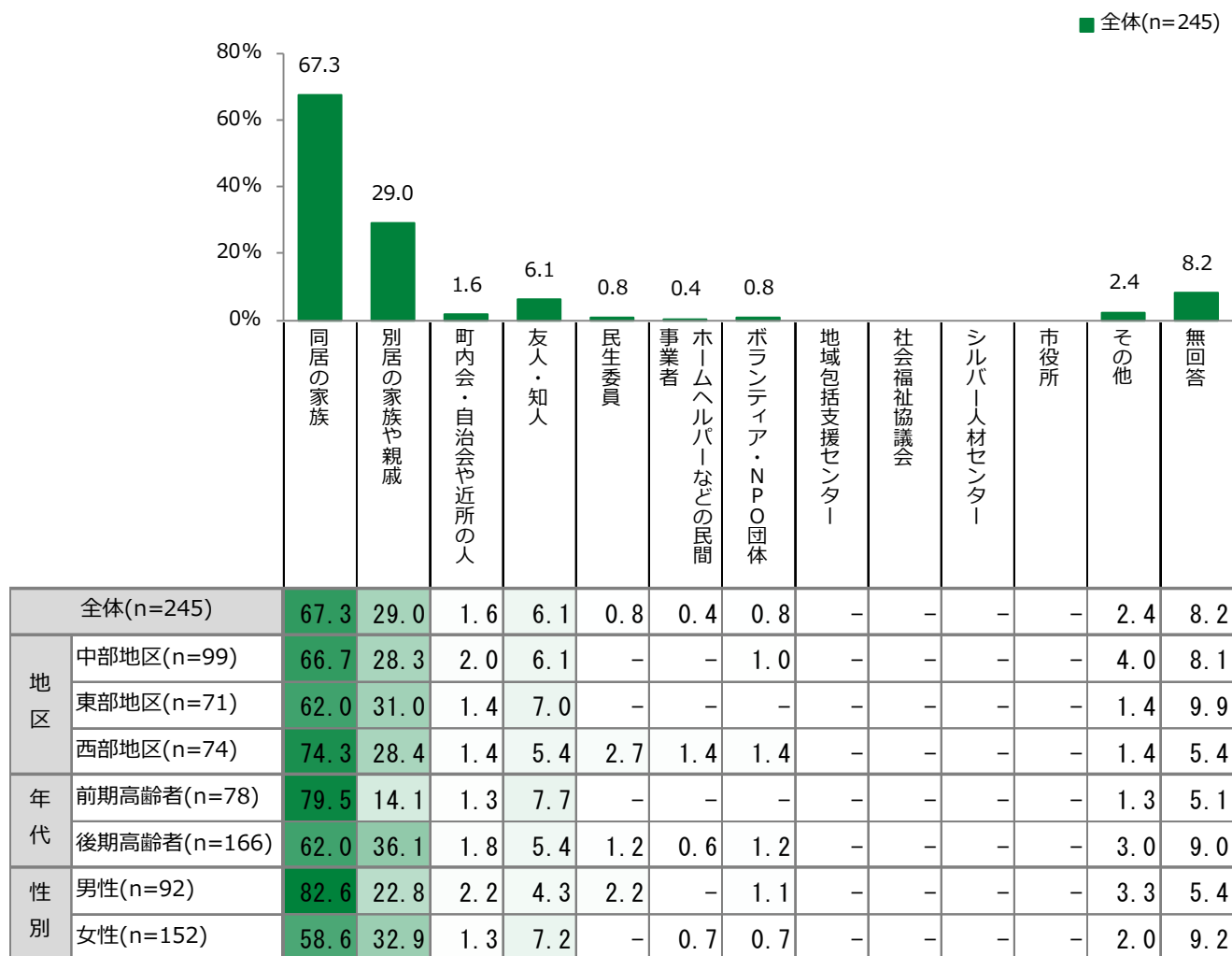


【買い物】

☑ 「同居の家族」が67.3%

買い物をしてくれる人については、「同居の家族」が67.3%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(29.0%)、「友人・知人」(6.1%)となっています。

図表 91 手助けをしてくれる人【買い物】

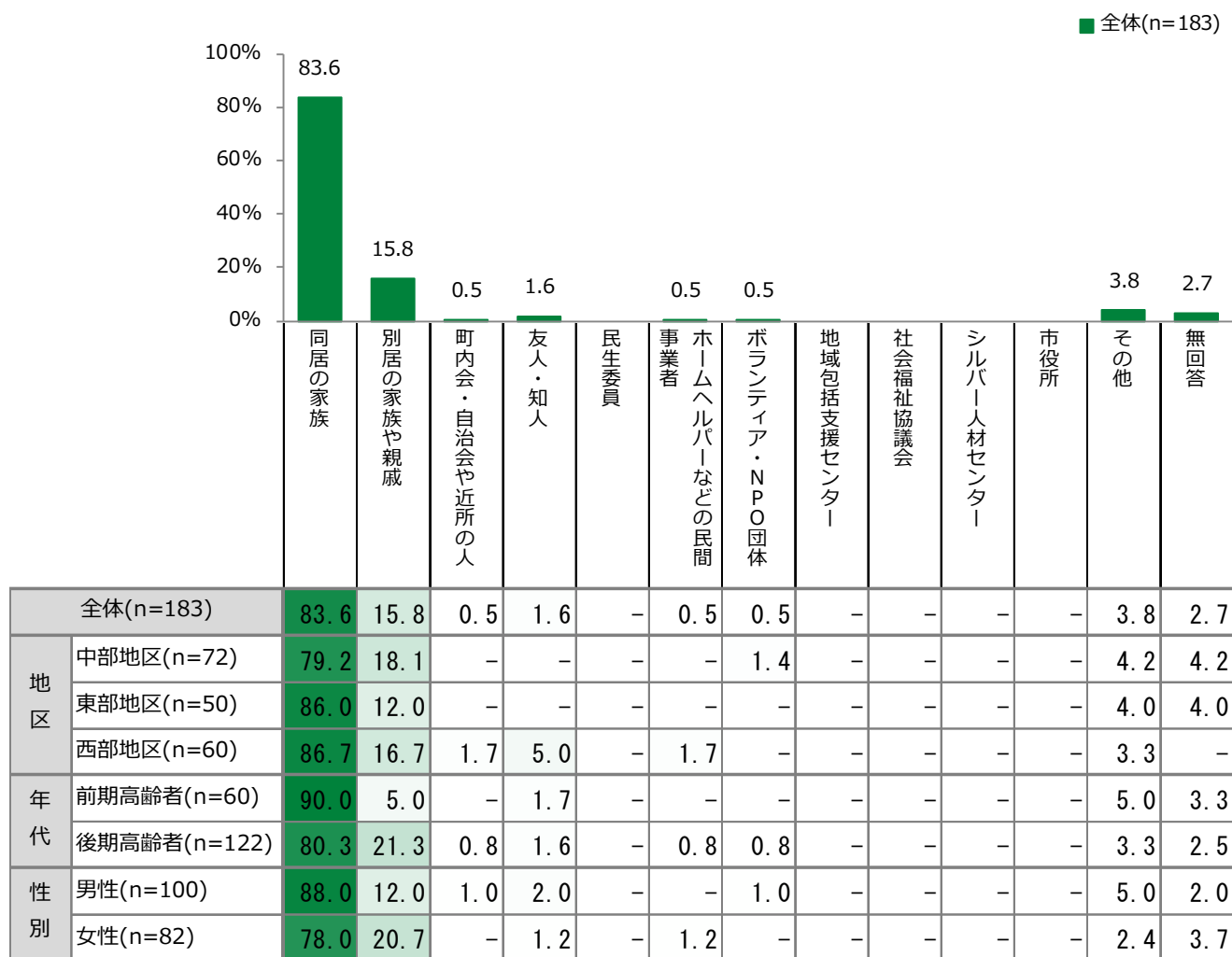


【食事の準備（調理）】

☑ 「同居の家族」が 83.6%

食事の準備をしてくれる人については、「同居の家族」が 83.6%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」（15.8%）となっています。

図表 92 手助けをしてくれる人【食事の準備（調理）】

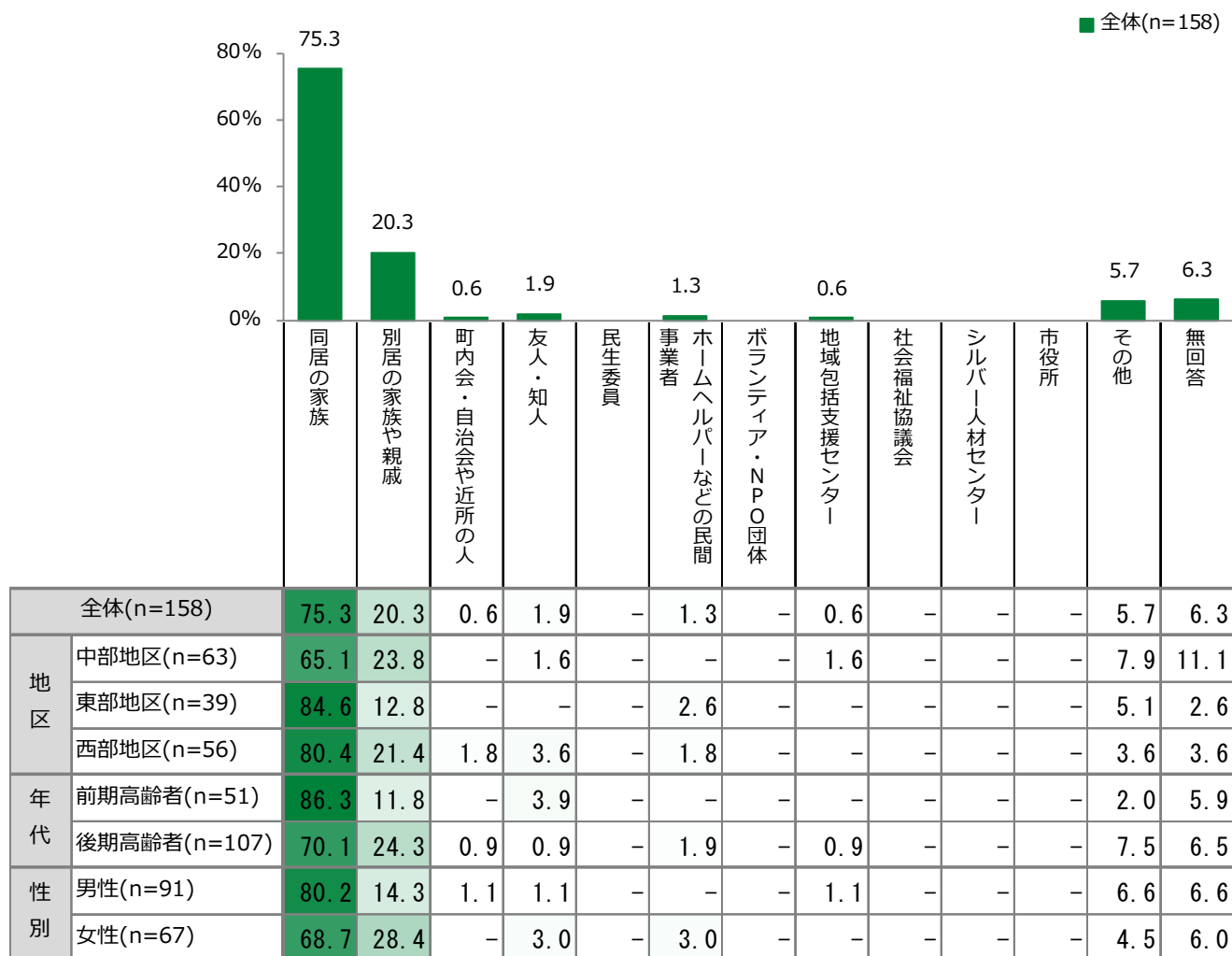


【食事の提供（会食・配食）】

☑ 「同居の家族」が 75.3%

食事の提供をしてくれる人については、「同居の家族」が 75.3%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」（20.3%）となっています。

図表 93 手助けをしてくれる人【食事の提供（会食・配食）】

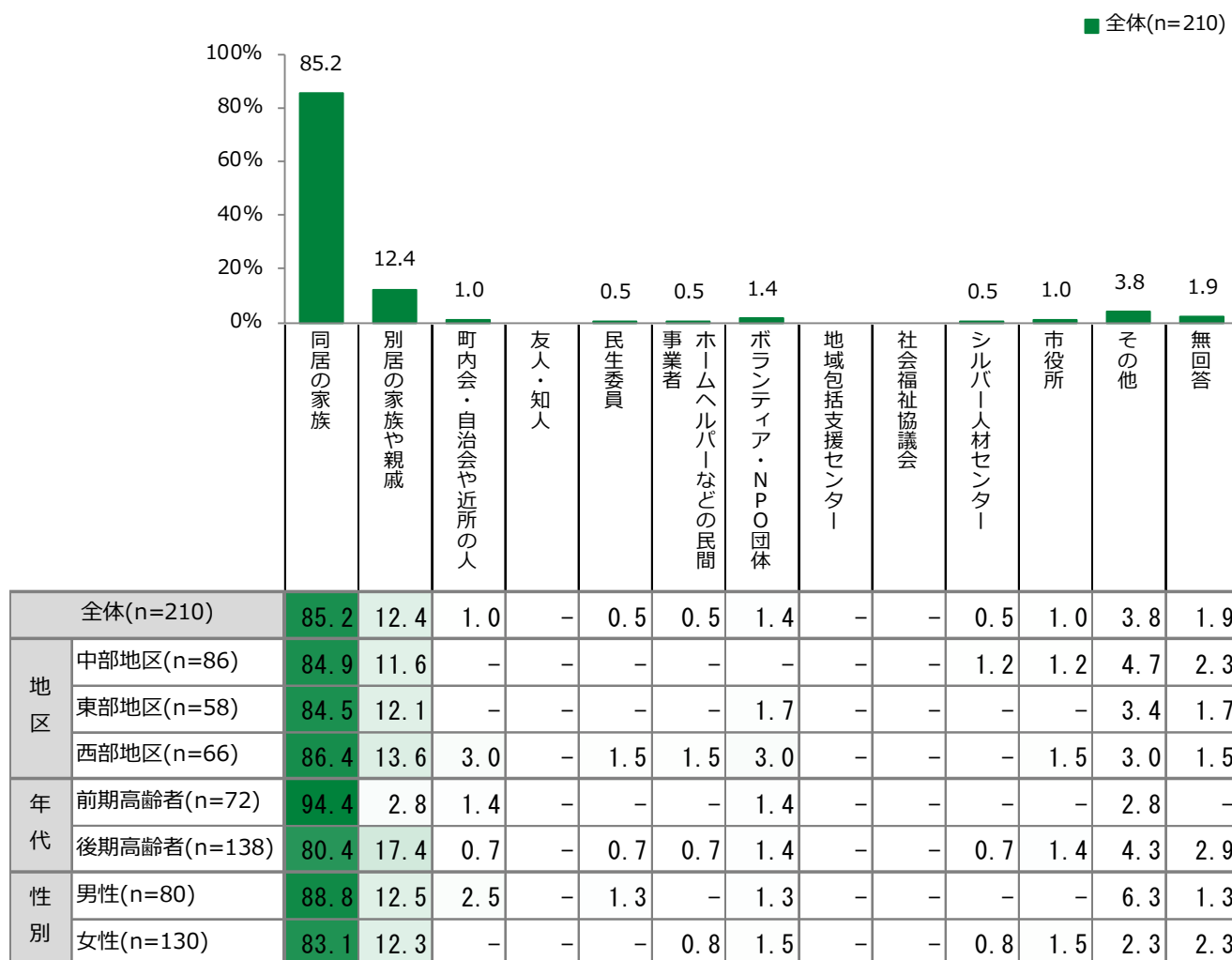


【ごみ出し】

☑ 「同居の家族」が 85.2%

ごみ出しをしてくれる人については、「同居の家族」が 85.2%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(12.4%)となっています。

図表 94 手助けをしてくれる人【ごみ出し】

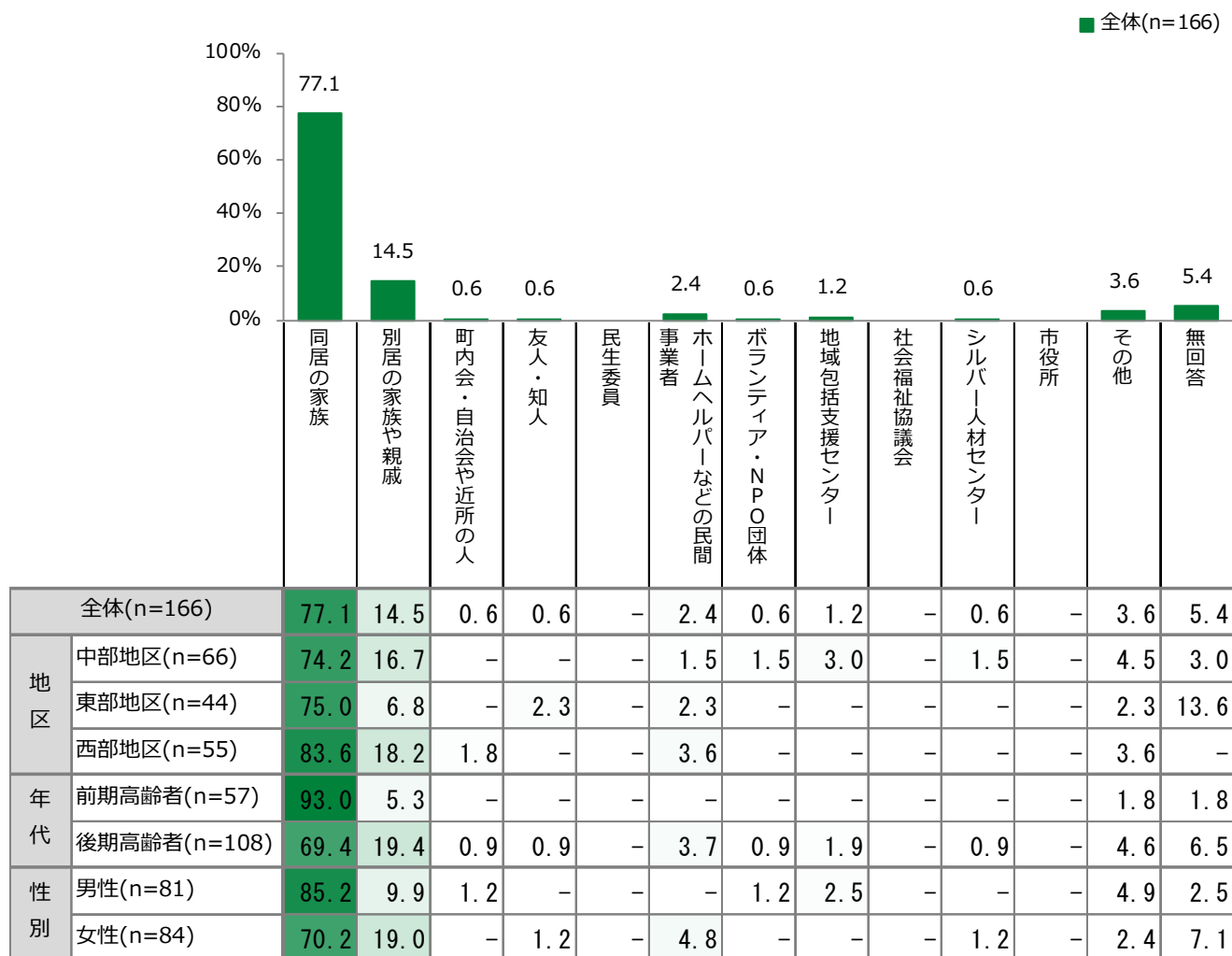


【掃除】

☑ 「同居の家族」が77.1%

掃除をしてくれる人については、「同居の家族」が77.1%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(14.5%)となっています。

図表 95 手助けをしてくれる人【掃除】

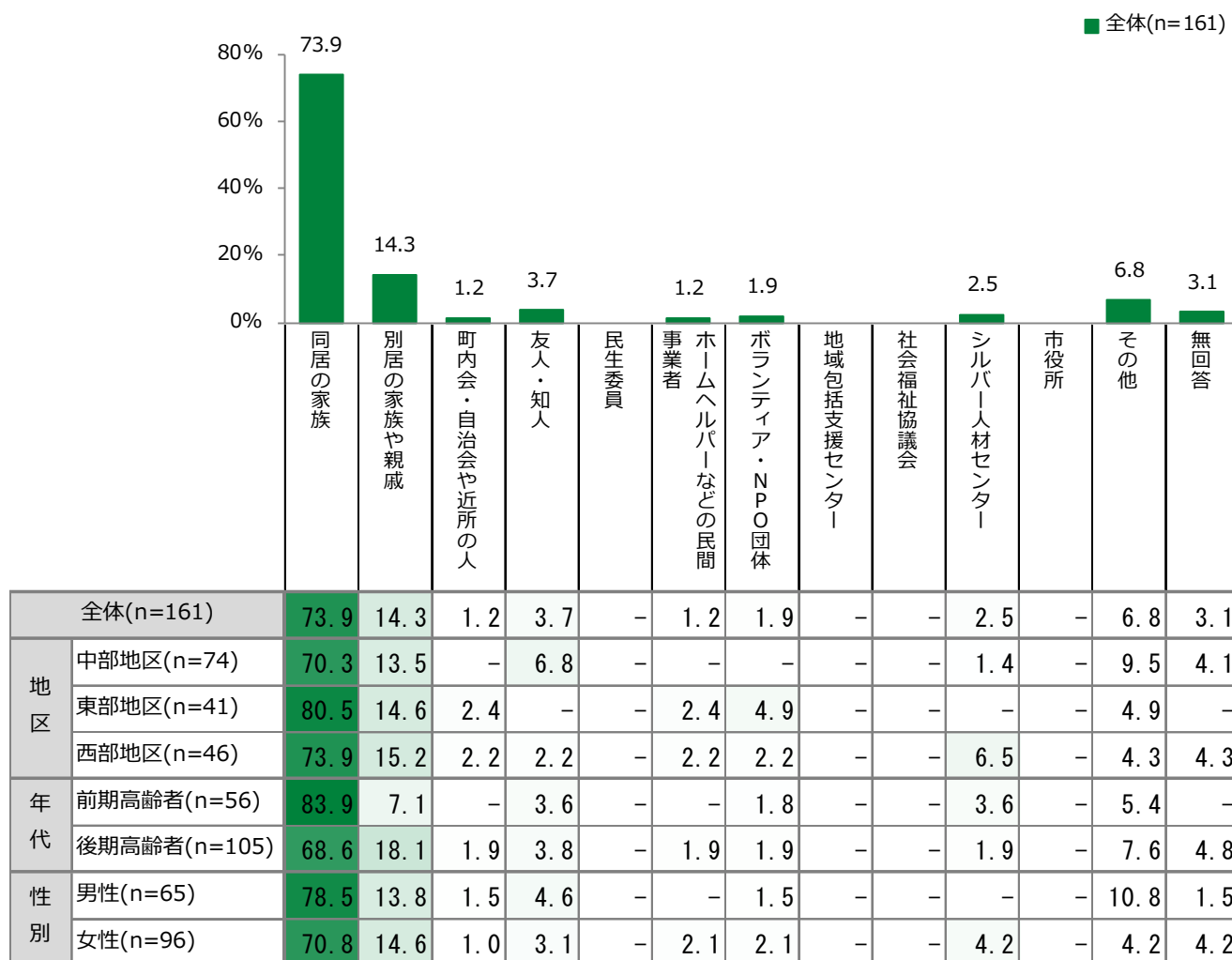


【庭の草取り】

☑ 「同居の家族」が 73.9%

庭の草取りをしてくれる人については、「同居の家族」が 73.9%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(14.3%)となっています。

図表 96 手助けをしてくれる人【庭の草取り】

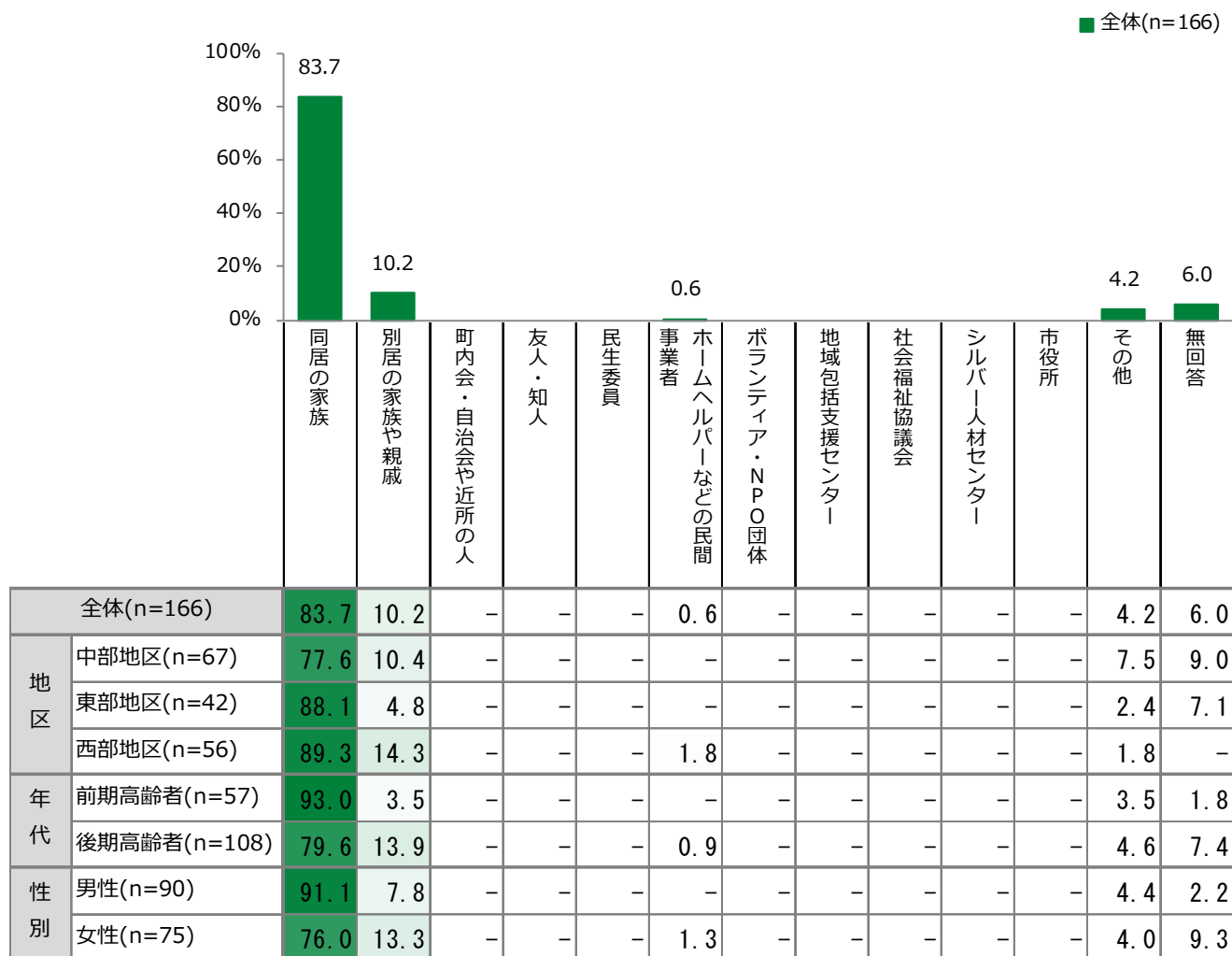


【洗濯】

☑ 「同居の家族」が83.7%

洗濯をしてくれる人については、「同居の家族」が83.7%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(10.2%)となっています。

図表 97 手助けをしてくれる人【洗濯】

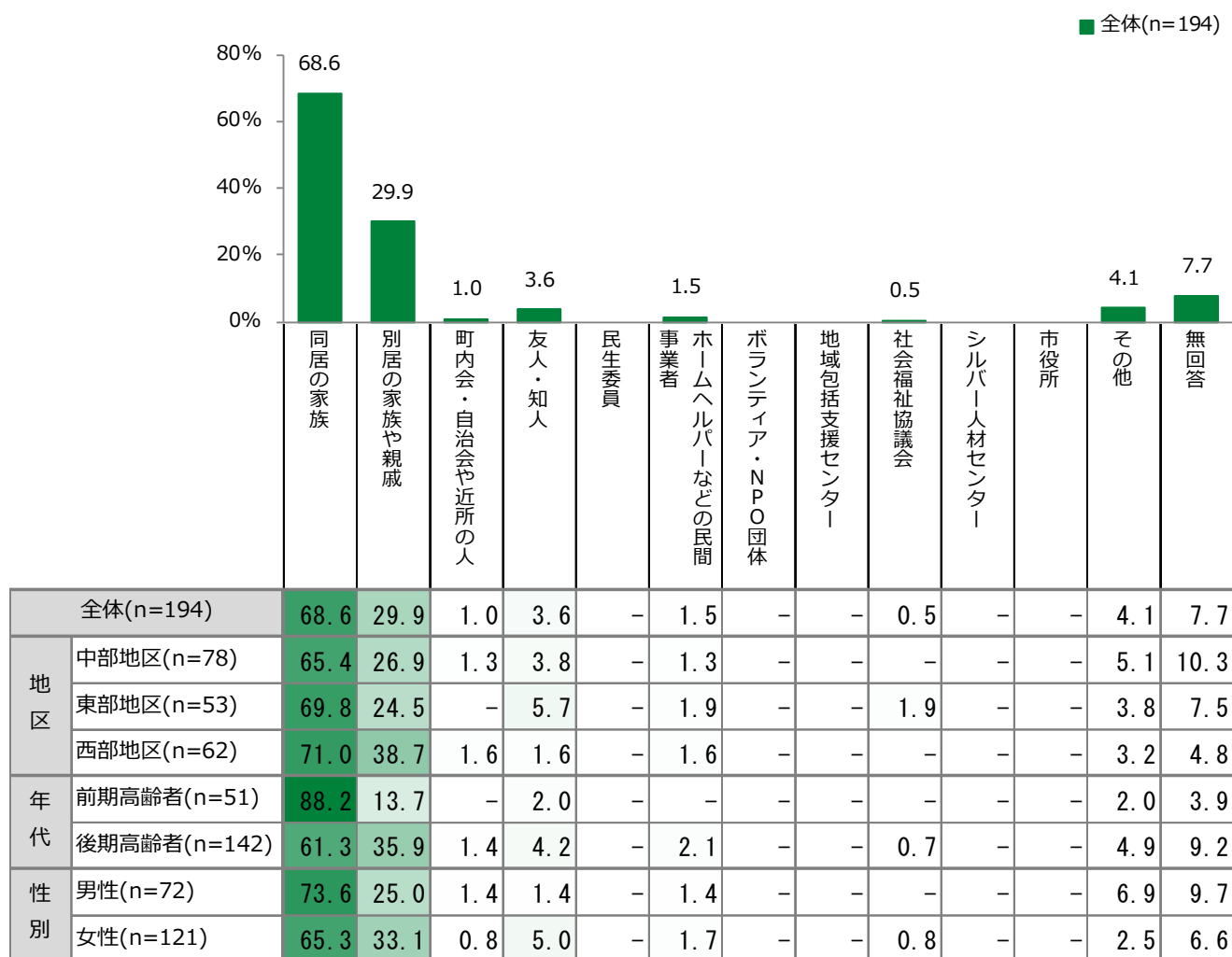


【通院や外出の送迎】

☑ 「同居の家族」が 68.6%

通院や外出の送迎をしてくれる人については、「同居の家族」が 68.6%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(29.9%)となっています。

図表 98 手助けをしてくれる人【通院や外出の送迎】

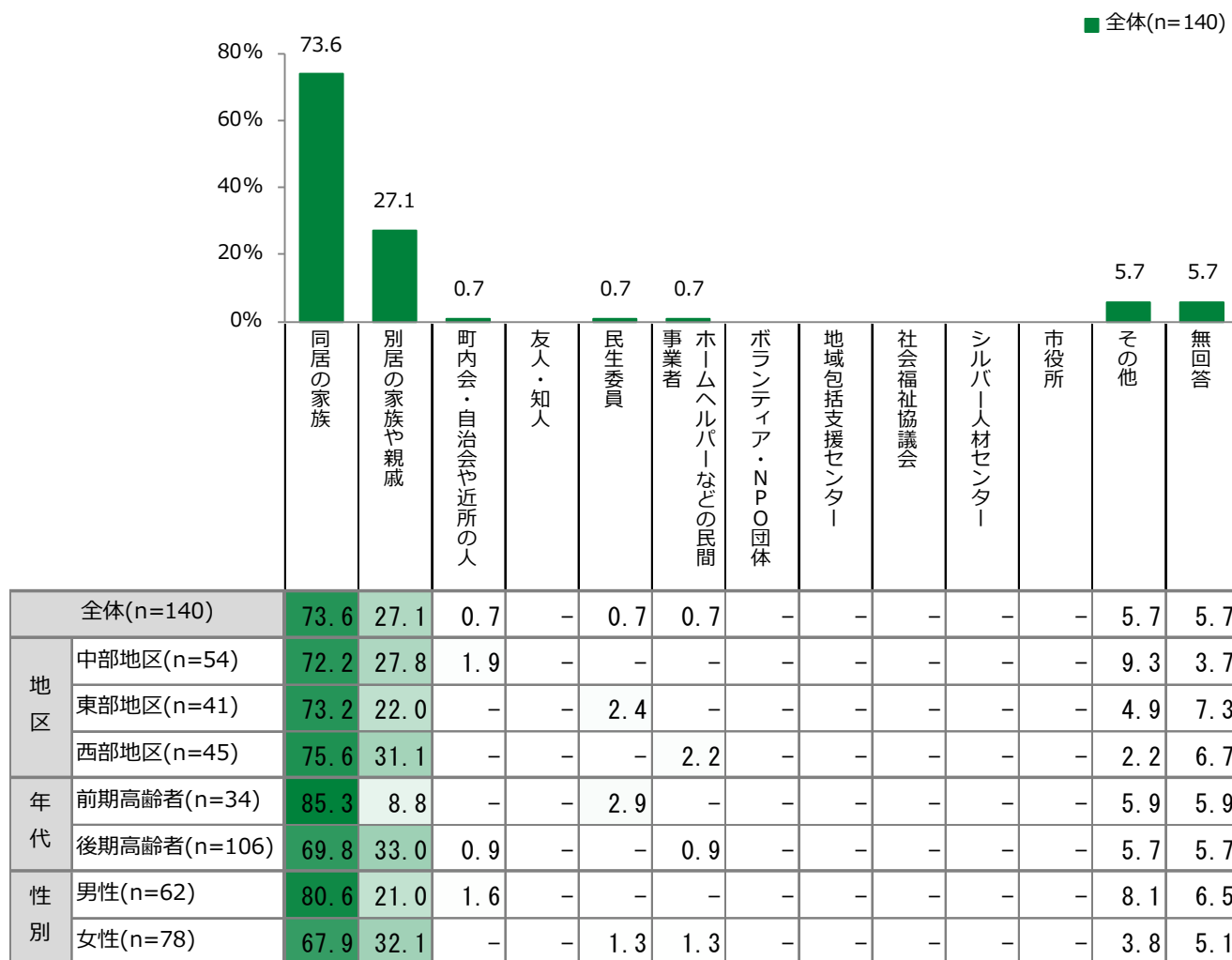


【(送迎を除く) 通院や外出の付き添い】

☑ 「同居の家族」が 73.6%

通院や外出の付き添いをしてくれる人については、「同居の家族」が 73.6%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(27.1%)となっています。

図表 99 手助けをしてくれる人【(送迎を除く) 通院や外出の付き添い】

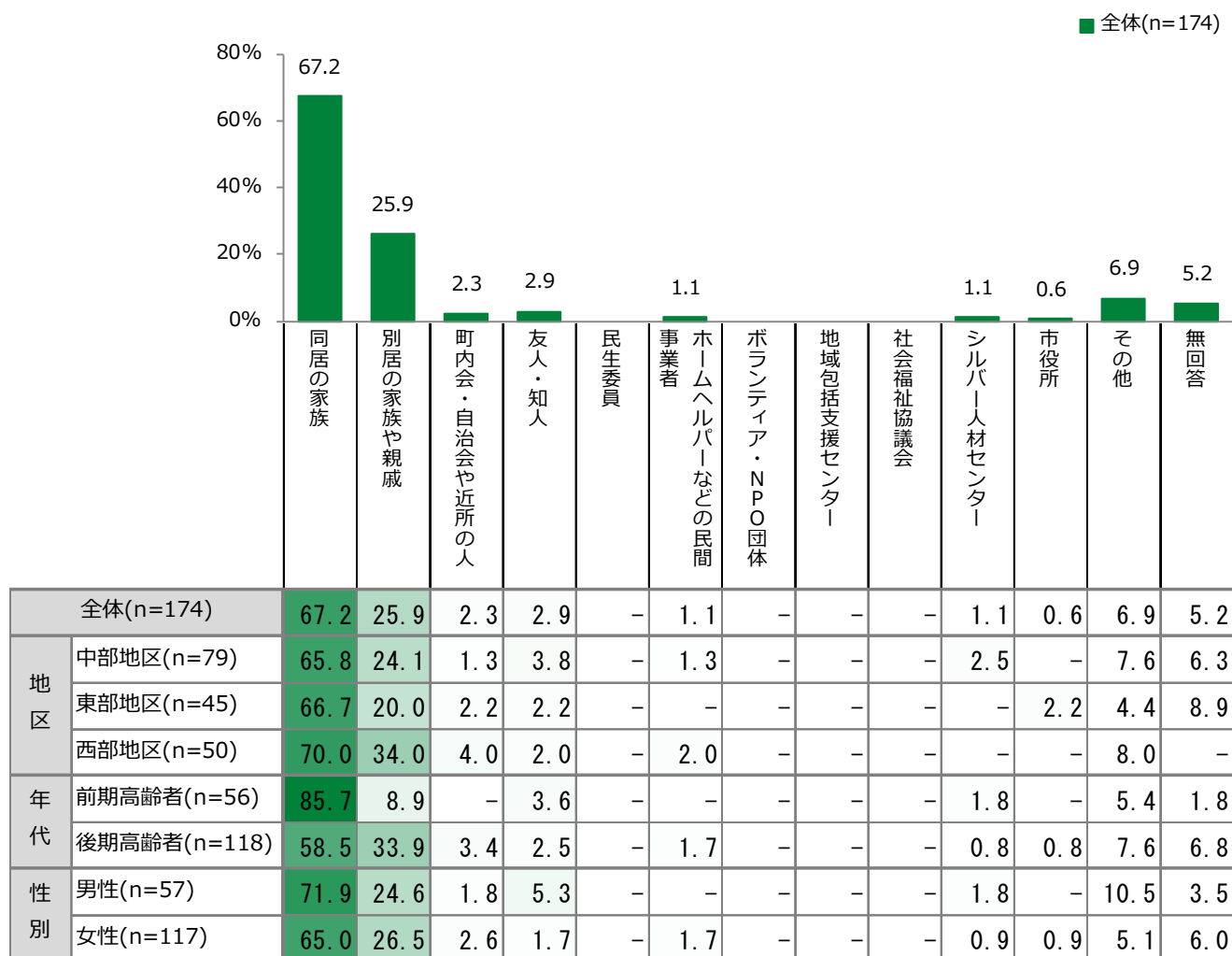


【電球交換や簡単な大工仕事】

☑ 「同居の家族」が 67.2%

電球交換や簡単な大工仕事をしてくれる人については、「同居の家族」が 67.2%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(25.9%)となっています。

図表 100 手助けをしてくれる人【電球交換や簡単な大工仕事】

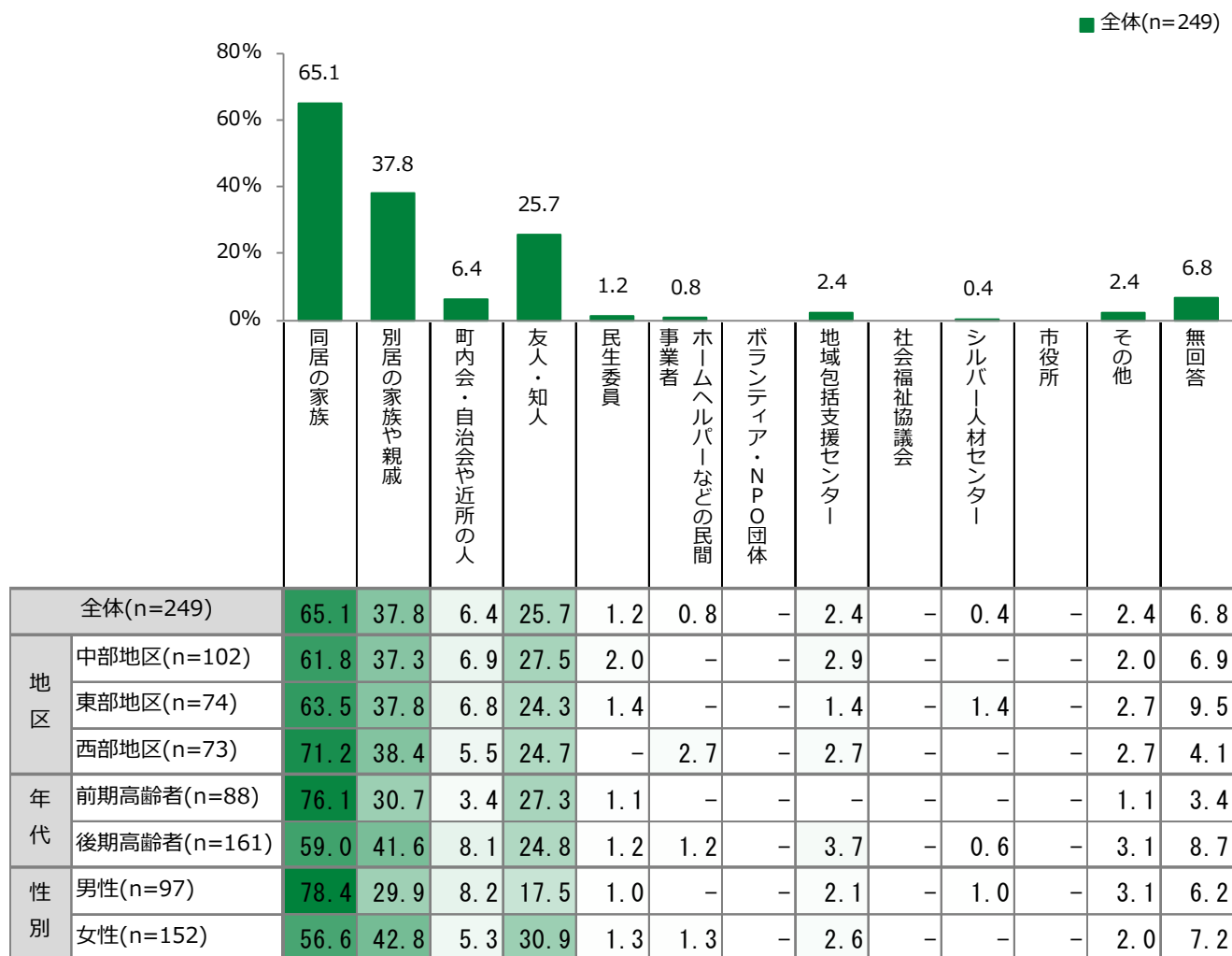


【話し相手や相談相手】

☑ 「同居の家族」が65.1%

話し相手や相談相手については、「同居の家族」が65.1%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(37.8%)、「友人・知人」(25.7%)、「町内会・自治会や近所の人」(6.4%)となっています。

図表 101 手助けをしてくれる人【話し相手や相談相手】

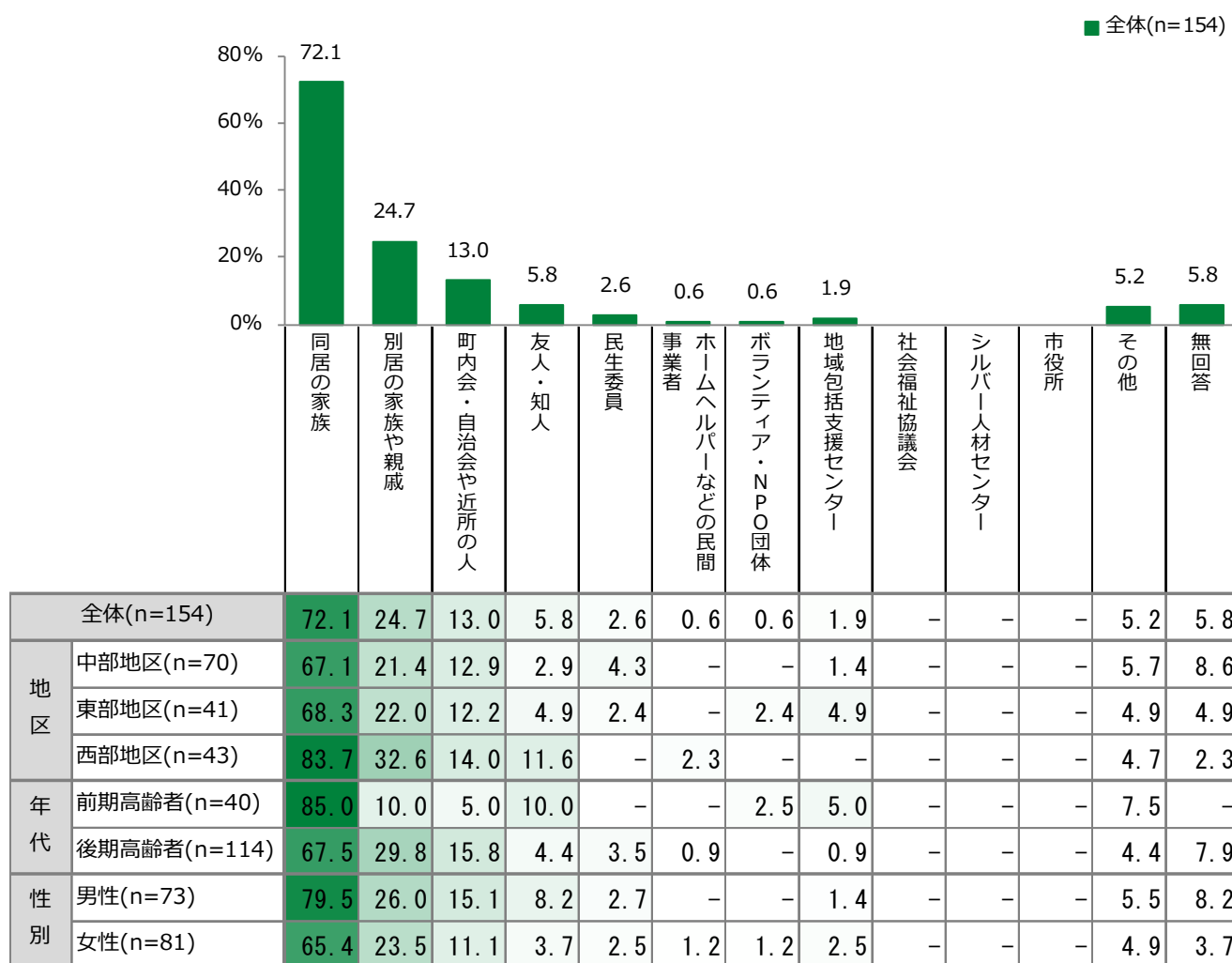


【災害時の手助け】

☑ 「同居の家族」が72.1%

災害時の手助けをしてくれる人については、「同居の家族」が72.1%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(24.7%)、「町内会・自治会や近所の人」(13.0%)、「友人・知人」(5.8%)となっています。

図表 102 手助けをしてくれる人【災害時の手助け】

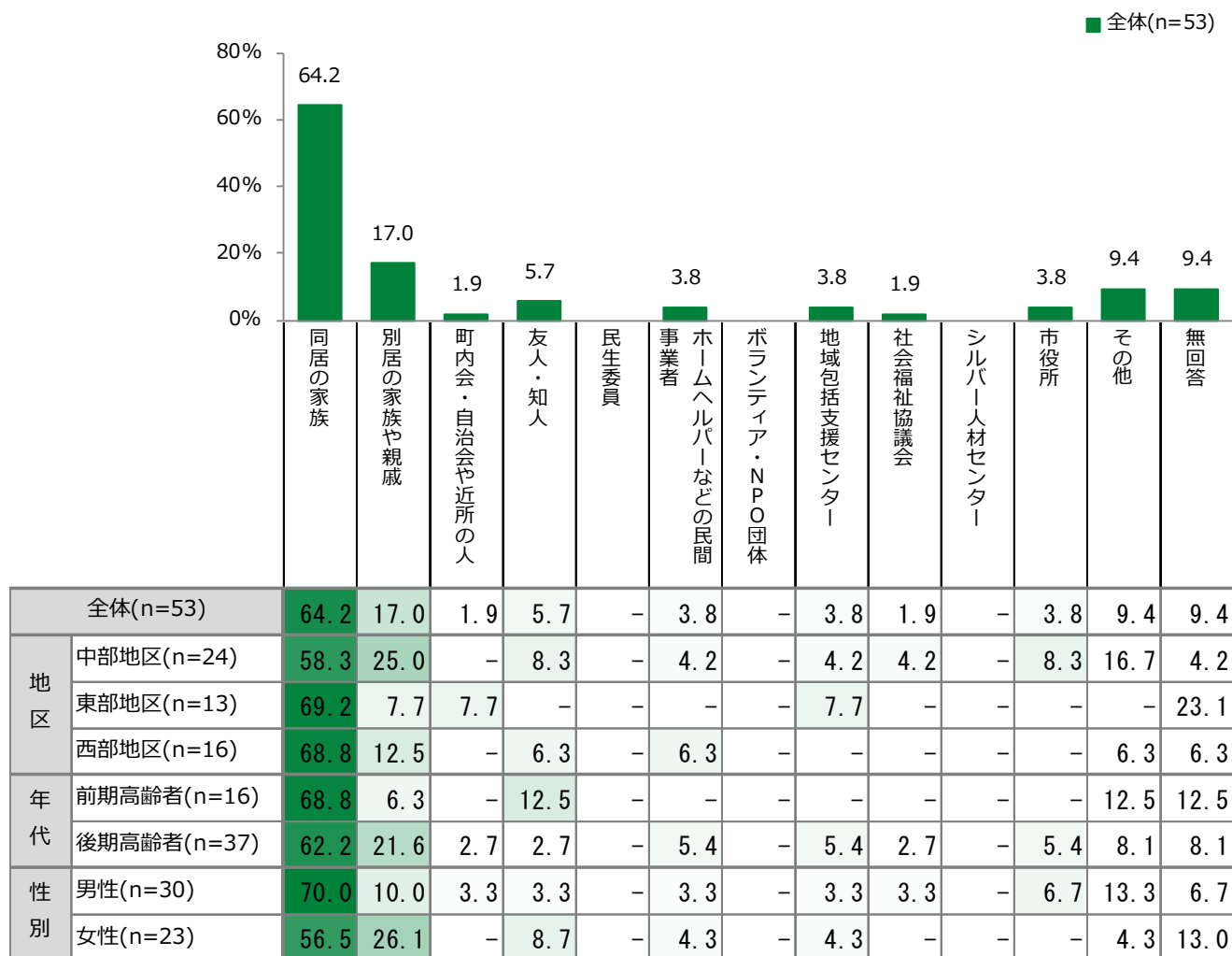


【その他】

☑ 「同居の家族」が 64.2%

その他の手助けをしてくれる人については、「同居の家族」が 64.2%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(17.0%)となっています。

図表 103 手助けをしてくれる人【その他】



3. 必要なのに受けていない手助け

問 64 あなたは、必要なのに受けていない手助けがありますか。(〇はいくつでも)

☑ 「特にない」が84.5%

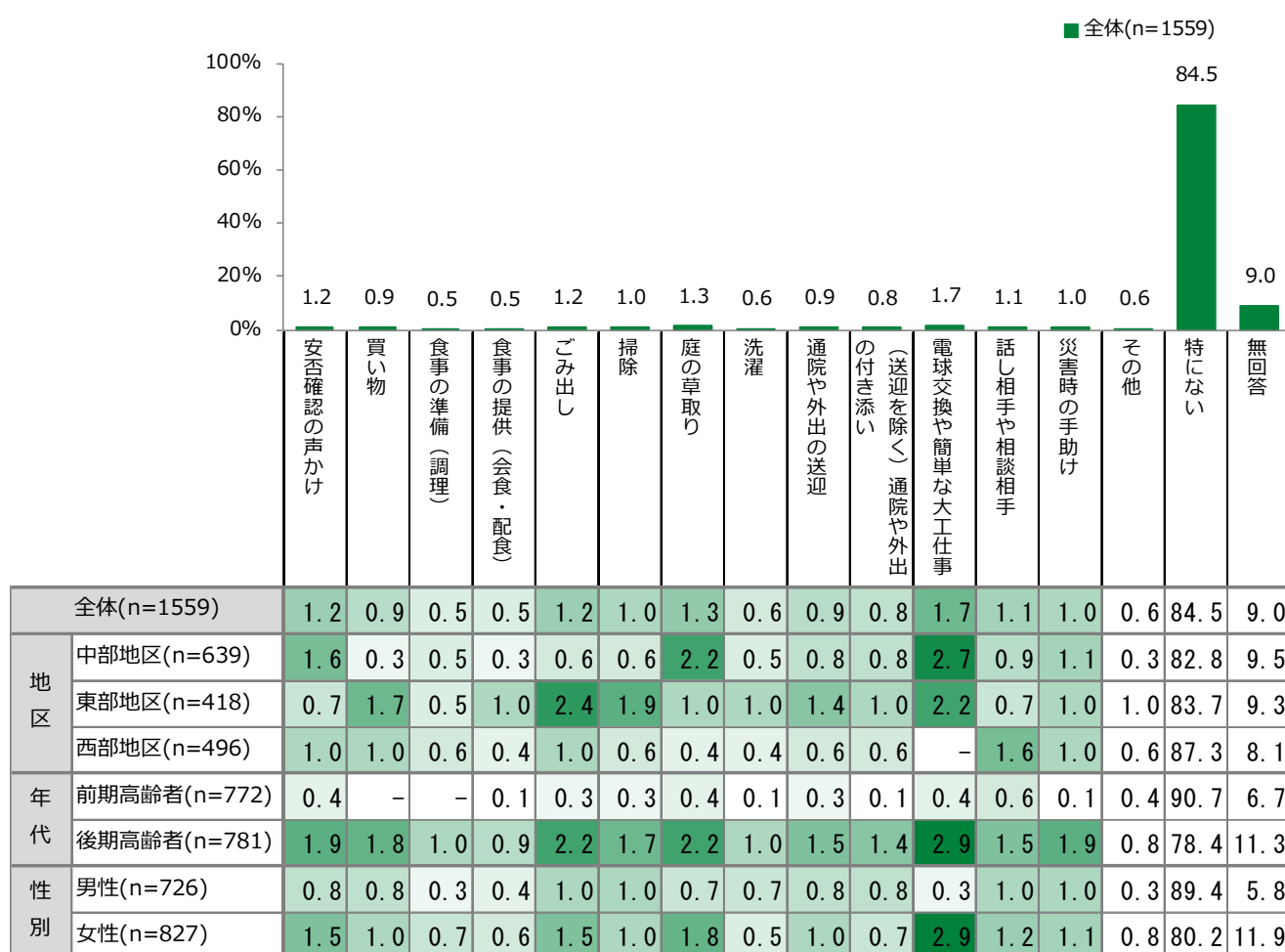
必要なのに受けていない手助けについては、「電球交換や簡単な大工仕事」が1.7%、「庭の草取り」が1.3%、「安否確認の声かけ」「ごみ出し」がともに1.2%となっています。また、「特にない」が84.5%と最も高くなっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「特にない」が12.3ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「特にない」が9.2ポイント、女性より高くなっています。

図表 104 必要なのに受けていない手助け



※問 64 で「15. 特にない」以外をお答えの方

問 64－1 必要なのに手助けを受けていない理由がありますか。(○はいくつでも)

☑ 「どこにお願いすればいいのか分からない」が31.7%

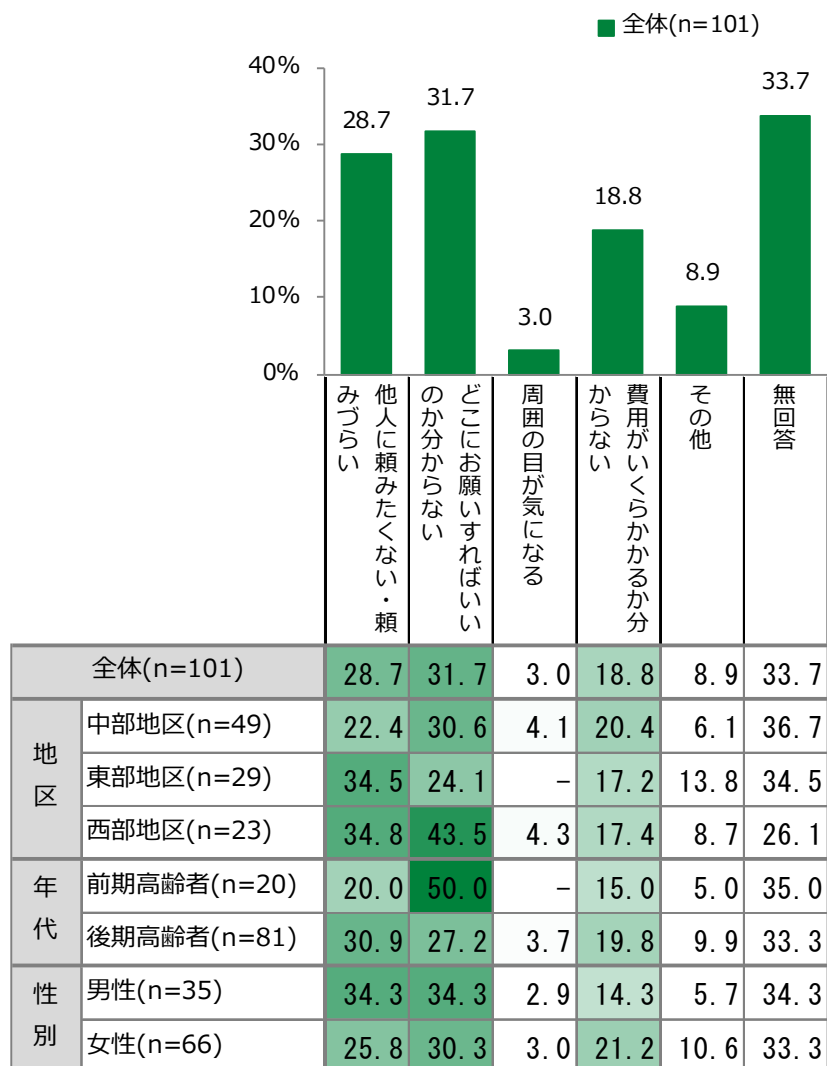
手助けを受けていない理由については、「どこにお願いすればいいのか分からない」が31.7%と最も高く、次いで「他人に頼みたくない・頼みづらい」(28.7%)、「費用がいくらかかるか分からない」(18.8%)、「周囲の目が気になる」(3.0%)となっています。

地区別でみると、中部・西部地区では「どこにお願いすればいいのか分からない」、東部地区では「他人に頼みたくない・頼みづらい」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「どこにお願いすればいいのか分からない」、後期高齢者では「他人に頼みたくない・頼みづらい」が最も高くなっています。

性別でみると、男性で「他人に頼みたくない・頼みづらい」が8.5ポイント、女性より高くなっています。

図表 105 手助けを受けていない理由



4. 地域の人たちに対してできる手助け

問 65 地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域での支え合いとして、家族以外の人に対してあなたができる手助けは何ですか。(〇は3つまで)

☑ 「安否確認の声かけ」が 49.5%

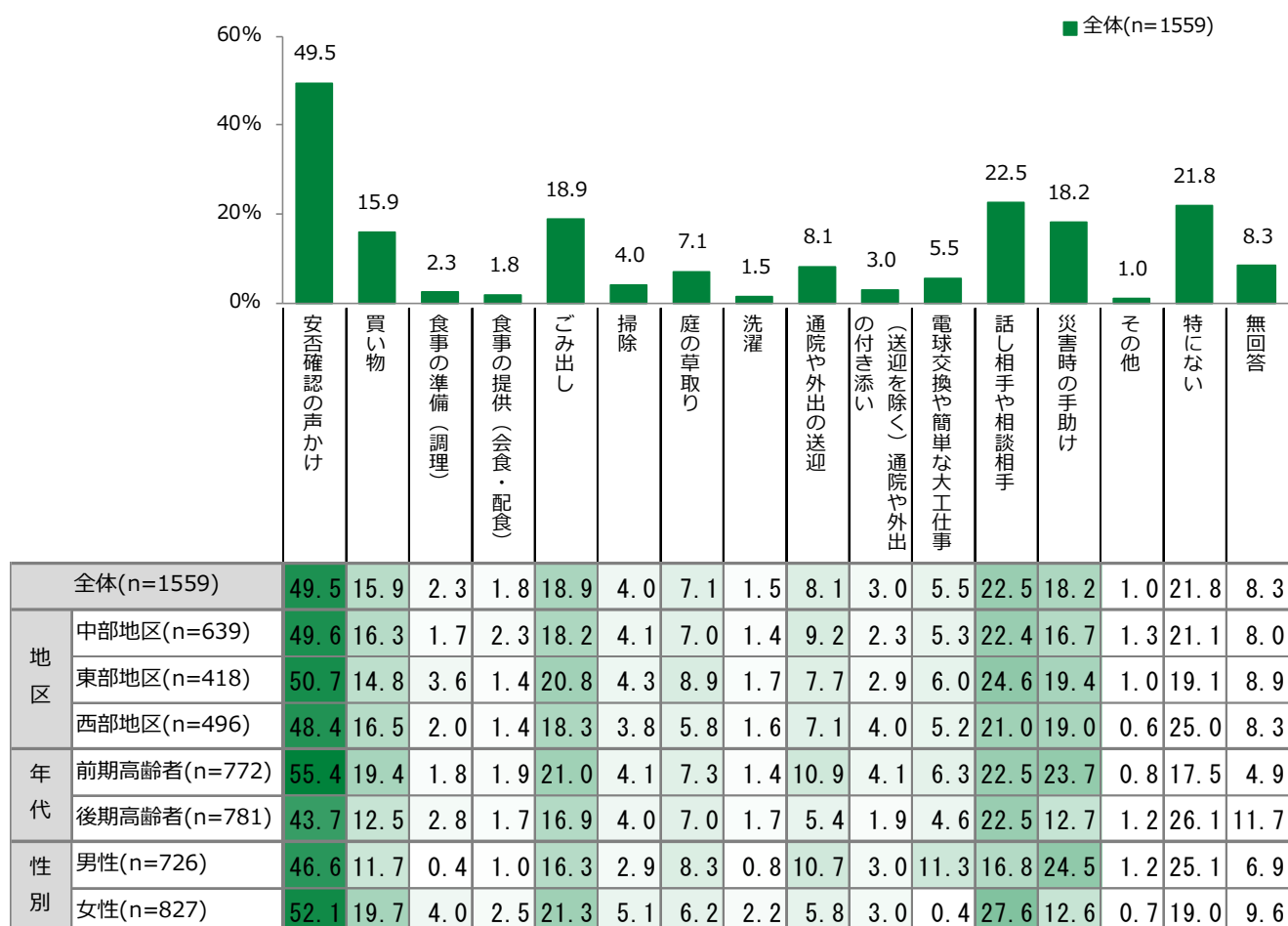
地域の支え合いとして家族以外の人に対してできる手助けについては、「安否確認の声かけ」が 49.5%と最も高く、次いで「話し相手や相談相手」(22.5%)、「ごみ出し」(18.9%)、「災害時の手助け」(18.2%)、「買い物」(15.9%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、いずれの年代でも「安否確認の声かけ」が最も高く、次いで前期高齢者では「災害時の手助け」、後期高齢者では「話し相手や相談相手」が高くなっています。

性別でみると、いずれの性別でも「安否確認の声かけ」が最も高く、次いで男性では「災害時の手助け」、女性では「話し相手や相談相手」が高くなっています。

図表 106 地域の人たちに対してできる手助け



9. 認知症について

1. 認知症の症状の有無

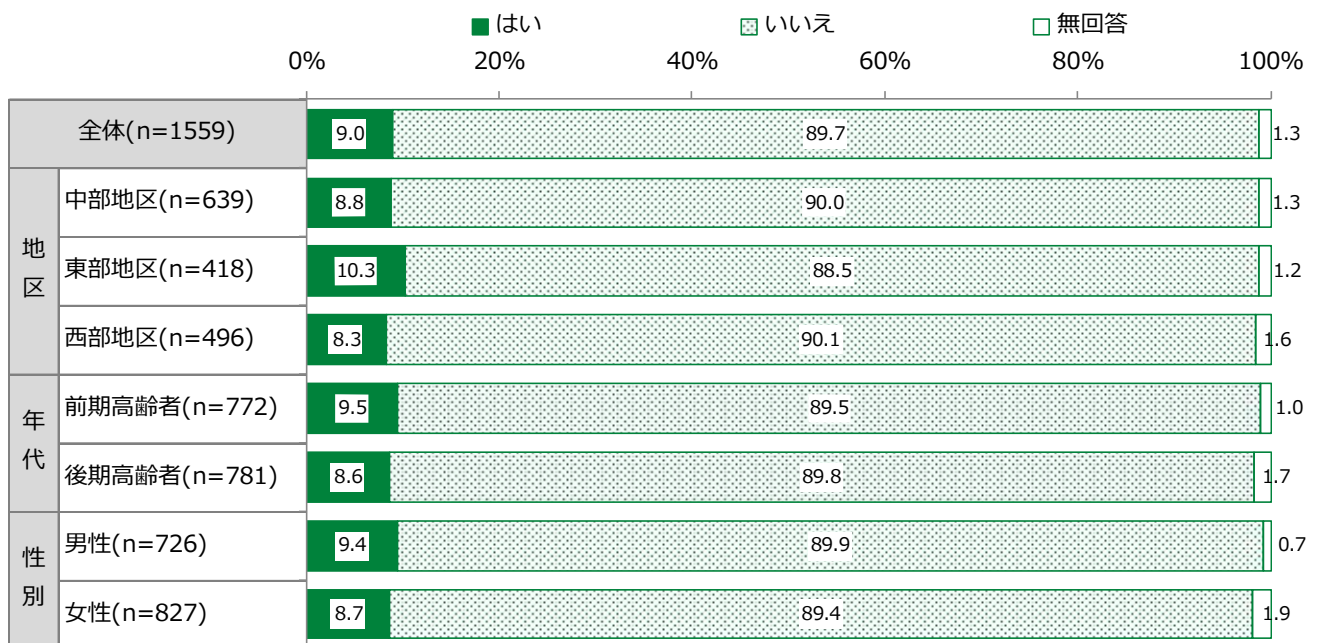
問 66 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が9.0%

自分または家族に認知症の症状があるかについては、「いいえ」が89.7%、「はい」が9.0%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 107 認知症の症状の有無



2. 認知症相談窓口の認知度

問 67 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)

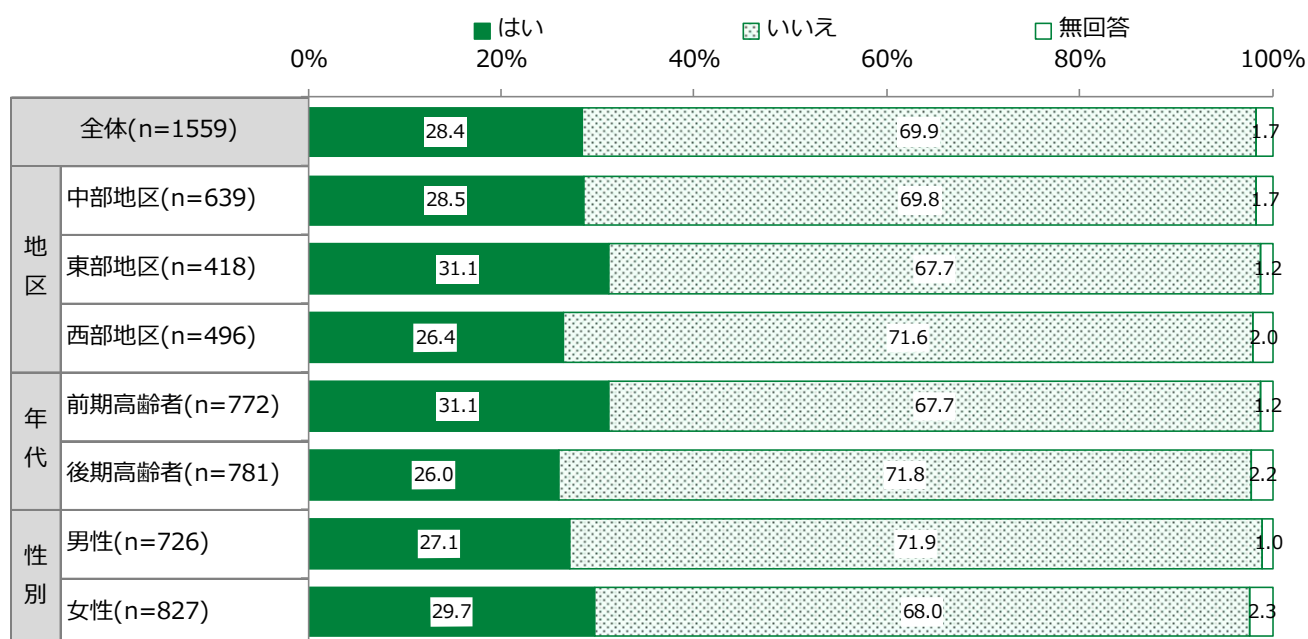
☒ 「はい」が28.4%

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「いいえ」が69.9%、「はい」が28.4%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「はい」が5.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 108 認知症相談窓口の認知度



3. 認知症サポーターの認知度

問 68 認知症サポーターをご存知ですか。(○は1つ)

☑ 「内容を知っている」が8.1%

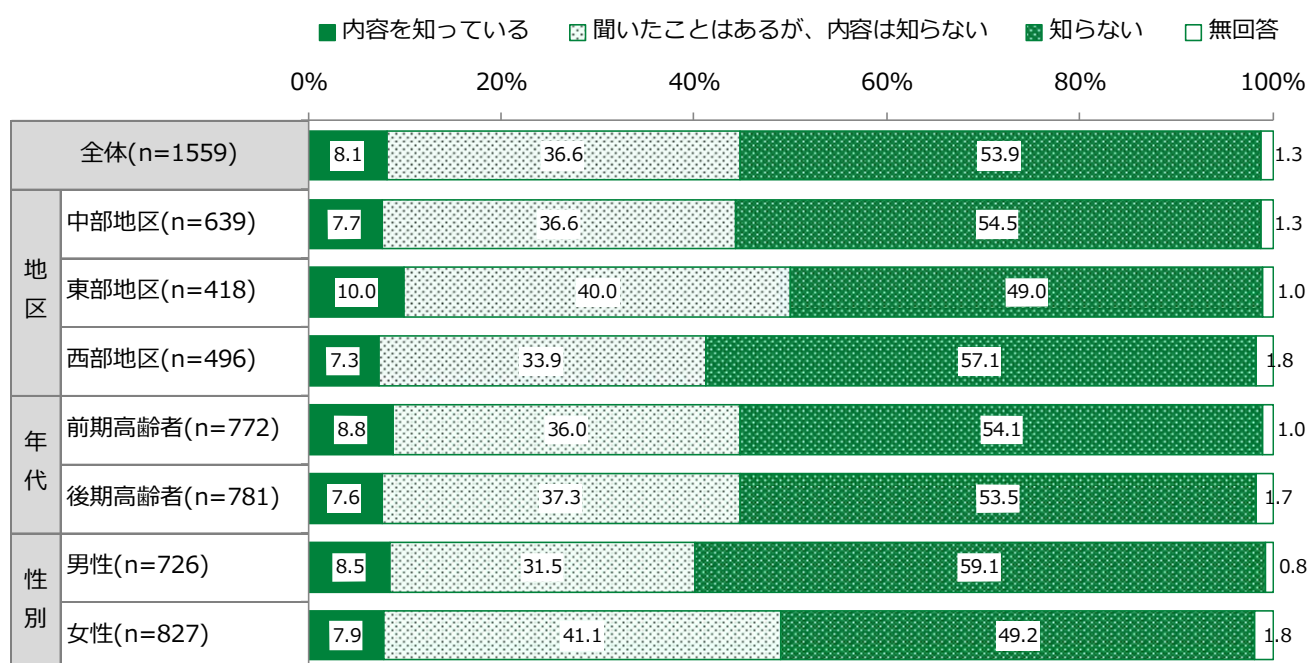
認知症サポーターを知っているかについては、「知らない」が53.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(36.6%)、「内容を知っている」(8.1%)となっています。

地区別でみると、東部地区で「知らない」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、特に大きな差はみられません。

性別でみると、女性で「聞いたことはあるが、内容は知らない」が9.6ポイント、男性より高くなっています。

図表 109 認知症サポーターの認知度



4. 認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと

問 69 認知症になっても安心して暮らしていくために、あなたが必要だと思うことは何ですか。
(〇は3つまで)

☑ 「認知症に対する正しい知識と理解」が48.2%

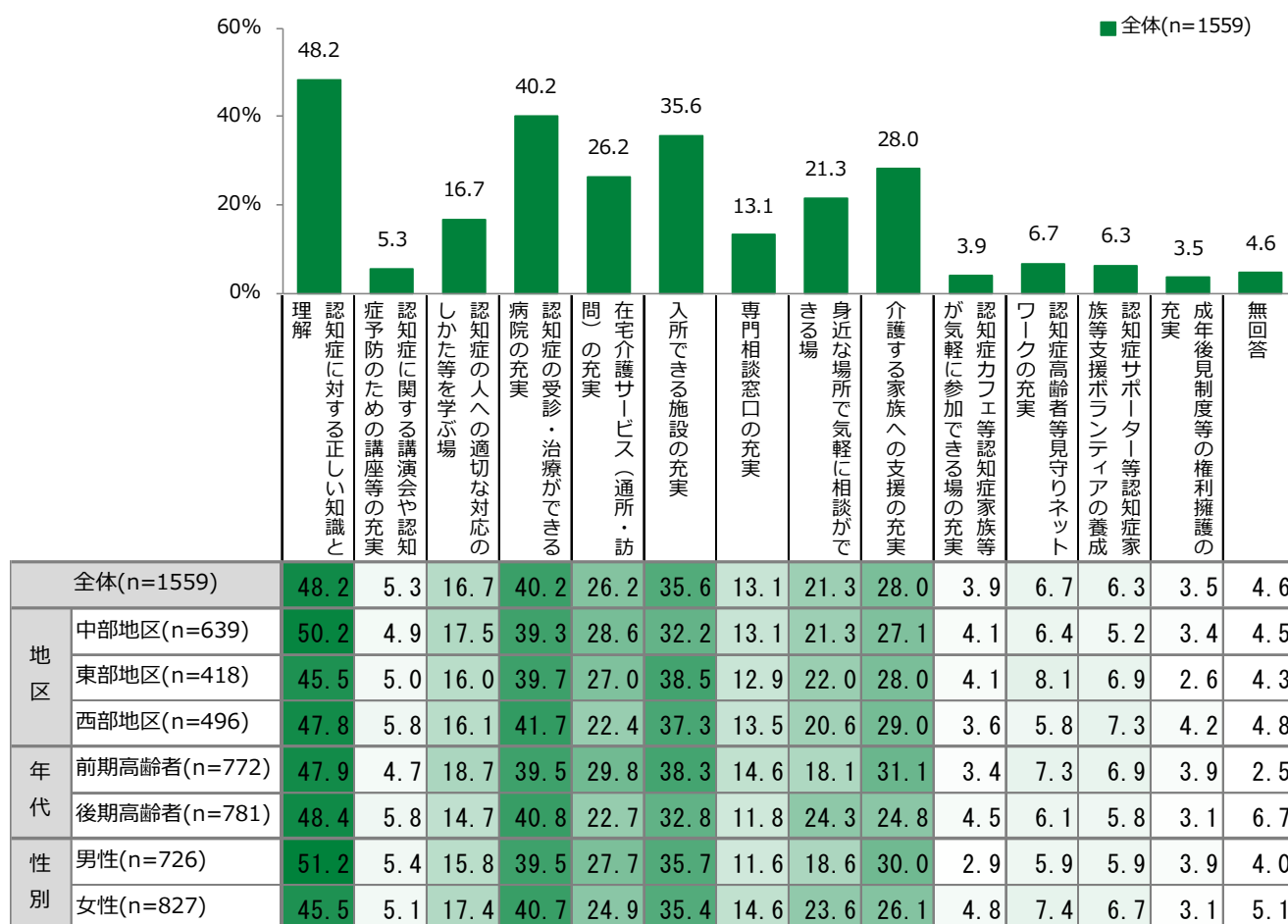
認知症の方の安心な暮らしのために必要だと思うことについては、「認知症に対する正しい知識と理解」が48.2%と最も高く、次いで「認知症の受診・治療ができる病院の充実」(40.2%)、「入所できる施設の充実」(35.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「在宅介護サービス(通所・訪問)の充実」が7.1ポイント、「介護する家族への支援の充実」が6.3ポイント、「入所できる施設の充実」が5.5ポイント、後期高齢者で「身近な場所で気軽に相談ができる場」が6.2ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「認知症に対する正しい知識と理解」が5.7ポイント、女性で「身近な場所で気軽に相談ができる場」が5.0ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 110 認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと



10. 介護保険制度および高齢者福祉施策について

1. 地域包括支援センターの認知度

問 70 日進市では、地域包括支援センター（高齢者を対象とした総合相談窓口）を3箇所設置しています。地域包括支援センターを知っていますか。（○は1つ）

☑ 「事業内容まで知っている」が15.1%

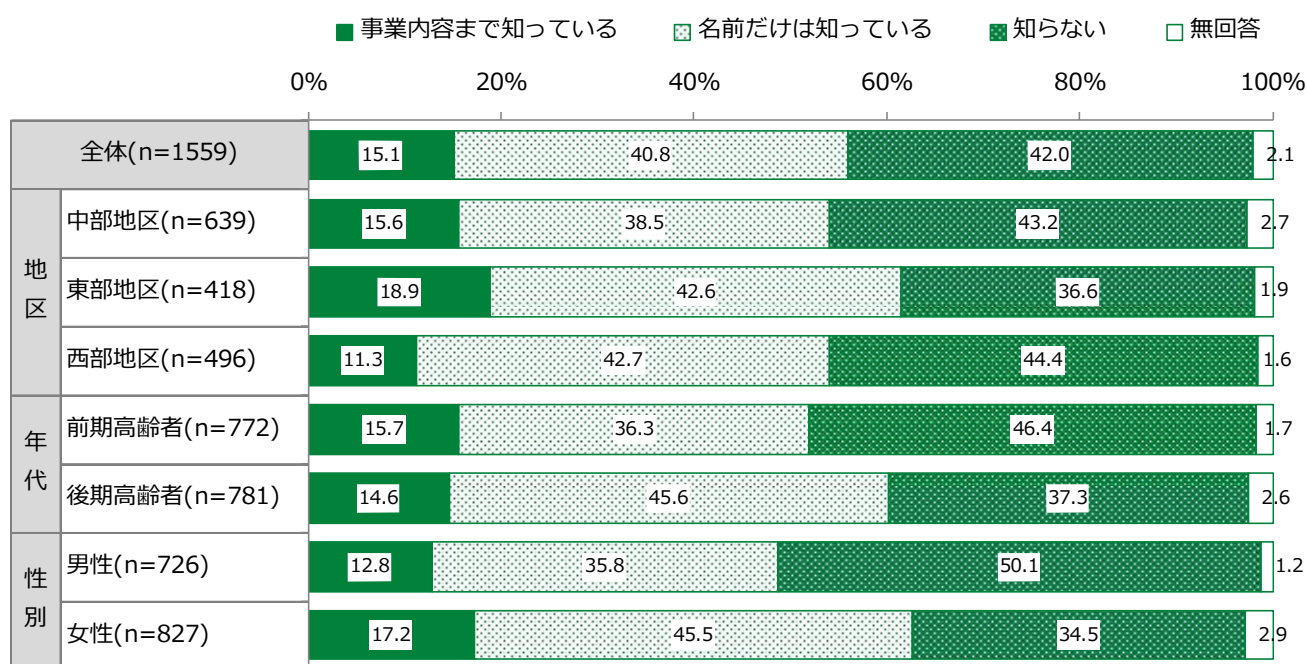
地域包括支援センターを知っているかについては、「知らない」が42.0%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」（40.8%）、「事業内容まで知っている」（15.1%）となっています。

地区別でみると、東部地区で「知らない」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「知らない」が9.1ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「知らない」が15.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 111 地域包括支援センターの認知度



2. 地域包括支援センター事業の認知度

※問 70 で「1. 事業内容まで知っている」とお答えの方

問 70-1 地域包括支援センターが行っている事業の中で、あなたが知っているものは何ですか。
(○はいくつでも)

☒ 「高齢者宅への訪問等による実態調査」が 64.3%

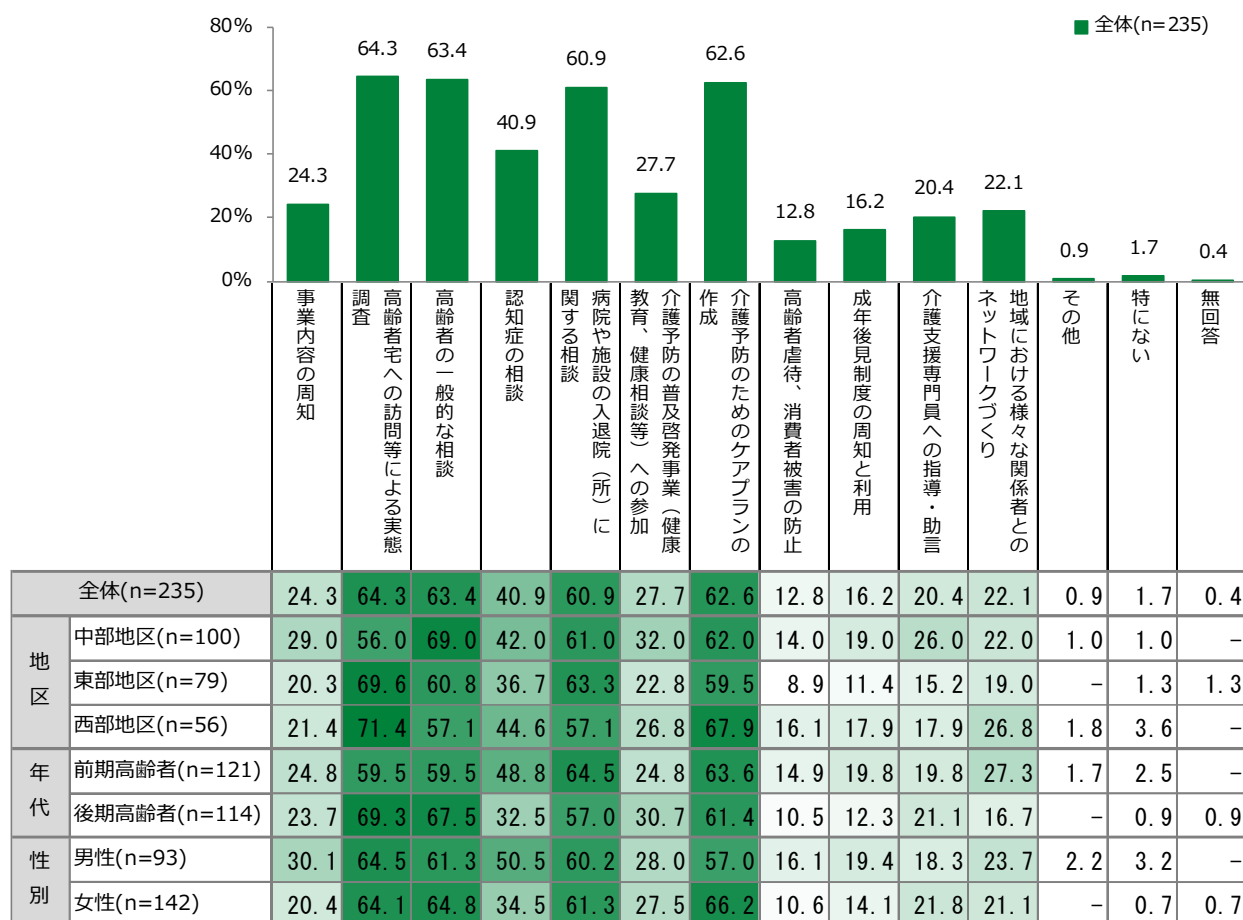
地域包括支援センターの事業で知っているものについては、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が 64.3%と最も高く、次いで「高齢者の一般的な相談」(63.4%)、「介護予防のためのケアプランの作成」(62.6%)、「病院や施設の入退院(所)に関する相談」(60.9%)となっています。

地区別でみると、中部地区では「高齢者の一般的な相談」が最も高く次いで「介護予防のためのケアプランの作成」、東部地区では「高齢者宅への訪問等による実態調査」が最も高く次いで「病院や施設の入退院(所)に関する相談」、西部地区では「高齢者宅への訪問等による実態調査」が最も高く次いで「介護予防のためのケアプランの作成」が、それぞれ高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「病院や施設の入退院(所)に関する相談」が最も高く次いで「介護予防のためのケアプランの作成」、後期高齢者では「高齢者宅への訪問等による実態調査」が最も高く次いで「高齢者の一般的な相談」が、それぞれ高くなっています。

性別でみると、男性では「高齢者宅への訪問等による実態調査」、女性では「介護予防のためのケアプランの作成」が最も高くなっています。

図表 112 地域包括支援センター事業の認知度



3. 介護予防への関心

問 71 介護予防（できるだけ介護が必要な状態にならないようにするための取組）に関心がありますか。（○は1つ）

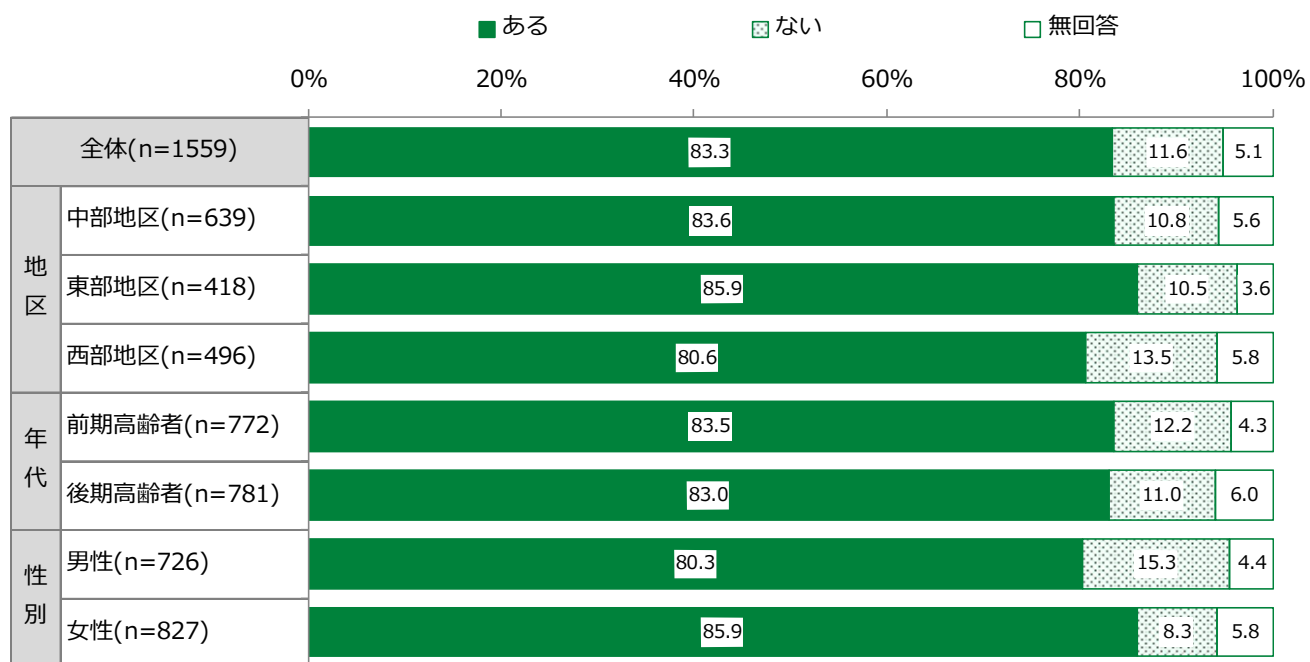
☑ 「ある」が83.3%

介護予防への関心については、「ある」が83.3%、「ない」が11.6%となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、女性で「ある」が5.6ポイント、男性より高くなっています。

図表 113 介護予防への関心



4. 介護予防のための取組への参加意向

問 72 介護予防のためのさまざまな取組に参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

☑ 「今後、参加してみたい」が34.8%

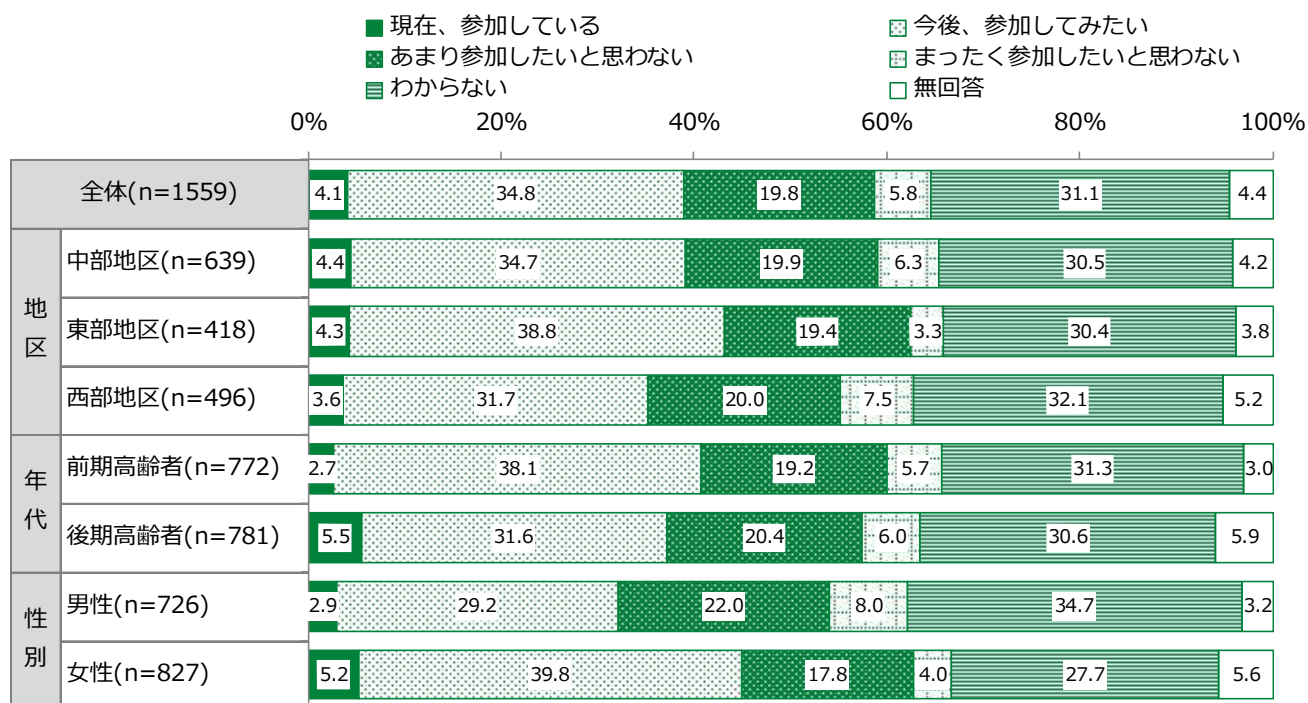
介護予防のための取組への参加意向については、「今後、参加してみたい」が34.8%と最も高く、次いで「わからない」(31.1%)、「あまり参加したいと思わない」(19.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「今後、参加してみたい」が6.5ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「今後、参加してみたい」が10.6ポイント、男性より高くなっています。

図表 114 介護予防のための取組への参加意向



5. 介護予防のための取組に参加したくない理由

※問 72 で「3. あまり参加したいと思わない」または「4. まったく参加したいと思わない」とお答えの方

問 72－1 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

☑ 「どこで、どのような講習や体操などがあるのか知らないから」が 23.8%

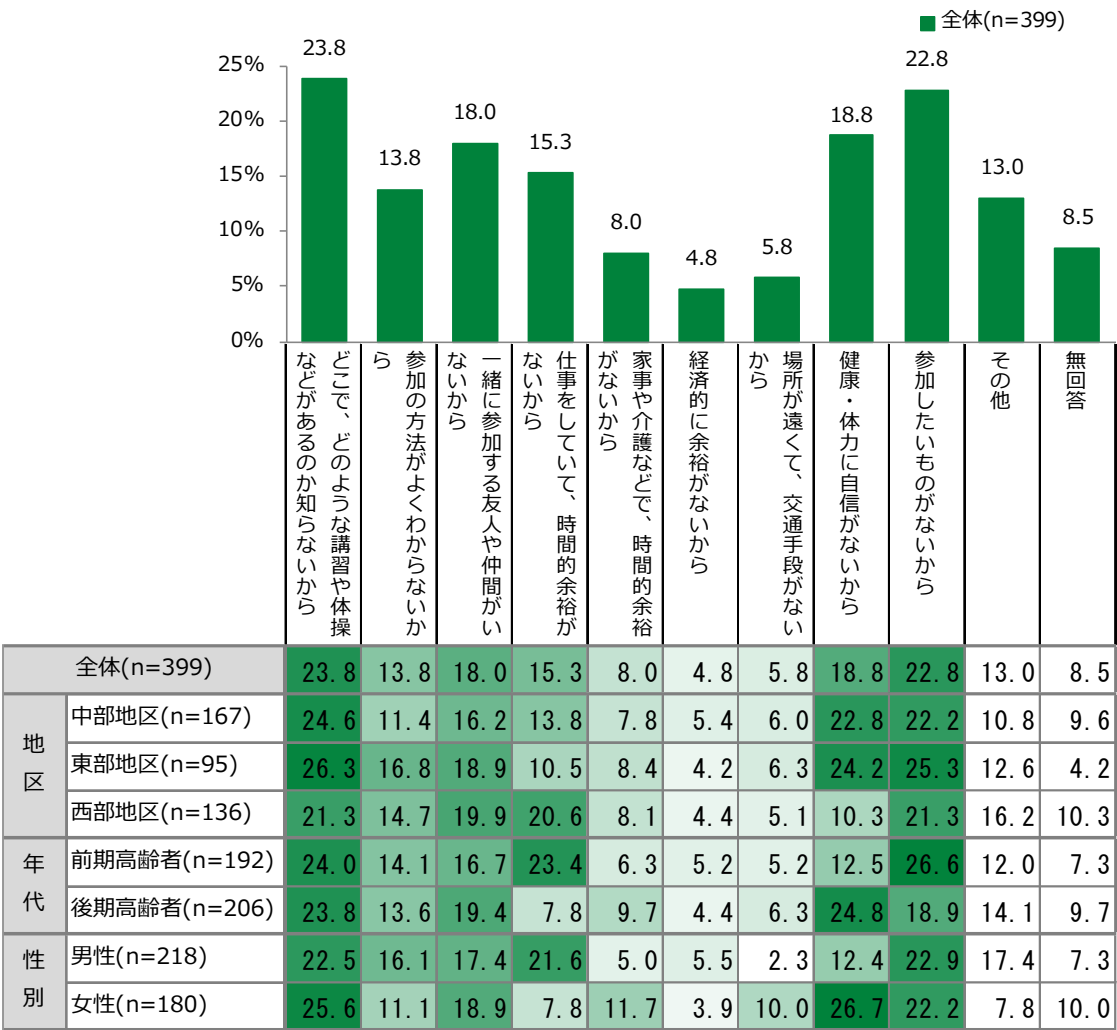
介護予防のための取組に参加したくない理由については、「どこで、どのような講習や体操などがあるのか知らないから」が 23.8%と最も高く、次いで「参加したいものがないから」(22.8%)、「健康・体力に自信がないから」(18.8%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「仕事をしていて、時間的余裕がないから」が他の地区より高く、「健康・体力に自信がないから」が 10 ポイント以上、他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者では「参加したいものがないから」、後期高齢者では「健康・体力に自信がないから」が最も高くなっています。

性別でみると、男性では「参加したいものがないから」、女性では「健康・体力に自信がないから」が最も高くなっています。

図表 115 介護予防のための取組に参加したくない理由



6. 参加したい介護予防の取組

問 73 あなたは、どのような介護予防の取組だったら参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

☑ 「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が 54.8%

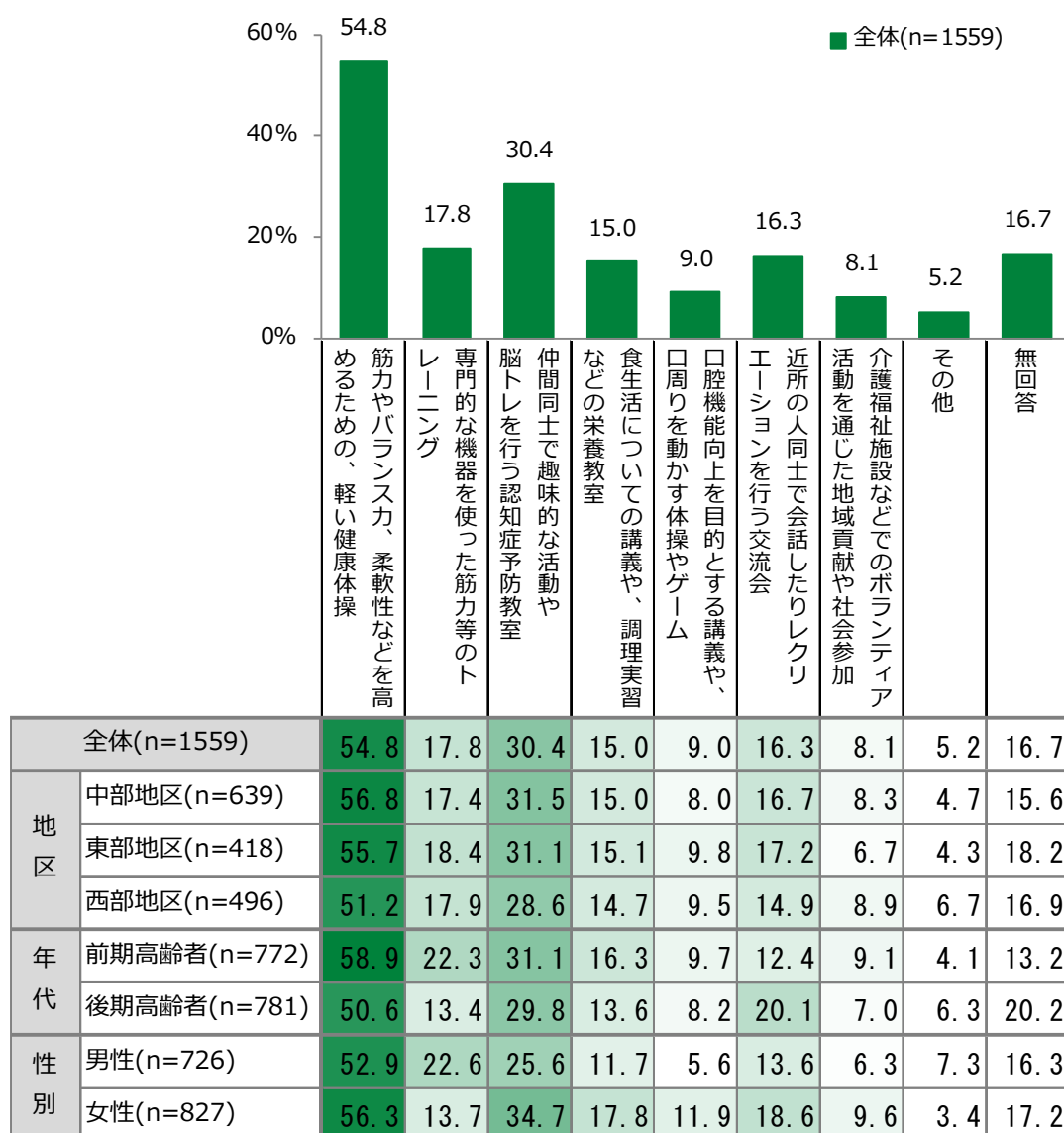
参加したい介護予防の取組については、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が 54.8%と最も高く、次いで「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」(30.4%)、「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」(17.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」が 8.9 ポイント、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が 8.3 ポイント、後期高齢者で「近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会」が 7.7 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」が 8.9 ポイント、女性より高くなっています。また、「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」と「その他」を除くすべての項目で、女性の回答が男性より高くなっています。

図表 116 参加したい介護予防の取組



7. 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先

問 74 介護保険制度や高齢者に対するサービス、市の事業などに関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

☑ 「市のパンフレット、広報など」が53.6%

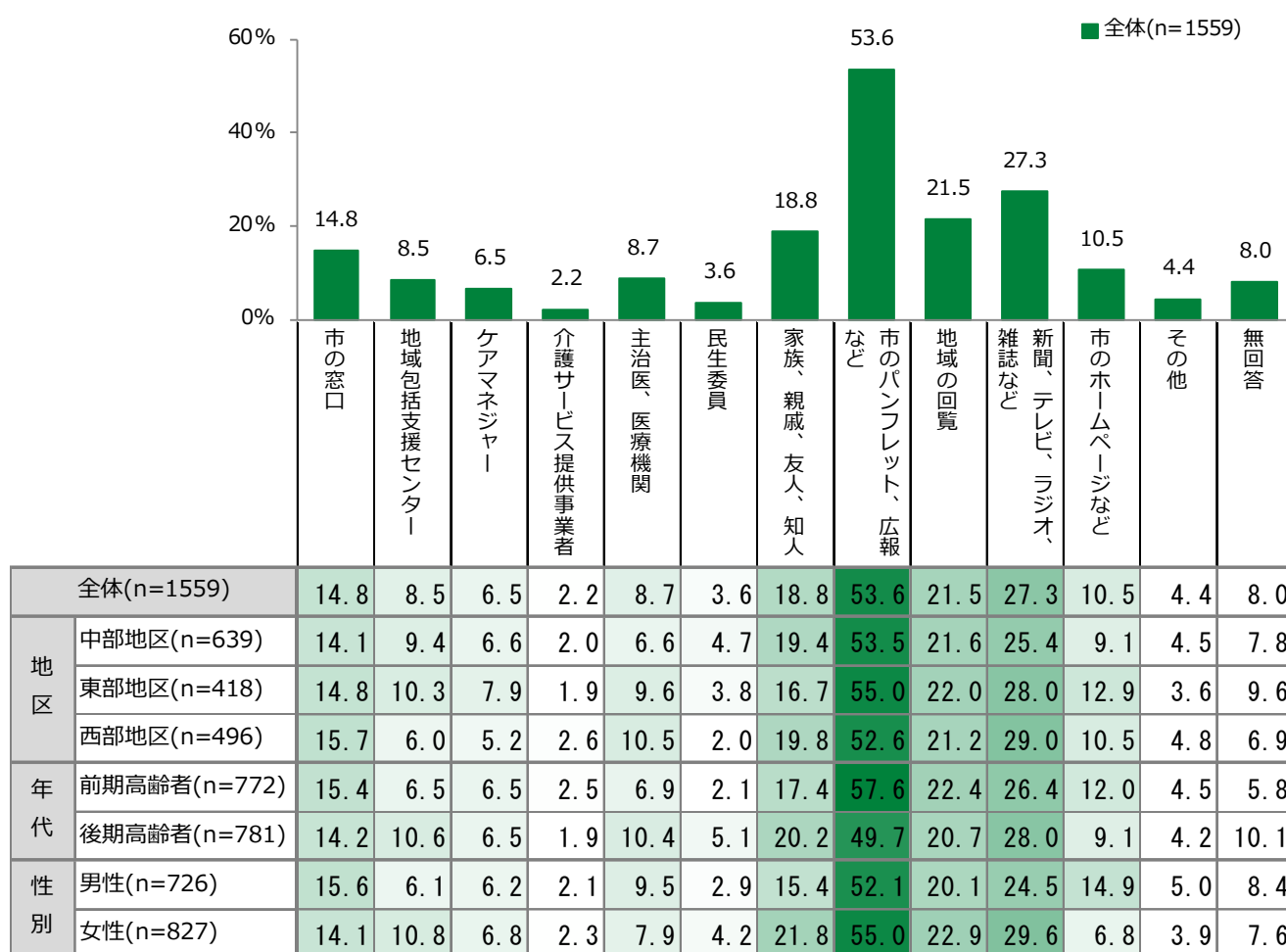
介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先については、「市のパンフレット、広報など」が53.6%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」(27.3%)、「地域の回覧」(21.5%)、「家族、親戚、友人、知人」(18.8%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「市のパンフレット、広報など」が7.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「市のホームページなど」が8.1ポイント、女性で「家族、親戚、友人、知人」が6.4ポイント、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」が5.1ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 117 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先



8. 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する相談先

問 75 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどについて困ったとき、よく分からないことがあったときは、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

☑ 「市の窓口」が 65.4%

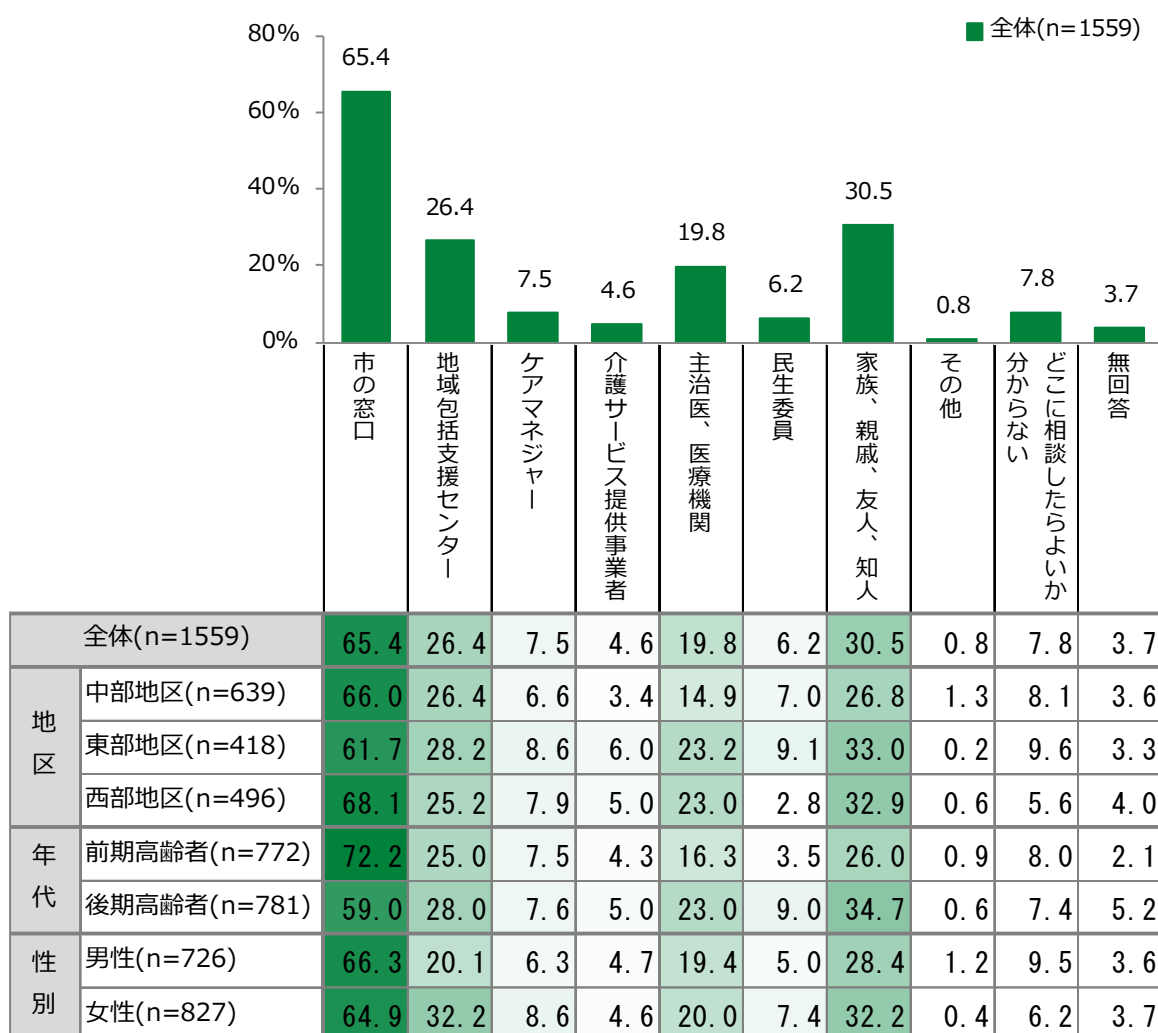
介護保険制度や高齢者サービスなどに関する相談先については、「市の窓口」が 65.4%と最も高く、次いで「家族、親戚、友人、知人」(30.5%)、「地域包括支援センター」(26.4%)、「主治医、医療機関」(19.8%)となっています。

地区別でみると、中部地区で「主治医、医療機関」、「家族、親戚、友人、知人」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「市の窓口」が 13.2 ポイント、後期高齢者で「家族、親戚、友人、知人」が 8.7 ポイント、「主治医、医療機関」が 6.7 ポイント、「民生委員」が 5.5 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、女性で「地域包括支援センター」が 12.1 ポイント、男性より高くなっています。

図表 118 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する相談先



9. 介護保険料と介護保険サービスのあり方

問 76 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まる仕組みとなっています。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

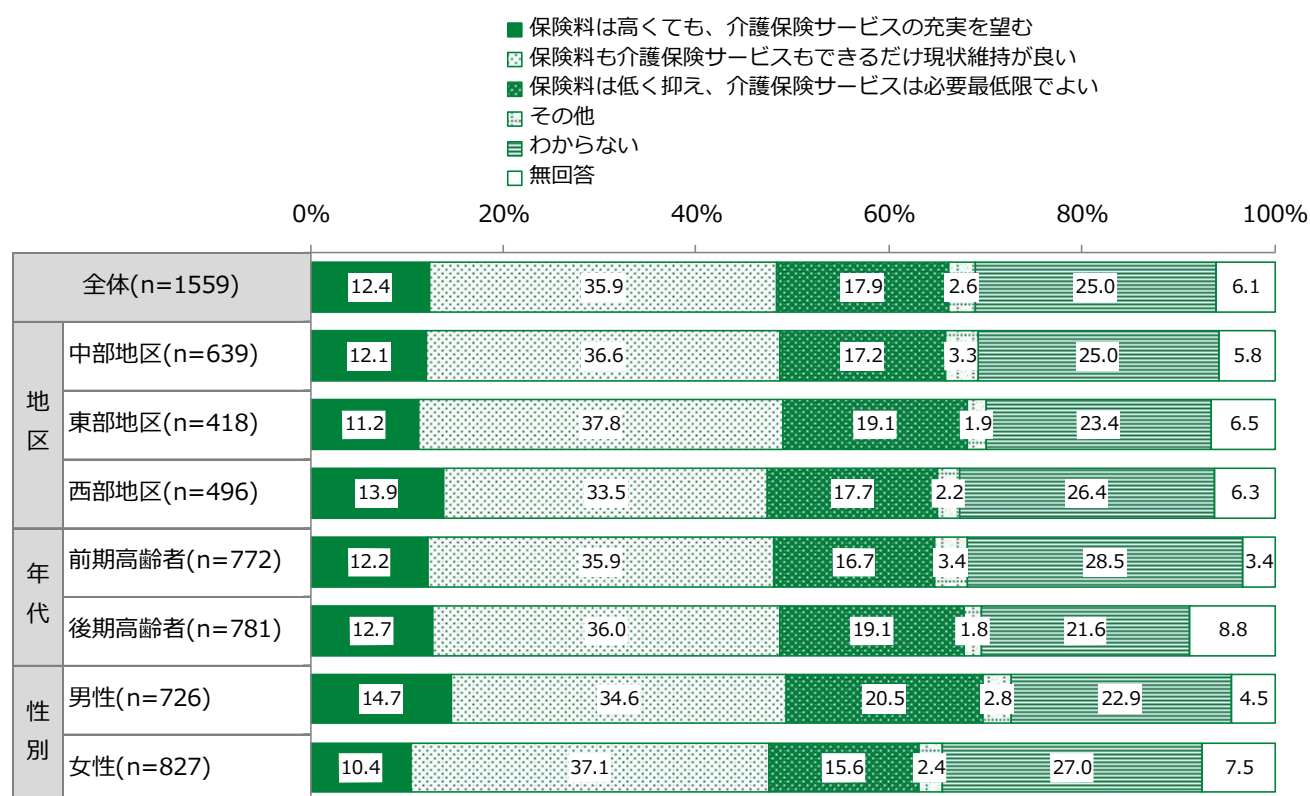
☒ 「保険料も介護保険サービスもできるだけ現状維持が良い」が 35.9%

介護保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料も介護保険サービスもできるだけ現状維持が良い」が 35.9%と最も高く、次いで「わからない」(25.0%)、「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」(17.9%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「わからない」が 6.9 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 119 介護保険料と介護保険サービスのあり方



10.サービスに関する意見・要望

問 77 利用しているサービスについてのご意見や、こんなサービスがあれば利用したい、というものがあればご自由にお書きください。

図表 120 サービスに関する意見・要望

内容	件数
交通・移動支援に対する要望	15
集いの場や運動・娯楽に対する要望	8
在宅サービスに対する要望	7
支援サービスに対する要望	5
介護保険制度に対する要望	3
教室・講座に対する要望	2
その他	14
なし、わからない	21
合 計	75

11.人生の最終段階を迎える場所

問 78 人生の最終段階を迎える場所についてあなたのお考えに最も近いものはどこですか。

(○は1つ)

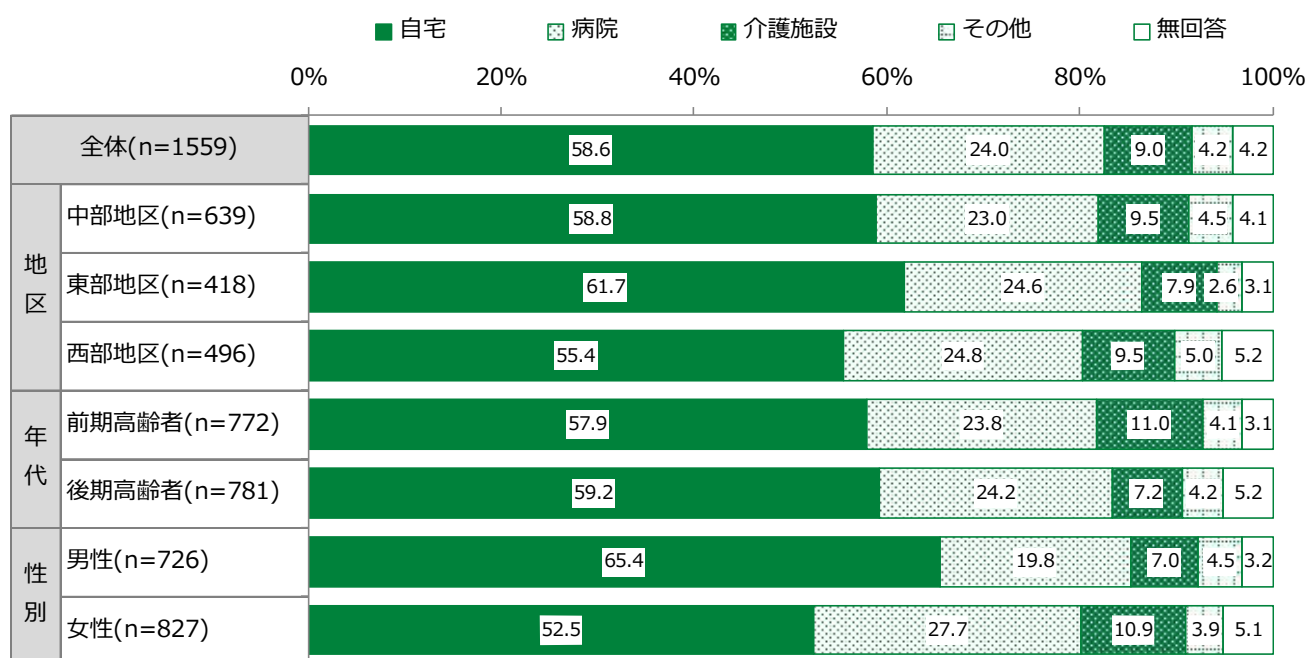
☑ 「自宅」が 58.6%

人生の最終段階を迎える場所については、「自宅」が 58.6%と最も高く、次いで「病院」(24.0%)、「介護施設」(9.0%)となっています。

地区別・年代別でみると、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「自宅」が 12.9 ポイント、女性で「病院」が 7.9 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 121 人生の最終段階を迎える場所



12.終末期の医療・療養についての話し合いの状況

問 79 あなたの死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とのどのくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

☑ 「一応話し合っている」が45.0%

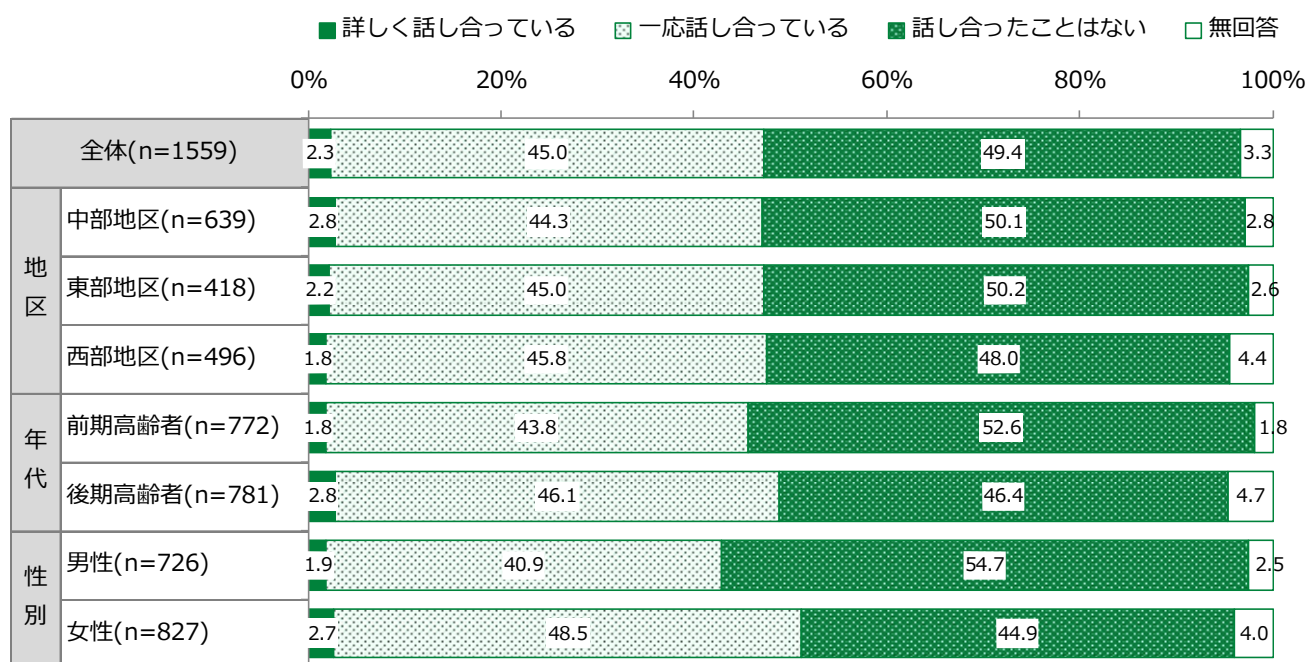
終末期の医療・療養についての家族等との話し合いについては、「話し合ったことはない」が49.4%と最も高く、次いで「一応話し合っている」(45.0%)、「詳しく話し合っている」(2.3%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「話し合ったことはない」が6.2ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「話し合ったことはない」が9.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 122 終末期の医療・療養についての話し合いの状況



13.終末期の医療・療養について話し合ったことがない理由

※問 79 で「3. 話し合ったことはない」とお答えの方

問 79－1 これまで話し合ったことはない理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

☒ 「話し合うきっかけがなかったから」が 46.4%

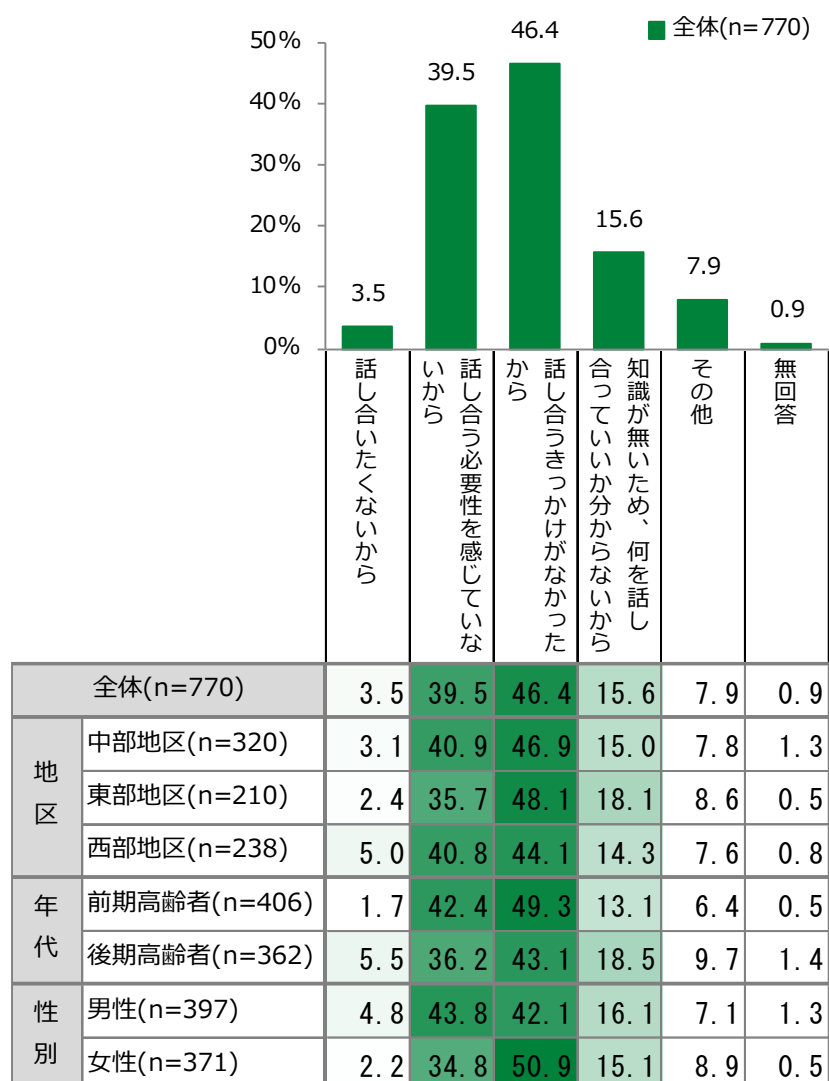
終末期の医療・療養について話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがなかったから」が 46.4%と最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(39.5%)、「知識が無いため、何を話し合っているかわからないから」(15.6%)、「話し合いたくないから」(3.5%) となっています。

地区別でみると、東部地区で「話し合う必要性を感じていないから」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「話し合うきっかけがなかったから」「話し合う必要性を感じていないから」がともに 6.2 ポイント、後期高齢者で「知識が無いため、何を話し合っているかわからないから」が 5.4 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「話し合う必要性を感じていないから」が 9.0 ポイント、女性で「話し合うきっかけがなかったから」が 8.8 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 123 終末期の医療・療養について話し合ったことがない理由



14.居住地域における問題

問 80 あなたは、お住まいの地域で、いま何が問題だと感じていますか（〇は3つまで）

☑ 「高齢者の移動手段が不足している」が 36.4%

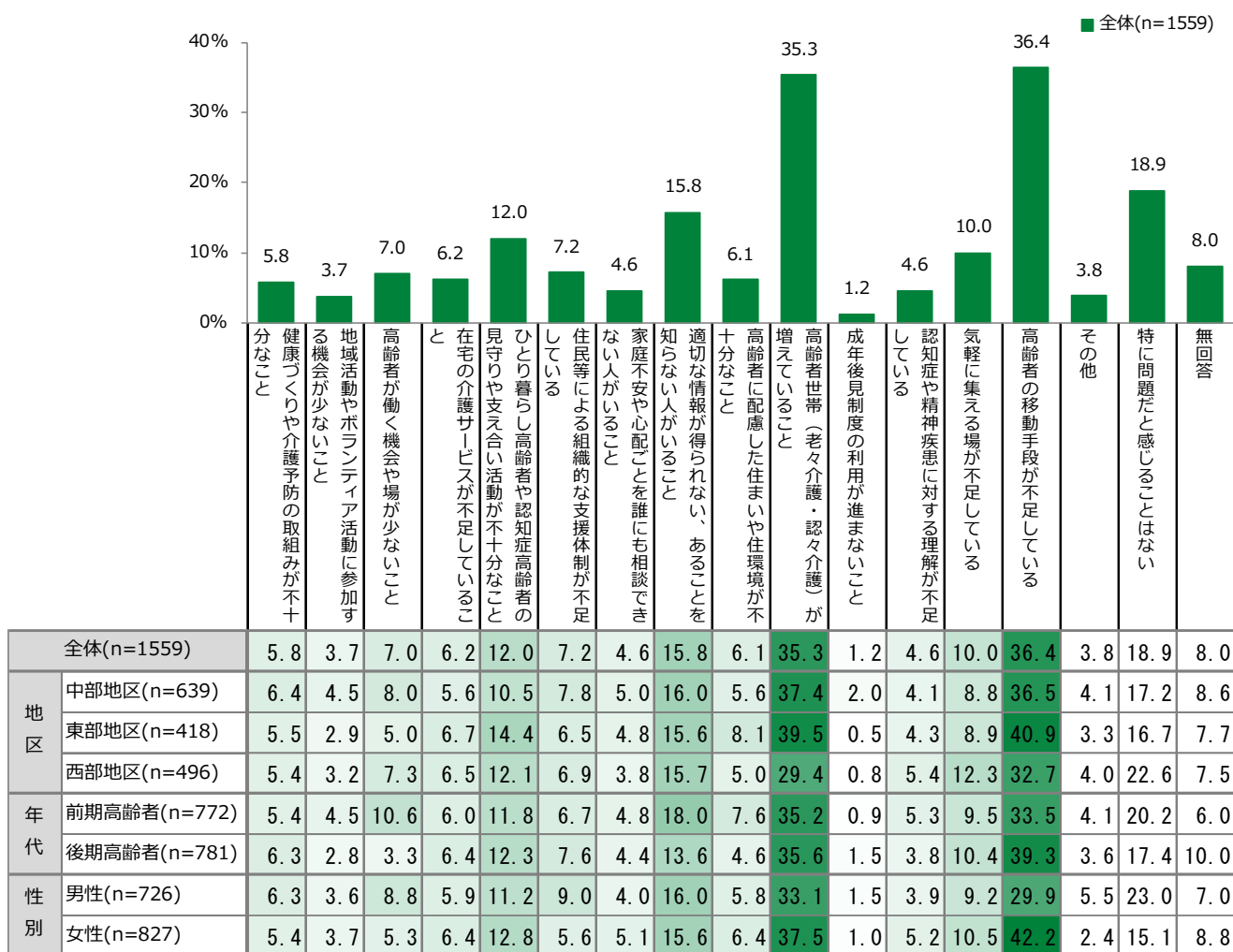
居住地域における問題については、「高齢者の移動手段が不足している」が 36.4%と最も高く、次いで「高齢者世帯（老々介護・認々介護）が増えていること」（35.3%）、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいること」（15.8%）となっています。また、「特に問題だと感じることはない」が 18.9%となっています。

地区別でみると、西部地区で「高齢者世帯（老々介護・認々介護）が増えていること」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「高齢者が働く機会や場が少ないこと」が 7.3 ポイント、後期高齢者で「高齢者の移動手段が不足している」が 5.8 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「特に問題だと感じることはない」が 7.9 ポイント、女性で「高齢者の移動手段が不足している」が 12.3 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 124 居住地域における問題



15.日進市の高齢者福祉施策に望むこと

問 81 日進市の高齢者福祉施策に関して、どのようなことを望みますか。(〇は5つまで)

☑ 「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が52.0%

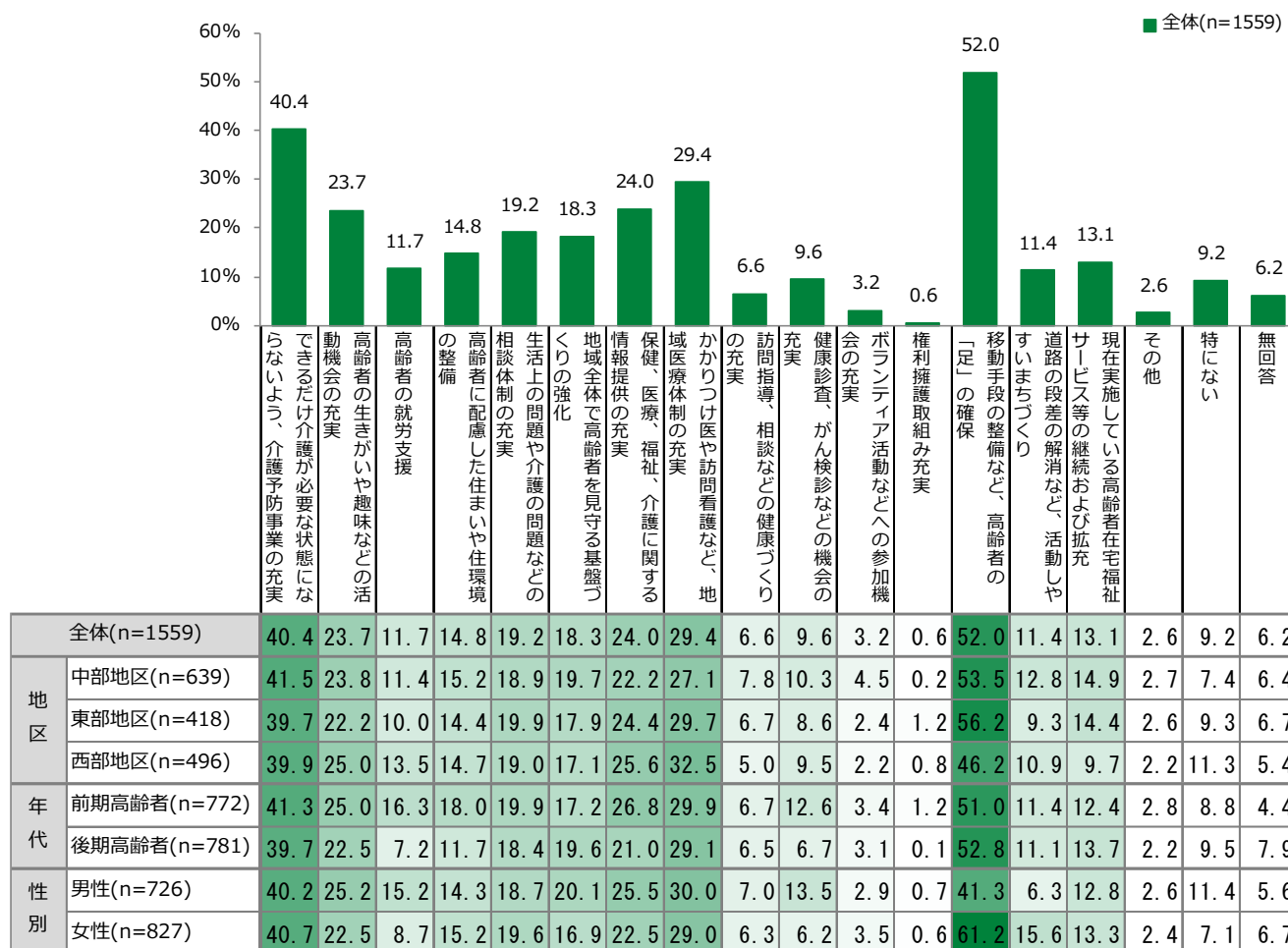
日進市の高齢者福祉施策に望むことについては、「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が52.0%と最も高く、次いで「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業の充実」(40.4%)、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制の充実」(29.4%)、「保健、医療、福祉、介護に関する情報提供の充実」(24.0%)となっています。

地区別でみると、西部地区では「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が他の地区より低くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「高齢者の就労支援」が9.1ポイント、「高齢者に配慮した住まいや住環境の整備」が6.3ポイント、「健康診査、がん検診などの機会の充実」が5.9ポイント、「保健、医療、福祉、介護に関する情報提供の充実」が5.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が19.9ポイント、「道路の段差の解消など、活動しやすいまちづくり」が9.3ポイント、男性で「健康診査、がん検診などの機会の充実」が7.3ポイント、「高齢者の就労支援」が6.5ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 125 日進市の高齢者福祉施策に望むこと



16.高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望

問 82 高齢者の福祉・介護・医療について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

図表 126 高齢者の福祉・介護・医療に関する意見・要望

内容	件数
交通・移動手段について	36
在宅サービスについて	8
施設サービスについて	10
介護者支援・家族介護について	4
経済的負担・支援について	14
情報について	9
相談・窓口について	17
社会参加について	2
集いの場・交流の場について	5
教室・講座等について	4
介護予防・セルフケアについて	11
地域での支援について	5
医療について	3
インフラ（病院等）について	2
介護保険・認定制度について	7
市の施策について	20
アンケートについて	17
将来等に対する不安	5
その他	30
なし、わからない	9
合 計	218

1 1. 認知症チェックリストの状況

1. 認知症チェックリストの状況

☒ 3項目以上該当者が33.9%

一般高齢者に対して、愛知県及び国立長寿医療研究センターによる「認知症チェックリスト」を参考にした認知症の発症リスクに関する設問を一般高齢者調査において設置（下表参照）し、調査を実施しました。回答を集計し、認知症の発症リスクの高い方の人数を調べました。

集計の結果、13項目中3項目以上に該当する人¹は33.9%となっています。

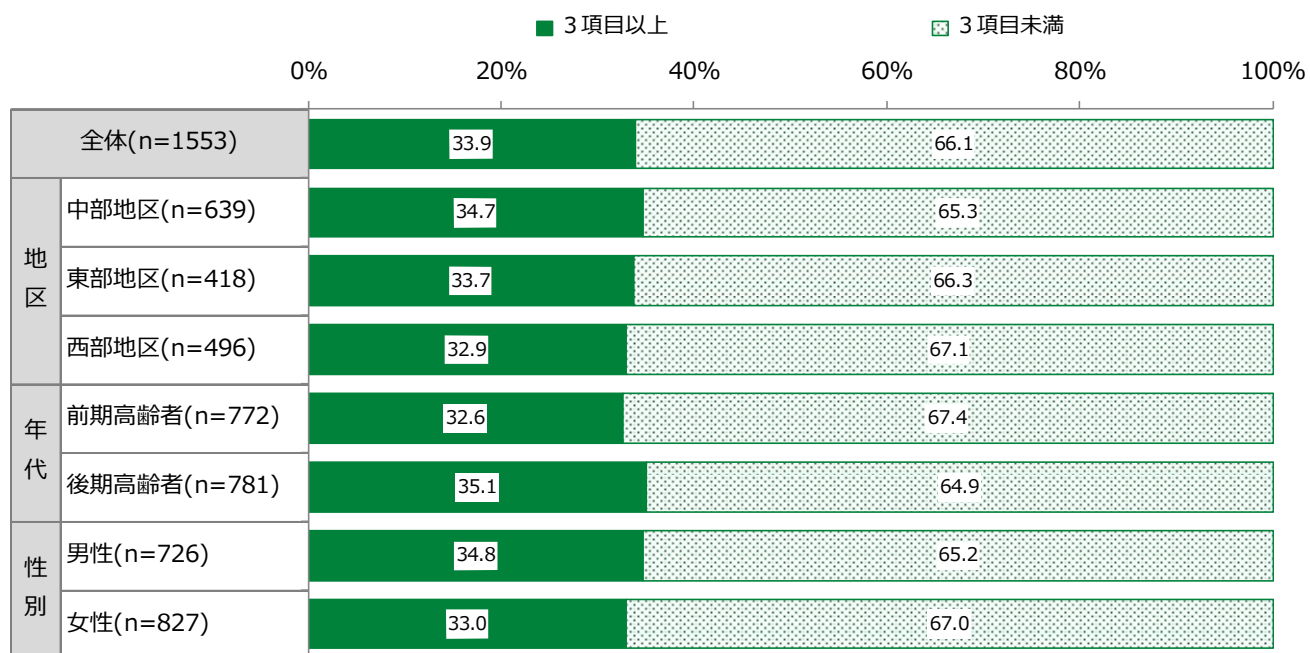
認知症リスク項目該当数は、地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 127 認知症の発症リスクに関する調査項目

問番	設問	該当選択肢
問41－1	同じことを言ったり聞いたりすると言われることがありますか	はい
問41－2	物の名前が出てこなくなった	はい
問41－3	財布や鍵の置き忘れやしまい忘れが目立ってきた	はい
問44	物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい
問45	だらしなくなったり感じることはありませんか	はい
問46	日課をしなくなりましたか	はい
問47	昼と夜を間違えるなど、時間や場所の感覚が不確かになった	はい
問48	慣れた所で道に迷ったことがありますか	はい
問49	よく身の回りの物がなくなったり感じることはありませんか	はい
問50	ささいなことで、怒りっぽくなったとすることはありますか	はい
問51	蛇口・ガス栓の締め忘れがなく、火の用心ができますか	いいえ
問52	テレビドラマが理解しにくくなったとすることはありますか	はい
問53	夜中に急に起きだして、大声を出したことはありましたか	はい

¹ 愛知県及び国立長寿医療研究センターの「認知症チェックリスト」では、13項目中3つ以上の該当者に対して、認知症についての相談が勧められている。

図表 128 認知症リスク項目の該当数



調査結果

在宅要介護等認定者

Ⅲ. 調査結果 在宅要介護等認定者

1. 調査票対象者について

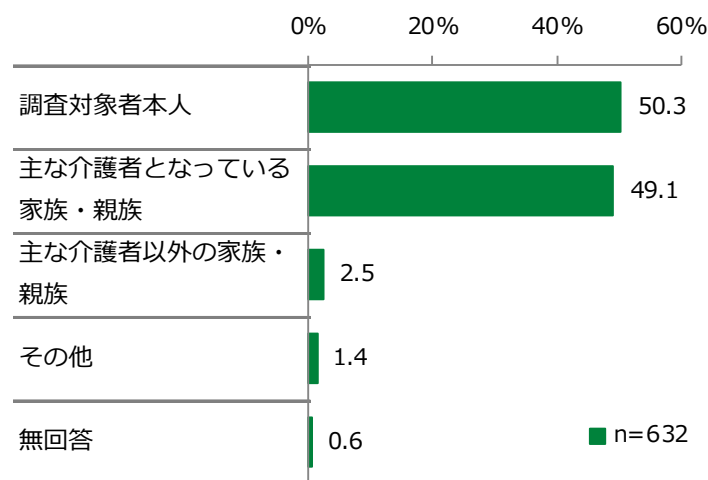
1. 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（〇はいくつでも）

☑ 「調査対象者本人」が50.3%

調査票の回答者については、「調査対象者本人」が50.3%、「主な介護者となっている家族・親族」が49.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.5%となっています。

図表 129 調査票の回答者

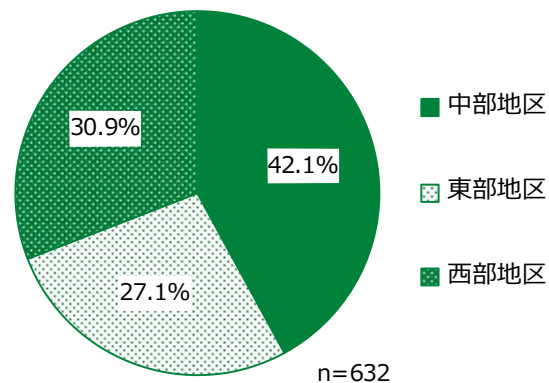


2. 居住地域(認定データより)

☑ 「中部地区」が42.1%

居住地域については、「中部地区」が42.1%、「西部地区」が30.9%、「東部地区」が27.1%となっています。

図表 130 居住地域



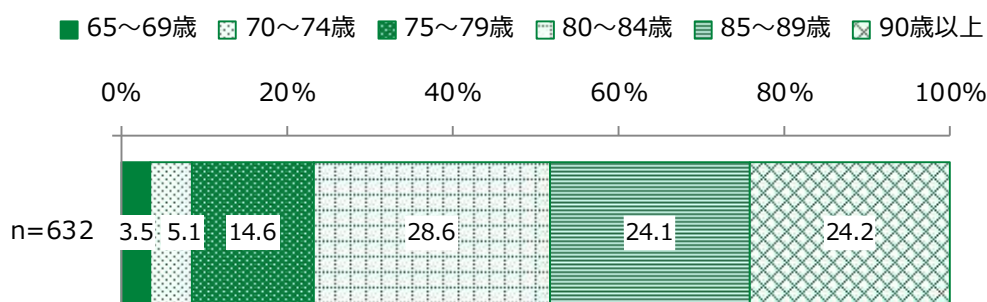
中部地区（蟹甲・折戸・栄（1～2丁目）・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山）
東部地区（藤枝・米野木・米野木台・三本木・藤島・北新・五色園・栄（3～5丁目））
西部地区（赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台）

3. 年齢(認定データより)

☑ 「80～84 歳」が 28.6%

対象者の年齢については、「65～69 歳」が 3.5%、「70 歳代」が 19.7%、「80 歳代」が 52.7%、「90 歳代以上」が 24.2%となっています。前期高齢者（65～74 歳）は 8.6%、後期高齢者（75 歳以上）は 91.5%となっています。

図表 131 年齢

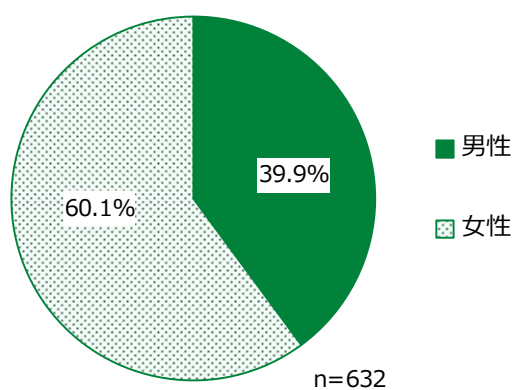


4. 性別(認定データより)

☑ 「女性」が 60.1%

対象者の性別については、「女性」が 60.1%、「男性」が 39.9%となっています。

図表 132 性別

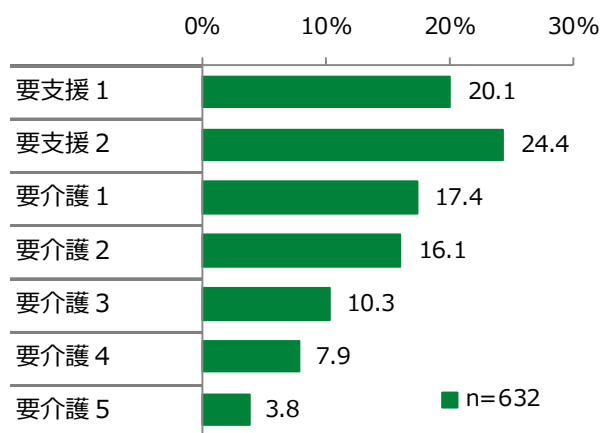


5. 要介護状態(認定データより)

☑ 「要支援 2」が 24.4%

要介護状態については、「要支援 1・2」が 44.5%、「要介護 1・2」が 33.5%、「要介護 3 以上」が 22.0%となっています。

図表 133 要介護状態



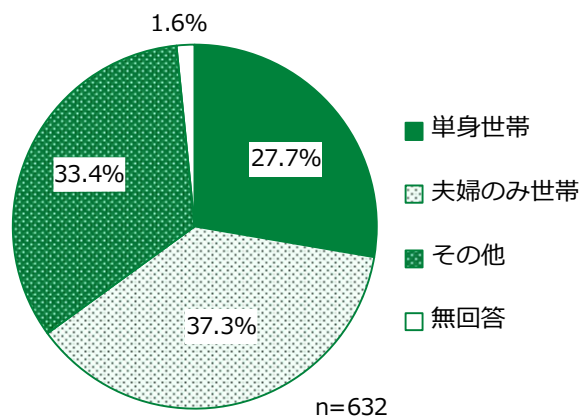
6. 世帯類型

問 2 世帯類型について、ご回答ください。(○は 1 つ)

☑ 「夫婦のみ世帯」が 37.3%

世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が 37.3%と最も高く、次いで「その他」(33.4%)、「単身世帯」(27.7%)となっています。

図表 134 世帯類型



7. 施設等への入所・入居の検討状況

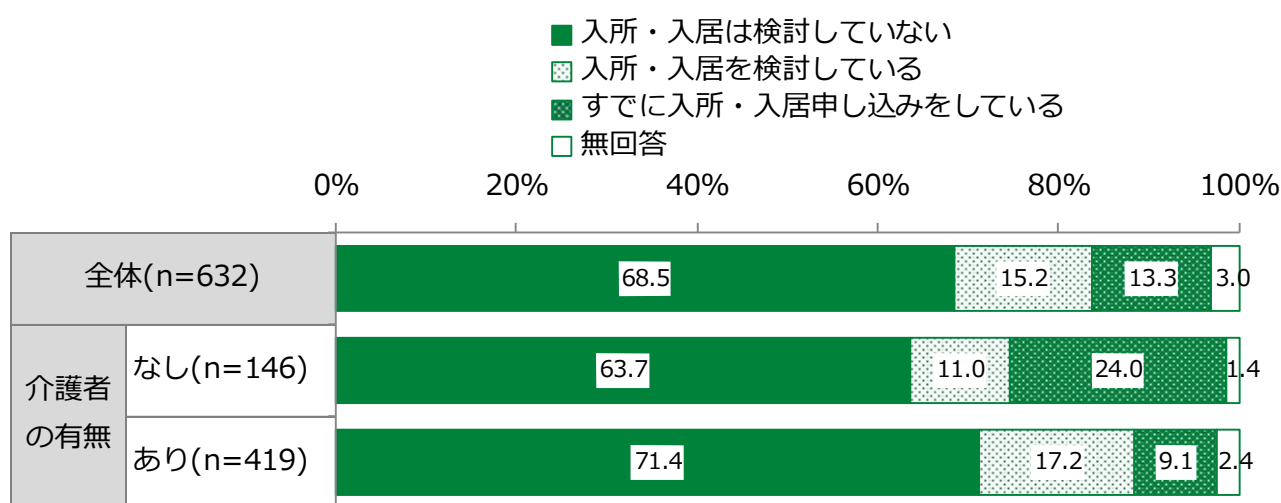
問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「入所・入居は検討していない」が68.5%

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が68.5%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(15.2%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(13.3%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.9ポイント、介護者ありより高くなっています。

図表 135 施設等への入所・入居の検討状況



8. 介護・介助が必要になった主な原因

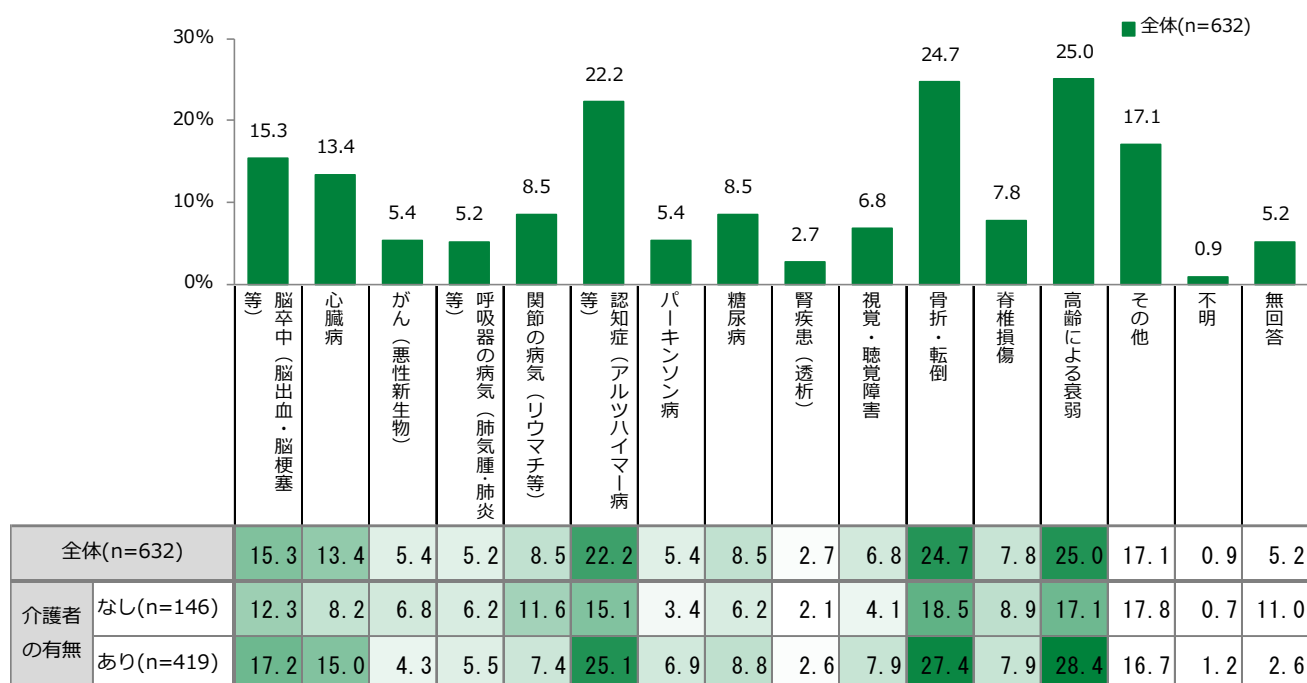
問4 ご本人（調査対象者）に、介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

☑ 「高齢による衰弱」が25.0%

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が25.0%と最も高く、次いで「骨折・転倒」（24.7%）、「認知症（アルツハイマー病等）」（22.2%）、「その他」（17.1%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（15.3%）となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「高齢による衰弱」が11.3ポイント、「認知症」が10.0ポイント、「骨折・転倒」が8.9ポイント、「心臓病」が6.8ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 136 介護・介助が必要になった主な原因



9. 介護保険サービスの利用の有無

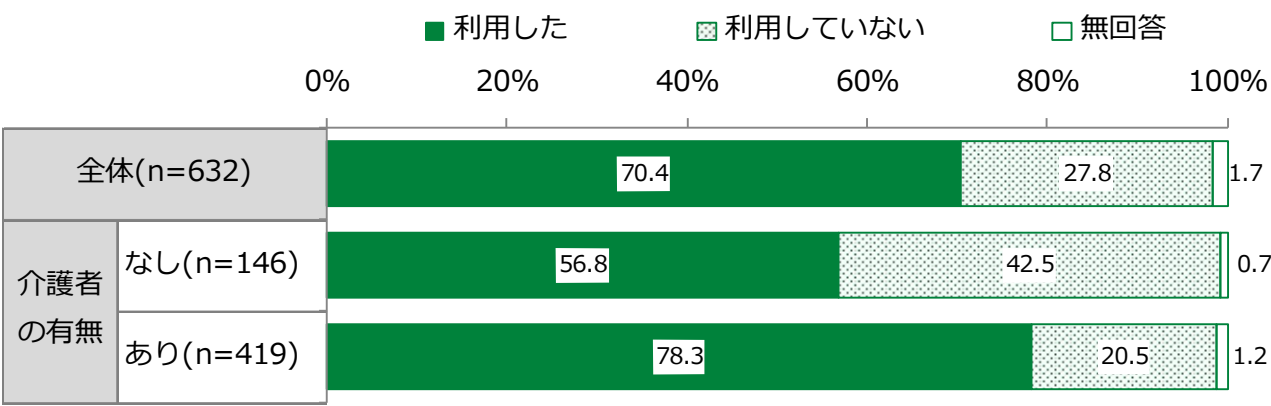
問5 令和4年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

☑ 「利用した」が70.4%

最近1か月の間に介護保険サービスを利用したかについては、「利用した」が70.4%、「利用していない」が27.8%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「利用した」が21.5ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 137 介護保険サービスの利用の有無



10.介護保険サービスの利用回数に対する考え

※問5で「1. 利用した」とお答えの方

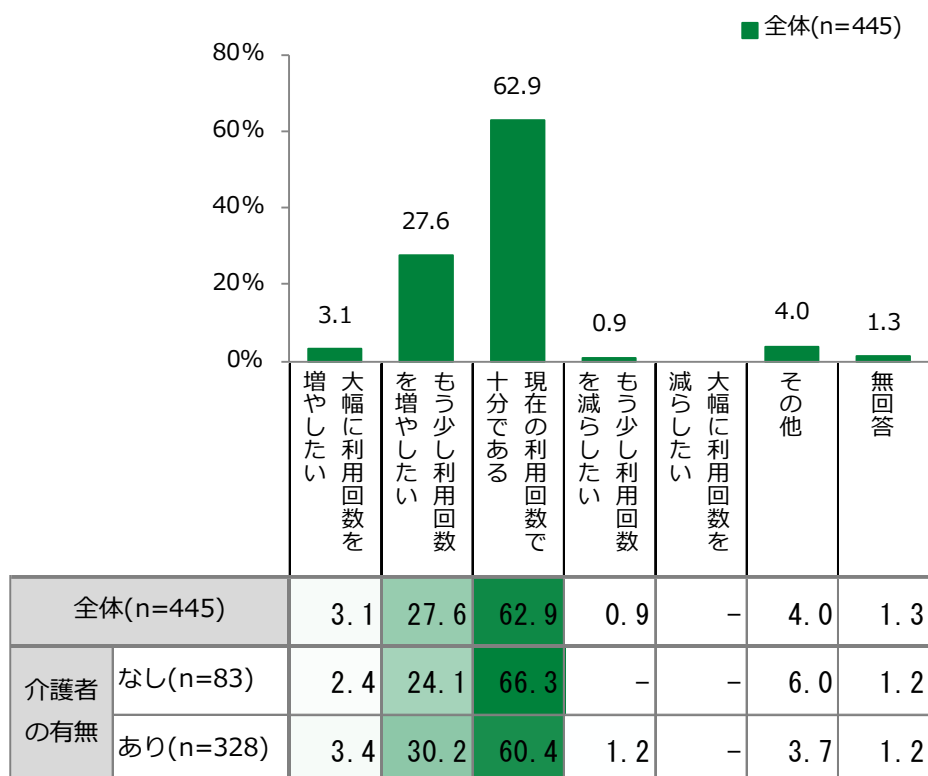
問5－1 現在利用している介護保険サービスの利用回数について、どのようにお考えですか。
(○は1つ)

☒ 「現在の利用回数で十分である」が 62.9%

介護保険サービスの利用回数に対してどのように考えているかについては、「現在の利用回数で十分である」が 62.9%と最も高く、次いで「もう少し利用回数を増やしたい」(27.6%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「現在の利用回数で十分である」が 5.9 ポイント、介護者ありより高く、介護者ありで「もう少し利用回数を増やしたい」が 6.1 ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 138 介護保険サービスの利用回数に対する考え



11.介護保険サービスを利用していない理由

※問5で「2. 利用していない」とお答えの方

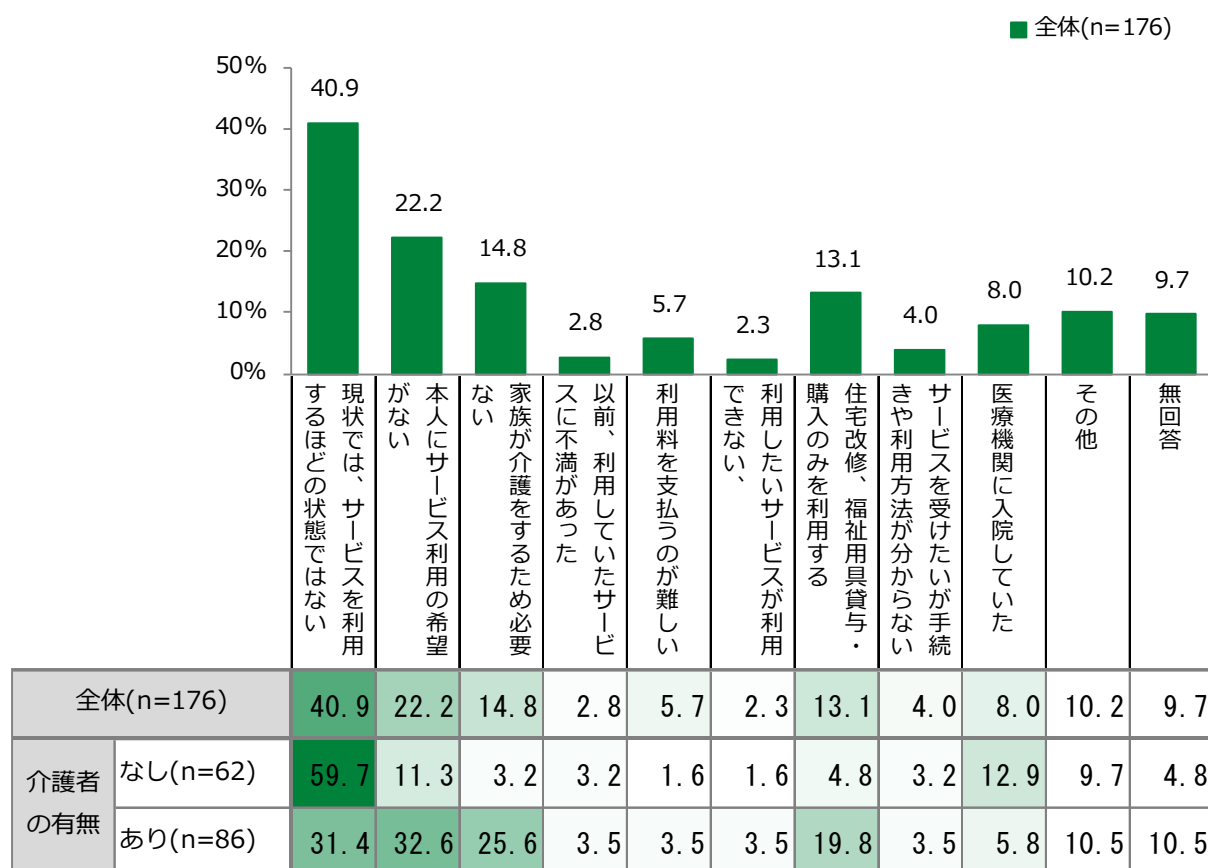
問5-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

☑ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.9%

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(22.2%)、「家族が介護をするため必要ない」(14.8%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用する」(13.1%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、介護者ありでは「本人にサービス利用の希望がない」が最も高くなっています。

図表 139 介護保険サービスを利用していない理由



12. 今後新たに利用したい介護保険サービス

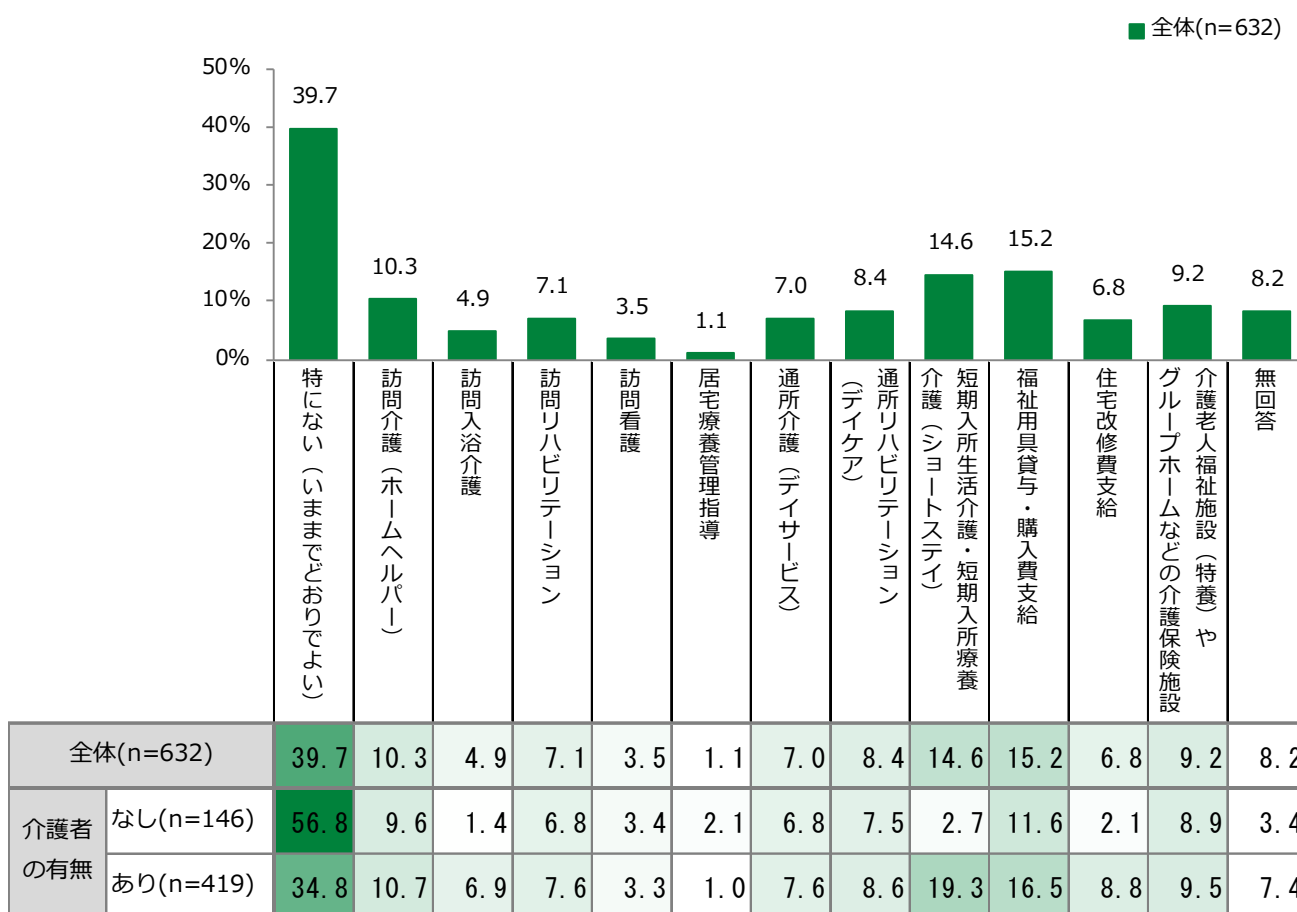
問6 今後、新たに利用したいと思う介護保険サービスはありますか。(○は3つまで)

☑ 「特にない (いままでどおりでよい)」が39.7%

今後新たに利用したい介護保険サービスについては、「特にない (いままでどおりでよい)」が39.7%と最も高く、次いで「福祉用具貸与・購入費支給」(15.2%)、「短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)」(14.6%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者あり・なしともに「特にない (いままでどおりでよい)」が最も高く、次いで介護者なしでは「福祉用具貸与・購入費支給」、介護者ありでは「短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)」が高くなっています。

図表 140 今後新たに利用したい介護保険サービス



13.利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス

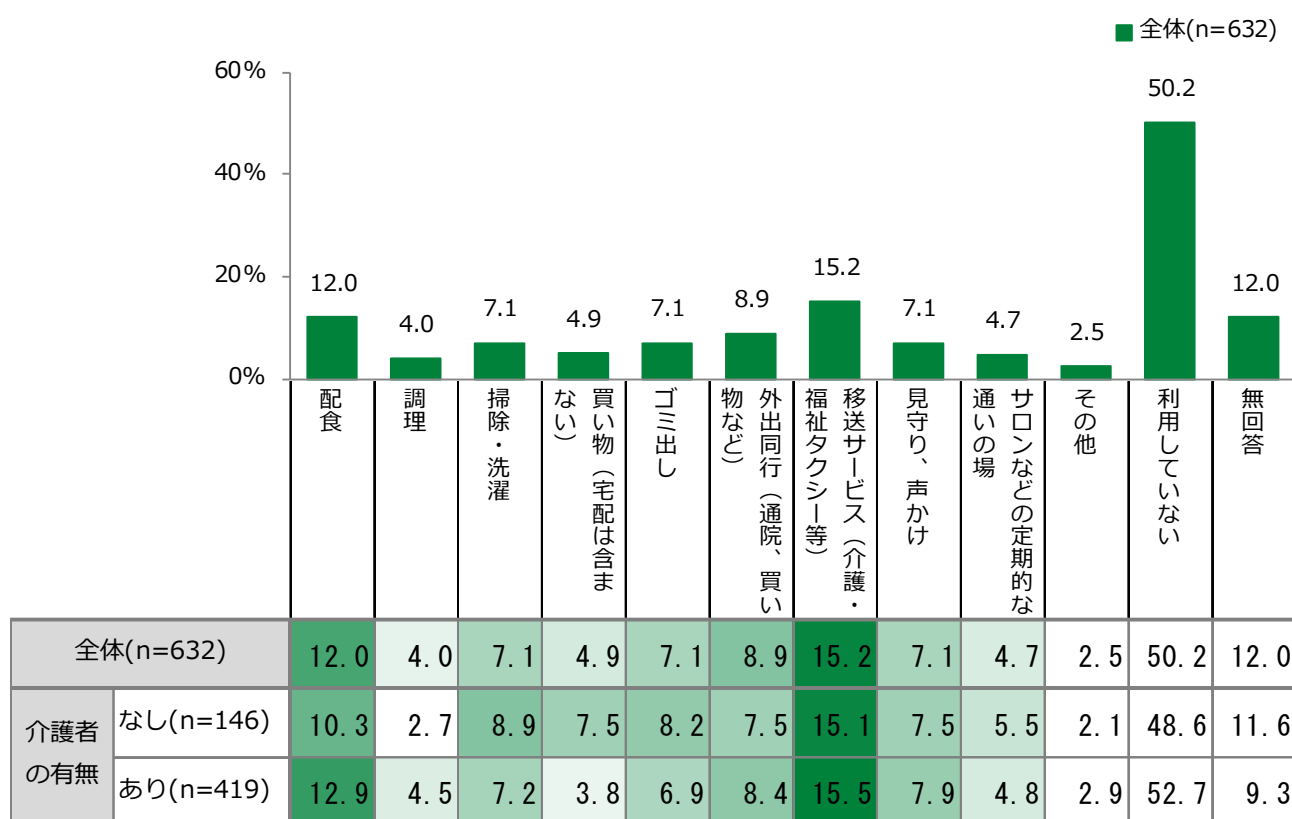
問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(〇はいくつでも)

☑ 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.2%

現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.2%、次いで「配食」（12.0%）、「外出同行（通院、買い物など）」（8.9%）となっています。また、「利用していない」が50.2%と最も高くなっています。

介護者の有無別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 141 利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス



14.在宅生活の継続に必要な支援・サービス

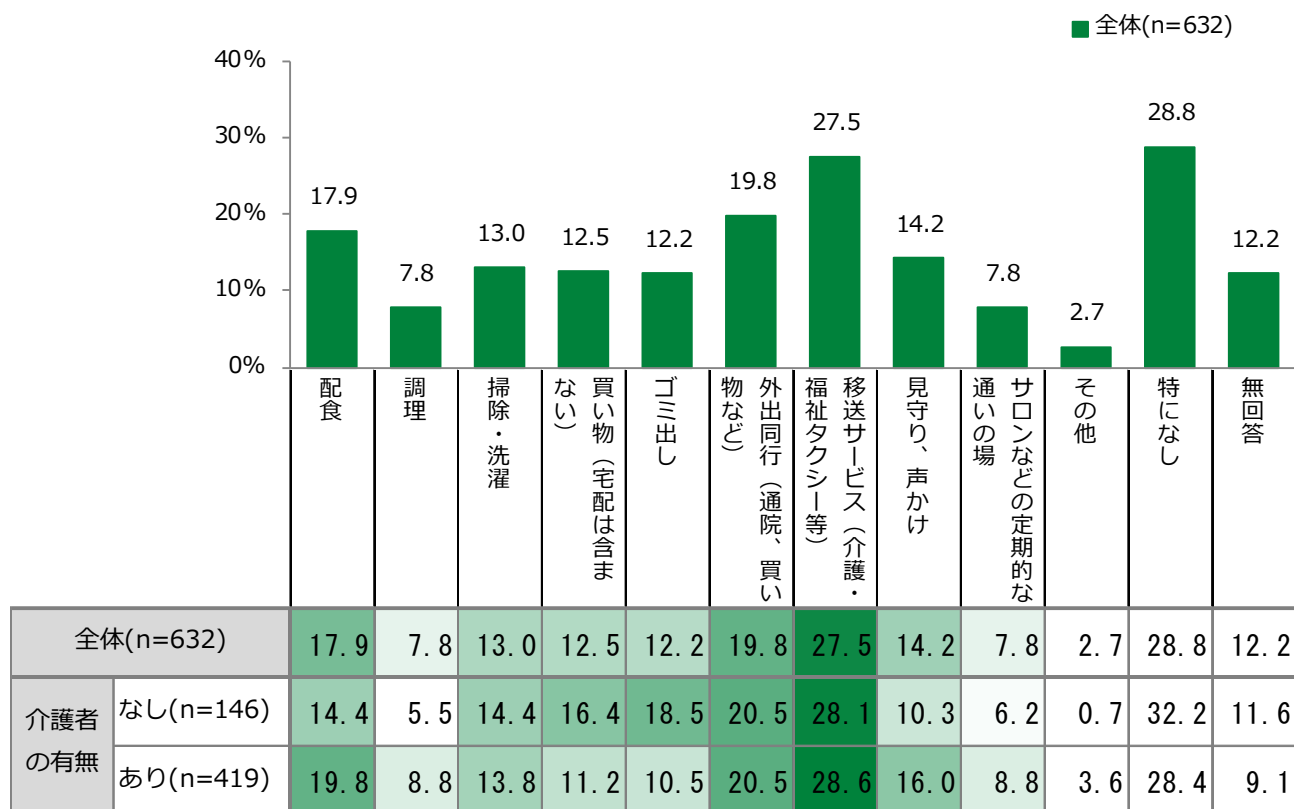
問8 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

☑ 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.5%

在宅生活の継続に必要な支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.5%、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（19.8%）、「配食」（17.9%）となっています。また、「特になし」が28.8%と最も高くなっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「ゴミ出し」が8.0ポイント、「買い物（宅配は含まない）」が5.2ポイント、介護者ありで「見守り、声かけ」が5.7ポイント、「配食」が5.4ポイント、それぞれもう一方より高くなっています。

図表 142 在宅生活の継続に必要な支援・サービス



15.訪問診療の利用の有無

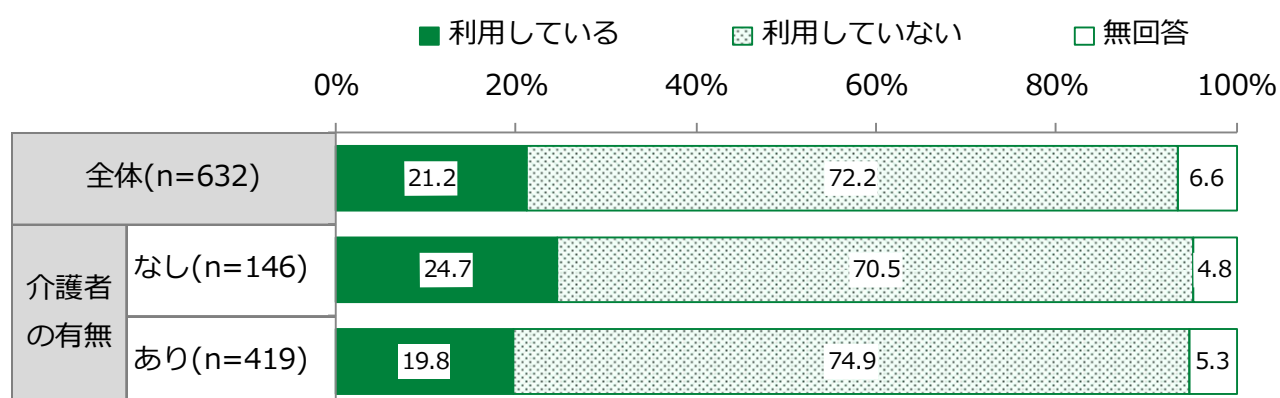
問9 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

☒ 「利用している」が21.2%

訪問診療を利用しているかについては、「利用していない」が72.2%、「利用している」が21.2%となっています。

介護者の有無別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 143 訪問診療の利用の有無



2. 地域でのたすけあい・支え合いについて

1. 地域の人たちに求める手助け

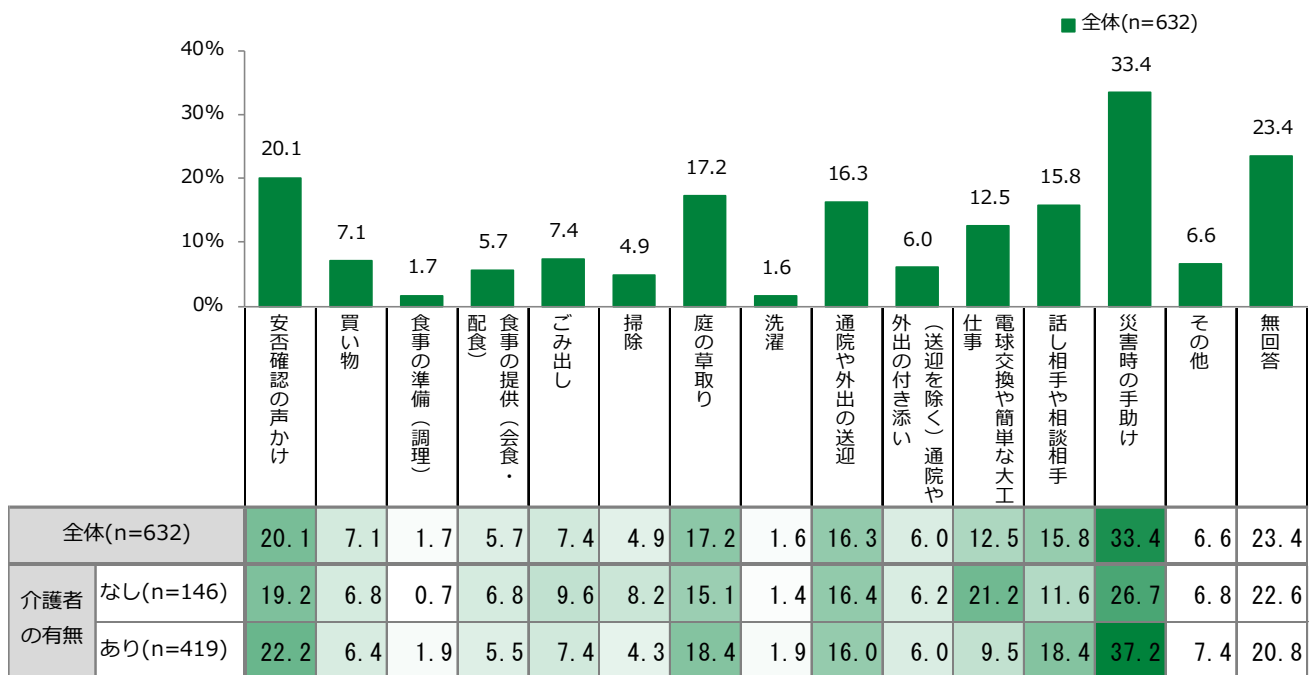
問 10 あなたが、日常生活を送る上で、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。
(〇は3つまで)

☑ 「災害時の手助け」が 33.4%

地域の人たちに求める手助けについては、「災害時の手助け」が 33.4%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ」(20.1%)、「庭の草取り」(17.2%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「電球交換や簡単な大工仕事」が 11.7 ポイント、介護者ありで「災害時の手助け」が 10.5 ポイント、「話し相手や相談相手」が 6.8 ポイント、それぞれもう一方より高くなっています。

図表 144 地域の人たちに求める手助け



2. 現在受けている手助け

問 11 現在、あなたが受けている手助けについて、以下の A・B それぞれにお答えください。

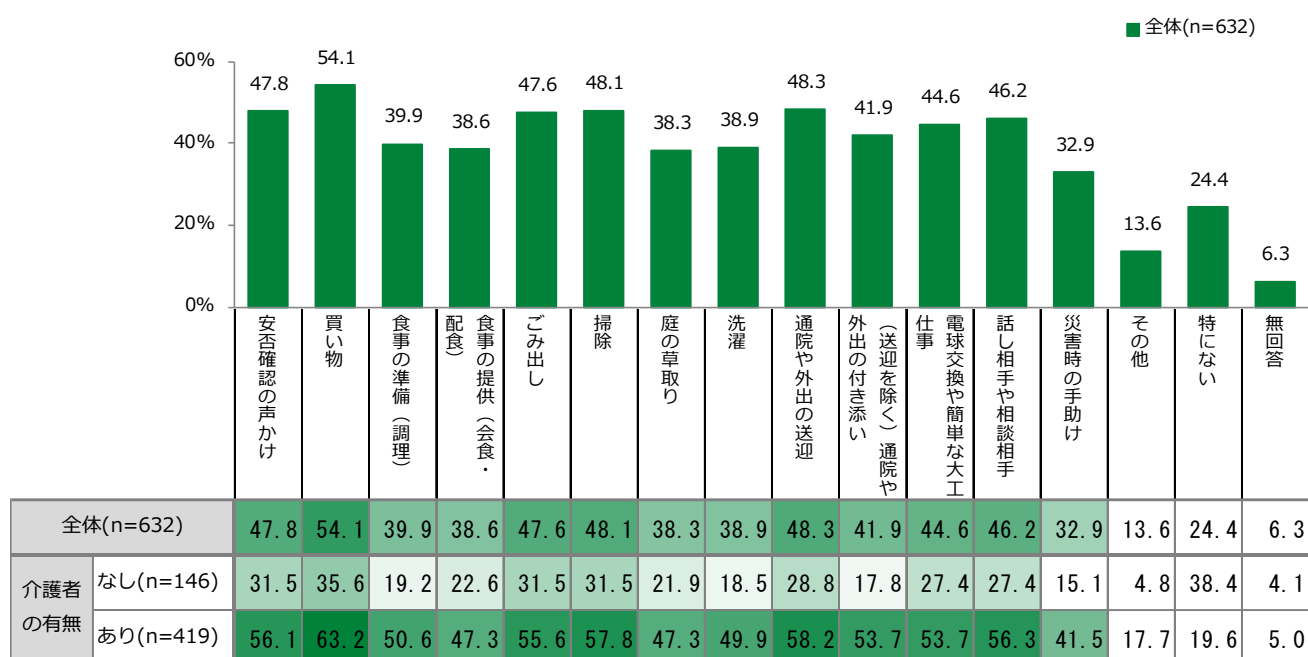
A. あなたは、下記のような手助けを家族や家族以外の人から受けていますか。(○はいくつでも)

☒ 「買い物」が 54.1%

現在受けている手助けについては、「買い物」が 54.1%と最も高く、次いで「通院や外出の送迎」(48.3%)、「掃除」(48.1%)、「安否確認の声かけ」(47.8%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「特にない」が 18.8 ポイント、介護者ありより高く、「特にない」以外のすべての項目について、介護者ありでの割合の方が高くなっています。

図表 145 現在受けている手助け



B. Aで○をつけた手助けは誰から受けていますか。(B欄のあてはまる番号いくつでも)

☑ すべての項目で「同居の家族」が最も高い

手助けをしてくれる人については、いずれの手助けにおいても「同居の家族」が最も高くなっています。なかでも、洗濯で 74.8%と最も高く、次いで食事の準備（調理）(71.0%)、災害時の手助け（68.8%）となっています。

そのほかに、話し相手や相談相手で「友人・知人」、掃除で「ホームヘルパーなどの民間事業者」が高くなっています。

図表 146 手助けをしてくれる人

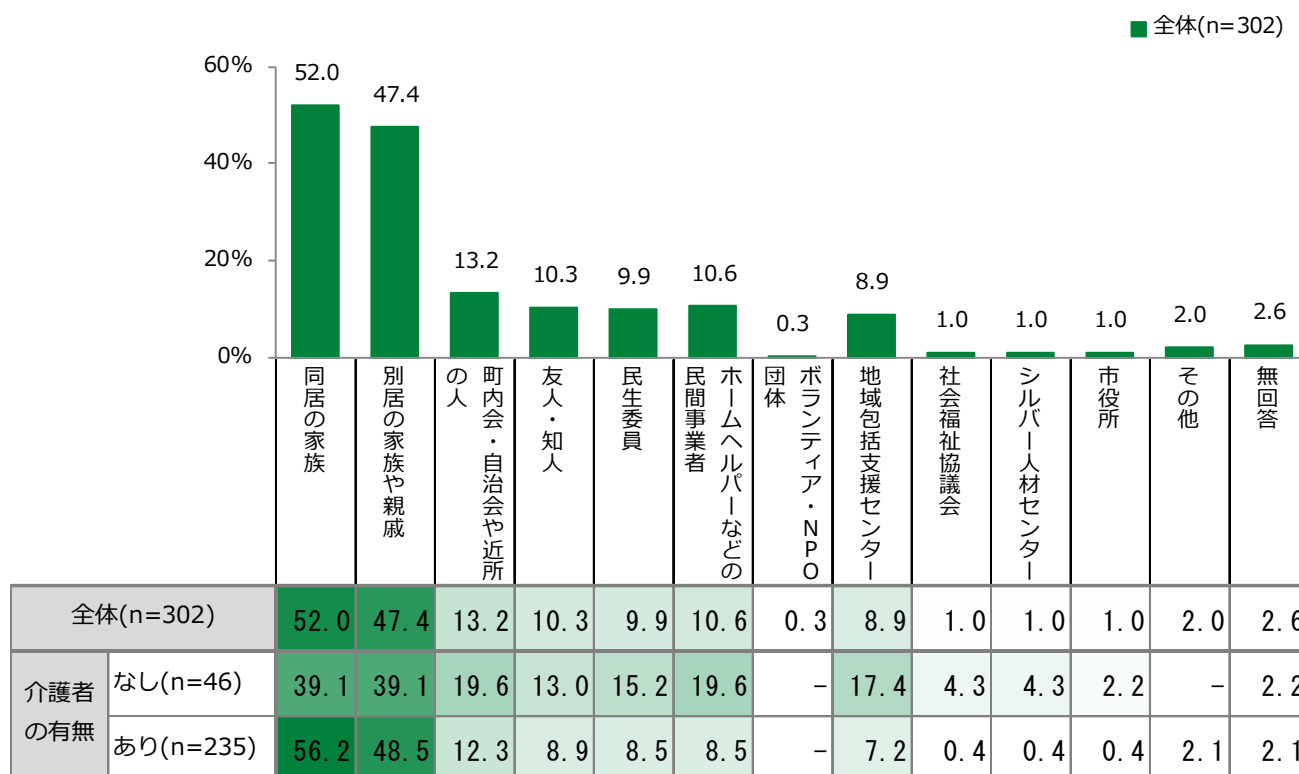
		同居の家族	別居の家族や親戚	近所の人	町内会・自治会や友人・知人	民生委員	ホームヘルパーなどの民間事業者	NPO団体	ボランティア・ボランティア	地域包括支援センター	社会福祉協議会	シルバー人材センター	市役所	その他	無回答
1	安否確認の声かけ (n=302)	52.0	47.4	13.2	10.3	9.9	10.6	0.3	8.9	1.0	1.0	1.0	2.0	2.6	
2	買い物 (n=342)	56.4	38.0	2.9	2.6	0.3	5.6	-	1.5	0.3	-	-	2.9	5.6	
3	食事の準備（調理） (n=252)	71.0	18.3	1.2	-	-	9.5	-	-	0.4	0.4	-	4.4	4.4	
4	食事の提供（会食・配食） (n=244)	63.5	23.0	0.4	1.6	0.4	9.8	-	0.8	-	-	1.2	7.0	6.1	
5	ごみ出し (n=301)	63.8	15.9	1.7	0.7	-	6.3	0.3	1.3	0.7	4.3	4.0	2.3	3.7	
6	掃除 (n=304)	60.9	18.8	-	-	0.3	15.5	-	3.6	0.3	0.7	-	3.9	5.3	
7	庭の草取り (n=242)	65.3	19.4	2.1	2.9	0.8	2.5	0.4	-	-	0.8	-	7.9	5.4	
8	洗濯 (n=246)	74.8	17.5	-	-	-	6.1	-	-	-	-	-	5.3	2.4	
9	通院や外出の送迎 (n=305)	59.7	36.1	1.3	4.3	-	3.3	-	1.0	-	0.3	-	3.9	4.9	
10	通院や外出の付き添い (n=265)	64.9	34.0	-	1.1	0.4	3.0	-	-	-	0.8	-	3.0	5.7	
11	電球交換や簡単な大工仕事 (n=282)	59.6	32.3	1.8	1.8	-	3.9	0.7	-	-	1.8	-	3.9	3.9	
12	話し相手や相談相手 (n=292)	62.7	45.5	6.8	14.0	2.1	6.8	-	5.8	1.0	0.3	-	1.7	3.1	
13	災害時の手助け (n=208)	68.8	32.7	9.1	2.9	4.8	3.4	0.5	1.0	-	0.5	1.0	2.4	4.3	
14	その他 (n=86)	55.8	25.6	2.3	4.7	2.3	4.7	1.2	3.5	2.3	-	1.2	3.5	15.1	

【安否確認の声かけ】

☑ 「同居の家族」が 52.0%

安否確認の声かけをしてくれる人については、「同居の家族」が 52.0%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(47.4%)、「町内会・自治会や近所の人」(13.2%)となっています。

図表 147 手助けをしてくれる人【安否確認の声かけ】

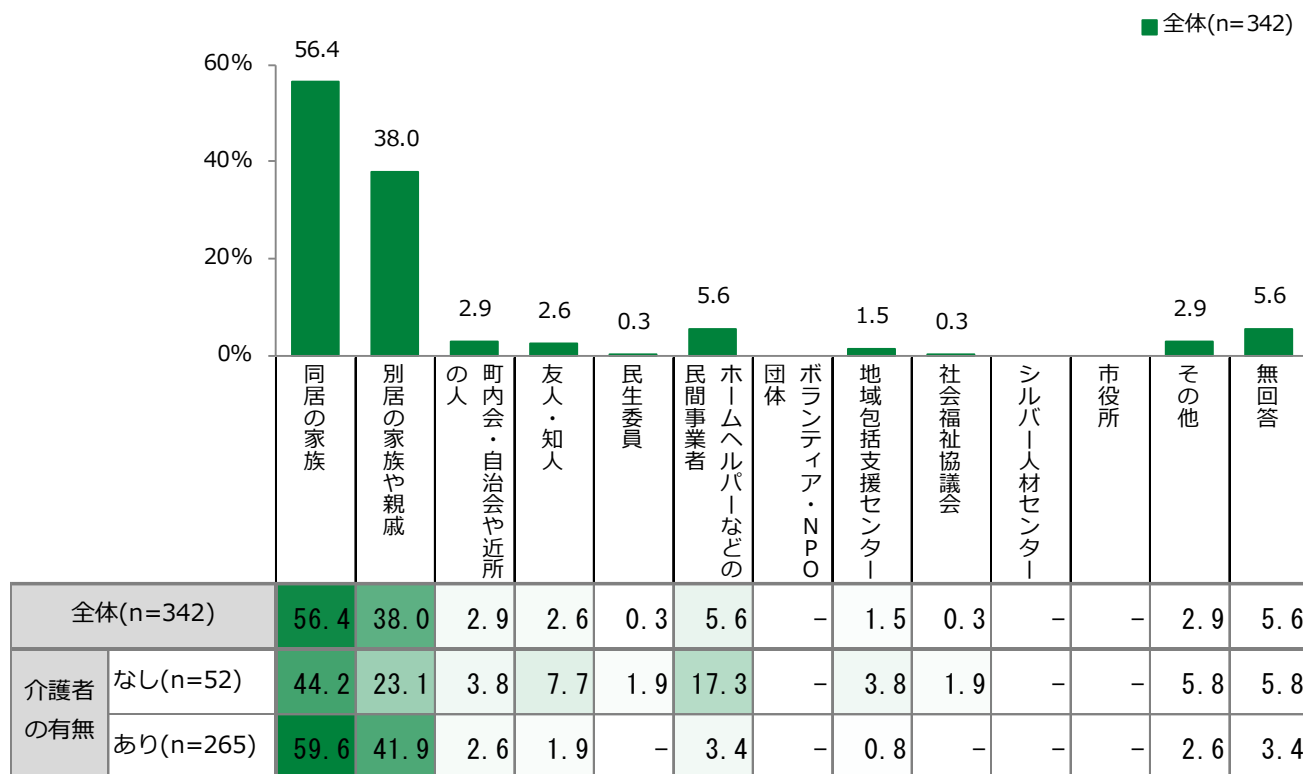


【買い物】

☑ 「同居の家族」が 56.4%

買い物をしてくれる人については、「同居の家族」が 56.4%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(38.0%)となっています。

図表 148 手助けをしてくれる人【買い物】

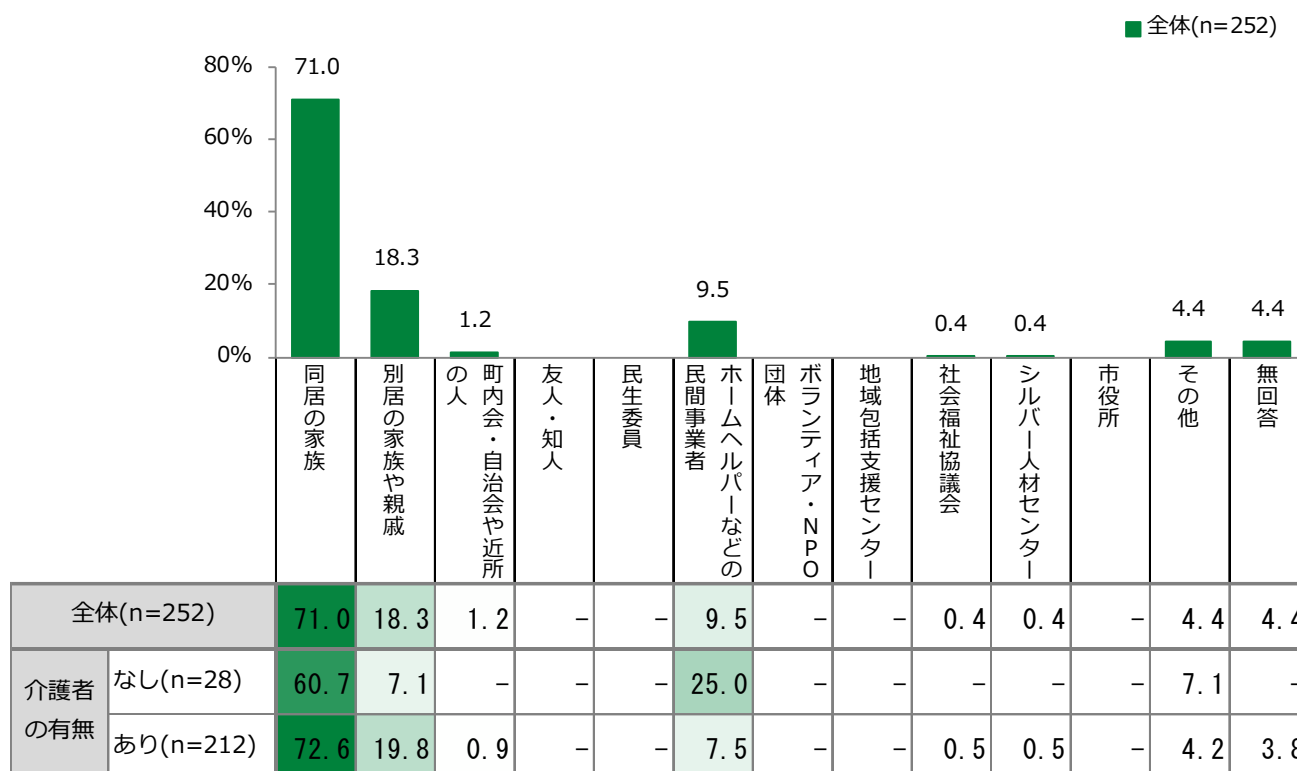


【食事の準備（調理）】

☑ 「同居の家族」が71.0%

食事の準備（調理）をしてくれる人については、「同居の家族」が71.0%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」（18.3%）となっています。

図表 149 手助けをしてくれる人【食事の準備（調理）】

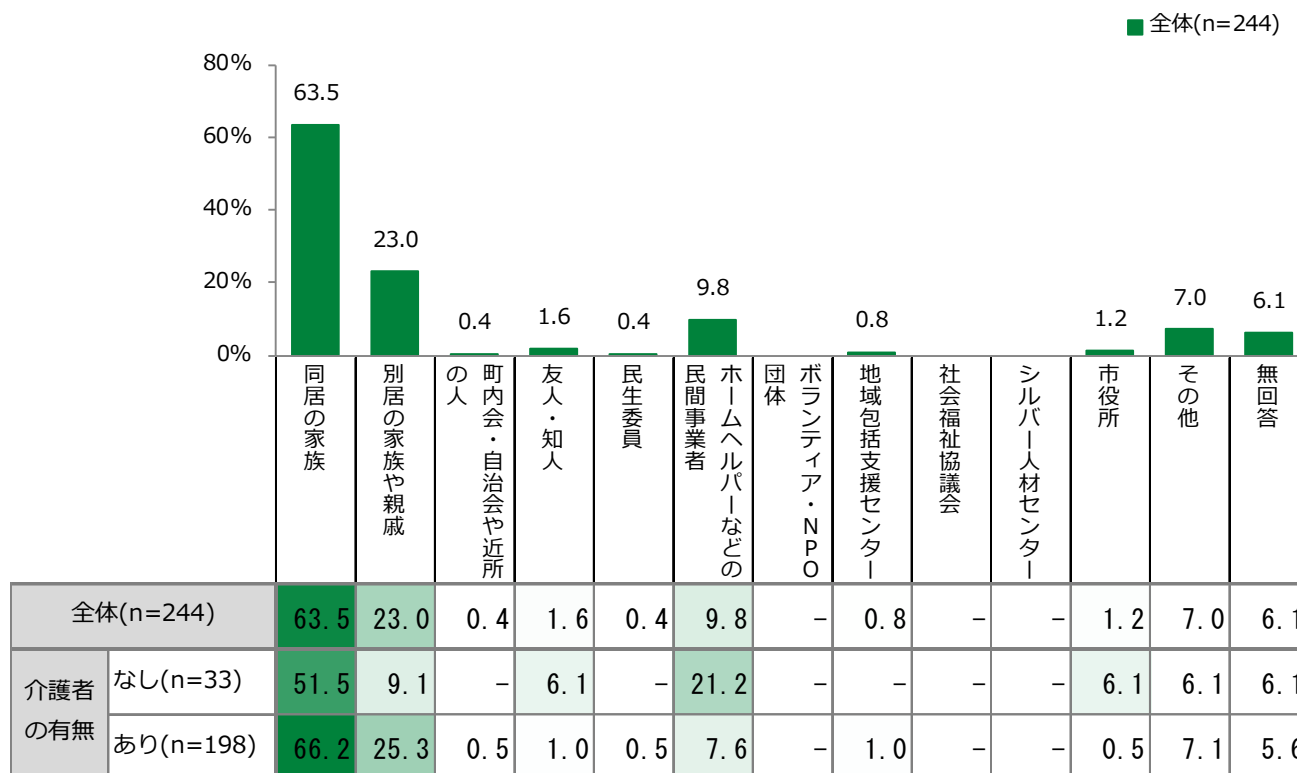


【食事の提供（会食・配食）】

☑ 「同居の家族」が63.5%

食事の提供（会食・配食）をしてくれる人については、「同居の家族」が63.5%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」（23.0%）となっています。

図表 150 手助けをしてくれる人【食事の提供（会食・配食）】

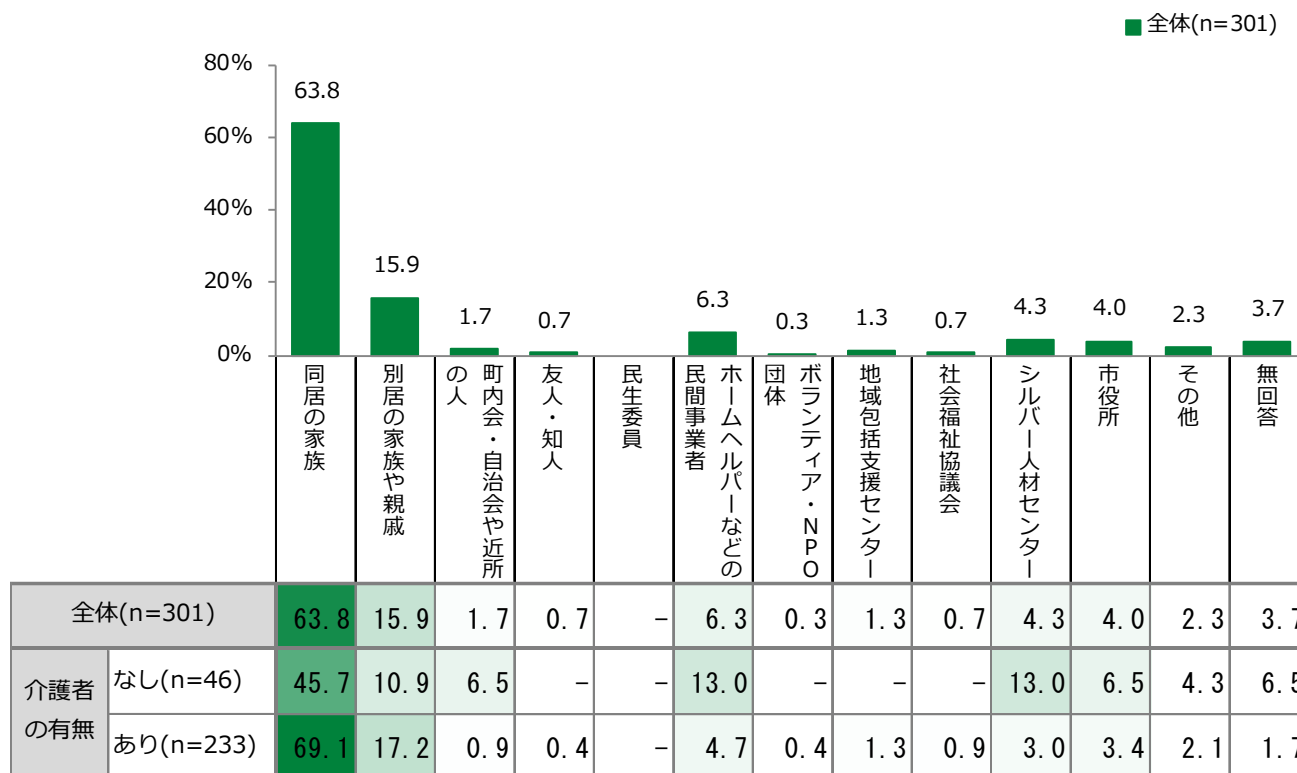


【ごみ出し】

☑ 「同居の家族」が 63.8%

ごみ出しをしてくれる人については、「同居の家族」が 63.8%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(15.9%)となっています。

図表 151 手助けをしてくれる人【ごみ出し】

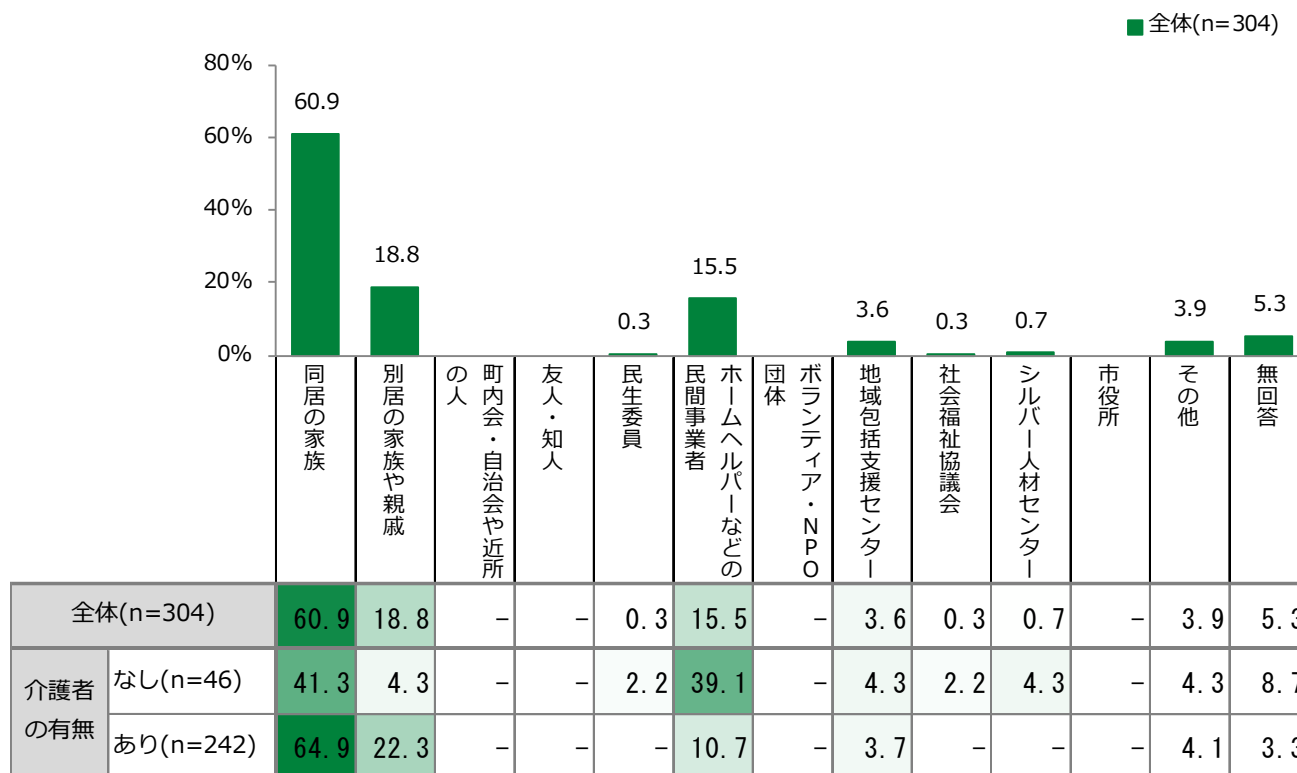


【掃除】

☑ 「同居の家族」が60.9%

掃除をしてくれる人については、「同居の家族」が60.9%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(18.8%)、「ホームヘルパーなどの民間事業者」(15.5%)となっています。

図表 152 手助けをしてくれる人【掃除】

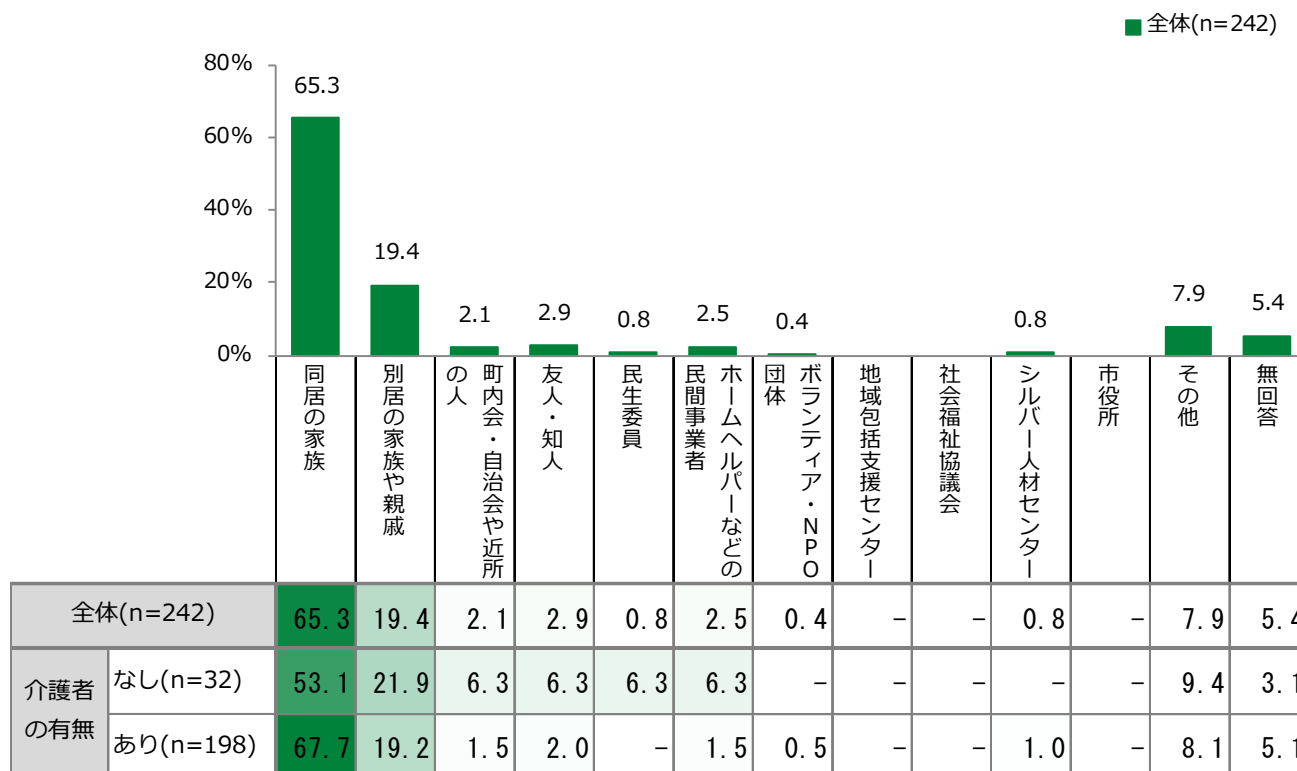


【庭の草取り】

☑ 「同居の家族」が 65.3%

庭の草取りをしてくれる人については、「同居の家族」が 65.3%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(19.4%)となっています。

図表 153 手助けをしてくれる人【庭の草取り】

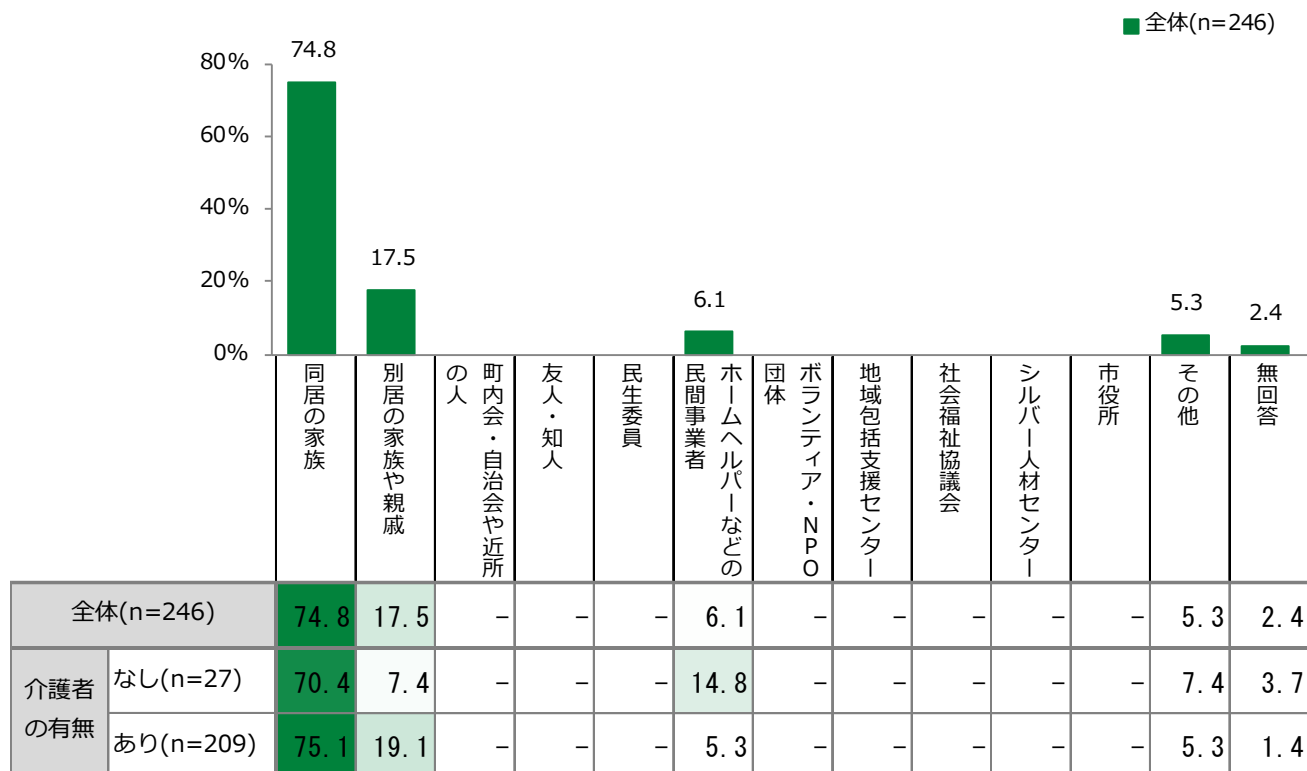


【洗濯】

☑ 「同居の家族」が 74.8%

洗濯をしてくれる人については、「同居の家族」が 74.8%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(17.5%)となっています。

図表 154 手助けをしてくれる人【洗濯】

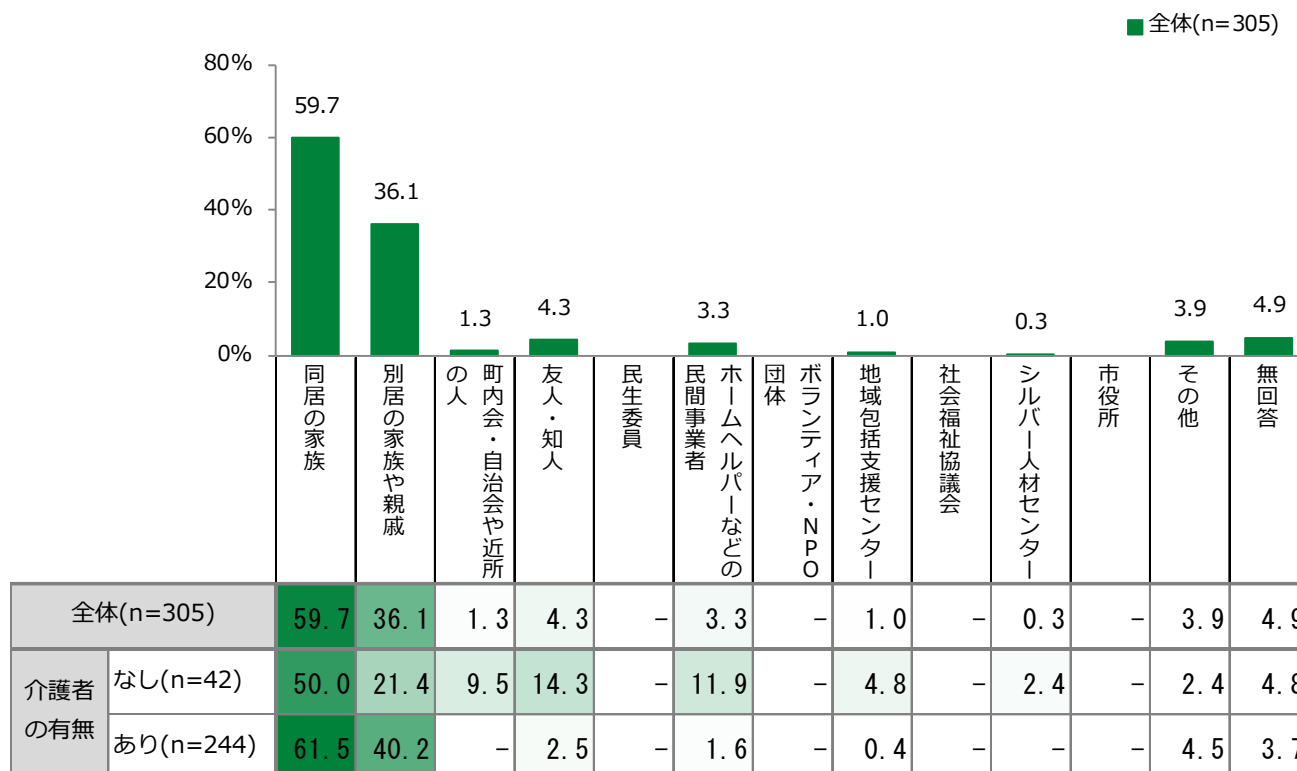


【通院や外出の送迎】

☑ 「同居の家族」が 59.7%

通院や外出の送迎をしてくれる人については、「同居の家族」が 59.7%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(36.1%)となっています。

図表 155 手助けをしてくれる人【通院や外出の送迎】

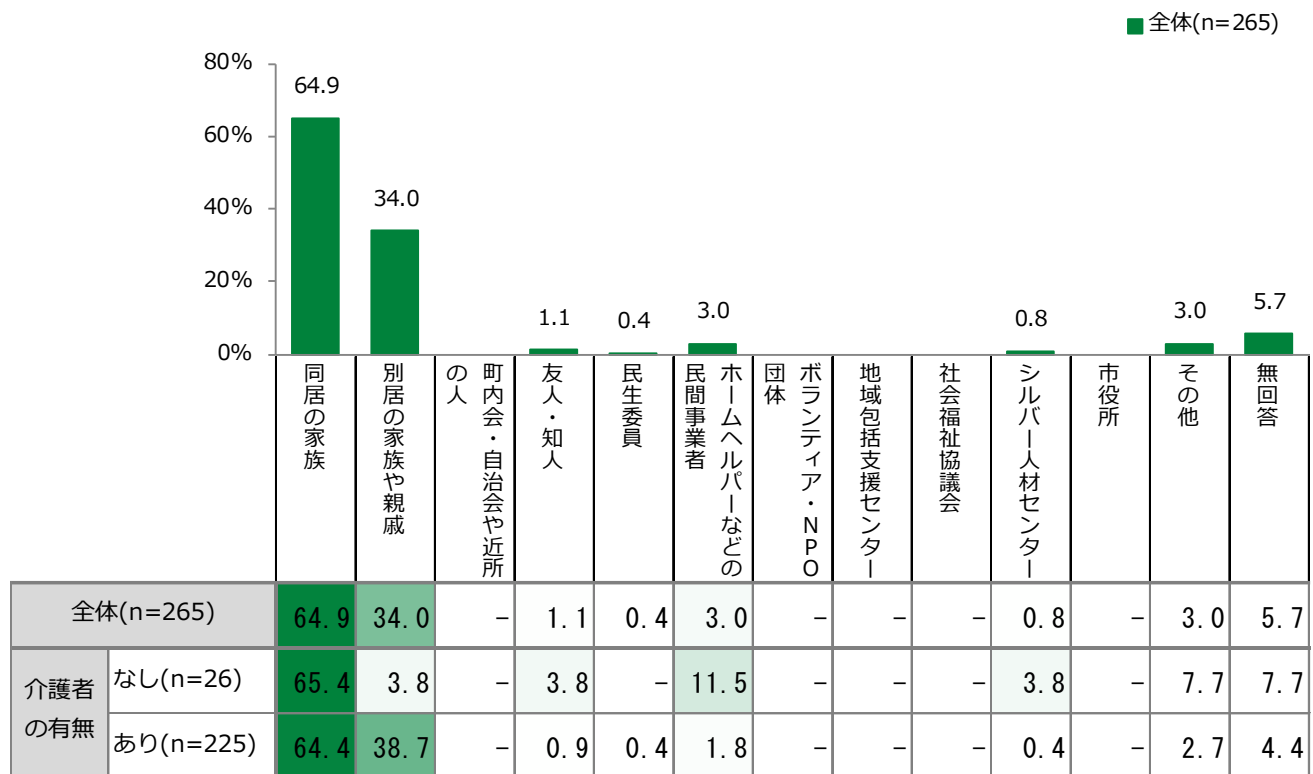


【(送迎を除く) 通院や外出の付き添い】

☑ 「同居の家族」が 64.9%

通院や外出の付き添いをしてくれる人については、「同居の家族」が 64.9%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(34.0%)となっています。

図表 156 手助けをしてくれる人【(送迎を除く) 通院や外出の付き添い】

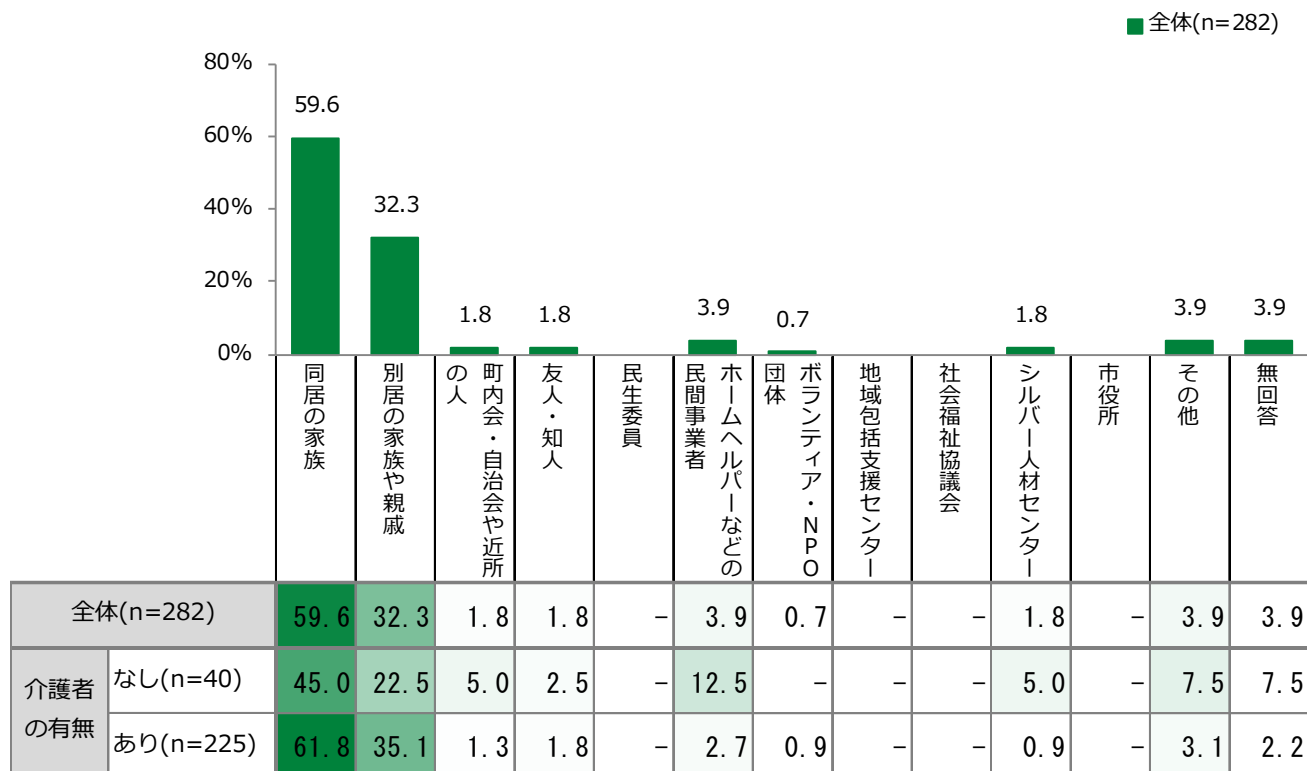


【電球交換や簡単な大工仕事】

☑ 「同居の家族」が 59.6%

電球交換や簡単な大工仕事をしてくれる人については、「同居の家族」が 59.6%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(32.3%)となっています。

図表 157 手助けをしてくれる人【電球交換や簡単な大工仕事】

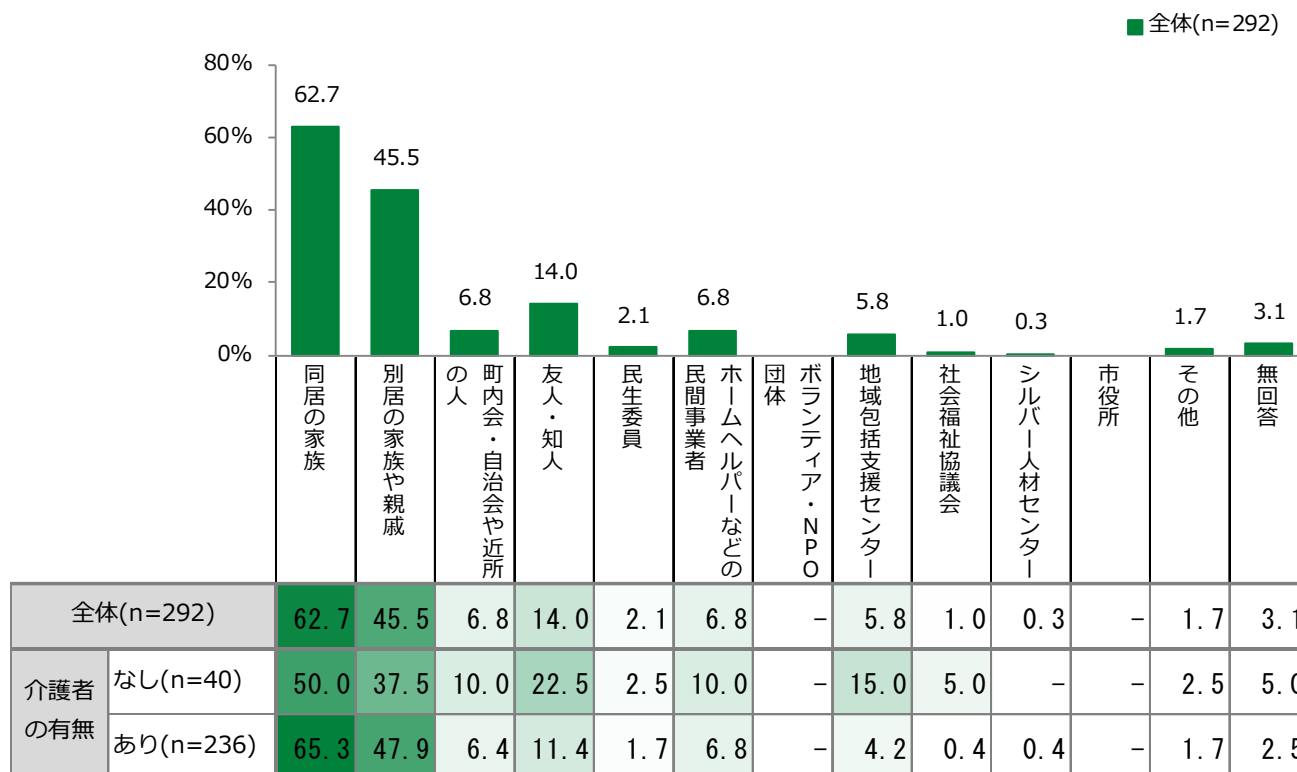


【話し相手や相談相手】

☑ 「同居の家族」が62.7%

話し相手や相談相手については、「同居の家族」が62.7%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(45.5%)、「友人・知人」(14.0%)となっています。

図表 158 手助けをしてくれる人【話し相手や相談相手】

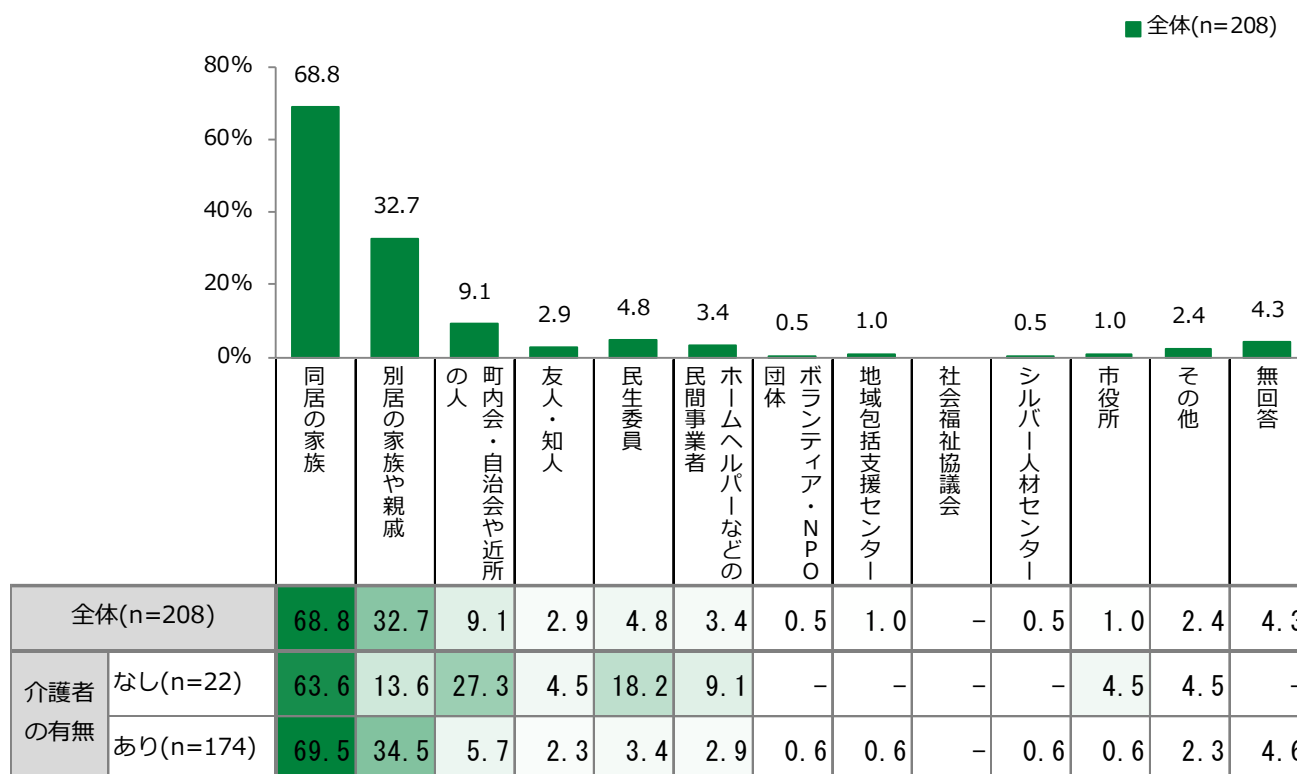


【災害時の手助け】

☑ 「同居の家族」が68.8%

災害時の手助けをしてくれる人については、「同居の家族」が68.8%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(32.7%)となっています。

図表 159 手助けをしてくれる人【災害時の手助け】

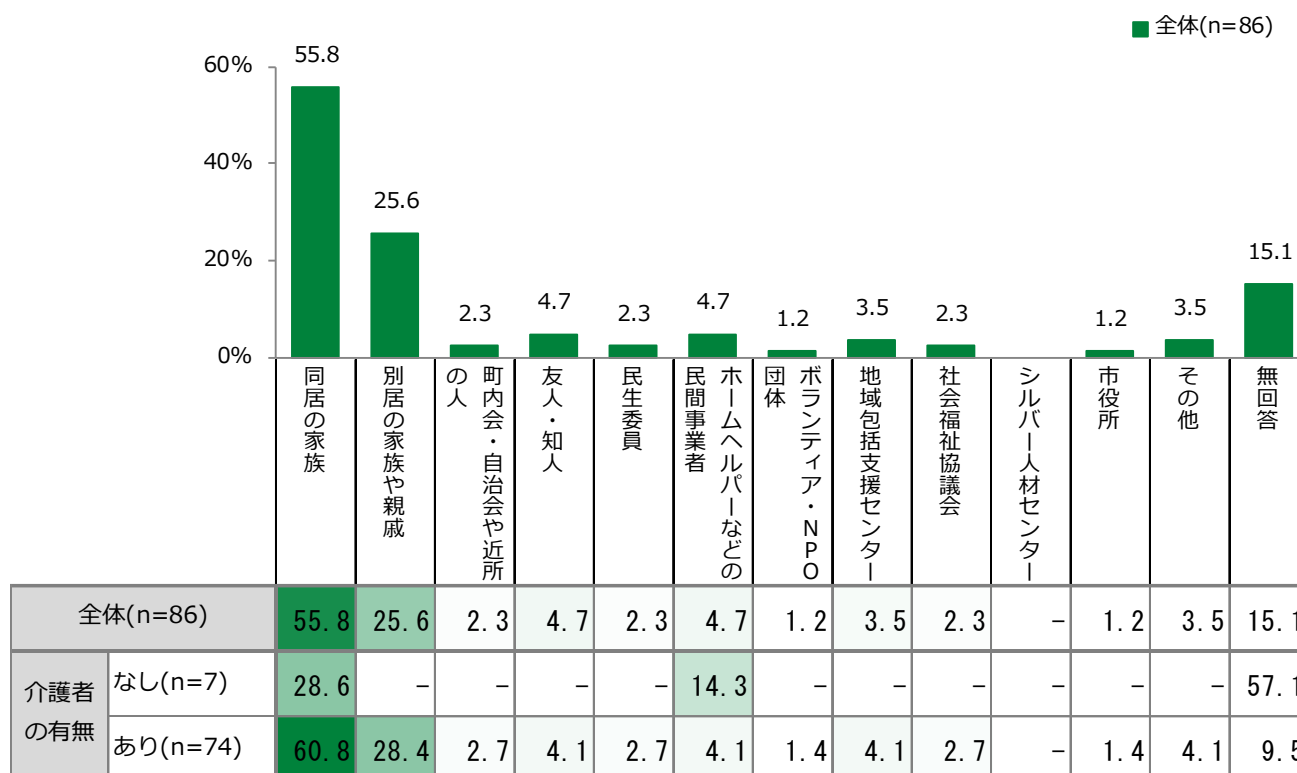


【その他】

☑ 「同居の家族」が 55.8%

その他の手助けをしてくれる人については、「同居の家族」が 55.8%と最も高く、次いで「別居の家族や親戚」(25.6%)となっています。

図表 160 手助けをしてくれる人【その他】



3. 必要なのに受けていない手助け

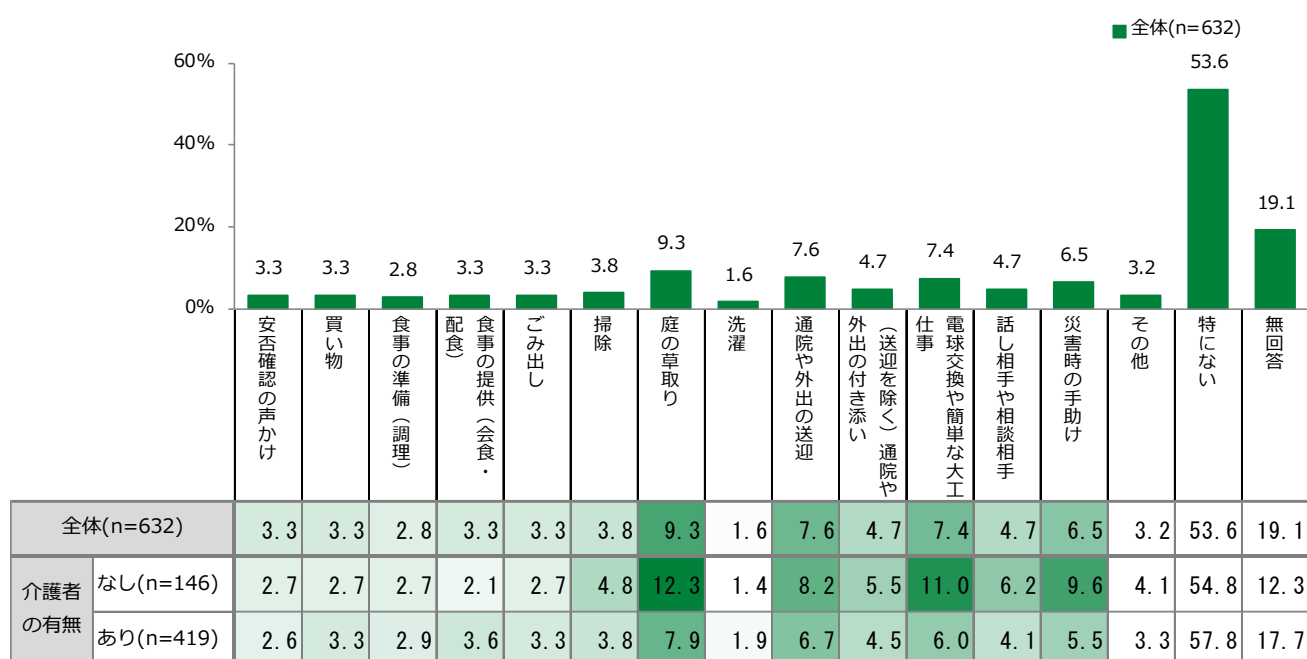
問 12 あなたは、必要なのに受けていない手助けがありますか。(〇はいくつでも)

☑ 「庭の草取り」が9.3%

必要なのに受けていない手助けについては、「庭の草取り」が9.3%、次いで「通院や外出の送迎」(7.6%)、「電球交換や簡単な大工仕事」(7.4%)となっています。また、「特にない」が53.6%と最も高くなっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「電球交換や簡単な大工仕事」が5.0ポイント、介護者ありより高くなっています。

図表 161 必要なのに受けていない手助け



※問 12 で「15. 特になし」以外をお答えの方

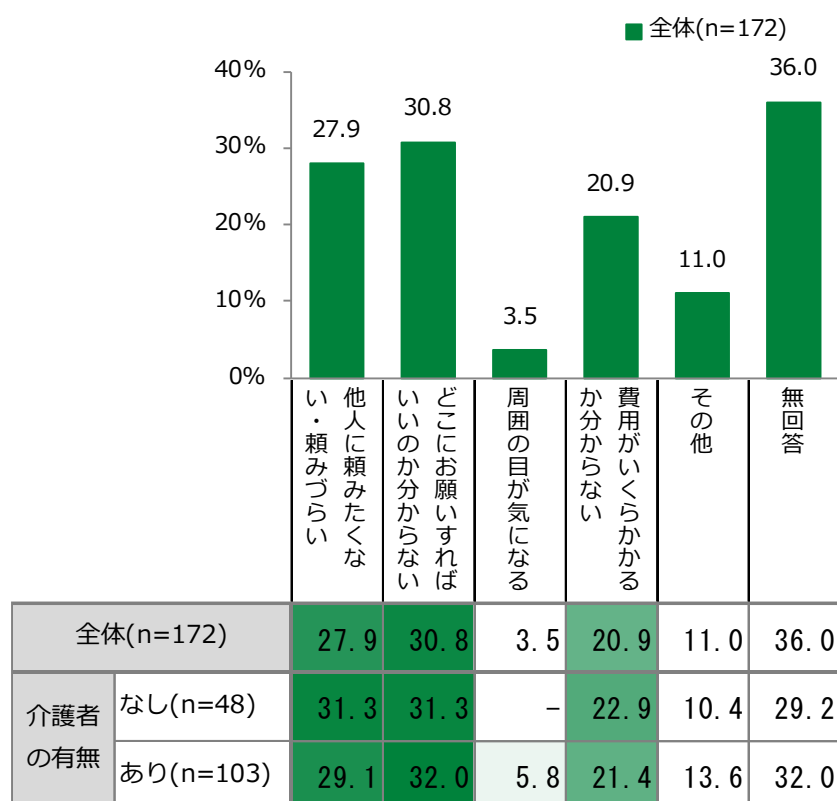
問 12-1 必要なのに手助けを受けていない理由はありますか。(〇はいくつでも)

☑ 「どこにお願いすればいいのかわからない」が 30.8%

手助けを受けていない理由については、「どこにお願いすればいいのかわからない」が 30.8%と最も高く、次いで「他人に頼みたくない・頼みづらい」(27.9%)、「費用がいくらかかるかわからない」(20.9%)、「周囲の目が気になる」(3.5%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありでは「周囲の目が気になる」が 5.8 ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 162 手助けを受けていない理由



3. 介護保険制度および高齢者福祉施策について

1. 居住地域における問題

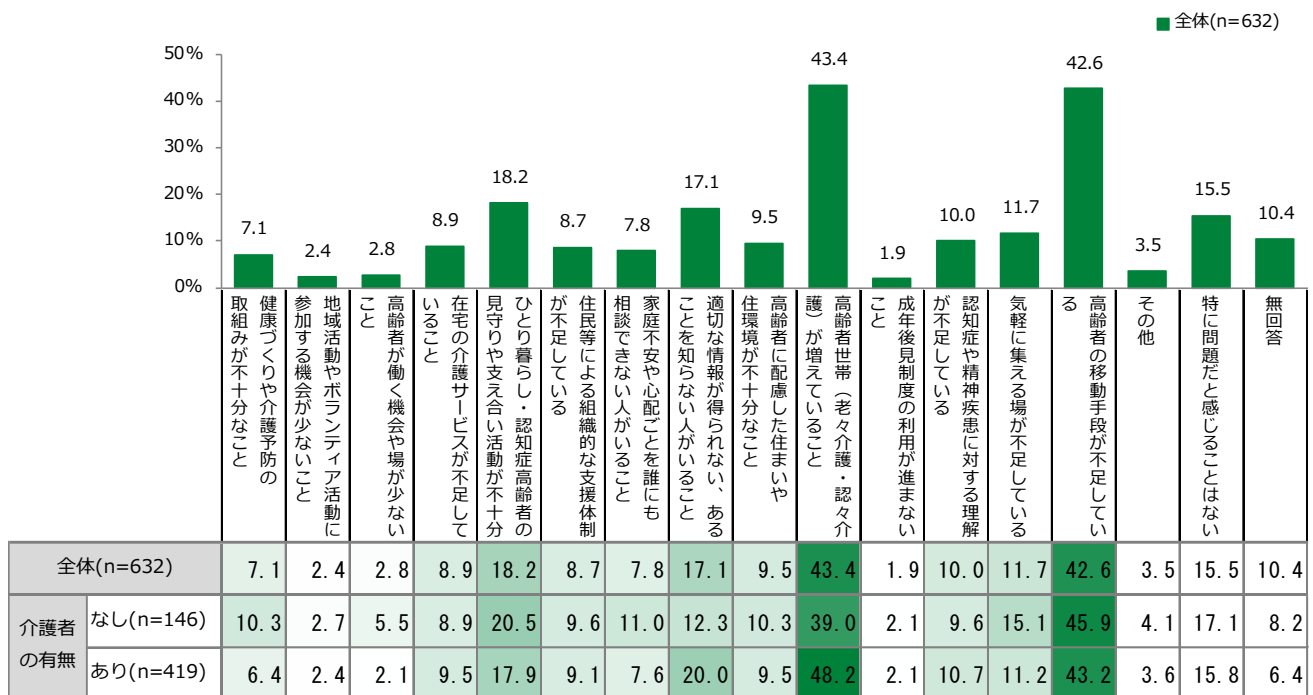
問 13 あなたは、お住まいの地域で、いま何が問題だと感じていますか。(〇は5つまで)

☑ 「高齢者世帯（老々介護・認々介護）が増えていること」が 43.4%

居住地域における問題については、「高齢者世帯（老々介護・認々介護）が増えていること」が 43.4%と最も高く、次いで「高齢者の移動手段が不足している」（42.6%）、「ひとり暮らし・認知症高齢者の見守りや支え合い活動が不十分」（18.2%）となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「高齢者世帯（老々介護・認々介護）が増えていること」が 9.2 ポイント、「適切な情報が得られない、あることを知らない人がいること」が 7.7 ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 163 居住地域における問題



2. 介護保険料と介護保険サービスのあり方

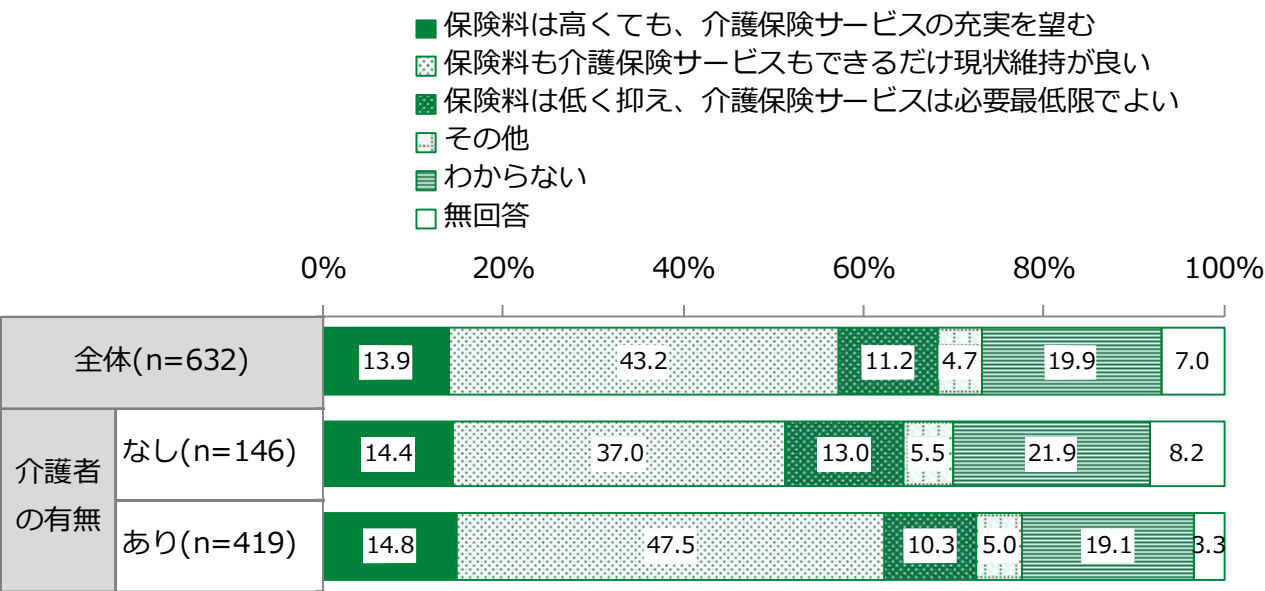
問 14 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まる仕組みとなっています。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたのお考えに近いものはどれですか。（○は1つ）

☒ 「保険料も介護保険サービスもできるだけ現状維持が良い」が43.2%

介護保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料も介護保険サービスもできるだけ現状維持が良い」が43.2%と最も高く、次いで「わからない」（19.9%）、「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」（13.9%）となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「保険料も介護保険サービスもできるだけ現状維持が良い」が10.5ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 164 介護保険料と介護保険サービスのあり方



3. 日進市の高齢者福祉施策に望むこと

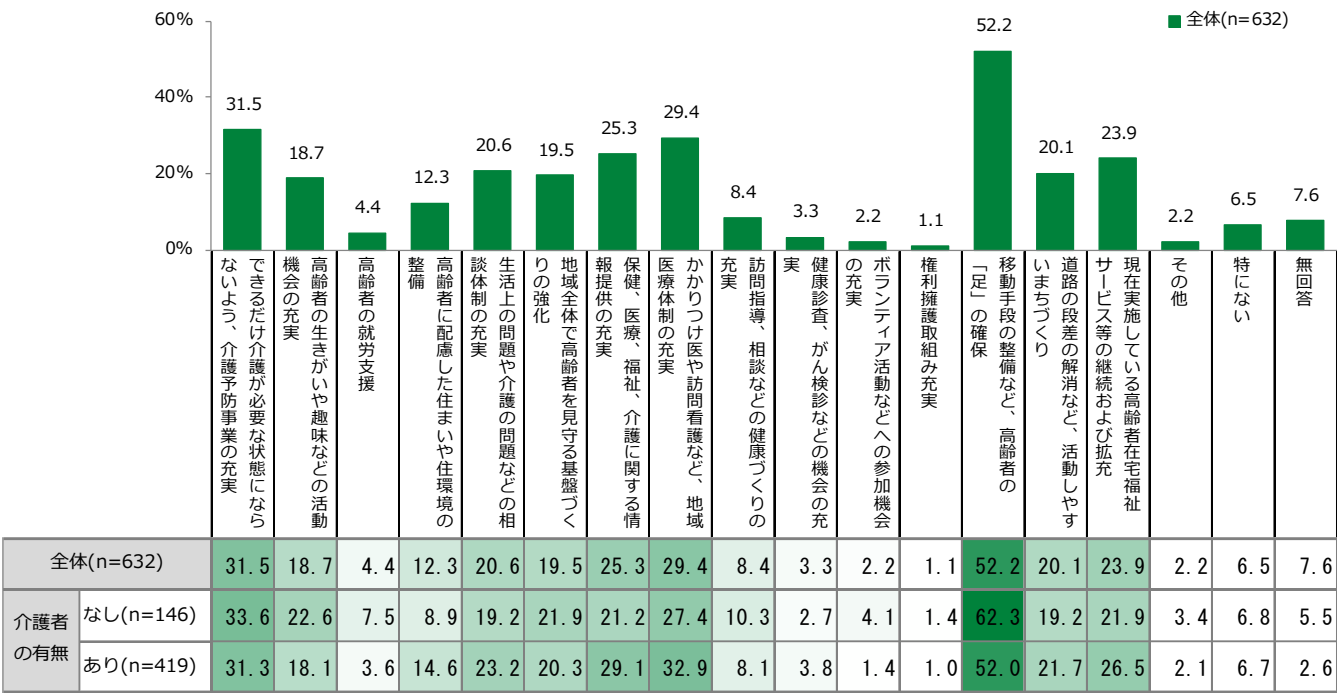
問 15 日進市の高齢者福祉施策に関して、どのようなことを望みますか。(〇は3つまで)

☑ 「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が 52.2%

日進市の高齢者福祉施策に望むことについては、「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が 52.2%と最も高く、次いで「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業の充実」(31.5%)、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制の充実」(29.4%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「移動手段の整備など、高齢者の“足”の確保」が 10.3 ポイント、介護者ありより高くなっています。また、介護者ありで「保健、医療、福祉、介護に関する情報提供の充実」が 7.9 ポイント、「高齢者に配慮した住まいや住環境の整備」が 5.7 ポイント、「かかりつけ医や訪問介護など、地域医療体制の充実」が 5.5 ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 165 日進市の高齢者福祉施策に望むこと



4. 地域包括支援センターの認知度

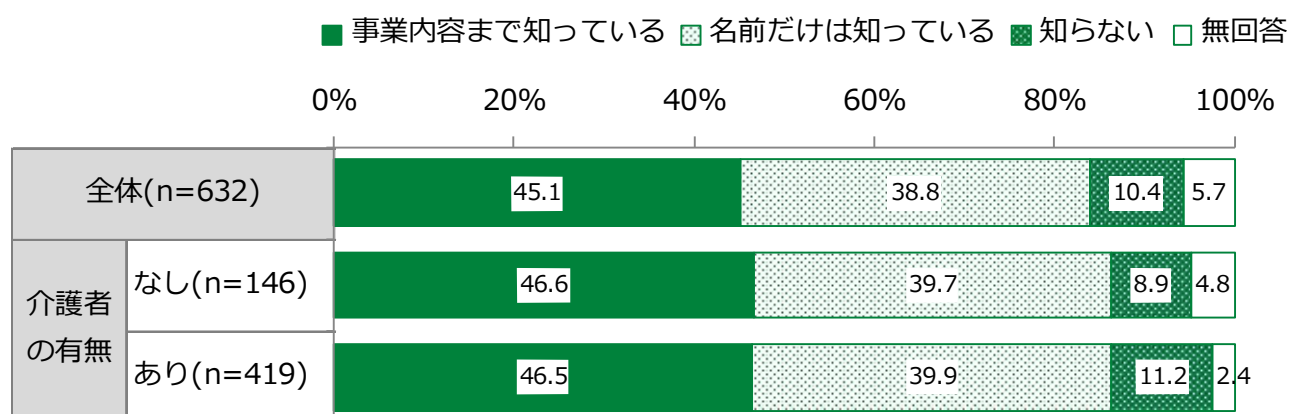
問 16 日進市では、地域包括支援センター（高齢者を対象とした総合相談窓口）を3箇所設置しています。地域包括支援センターを知っていますか。（○は1つ）

☑ 「事業内容まで知っている」が45.1%

地域包括支援センターを知っているかについては、「事業内容まで知っている」が45.1%と最も高く、次いで「名前だけは知っている」（38.8%）、「知らない」（10.4%）となっています。

介護者の有無別でみると、特に大きな差はみられません。

図表 166 地域包括支援センターの認知度



5. 地域包括支援センターの利用の有無

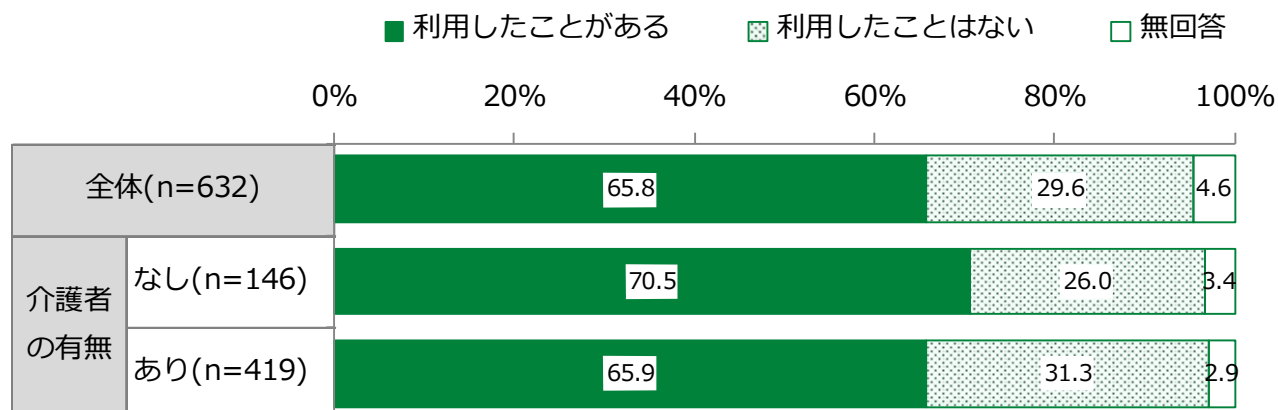
問 17 あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。（○は1つ）

☑ 「利用したことがある」が65.8%

地域包括支援センターを利用したことがあるかについては、「利用したことがある」が65.8%、「利用したことはない」が29.6%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者ありで「利用したことはない」が5.3ポイント、介護者なしより高くなっています。

図表 167 地域包括支援センターの利用の有無



6. 地域包括支援センターの印象

※問 17 で「1. 利用したことがある」とお答えの方

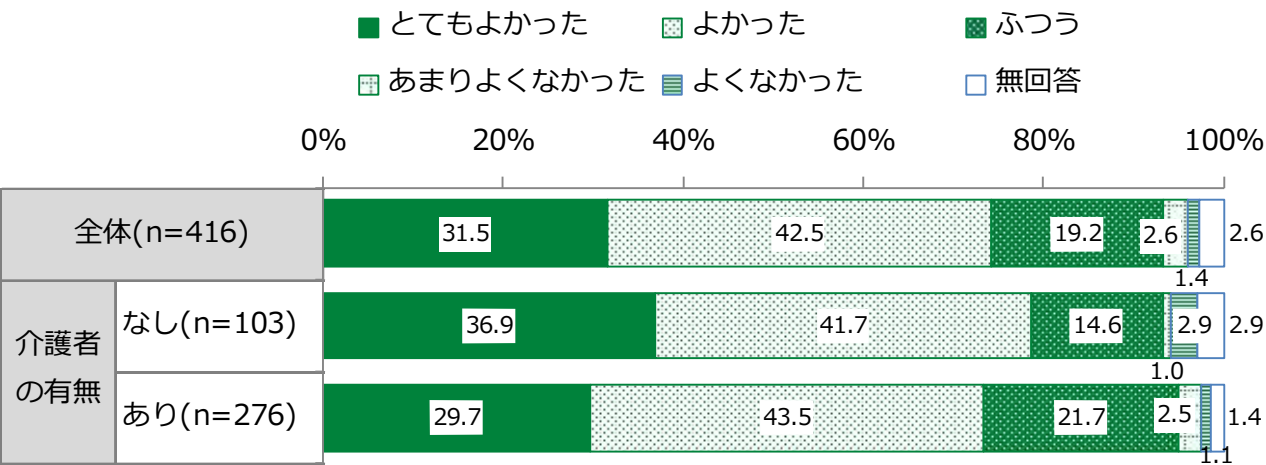
問 17－1 地域包括支援センターの印象はいかがでしたか。(○は1つ)

☑ 「よかった」が 42.5%

地域包括支援センターの印象については、「よかった」が 42.5%と最も高くなっています。また、“印象がよかった”(「とてもよかった」＋「よかった」)が 74.0%、“印象がよくなかった”(「あまりよくなかった」＋「よくなかった」)が 4.0%となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「とてもよかった」が 7.2 ポイント、介護者ありより高くなっています。

図表 168 地域包括支援センターの印象



※問 17 で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問 17－2 地域包括支援センターの印象について、上記の回答をされた理由は何ですか。

図表 169 地域包括支援センターへの印象の理由

内容	件数
親切、親身	65
相談にのってくれる	32
説明が丁寧、わかりやすい	14
ケアマネやサービス等につながり満足	13
対応が早い	13
対応がよい	10
担当がよい	7
対応が丁寧	4
話しやすい	4
訪問が多い	2
対応に不満	5
説明不足	3
要望を聞いてもらえなかった	2
親身でなかった	2
職員の知識不足	1
担当に不満	1
連絡不足	1
認定が低かった	1
やる気が感じられなかった	1
必要に迫られて利用した	1
その他	32
合 計	214

7. 特に力を入れてほしい地域包括支援センター事業

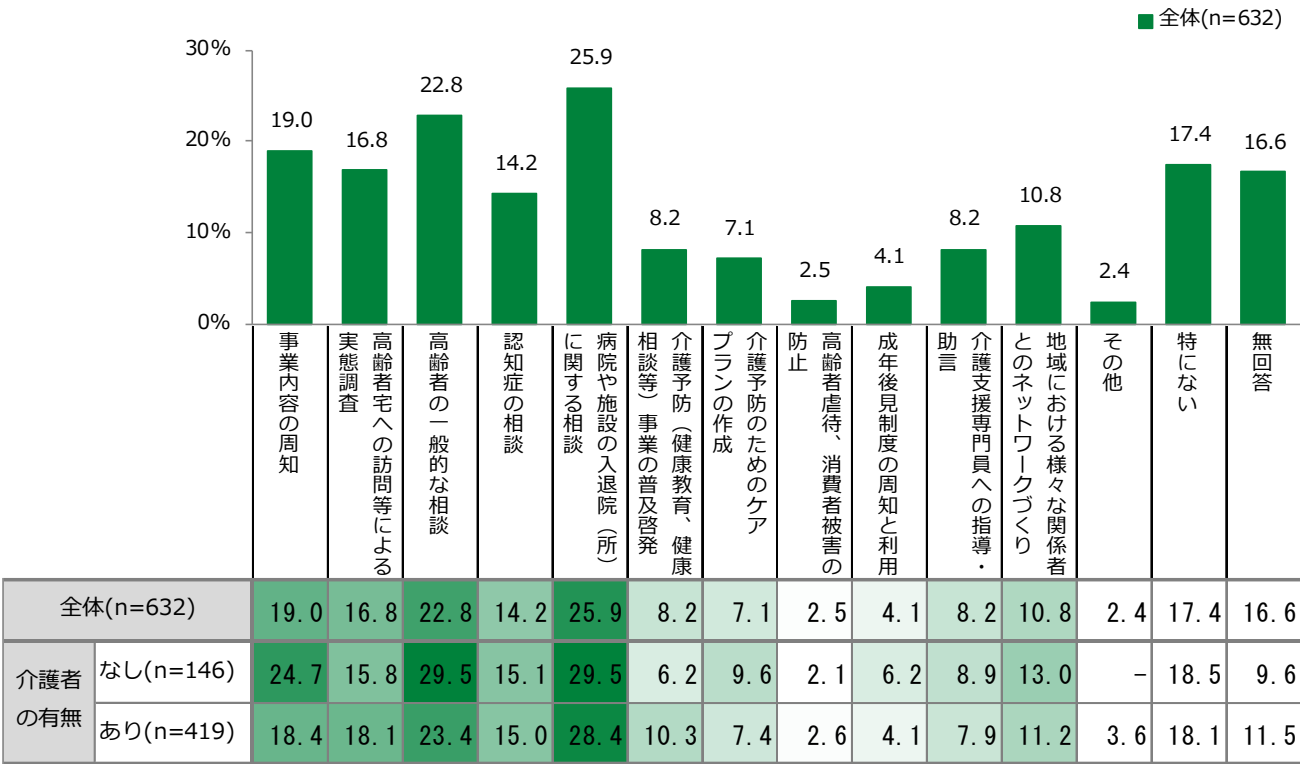
問 18 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。（〇は3つまで）

☑ 「病院や施設の入退院（所）に関する相談」が 25.9%

特に力を入れてほしい地域包括支援センター事業については、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」が 25.9%と最も高く、次いで「高齢者の一般的な相談」(22.8%)、「事業内容の周知」(19.0%)、「高齢者宅への訪問等による実態調査」(16.8%)となっています。

介護者の有無別でみると、介護者なしで「事業内容の周知」が 6.3 ポイント、「高齢者の一般的な相談」が 6.1 ポイント、介護者ありより高くなっています。

図表 170 特に力を入れてほしい地域包括支援センター事業



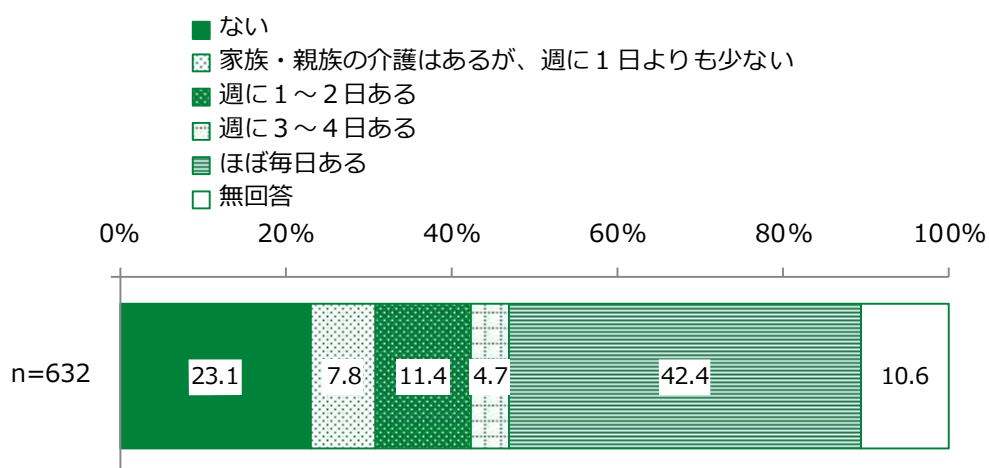
8. 家族・親族による介護の頻度

問 19 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

☑ 「ほぼ毎日ある」が 42.4%

家族・親族による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 42.4%と最も高く、次いで「ない」(23.1%)、「週に1～2日ある」(11.4%)となっています。

図表 171 家族・親族による介護の頻度



4. 主な介護者について

※問 19 で「2.」～「5.」を選択された方

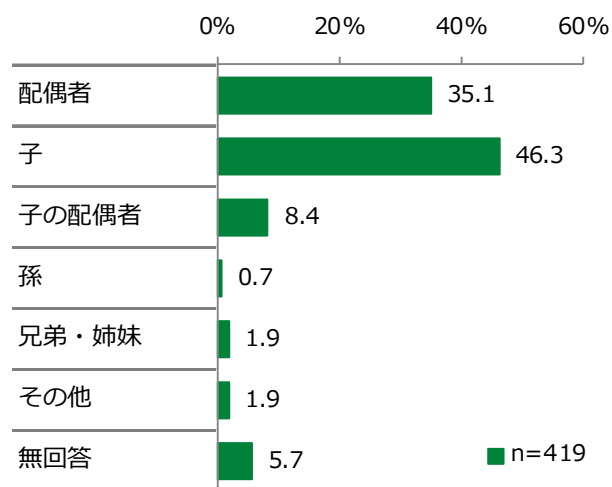
1. 主な介護者

問 20 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

☒ 「子」が 46.3%

主な介護者については、「子」が 46.3%と最も高く、次いで「配偶者」(35.1%)、「子の配偶者」(8.4%)となっています。

図表 172 主な介護者



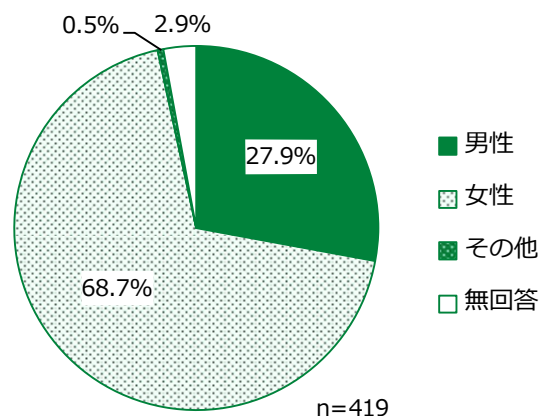
2. 主な介護者の性別

問 21 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「女性」が 68.7%

主な介護者の性別については、「女性」が 68.7%、「男性」が 27.9%となっています。

図表 173 主な介護者の性別



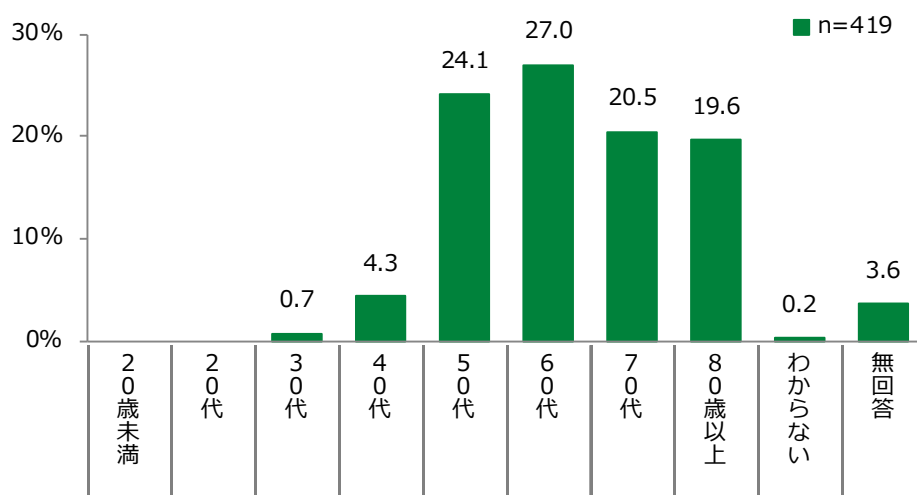
3. 主な介護者の年齢

問 22 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「60代」が27.0%

主な介護者の年齢については、「60代」が27.0%と最も高く、次いで「50代」(24.1%)、「70代」(20.5%)、「80歳以上」(19.6%)となっています。

図表 174 主な介護者の年齢



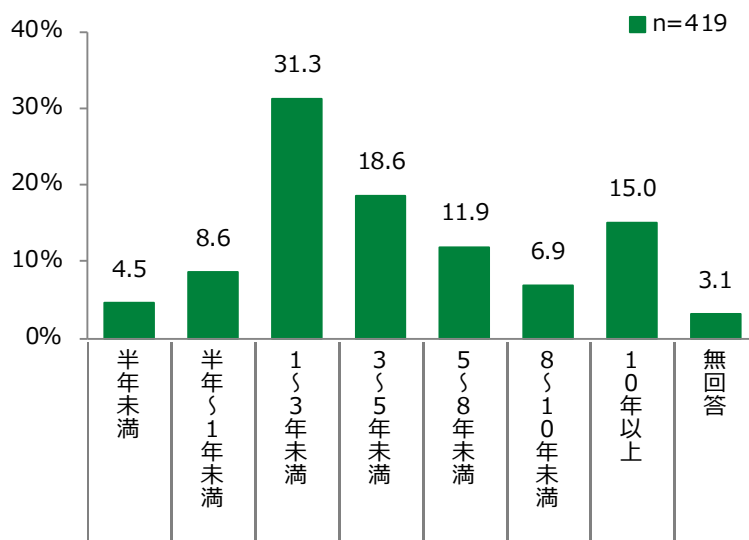
4. 対象者への介護の期間

問 23 ご本人に対しては、どのくらい介護を続けていますか。(○は1つ)

☒ 「1～3年未満」が31.3%

対象者への介護の期間については、「1～3年未満」が31.3%と最も高く、次いで「3～5年未満」(18.6%)、「10年以上」(15.0%)となっています。

図表 175 対象者への介護の期間



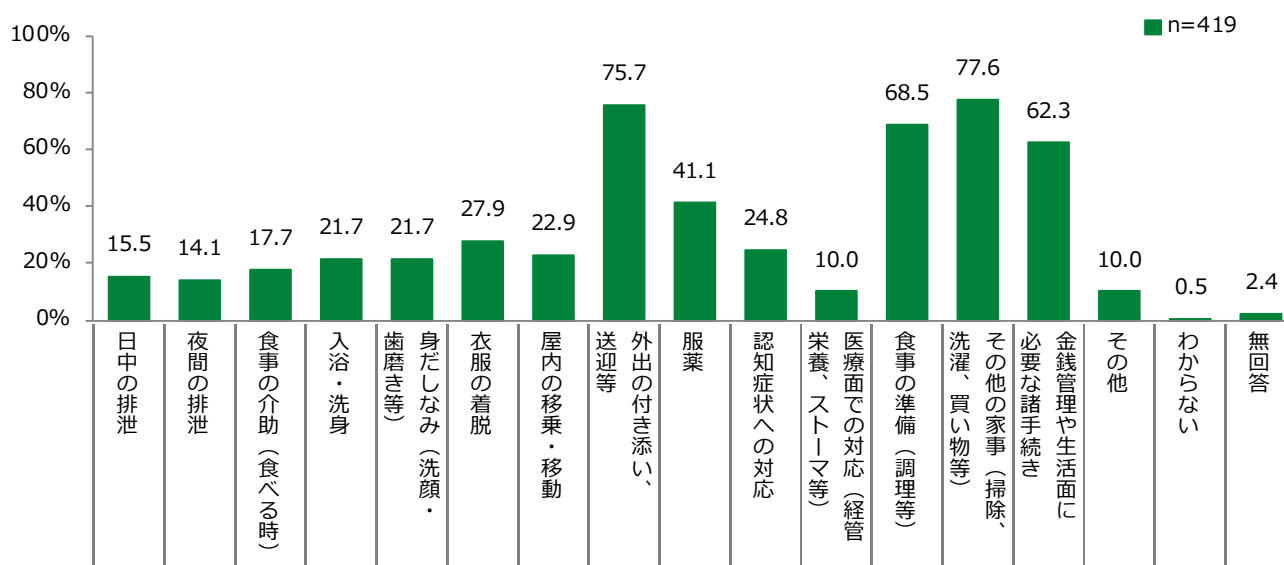
5. 主な介護者が行っている介護等

問 24 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

☒ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 77.6%

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 77.6%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（75.7%）、「食事の準備（調理等）」（68.5%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（62.3%）となっています。

図表 176 主な介護者が行っている介護等



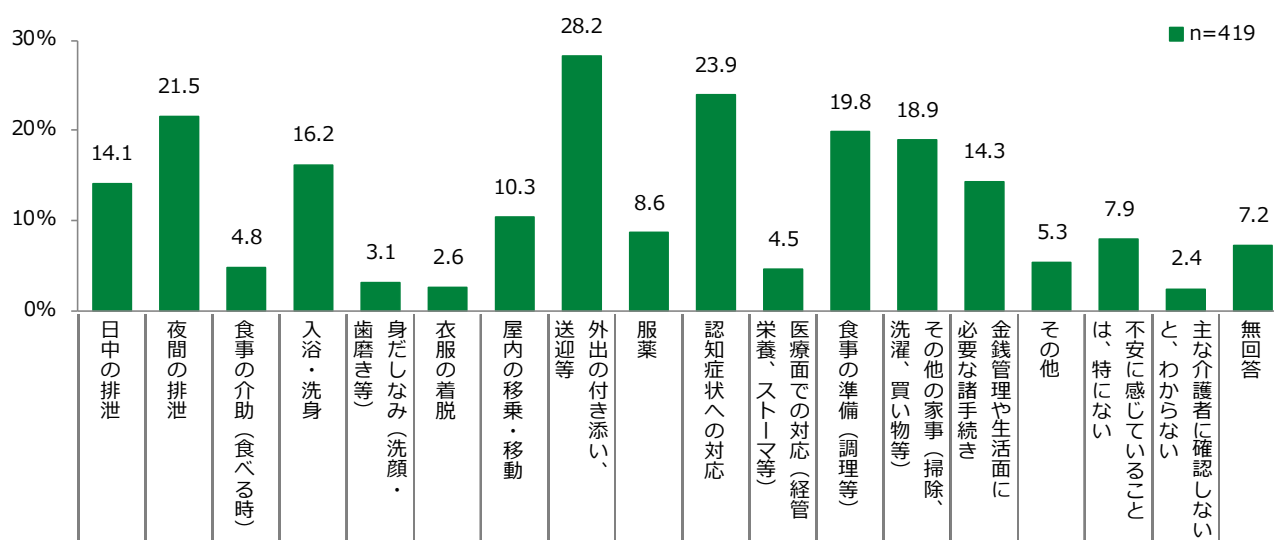
6. 主な介護者が不安に感じる介護等

問 25 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（〇は3つまで）

☑ 「外出の付き添い、送迎等」が 28.2%

主な介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が 28.2%と最も高く、次いで「認知症状への対応」(23.9%)、「夜間の排泄」(21.5%)となっています。

図表 177 主な介護者が不安に感じる介護等



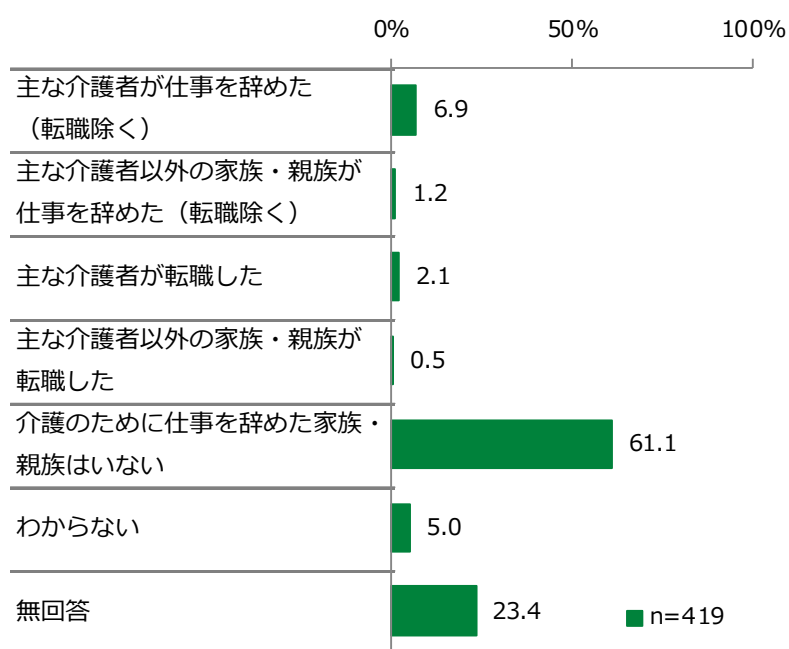
7. 介護を理由とした家族等の離職の有無

問 26 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）

☑ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.1%

介護を理由とした家族等の離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.1%、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（6.9%）となっています。

図表 178 介護を理由とした家族等の離職の有無



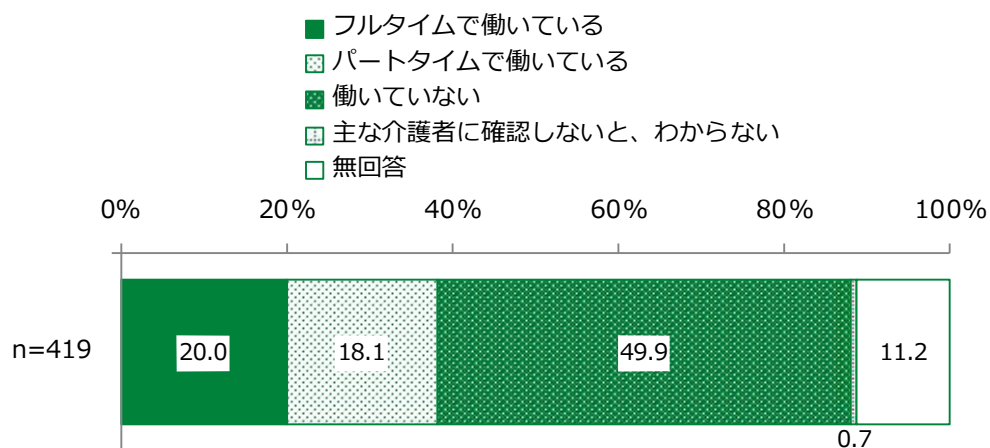
8. 主な介護者の勤務形態

問 27 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

☒ 「働いていない」が 49.9%

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が 49.9%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(20.0%)、「パートタイムで働いている」(18.1%)となっています。

図表 179 主な介護者の勤務形態



※問 27 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答された方

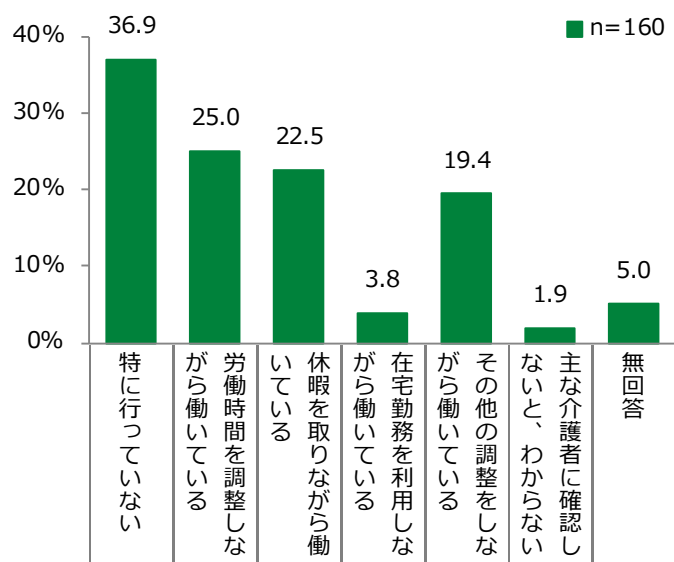
9. 介護のための働き方の調整等

問 28 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(〇はいくつでも)

☒ 「特に行っていない」が 36.9%

主な介護者が介護をするにあたって働き方の調整等を行っているかについては、「特に行っていない」が 36.9%と最も高く、次いで「労働時間を調整しながら働いている」(25.0%)、「休暇を取りながら働いている」(22.5%)、「その他の調整をしながら働いている」(19.4%)となっています。

図表 180 介護のための働き方の調整等



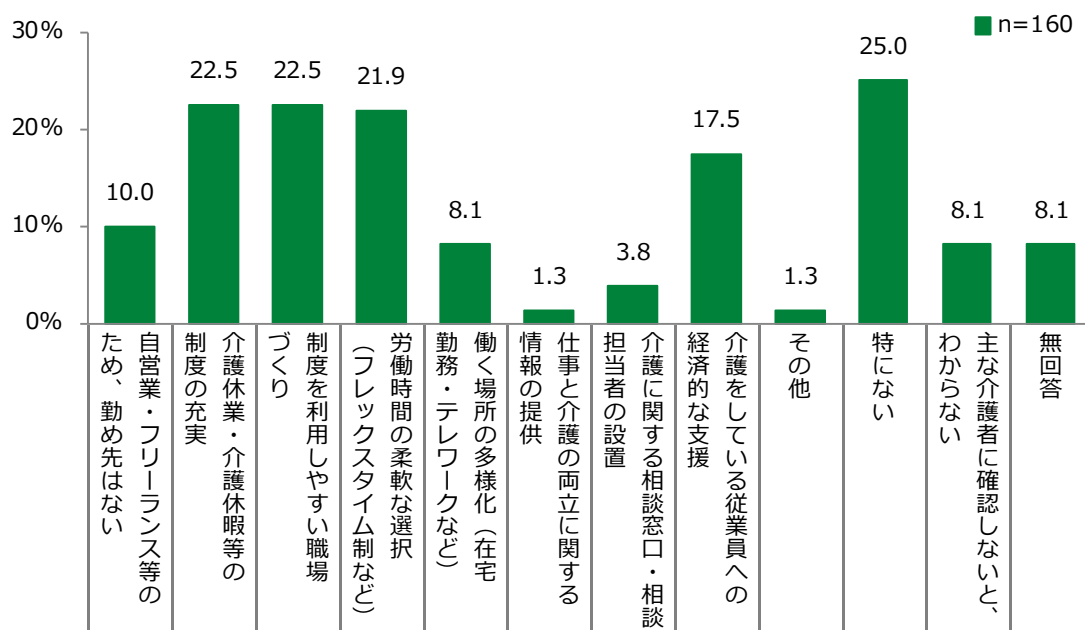
10.仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

問 29 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

☑ 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」が 22.5%

仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」がともに 22.5%で、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 21.9%となっています。また、「特にない」が 25.0%と最も高くなっています。

図表 181 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援



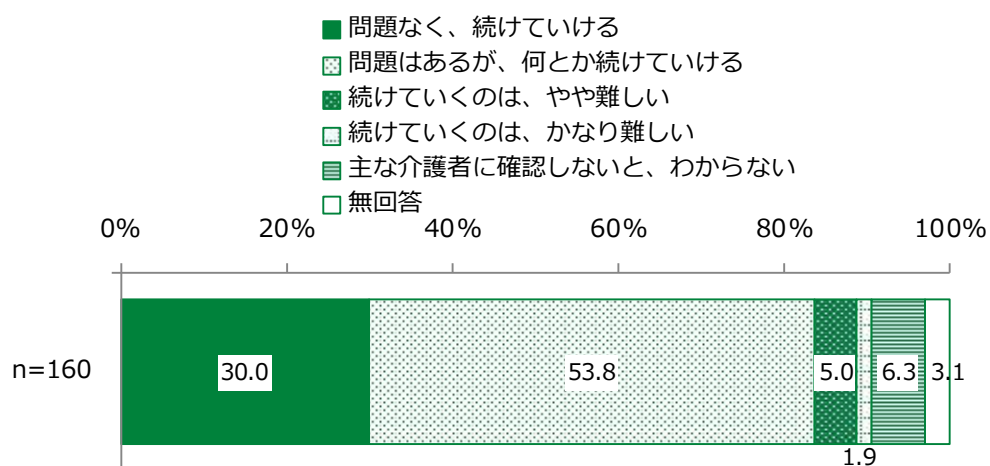
11.主な介護者の就労継続の可否に係る意識

問 30 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）

☑ 「問題はあるが、何とか続けていける」が 53.8%

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が 53.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(30.0%)となっています。

図表 182 主な介護者の就労継続の可否に係る意識



調査結果

フレイル予防

Ⅳ. 調査結果 フレイル予防

1. 調査票対象者について

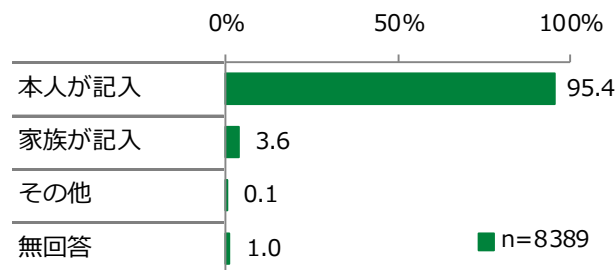
1. 調査票の回答者

問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか（○は1つ）

☑ 「調査対象者本人が記入」が95.4%

調査票の回答者については、「調査対象者本人が記入」が95.4%、「家族が記入」が3.6%となっています。

図表 183 調査票の回答者

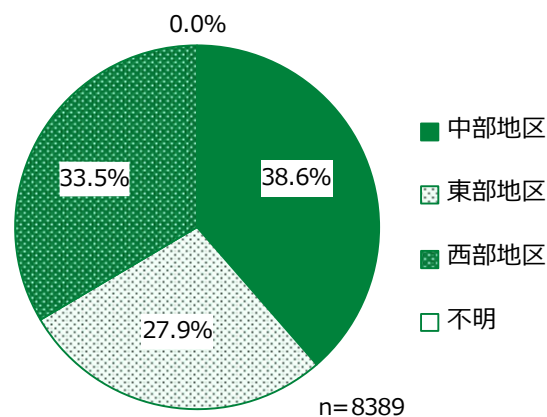


2. 居住地域(認定データより)

☑ 「中部地区」が38.6%

居住地域については、「中部地区」が38.6%、「西部地区」が33.5%、「東部地区」が27.9%となっています。

図表 184 居住地域



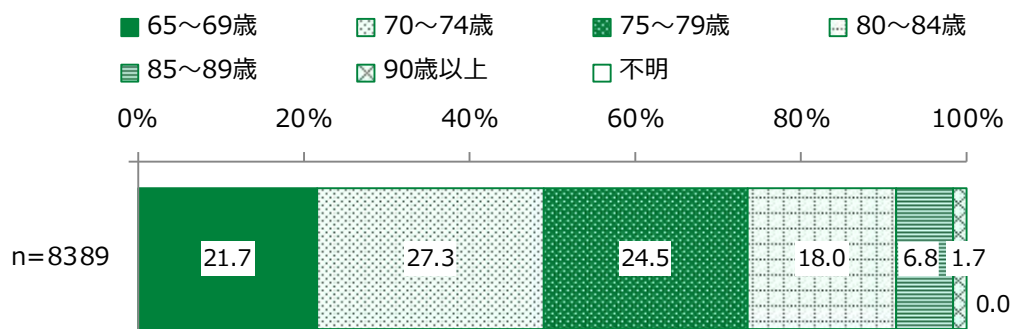
中部地区（蟹甲・折戸・栄（1～2丁目）・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山）
東部地区（藤枝・米野木・米野木台・三本木・藤島・北新・五色園・栄（3～5丁目））
西部地区（赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台）

3. 年齢(認定データより)

☑ 「70～74 歳」が 27.3%

対象者の年齢については、「65～69 歳」が 21.7%、「70 歳代」が 51.8%、「80 歳代」が 24.8%、「90 歳代以上」が 1.7%となっています。前期高齢者（65～74 歳）は 49.0%、後期高齢者（75 歳以上）は 51.0%となっています。

図表 185 年齢

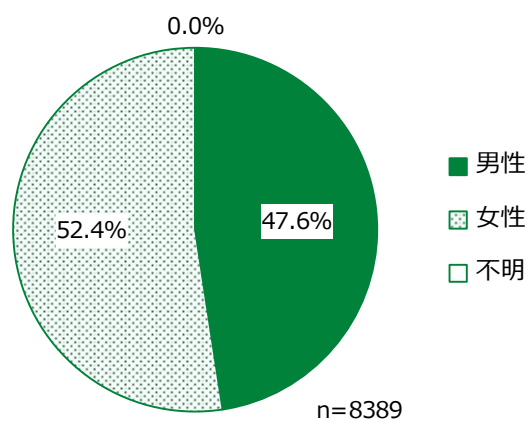


4. 性別(認定データより)

☑ 「女性」が 52.4%

対象者の性別については、「女性」が 52.4%、「男性」が 47.6%となっています。

図表 186 性別



2. 対象者の生活状況について

1. 現在の健康状態

問2 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

☑ “健康状態がよい” が 44.2%

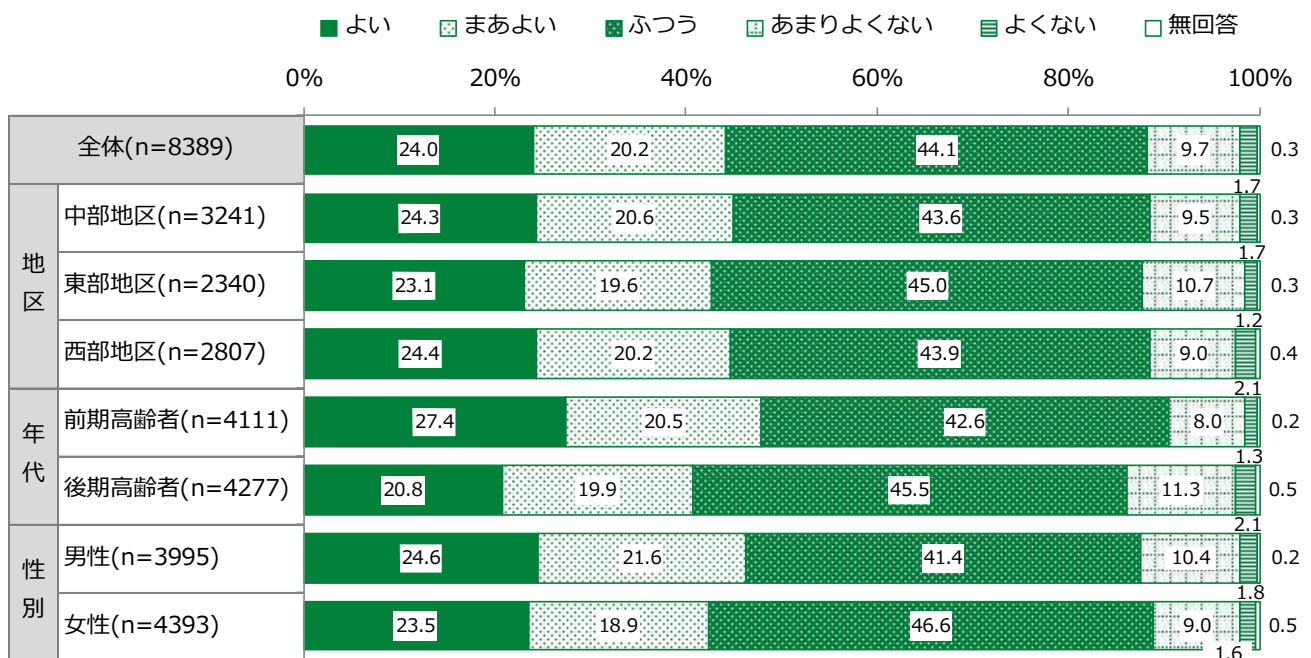
現在の健康状態については、「ふつう」が 44.1%と最も高くなっています。また、“健康状態がよい”（「よい」＋「まあよい」）が 44.2%、“健康状態がよくない”（「あまりよくない」＋「よくない」）が 11.4%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「よい」が 6.6 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「ふつう」が 5.2 ポイント、男性より高くなっています。

図表 187 現在の健康状態



2. 毎日の生活への満足度

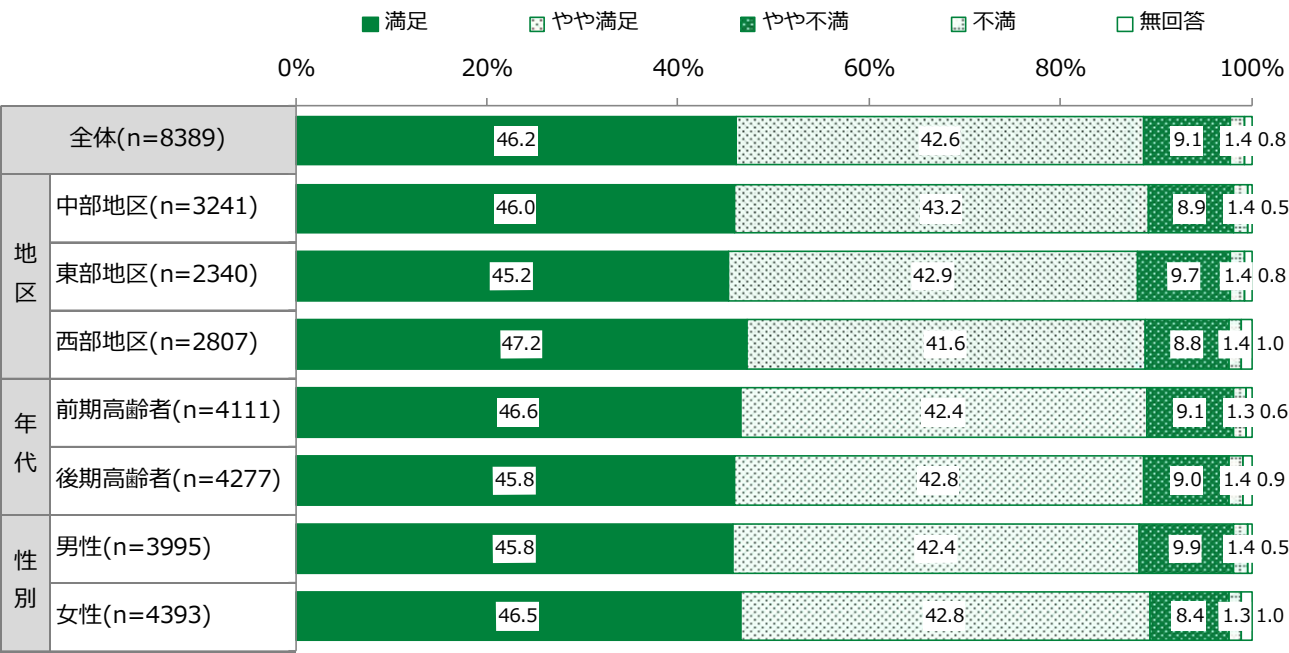
問3 毎日の生活に満足していますか。(○は1つ)

☒ 「満足」が46.2%

毎日の生活への満足度については、「満足」が46.2%と最も高くなっています。また、“満足している”（「満足」＋「やや満足」）が88.8%、“不満である”（「やや不満」＋「不満」）が10.5%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 188 毎日の生活への満足度



3. 1日3食の状況

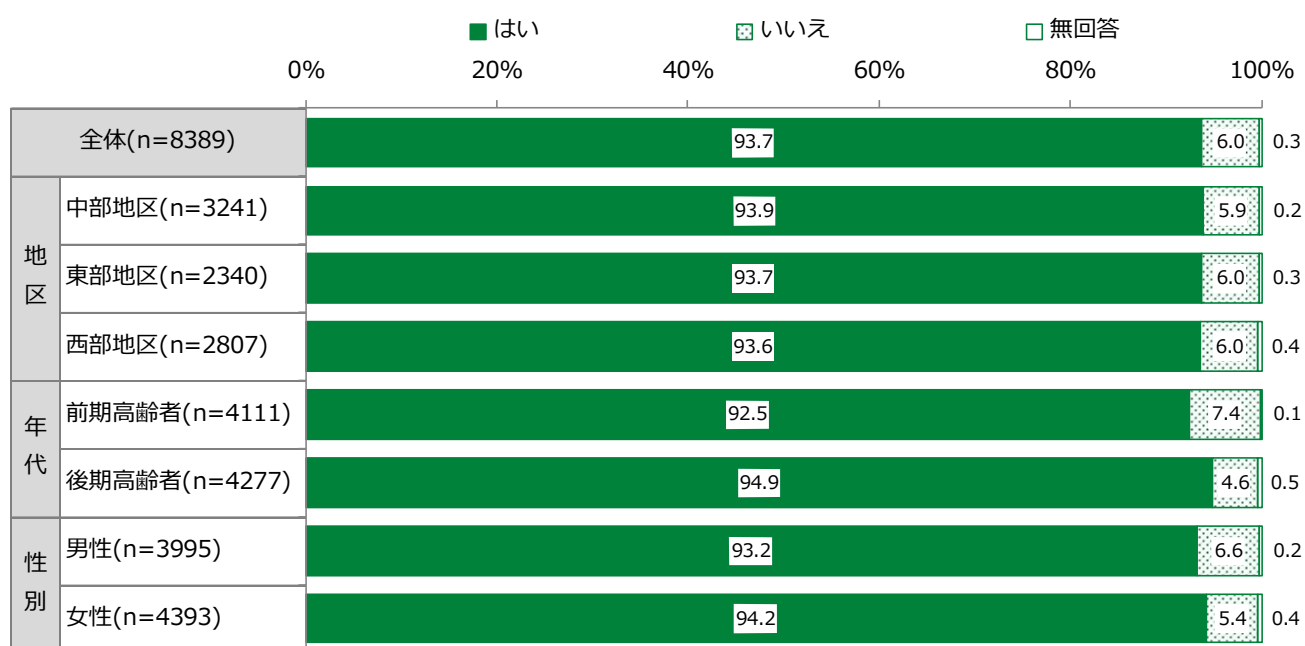
問4 1日3食きちんと食べていますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が93.7%

1日3食きちんと食べているかについては、「はい」が93.7%、「いいえ」が6.0%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 189 1日3食の状況



4. 固いものが食べにくくなったこと

問 5 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

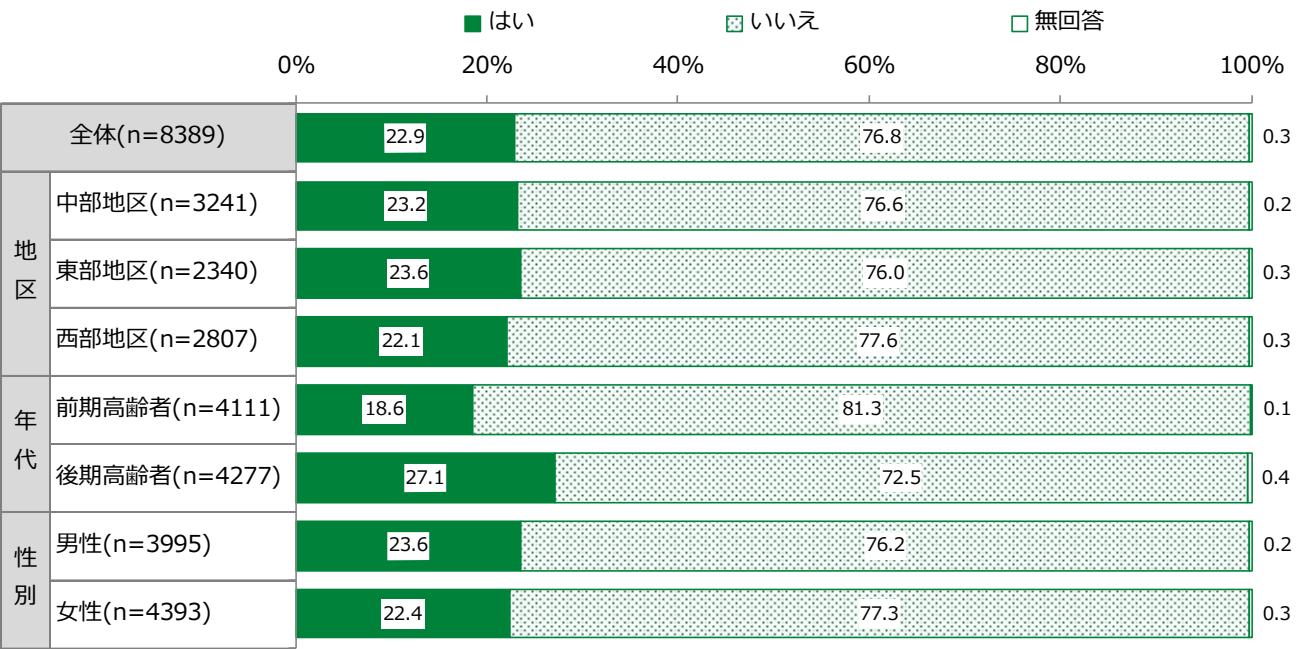
☒ 「はい」が22.9%

固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が76.8%、「はい」が22.9%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「いいえ」が8.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 190 固いものが食べにくくなったこと



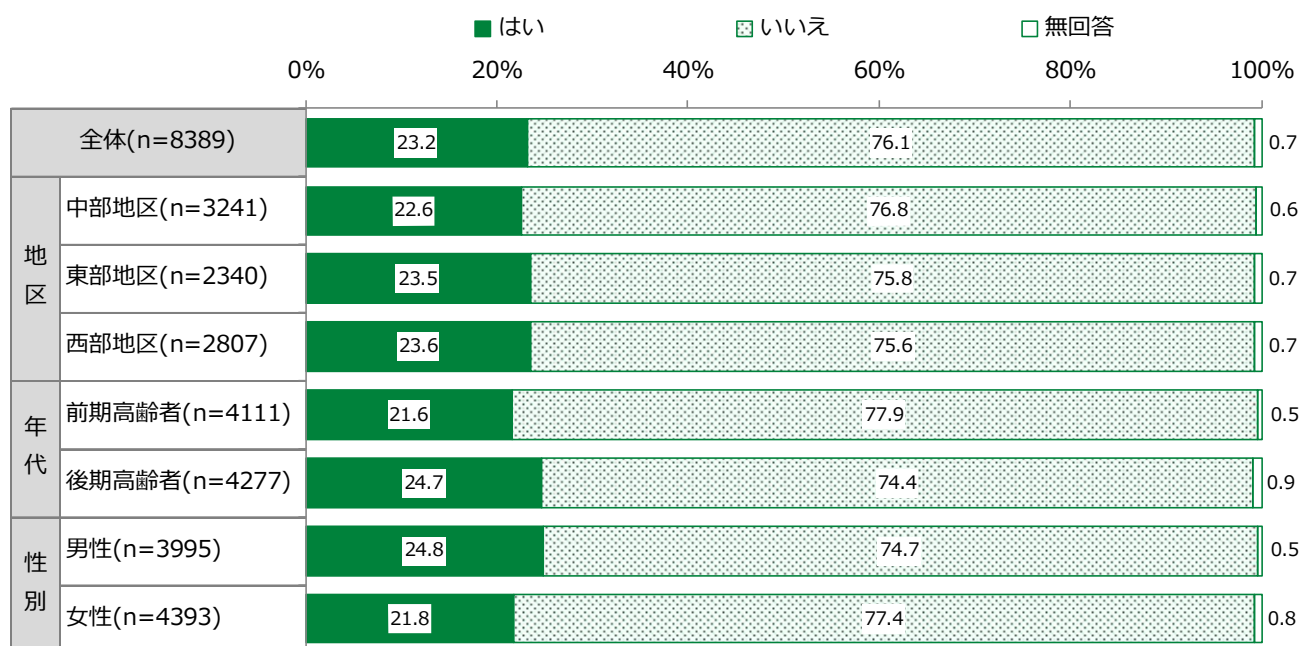
5. お茶や汁物等でむせること

問6 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が23.2%

お茶や汁物等でむせることについては、「いいえ」が76.1%、「はい」が23.2%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 191 お茶や汁物等でむせること



6. BMI¹

問 7 身長と体重をお書きください。

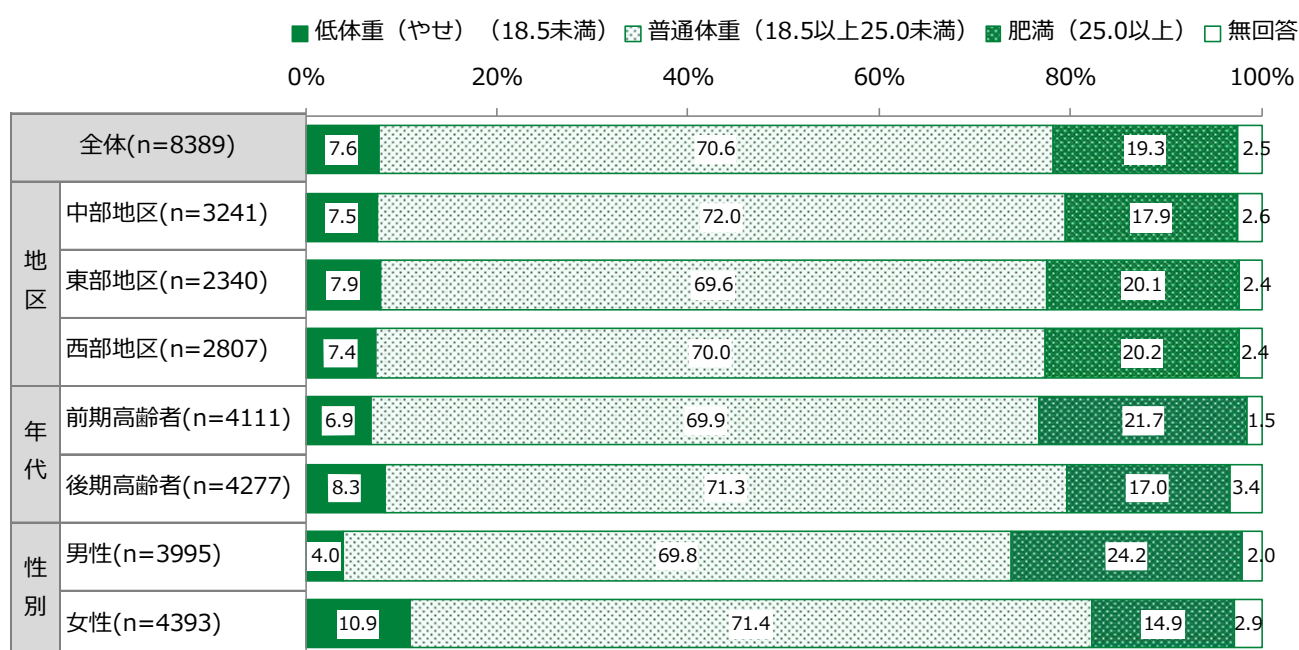
☑ 「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 70.6%

BMI については、「普通体重（18.5 以上 25.0 未満）」が 70.6%と最も高く、次いで「肥満（25.0 以上）」（19.3%）、「低体重（やせ）（18.5 未満）」（7.6%）となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「肥満（25.0 以上）」が 9.3 ポイント、女性で「低体重（やせ）（18.5 未満）」が 6.9 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 192 BMI



¹ 成人の肥満度を表す体格指数。体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））で算出される。

7. 体重の減少

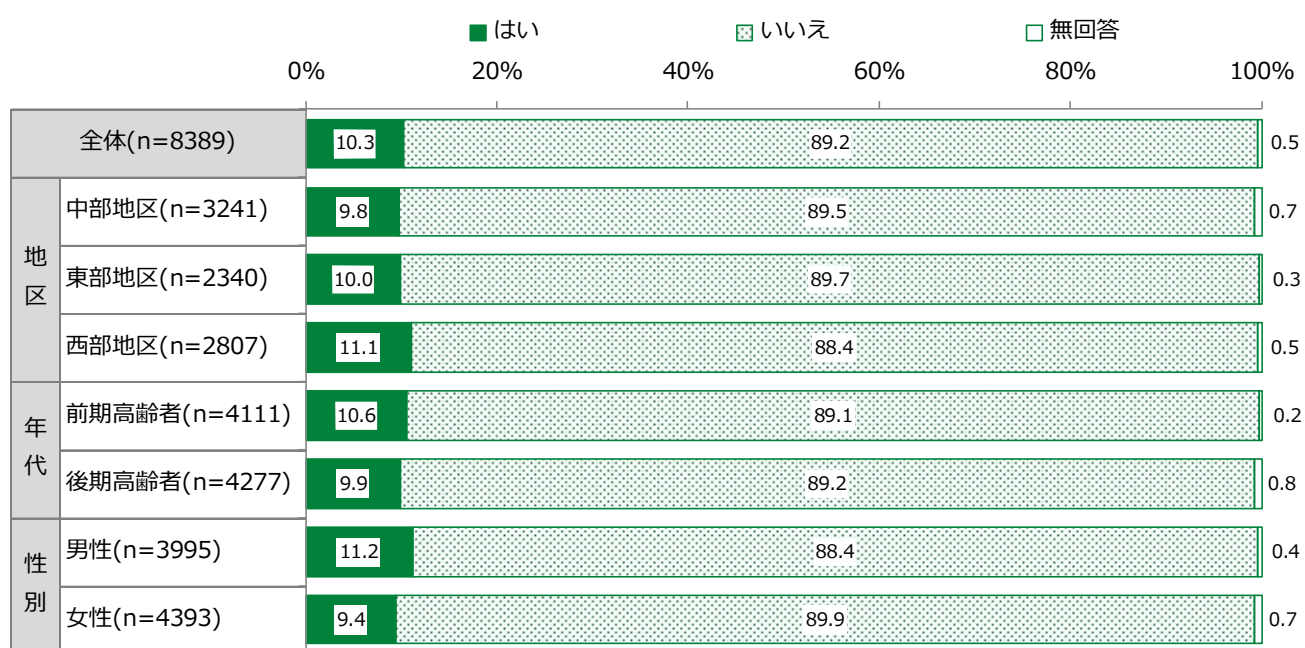
問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

☒ 「はい」が10.3%

6か月間で体重の減少があったかについては、「いいえ」が89.2%、「はい」が10.3%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 193 体重の減少



8. 歩く速度の遅れ

問9 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(○は1つ)

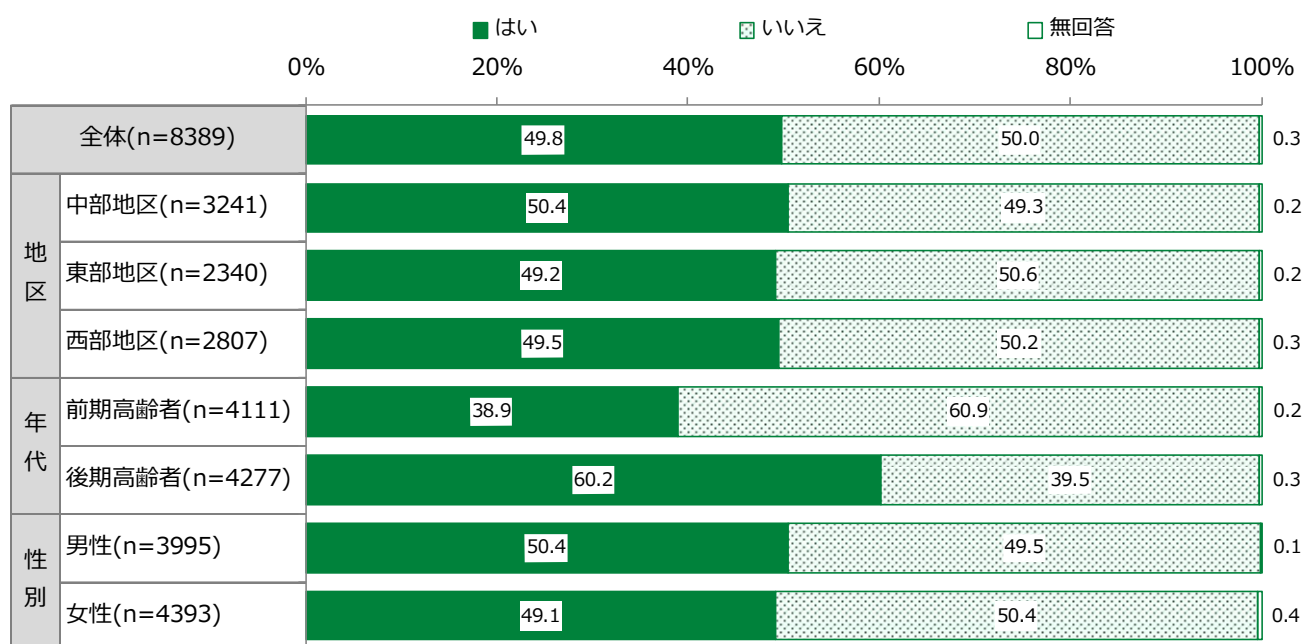
☒ 「はい」が49.8%

歩く速度が遅くなってきたと思うかどうかについては、「いいえ」が50.0%、「はい」が49.8%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が21.3ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 194 歩く速度の遅れ



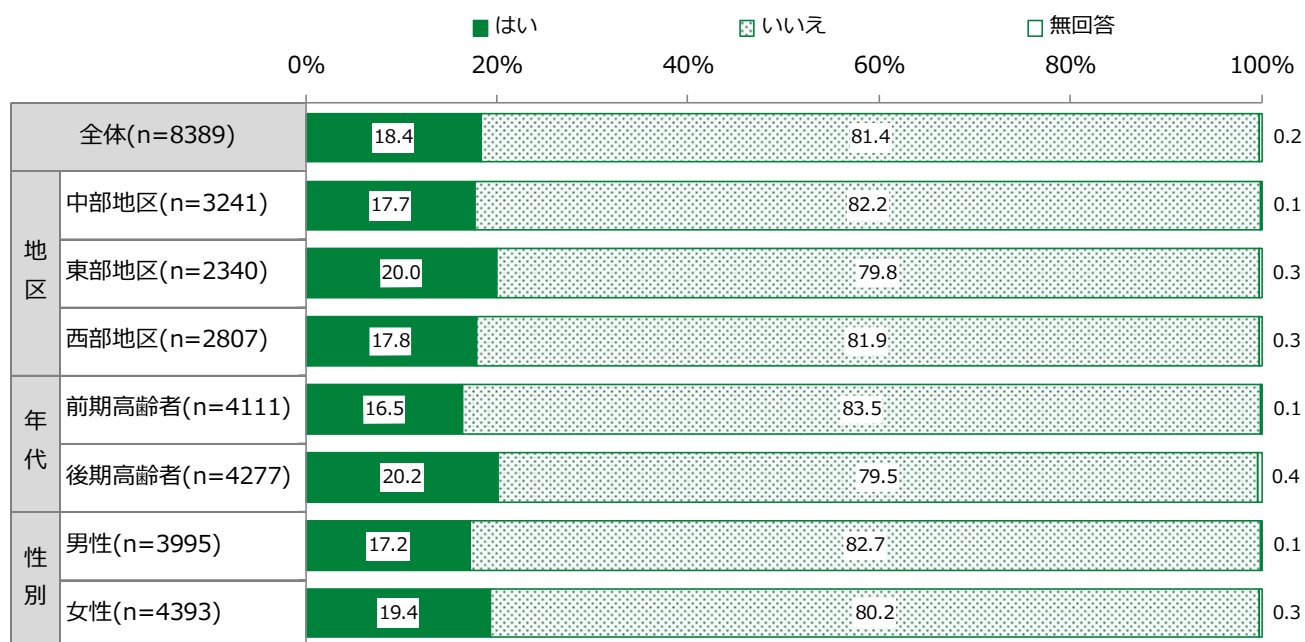
9. 過去1年間に転んだこと

問 10 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

☒ 「いいえ」が81.4%

過去1年間の転倒経験については、「いいえ」が81.4%、「はい」が18.4%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 195 過去1年間に転んだこと



10.週に1回以上の運動の状況

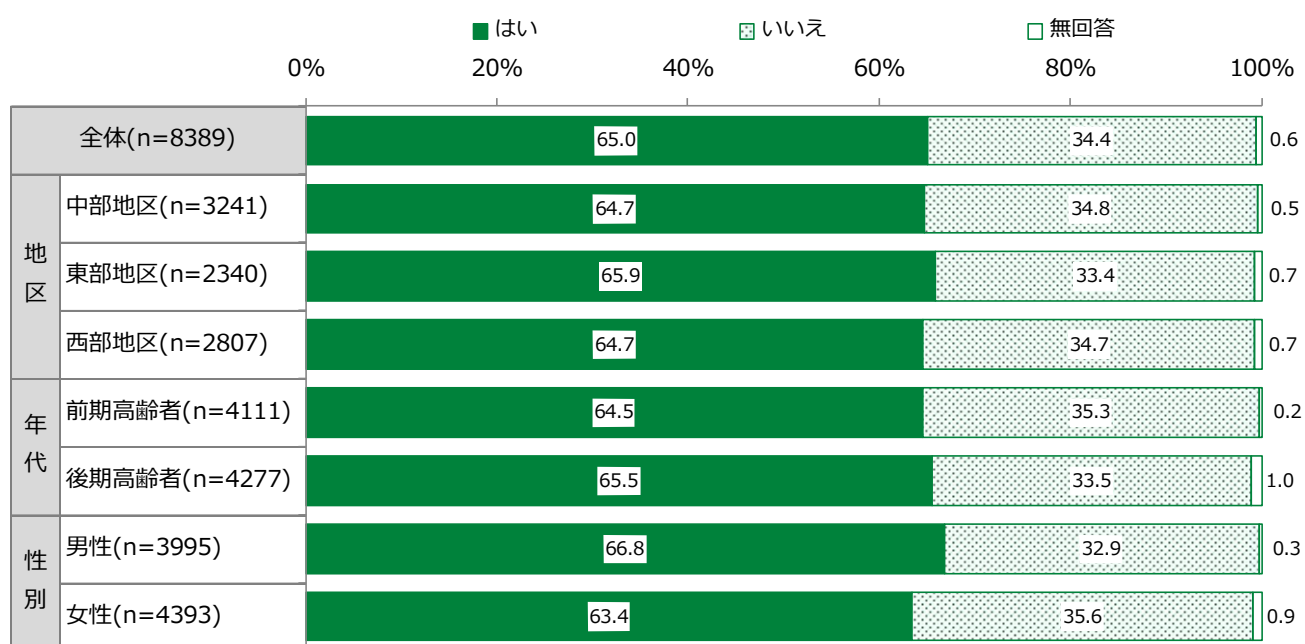
問 11 ウォーキング等の運動を、週に1回以上していますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が65.0%

週に1回以上のウォーキング等の運動の状況については、「はい」が65.0%、「いいえ」が34.4%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 196 週に1回以上の運動の状況



11.物忘れの状況

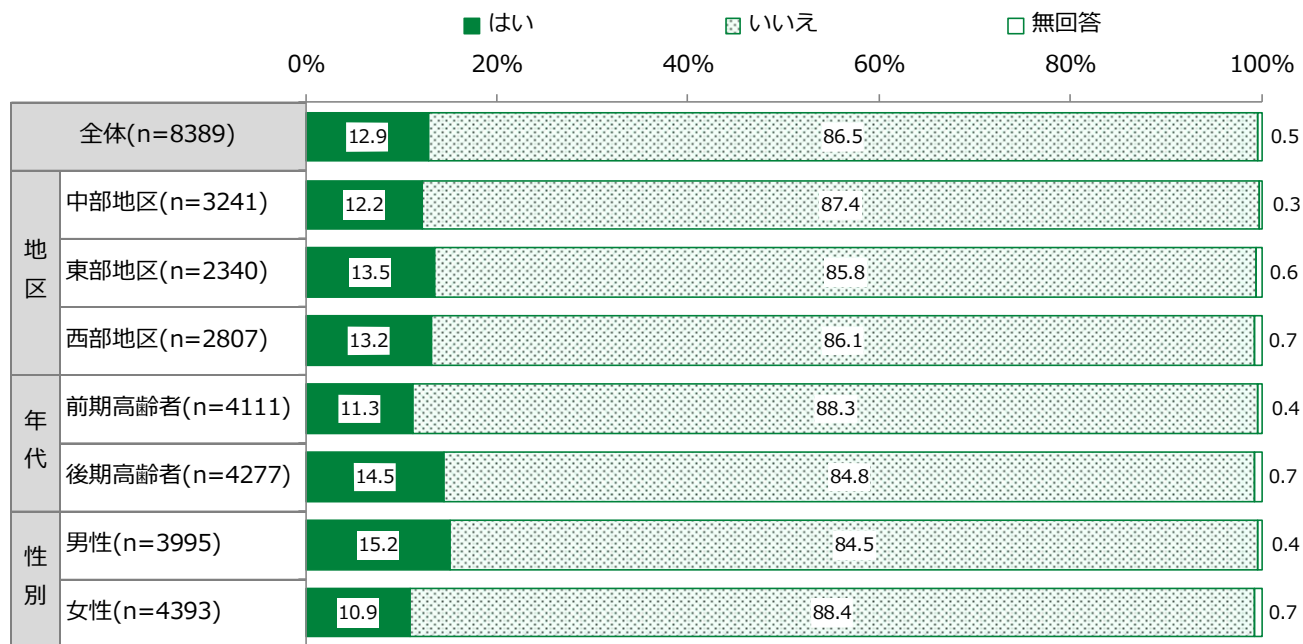
問 12 周りの人から「いつも同じことを聞く」などのものの忘れがあるとされますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が12.9%

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が86.5%、「はい」が12.9%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 197 物忘れの状況



12. 今日の日付がわからない時

問 13 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

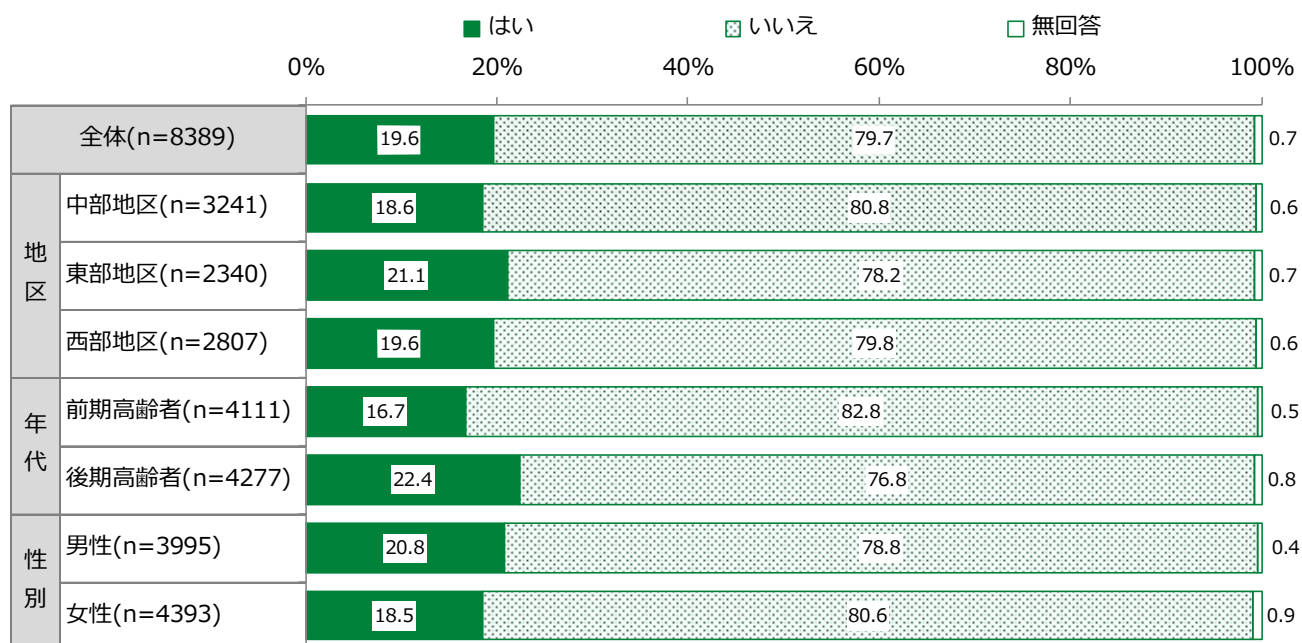
☒ 「はい」が19.6%

今日の日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が79.7%、「はい」が19.6%となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「はい」が5.7ポイント、前期高齢者より高くなっています。

図表 198 今日の日付がわからない時



13.喫煙の状況

問 14 あなたはたばこを吸いますか。(○は1つ)

☑ 「吸っていない」が72.3%

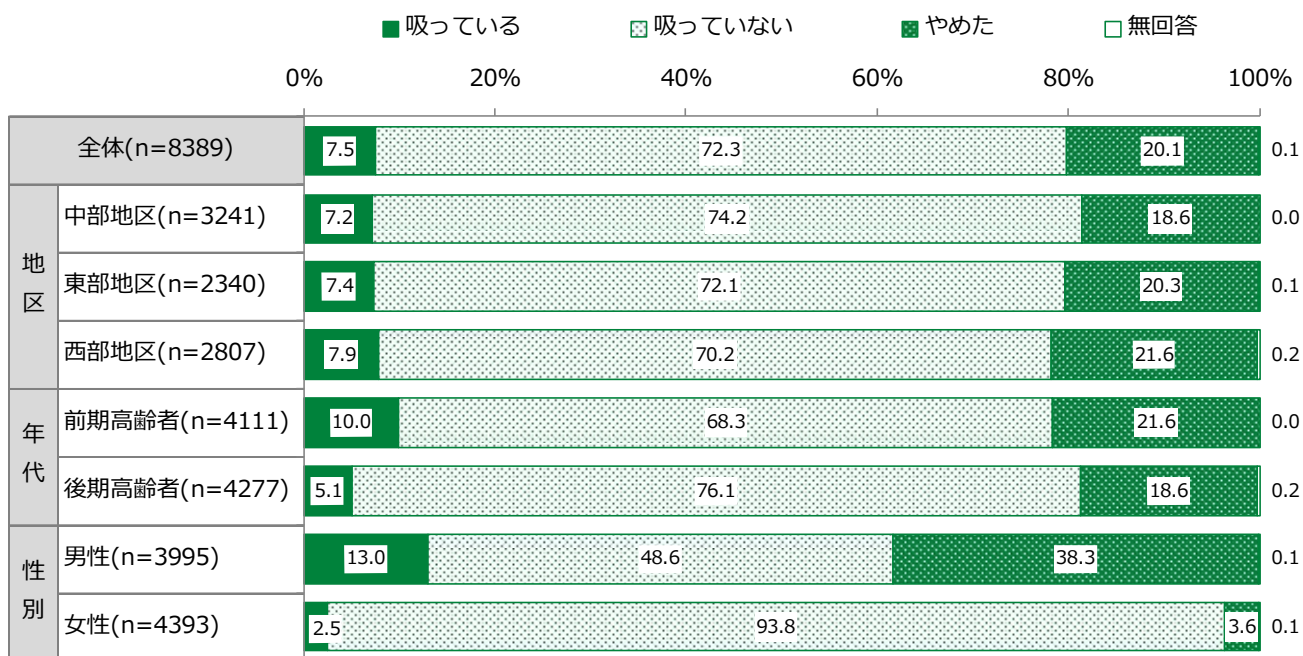
たばこを吸っているかについては、「吸っていない」が72.3%、「やめた」が20.1%、「吸っている」が7.5%となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、後期高齢者で「吸っていない」が7.8ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、女性で「吸っていない」が45.2ポイント、男性で「やめた」が34.7ポイント、「吸っている」が10.5ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 199 喫煙の状況



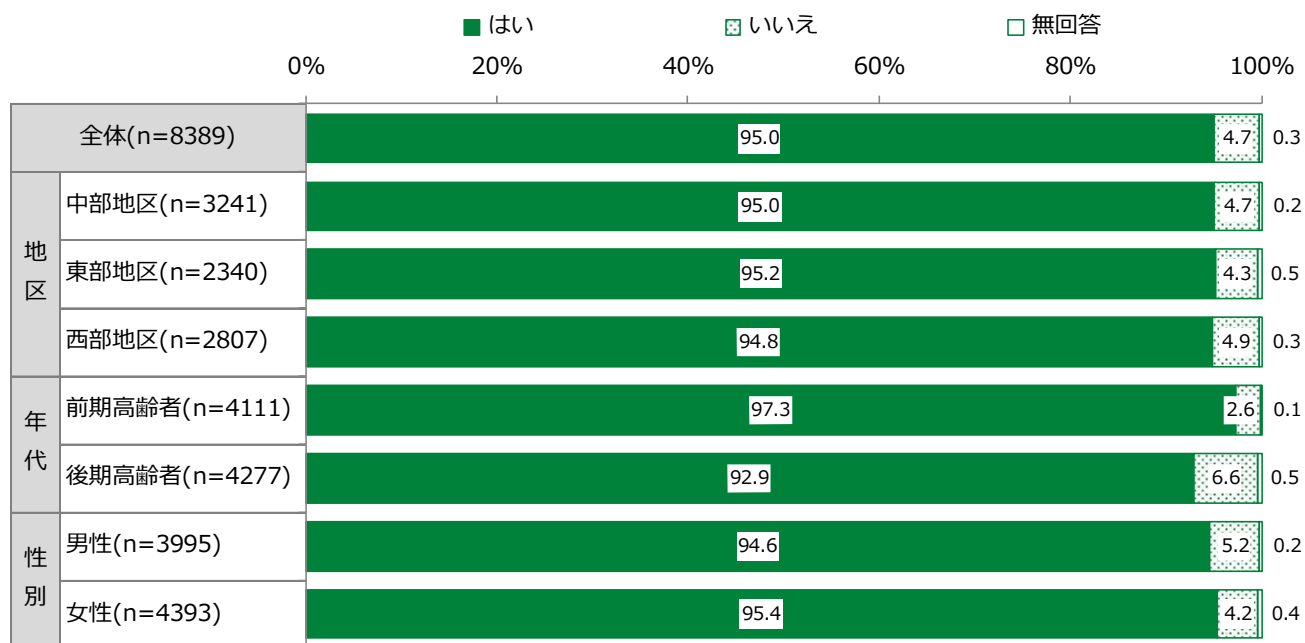
14.週1回以上の外出の状況

問 15 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が95.0%

週に1回以上外出しているかについては、「はい」が95.0%、「いいえ」が4.7%となっています。
地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 200 週1回以上の外出の状況



15. 家族や友人との付き合いの有無

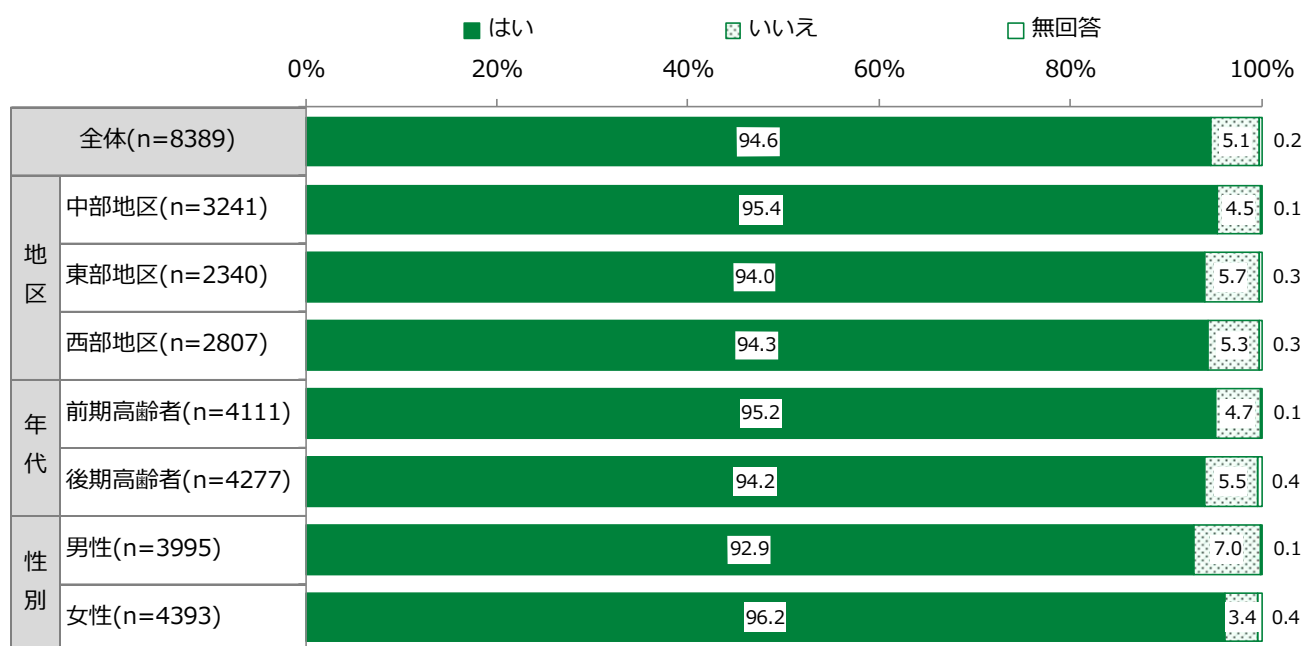
問 16 ふだんから家族や友人との付き合いがありますか。(○は1つ)

☑ 「はい」が 94.6%

ふだんから家族や友人との付き合いがあるかについては、「はい」が 94.6%、「いいえ」が 5.1%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 201 家族や友人との付き合いの有無



16.身近な相談相手の有無

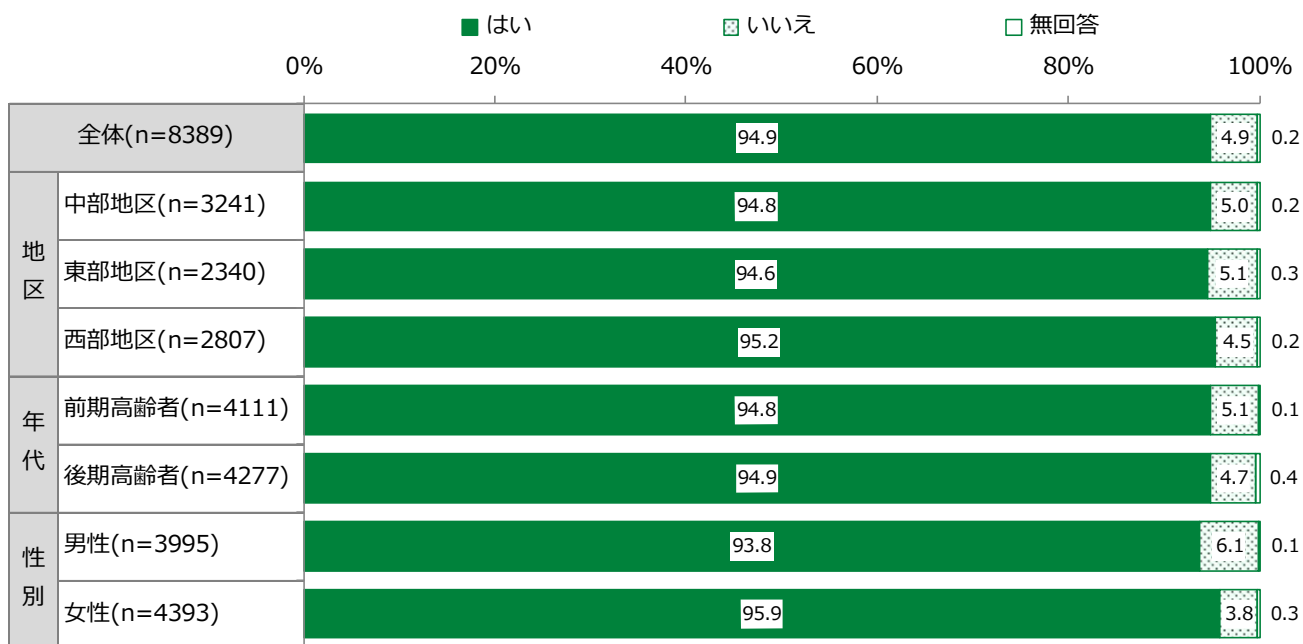
問 17 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか。(○は1つ)

☒ 「はい」が 94.9%

身近な相談相手の有無については、「はい」が 94.9%、「いいえ」が 4.9%となっています。

地区別・年代別・性別のいずれも、特に大きな差はみられません。

図表 202 身近な相談相手の有無



3. 地域での活動等について

1. 地域活動への参加状況

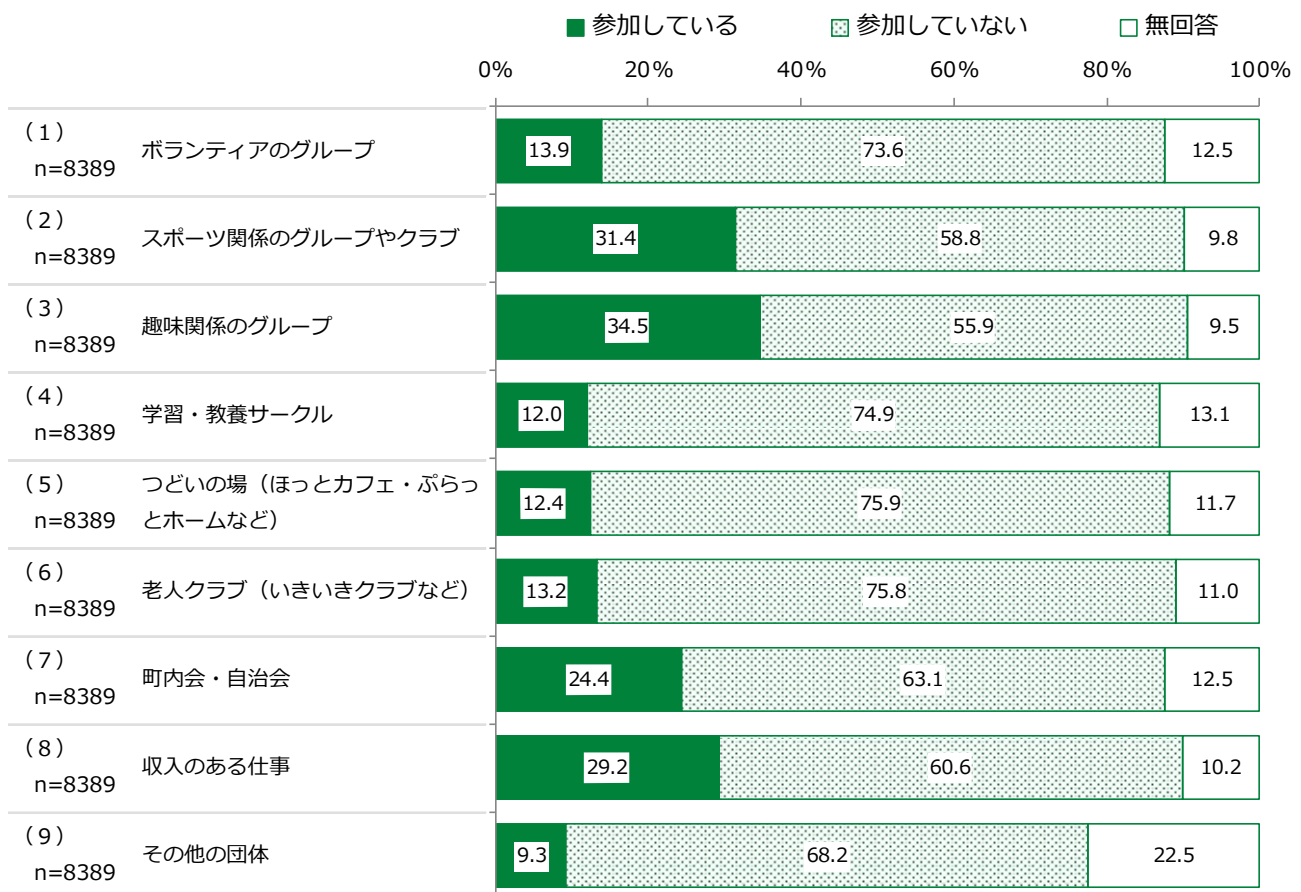
問 18 以下のような会・グループ等による活動にどのくらいの頻度で参加していますか。

※（１）～（９）それぞれに回答してください。

☒ 趣味関係のグループに“参加している”¹が 34.5%

地域活動への参加状況について、“参加している”は趣味関係のグループが 34.5%と最も高く、次いでスポーツ関係のグループやクラブ(31.4%)、収入のある仕事(29.2%)、町内会・自治会(24.4%)となっています。

図表 203 地域活動への参加状況



¹ 「週 4 回以上」「週 2 ～ 3 回」「週 1 回」「月 1 ～ 3 回」「年に数回」を合わせたもの

(1) ボランティアのグループ

☑ 参加している人は 13.9%

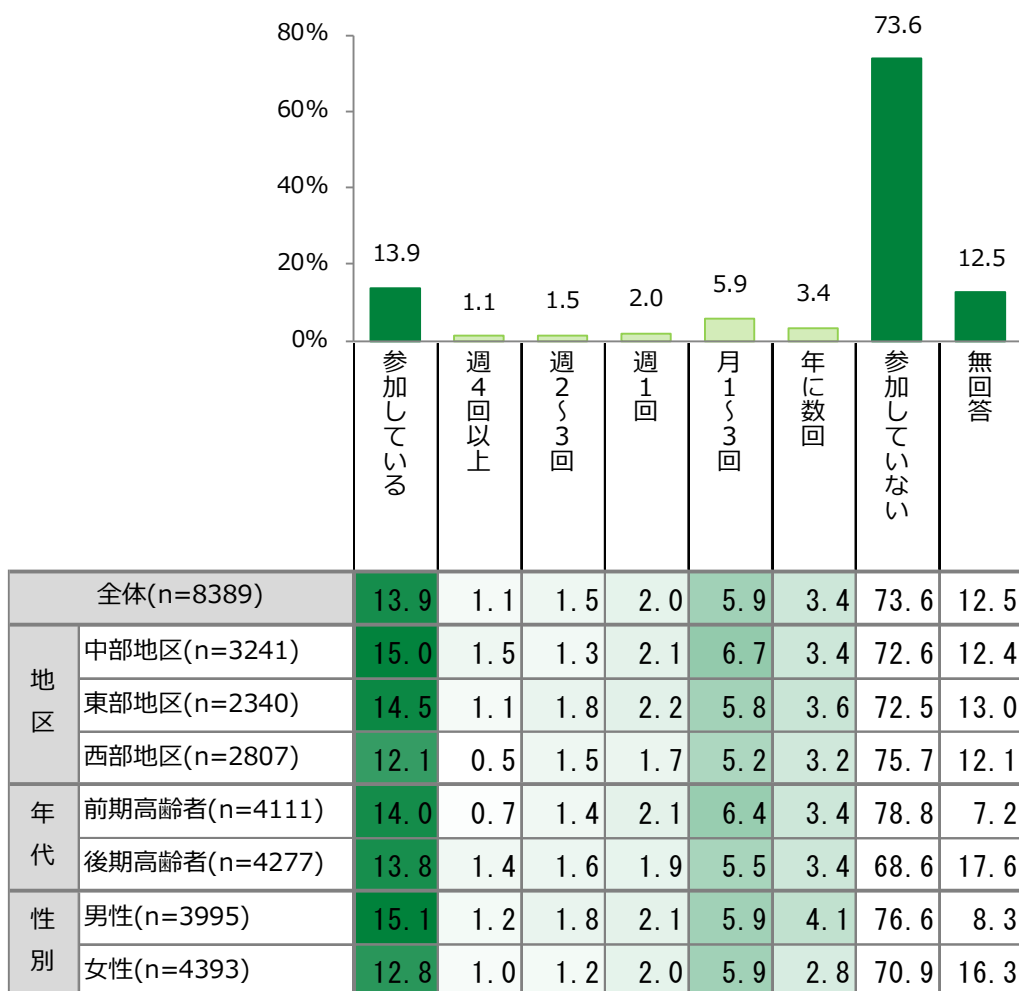
ボランティアのグループについて、“参加している”は13.9%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が5.9%と最も高く、次いで「年に数回」(3.4%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が10.2ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が5.7ポイント、女性より高くなっています。

図表 204 (1) ボランティアのグループ



(2) スポーツ関係のグループやクラブ

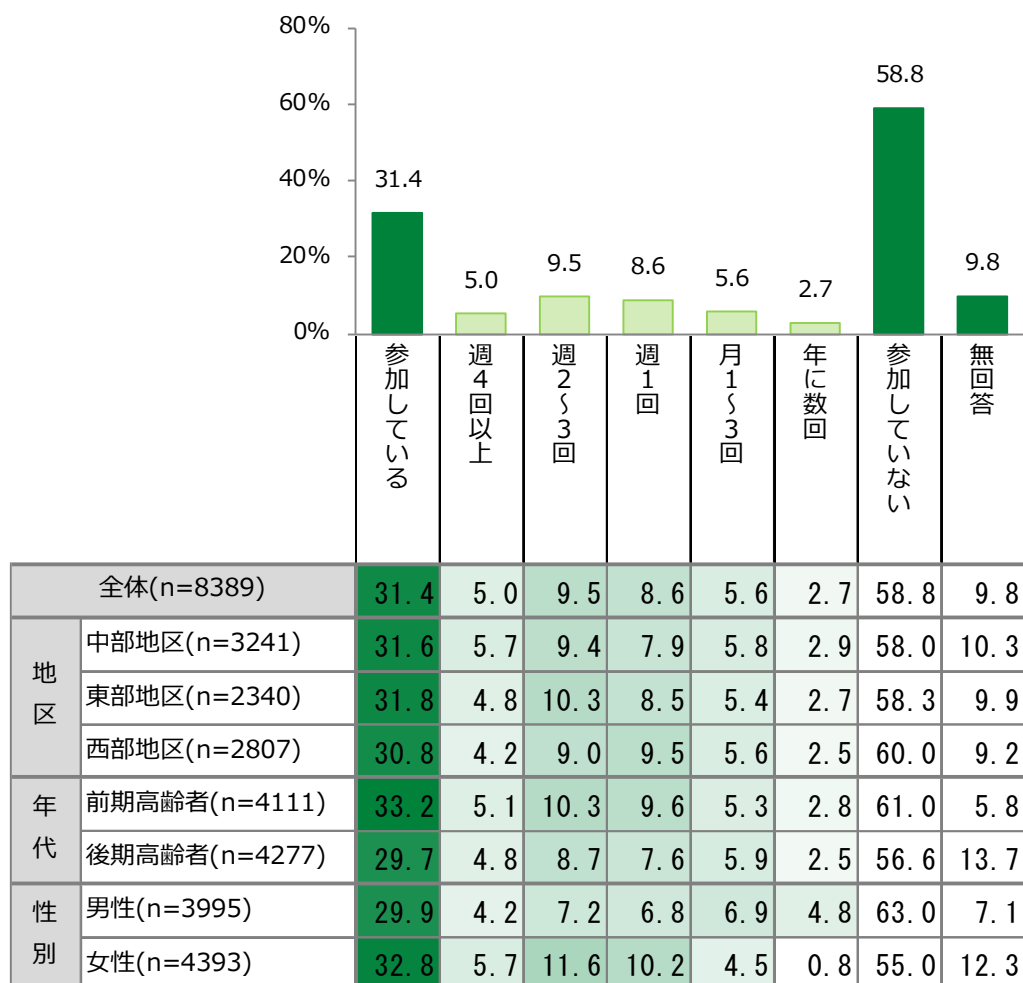
☑ 参加している人は 31.4%

スポーツ関係のグループやクラブについて、“参加している”が31.4%となっています。参加頻度としては、「週2～3回」が9.5%と最も高く、次いで「週1回」(8.6%)となっています。

地区別・年代別ともに、特に大きな差はみられません。

性別でみると、男性で「参加していない」が8.0ポイント、女性より高くなっています。

図表 205 (2) スポーツ関係のグループやクラブ



(3) 趣味関係のグループ

☑ 参加している人は 34.5%

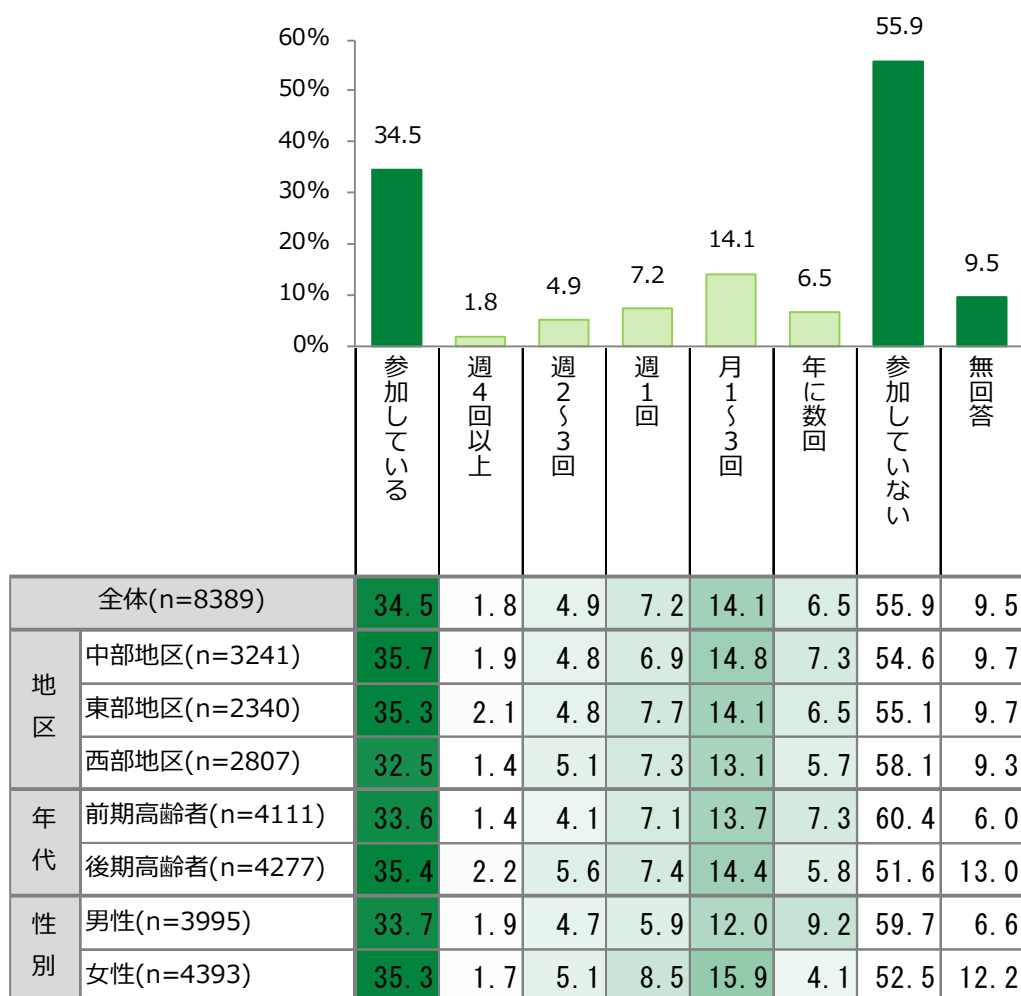
趣味関係のグループについて、“参加している”が34.5%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が14.1%と最も高く、次いで「週1回」(7.2%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が8.8ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が7.2ポイント、女性より高くなっています。

図表 206 (3) 趣味関係のグループ



(4) 学習・教養サークル

☑ 参加している人は 12.0%

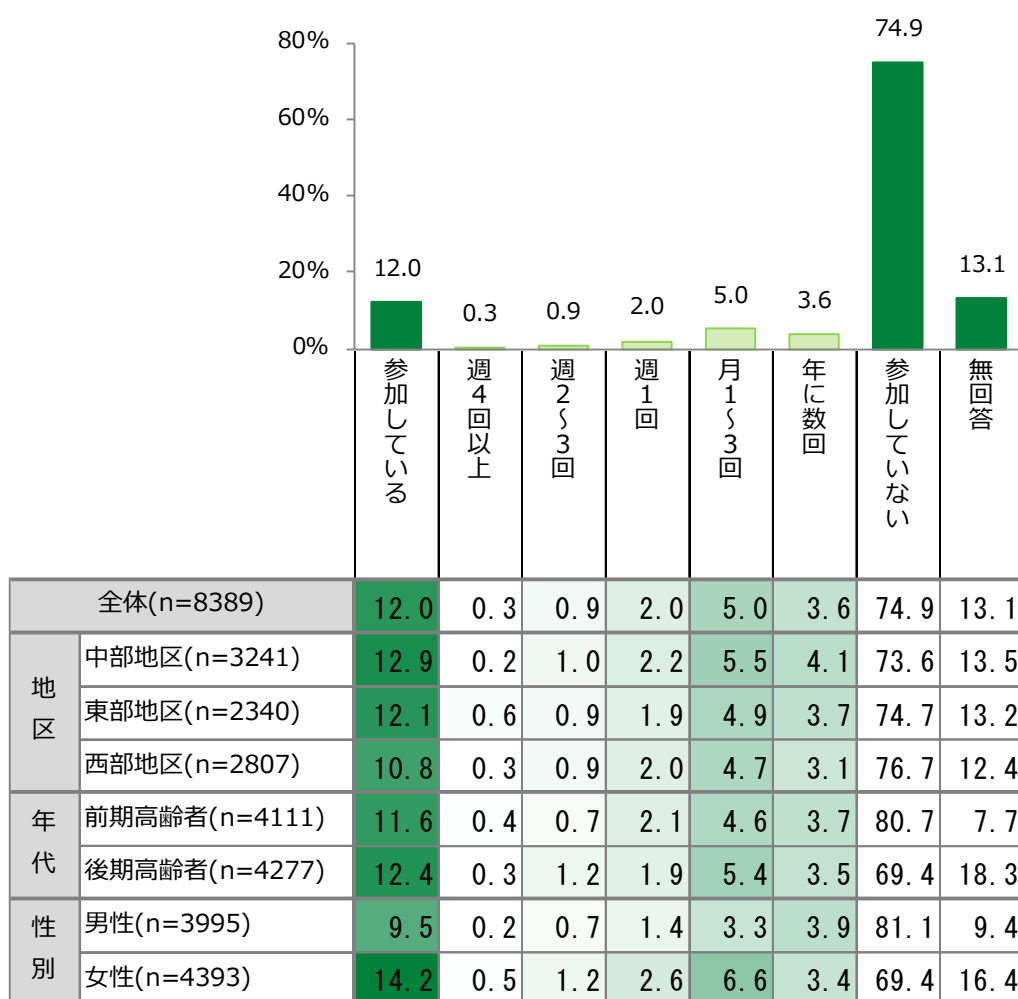
学習・教養サークルについて、“参加している”が12.0%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が5.0%と最も高く、次いで「年に数回」(3.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が11.3ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が11.7ポイント、女性より高くなっています。

図表 207 (4) 学習・教養サークル



(5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）

☑ 参加している人は 12.4%

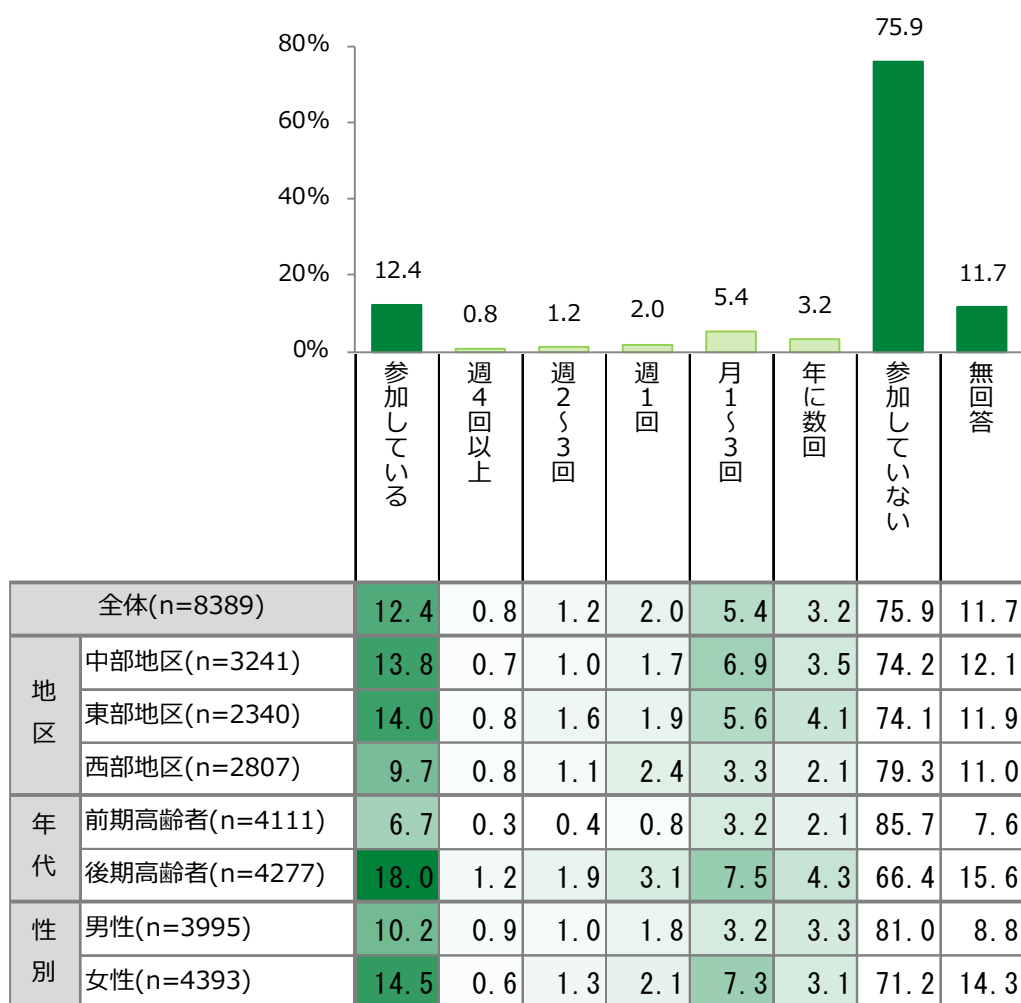
つどいの場について、“参加している”が12.4%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」が5.4%と最も高く、次いで「年に数回」(3.2%)となっています。

地区別でみると、西部地区で「参加していない」が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で“参加している”が11.3ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が9.8ポイント、女性より高くなっています。

図表 208 (5) つどいの場（ほっとカフェ・ぷらっとホームなど）



(6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）

☑ 参加している人が 13.2%

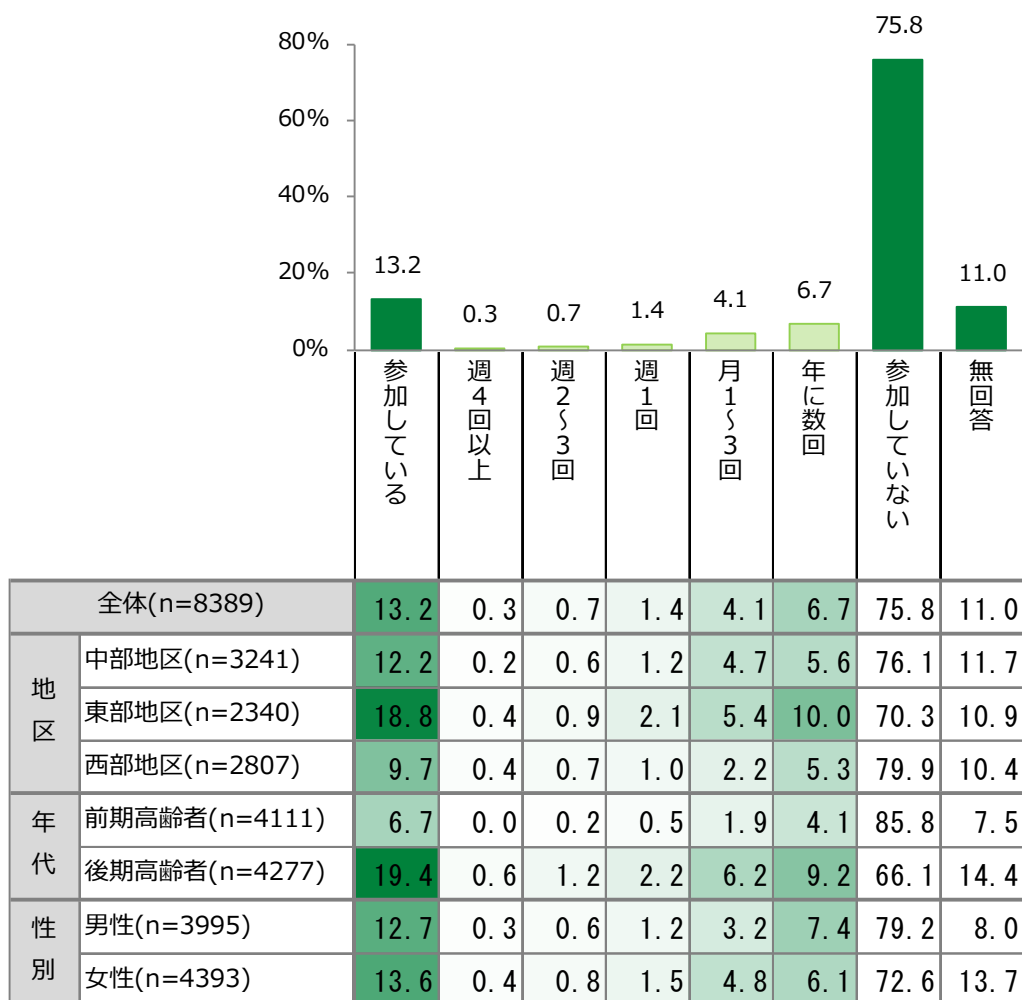
老人クラブについては、“参加している”が13.2%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が6.7%と最も高く、次いで「月1～3回」（4.1%）となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、後期高齢者で“参加している”が12.7ポイント、前期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が6.6ポイント、女性より高くなっています。

図表 209 (6) 老人クラブ（いきいきクラブなど）



(7) 町内会・自治会

☑ 参加している人は 24.4%

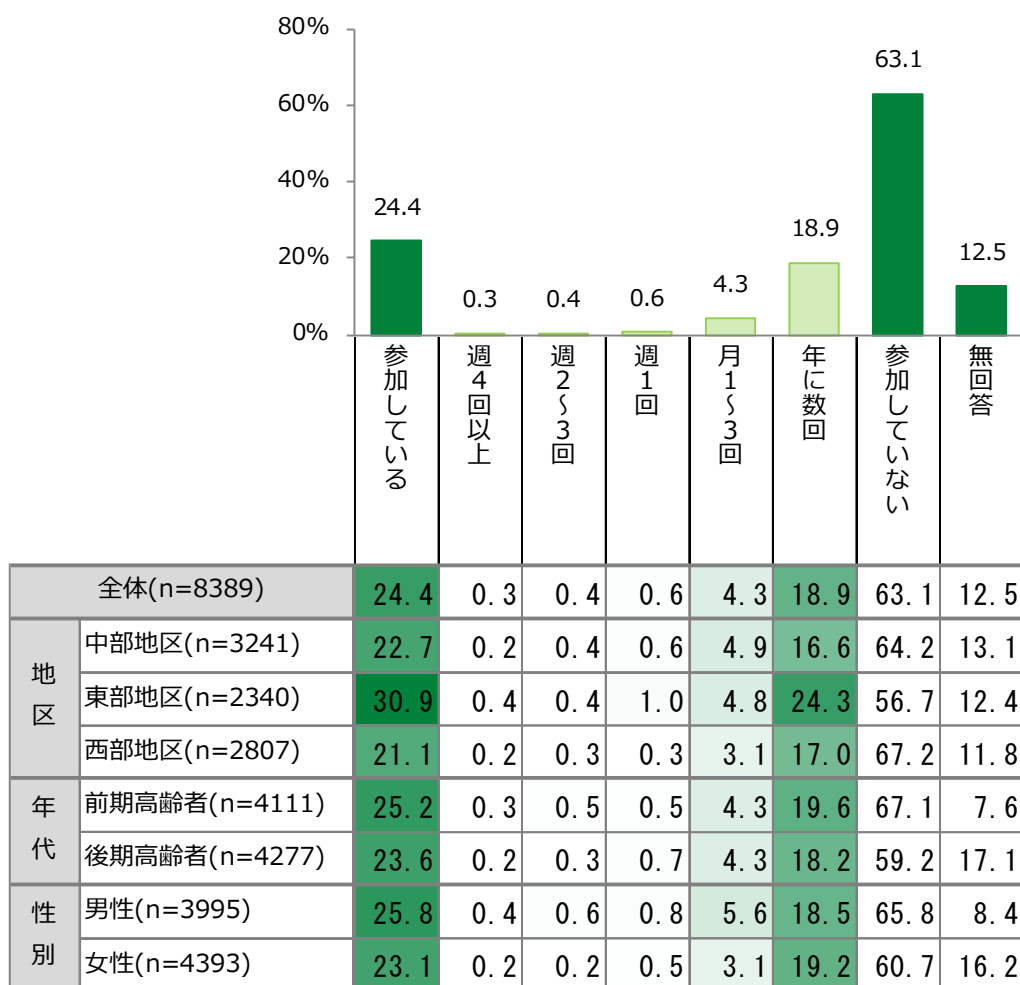
町内会・自治会については、“参加している”が24.4%となっています。参加頻度としては、「年に数回」が18.9%と最も高く、次いで「月1～3回」(4.3%)となっています。

地区別でみると、東部地区で“参加している”が他の地区より高くなっています。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が7.9ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で「参加していない」が5.1ポイント、女性より高くなっています。

図表 210 (7) 町内会・自治会



(8) 収入のある仕事

☑ 収入のある仕事をしている人は 29.2%

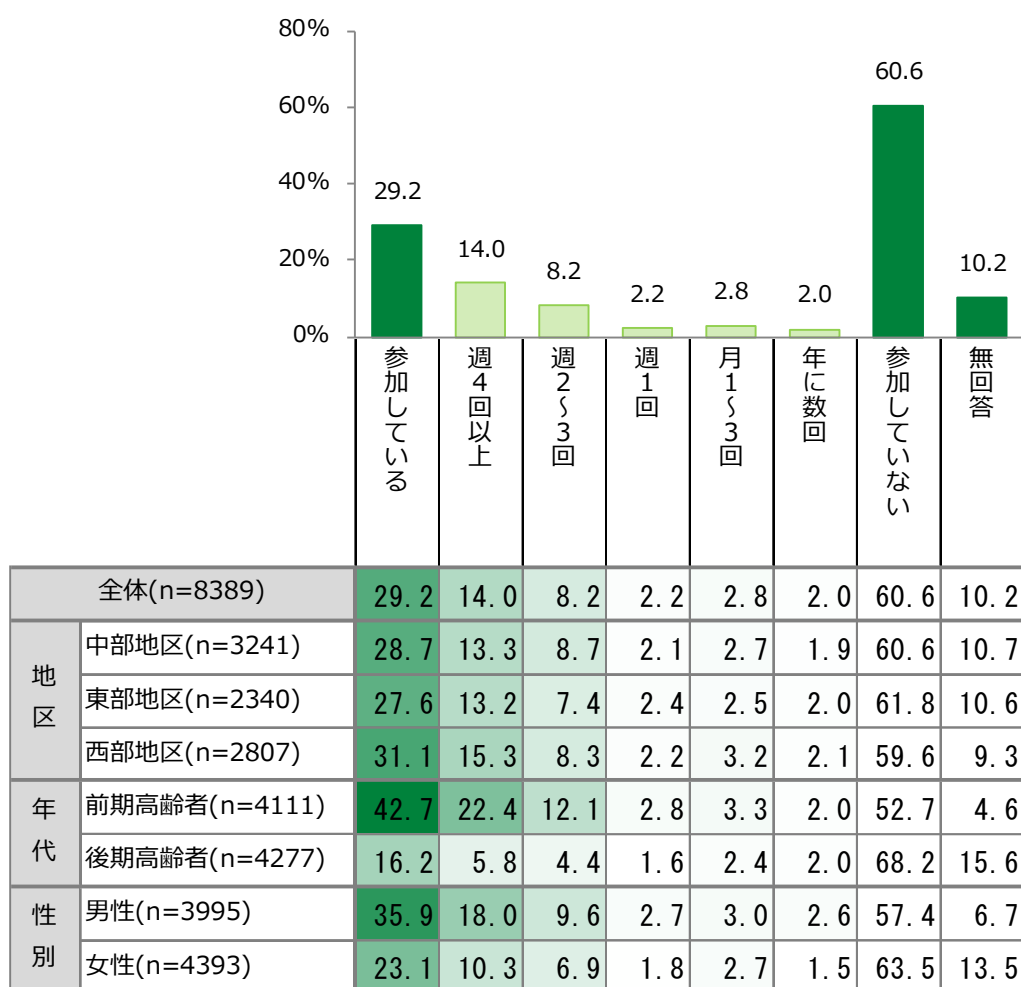
収入のある仕事について、“参加している”が 29.2%となっています。参加頻度としては、「週 4 回以上」が 14.0%と最も高く、次いで「週 2～3 回」(8.2%) となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で“参加している”が 26.5 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

性別でみると、男性で“参加している”が 12.8 ポイント、女性より高くなっています。

図表 211 (8) 収入のある仕事



(9) その他の団体

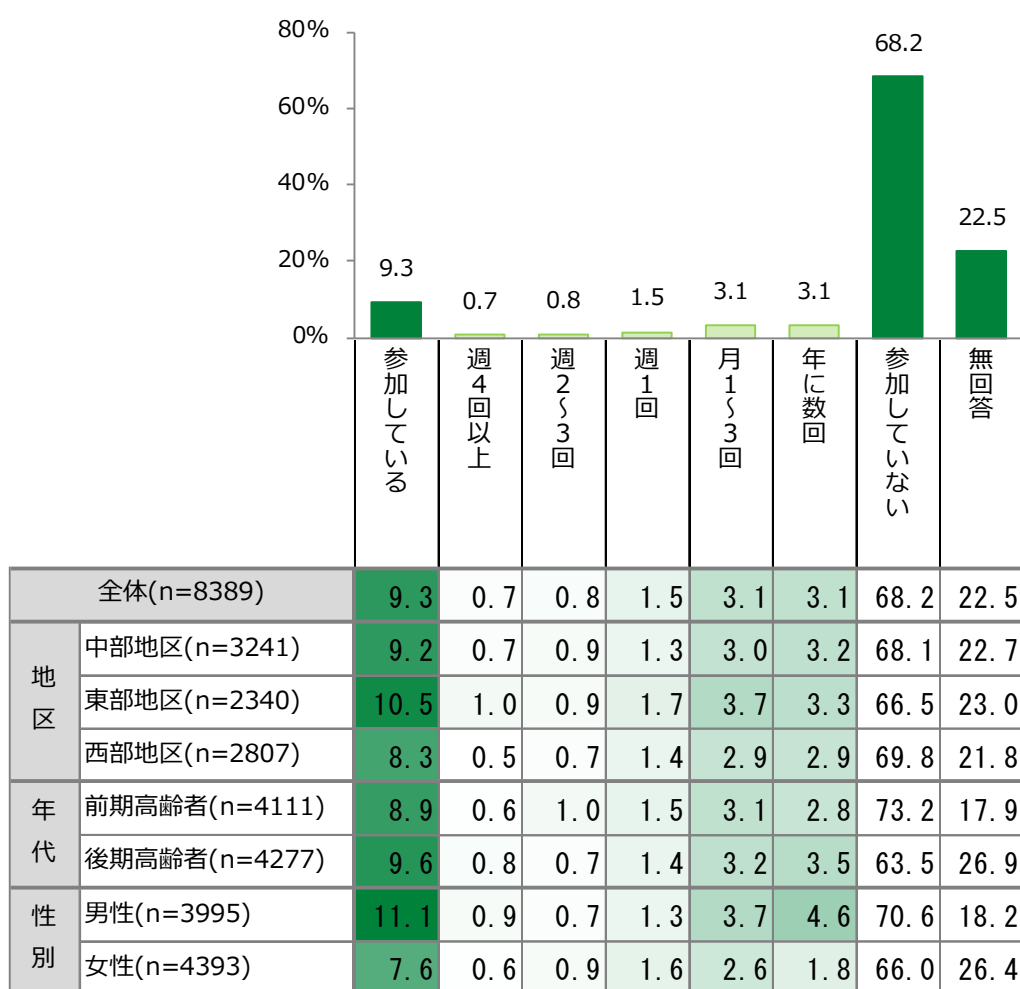
☑ 参加している人は 9.3%

その他の団体については、“参加している”が9.3%となっています。参加頻度としては、「月1～3回」「年に数回」がともに3.1%と最も高くなっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「参加していない」が9.7ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 212 (9) その他の団体



2. 地域活動に不参加の理由と参加意向のある地域活動

※問 18 で 1 つでも「参加していない」とお答えの方

問 19 「参加していない」と回答した活動について、理由はどれですか。(○はいくつでも)

☑ 「興味がない」が 42.8%

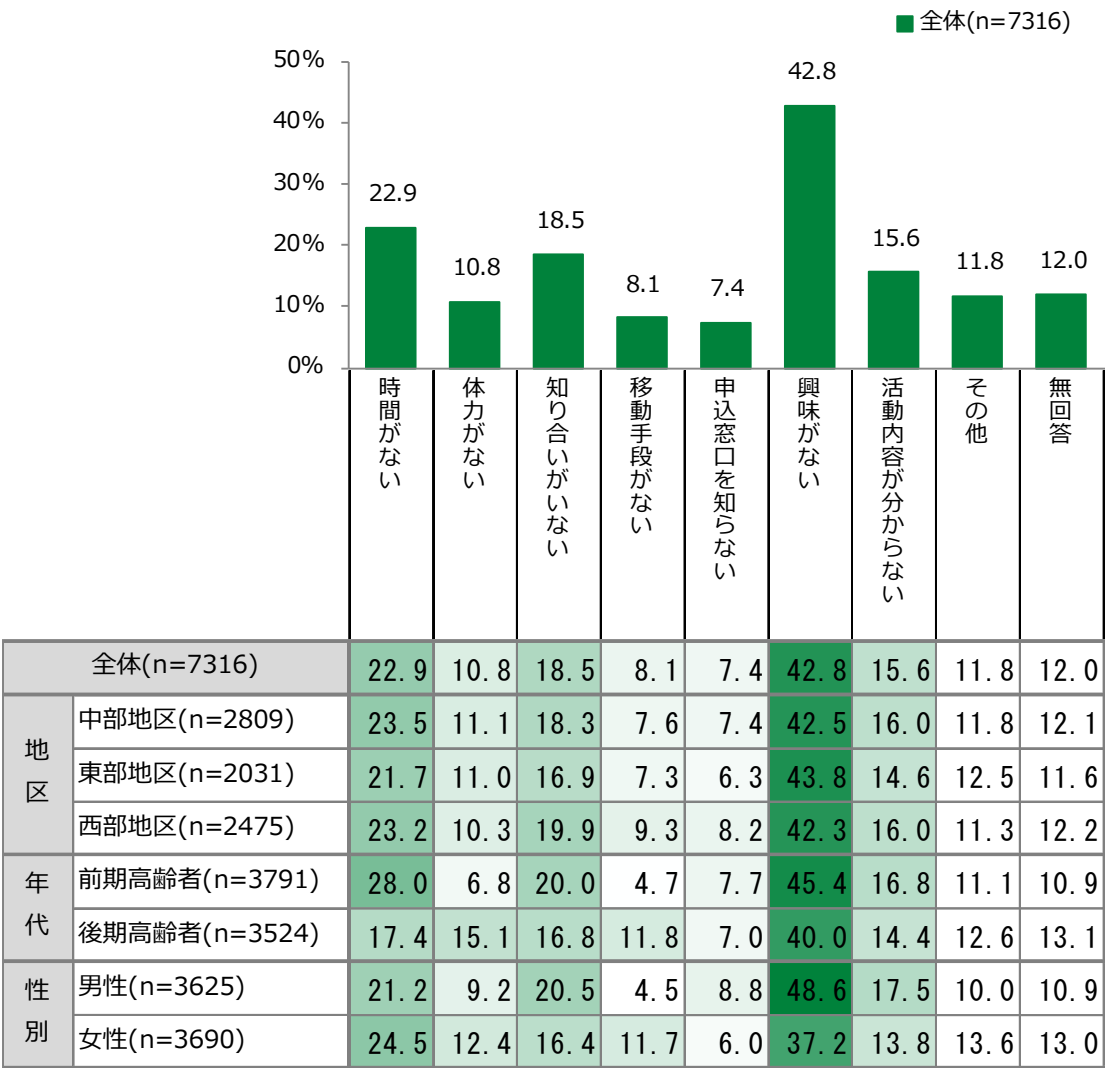
地域活動に不参加の理由については、「興味がない」が 42.8%と最も高く、次いで「時間がない」(22.9%)、「知り合いがいない」(18.5%)、「活動内容が分からない」(15.6%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者では「時間がない」が 10.6 ポイント、「興味がない」が 5.4 ポイント、後期高齢者では「体力がない」が 8.3 ポイント、「移動手段がない」が 7.1 ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性では「興味がない」が 11.4 ポイント、女性では「移動手段がない」が 7.2 ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 213 地域活動に不参加の理由



※問 18 で 1 つでも「参加していない」とお答えの方

問 20 「参加していない」と回答した活動のうち、今後参加してみたい活動はどれですか。(〇はいくつでも)

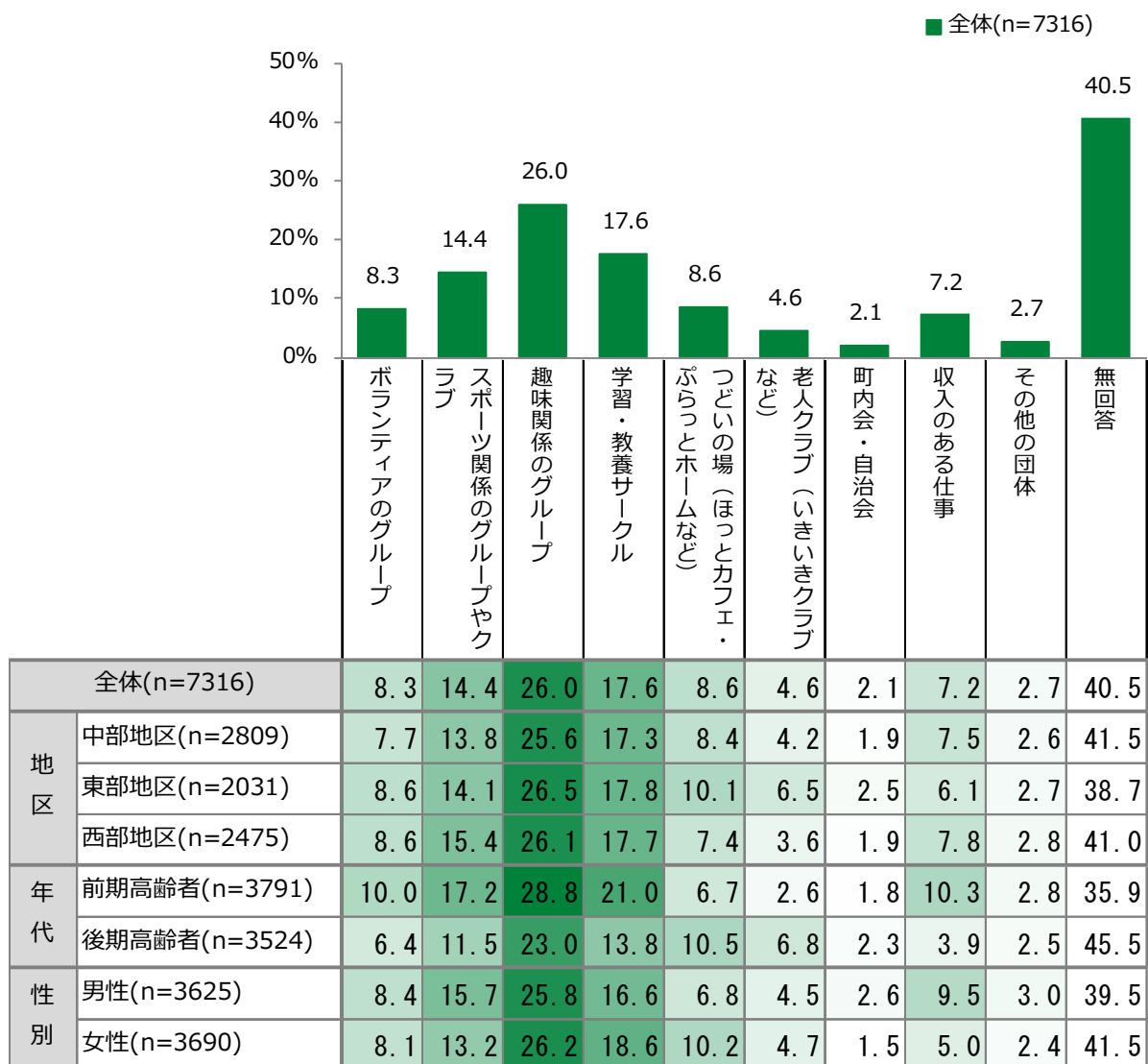
☑ 「趣味関係のグループ」が 26.0%

参加意向のある地域活動については、「趣味関係のグループ」が 26.0%と最も高く、次いで「学習・教養サークル」(17.6%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(14.4%)、「つどいの場(ほっとカフェ・ぷらっとホームなど)」(8.6%)、「ボランティアのグループ」(8.3%)となっています。

地区別・性別ともに、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「学習・教養サークル」が 7.2 ポイント、「収入のある仕事」が 6.4 ポイント、「趣味関係のグループ」が 5.8 ポイント、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 5.7 ポイント、後期高齢者より高くなっています。

図表 214 参加意向のある地域活動



3. 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先

問 21 介護保険制度や高齢者に対するサービス、市の事業などに関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

☑ 「市のパンフレット、広報など」が60.8%

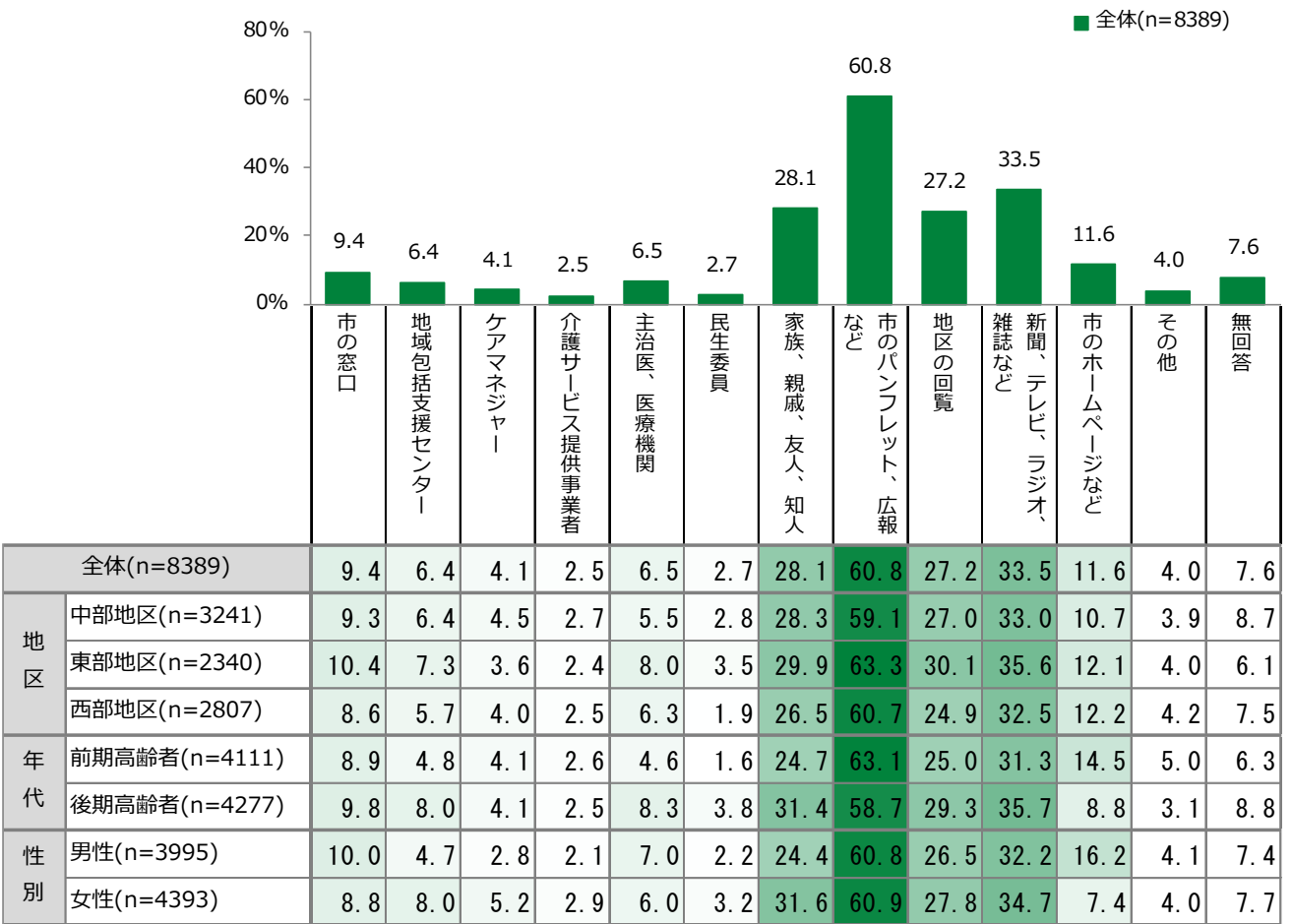
介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先については、「市のパンフレット、広報など」が60.8%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」(33.5%)、「家族、親戚、友人、知人」(28.1%)となっています。

地区別でみると、特に大きな差はみられません。

年代別でみると、前期高齢者で「市のホームページなど」が5.7ポイント、後期高齢者で「家族、親戚、友人、知人」が6.7ポイント、それぞれ他の年代より高くなっています。

性別でみると、男性で「市のホームページなど」が8.8ポイント、女性で「家族、親戚、友人、知人」が7.2ポイント、それぞれ異性より高くなっています。

図表 215 介護保険制度や高齢者サービスなどに関する情報の入手先



第9期にっしん高齢者ゆめプラン アンケート調査
調査結果報告書

令和5年3月

日進市 健康福祉部 地域福祉課 福祉政策係

〒470-0192 日進市蟹甲町池下 268 番地

TEL : 0561-73-1643 FAX : 0561-72-4554